

平成 27 年度 住宅市場整備推進等事業

大工・職人の実態に関するアンケート調査
報告書

平成 28 年 3 月

一般社団法人 木を活かす建築推進協議会

大工・職人の実態に関するアンケート調査 報告書

目次

1章 アンケート調査の目的および概要	1
1. 背景・目的	1
2. アンケート調査実施概要	2
3. アンケート回答者の属性	5
2章 アンケート調査結果の概要	8
3章 アンケート調査 集計結果	
1. 職種別集計	16
2. 地域別集計	44
3. 年齢別集計	71
4. 経験年数別集計	93
5. 雇用形態別集計	114
6. 賃金別集計	137
資料編 アンケート調査 自由記述回答	
1. 職種 【その他】の自由記述回答	資料編-1-
2. 健康保険 【その他】の自由記述回答	資料編-9-
3. なぜ育てる予定はないのですか（理由）【その他】の自由記述回答	資料編-10-
4. 担い手育成についての意見（自由記述）	資料編-12-

1章 アンケート調査の目的および概要

1. 背景・目的

木造住宅・建築物の施工の中核的な存在である大工の不足が危惧されている。大工数は、特に若い世代の大工就業者が少ないため高齢化が進み、年々減少傾向にある。国勢調査によれば 2005 年に 54 万人いた大工は 2010 年には 40 万人に減少している。ここ 5 年間でこれまでの最大の 14 万人の減少を招いている。

木造住宅の新築工事では、プレカットの 9 割に達する普及により施工の合理化が進み、部材の墨付けや加工といった作業は大工の手から離れ、造作を含め加工済みの部材の組立・取付が、今日の大工の主たる作業となった。しかし、増改築やリフォームの現場では、大工が構造から造作・仕上げ、工事の進捗管理と工事を担う重要な役割を演じ、本来大工が備えるべき技術が不可欠となっている。

一方、プレカットの普及により新築の現場では、熟練した技術よりパワーと早さが求められたため、高い賃金を得やすい一人親方の増加を招き、大工技術の習熟度による賃金体系を崩壊させ、特に大規模なビルダーの世界では、大工技術を持たない中堅大工が増加し、将来性が見いだせない組立工の職に嫌気をさして、多くの離職者を生み出している。

大工以外の設計者や工務店の現場監督、プレカット技術者等も、木造住宅・建築物を支える重要な技術者で、職業倫理とコンプライアンスが求められ、適切な設計や施工を遂行する上で、彼等の木造に関する知識・ノウハウ等が不可欠となっている。

これらの技術者の多くは、大学や工業高校といった教育機関における建築専門課程を経て、就職することが一般的であるが、これらの教育機関では、木造に関わる講義・実習の機会はほとんどなく、大学や工業高校等で木造建築に関わる知識やノウハウを習得することは困難な状況にある。

企業や個人の努力に負って来た木造技術や知識の習得が、業界の停滞により、急速に衰え、今後の健全な木造の生産活動が危惧される状況となっている。

木造建築を理解し、関連する専門的な職能を備えた担い手を育成しなければ、人材の空洞化は今後一層深刻になることは明らかで、健全な市場形成が危ぶまれる。木造建築の担い手のあり様や育成の枠組みを包括的に検討・提言することが求められている。

本調査では、平成 24 年度から調査を継続して、木造技能者としての大工・職人の実態に関するアンケート調査を実施し、大工・職人の実態を明らかにし、現状を把握することを目的とする。

2. アンケート調査実施概要

(1) 大工・職人の実態調査実施概要

①調査対象

平成 27 年度 住宅省エネルギー技術 施工技術者講習会に参加した木造技能者等

②実施期間

2015 年 7 月～2016 年 2 月

③調査場所

全国 47 都道府県で開催の講習会(平成 27 年度 住宅省エネルギー技術 施工技術者講習会)会場。

④アンケート票配布及び回収方法

講習会で教材と共に配布。終了考査解答用紙と共に提出を原則義務付けた。

⑤アンケート票回収数

全国で 8,392 票。

うち大工職種（内装大工含む）は 4,196 票。（3. アンケート回答者の属性において後述）

過去のアンケート票回収数の推移を以下の表に示す。（図 1-2-1）

図 1-2-1.アンケート票回収数推移

年度	2012 (H24)	2013 (H25)	2014 (H26)	2015 (H27)
アンケート票 回収数	8,046票	10,923票	10,183票	8,392票
大工職種 (内装大工を含む)	4,139票	5,753票	5,021票	4,196票

(2) アンケート調査票

大工・職人の実態調査で用いたアンケート調査票を次頁に示す。（図 1-2-2）

H26 年度調査からアンケート票の設問等の変更点は特に無い。

図 1-2-2.アンケート調査票

受講日:平成 年 月 日() 会場:_____会場(都道府県名でお書きください)

大工の実態に関するアンケート調査

施工C

現在、地域に根ざした木造住宅等の生産体制の強化に向けて、大工の実態把握に向けた調査を実施しております。お分かりの範囲内で結構ですので、ご回答をお願い致します。

※なお、お答えいただいた情報は、個人を特定できる情報として外部に公表されることはありません。

全国木造住宅生産体制推進協議会

■あなたの職業等について、お答え下さい。

(1) 年齢 [] 歳 (2) 性別 [1. 男 2. 女]

(3) 職種 (下欄のあてはまるもの1つに○をつけてください)

1. 建築大工 2. 内装大工 3. 設備組立工 4. その他[]

(4) 上記の職種の経験年数 (下欄のあてはまるもの1つに○をつけてください)

1. 3年未満 2. 3~5年 3. 6~10年 4. 11~20年
5. 21~30年 6. 31~40年 7. 41~50年 8. 51年以上

(5) あなたはこの職種においてベテランだと思いますか。(下欄のあてはまるもの1つに○をつけてください)

1. ベテラン 2. ややベテラン 3. 中堅 4. やや中堅 5. 見習い

■あなたの雇用形態について、お答え下さい。

(6) あなたの雇用形態(工務店等との)は次のうちどれですか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

1. 工務店社員 2. 外注常用(日当制) 3. 外注常用(坪請主体) 4. その都度契約
5. 元請として仕事 6. その他(アルバイト等)

(7) 就業規則 [1. 有 2. 無] (8) 有給休暇 [1. 有 2. 無] (9) 年間就業日数 約[]日

(10) 保険等について、あなたが現在加入しているものをそれぞれお選びください。(複数選択可)

10-1) 年金 :1. 厚生年金 2. 国民年金 3. 企業年金
10-2) 労働保険:1. 雇用保険 2. 労災保険 3. 一人親方労災保険
10-3) 健康保険:1. 国民健康保険 2. 組合健康保険(建設国保) 3. 組合保険(建設国保以外)
4. その他の健康保険()

(11) 賃金の中に含まれ、自己負担となっているもの全てに○をつけてください。(複数選択可)

1. 手道具 2. 電動工具 3. クギ金物 4. 車(保険含む) 5. ガソリン 6. 全て所属する工務店等が負担

(12) あなたのおおよその賃金((10)、(11)の諸経費が含まれた1日あたりの平均単価)をお答えください。1日あたりの平均単価が不明な場合は、総月収を労働日数で割ったおおよその額でご回答ください。

1. 8,000円未満 2. 8,000~10,000円未満 3. 10,000~15,000円未満
4. 15,000~20,000円未満 5. 20,000~25,000円未満 6. 25,000円以上

■あなたがお持ちの資格や技能について、お答え下さい。

(13) 次の1~12の資格のうち、あなたがお持ちのもの全てに○をつけてください。

1. 1級建築士 2. 2級建築士 3. 木造建築士 4. 1級建築施工管理技士
5. 2級建築施工管理技士 6. 1級建築大工技能士 7. 2級建築大工技能士
8. 枠組壁建築技能士 9. 職業訓練指導員 10. 増改築相談員
11. 足場の組立て等作業主任者 12. 木造建築物組立て作業主任者 13. 玉掛け技能講習修了者
14. クレーン運転技能講習修了者 15. 木材加工用機械作業主任者

⇒大工職の方のみご回答ください。

(14) 次の各項目について、「はい」か「いいえ」のどちらかあてはまる方に○をつけてください。

- | | | |
|----------------------------------|--------|---------|
| ①墨付けができますか。 | [1. はい | 2. いいえ] |
| ②今でも手刻み加工の仕事を年1棟以上行っていますか。 (新築) | [1. はい | 2. いいえ] |
| ③今でも手刻み加工の仕事を年1棟以上行っていますか。 (増改築) | [1. はい | 2. いいえ] |
| ④和室造作ができますか。 | [1. はい | 2. いいえ] |
| ⑤2×4工法の住宅の施工ができますか。 | [1. はい | 2. いいえ] |

■仕事に対する満足度や今後の意向について、お答え下さい。

(15) あなたは現在の仕事の内容について満足していますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

1. とても満足している 2. まあ満足している 3. あまり満足していない 4. 満足していない

(16) あなたは現在の仕事で得られる収入等について満足していますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

1. とても満足している 2. まあ満足している 3. あまり満足していない 4. 満足していない

(17) あなたは今後何歳までお仕事を続けられる予定ですか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

1. 60歳で引退する 2. 65歳で引退する 3. 70歳で引退する 4. 75歳で引退する
5. 仕事が出来る限り続ける 6. 仕事がないため近々退職・引退する予定である

■担い手育成について、お答え下さい。

(18) 現在、担い手（見習い等）の育成を行っていますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

1. 現在育てている 2. 現在は育てていないが、人材がいれば育てたい
3. 現在は育てていないし、今後も育てる予定はない

⇒「1. 現在育てている」と答えた方のみご回答ください。

(19) 育成期間の担い手の立場は次のうちどれですか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

- | | |
|----------------------|----------------------|
| 1. 正社員（職業訓練校） | 2. 正社員（弟子として） |
| 3. 一人親方等にあずける（職業訓練校） | 4. 一人親方等にあずける（弟子として） |

(20) 上記の育成にかかる費用負担を行っていますか [1. 有 2. 無]

⇒「3. 現在は育てていないし、今後も育てる予定はない」と答えた方のみご回答ください。

(21) なぜ育てる予定はないのですか。その理由として、1～8のうちあてはまるもの全てに○をつけてください。

- | | | |
|-------------------------|-----------------|------------|
| 1. 育てても、一人前になると辞めてしまうため | 2. 教えるのが面倒なため | |
| 3. 費用がかかるため | 4. 言うことを聞かないため | 5. 人材がないため |
| 6. 育てる自信がないため | 7. 将来の保障ができないため | 8. 年齢のため |
| 9. 仕事がプレカットのため | 10. 新築が少ないため | 11. その他[] |

(22) 担い手の育成にかかる費用の公的補助について、1人/月当たりどの程度必要と考えますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

1. 3万円/月 2. 5万円/月 3. 10万円/月 4. 15万円/月 5. 必要ない

(23) 担い手育成についてご意見等がございましたら、下欄にご自由にご記入下さい。

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。

(3) アンケート回答者の属性

① 都道府県、エリア

アンケート回答者を都道府県別の割合で見ると、愛知県が 4.6%、埼玉県が 4.3%、愛媛県が 4.0%の順位であった。地域別の割合では、東北が 16.5%、中部が 13.5%、九州・沖縄が 12.9%の順位であった。

図 1-2-1. アンケート回答者属性：都道府県

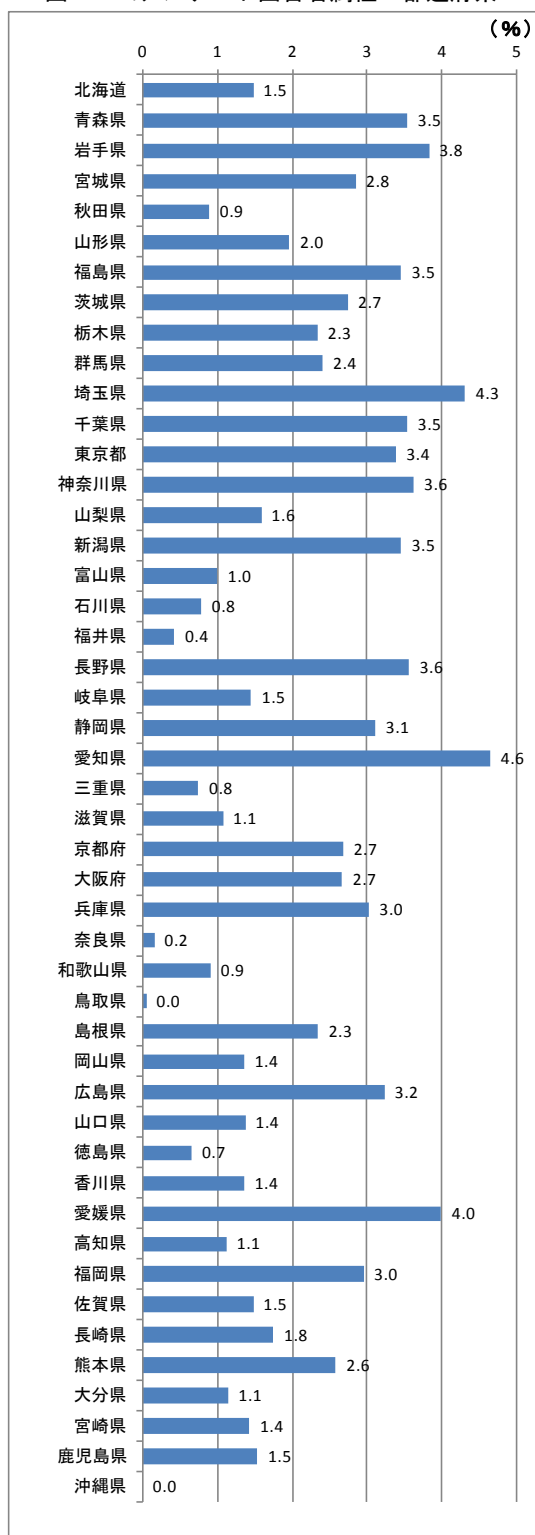
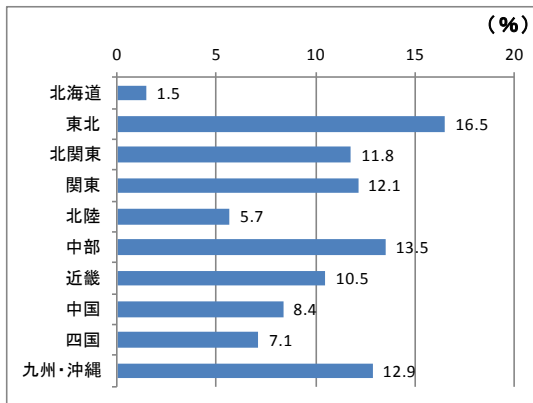


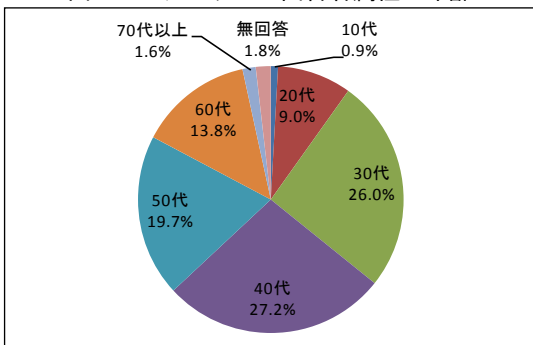
図 1-2-2.アンケート回答者属性：エリア



②年齢

アンケート回答者を年齢別で見ると、40代が 27.2%、30代が 26.0%、50代が 19.7%の順位であった。全体の平均年齢は 45.0 才であった。

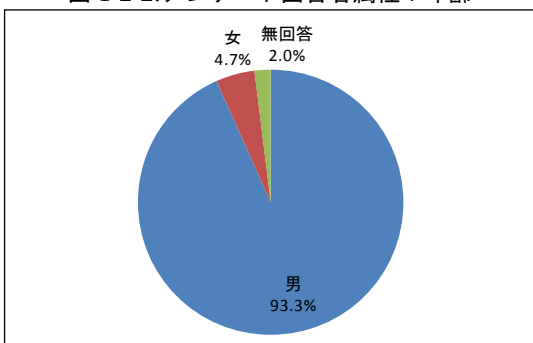
図 1-2-2.アンケート回答者属性：年齢



③性別

男女別で見ると、男性が 93.3%、女性が 4.7%で、ほとんどが男性の回答であった。

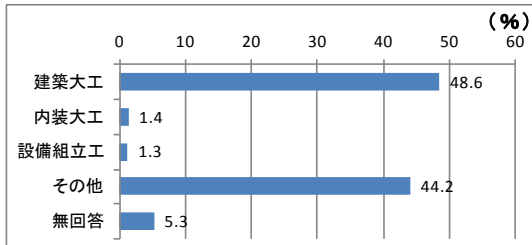
図 1-2-2.アンケート回答者属性：性別



④職種

職種では「建築大工」が48.6%で最も多く、「内装大工」、「設備組立工」はわずか1.4%、1.3%の回答であった。それ以外の職種（「その他」）では44.2%の回答があった。

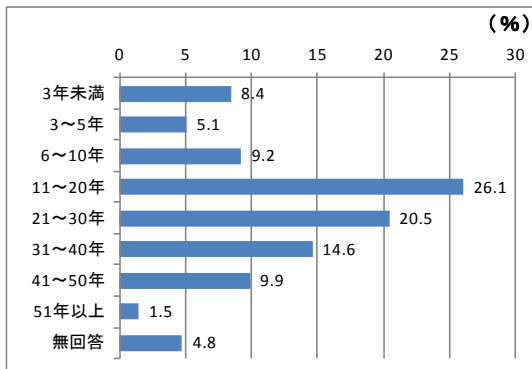
図 1-2-2. アンケート回答者属性：職種



⑤職種の経験年数

職種の経験年数では「11～20年」が最も多く26.1%であった。次に「21～30年」が20.5%、「31～40年」が14.6%の順位であった。

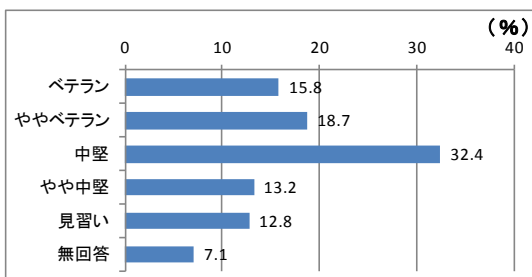
図 1-2-2. アンケート回答者属性：経験年数



⑥職種のベテラン度合い

自身のベテラン度合いについては、「中堅」と回答した割合が最も多く32.4%であった。次に「ややベテラン」が18.7%、「ベテラン」が15.8%の順位であった。

図 1-2-2. アンケート回答者属性：経験年数



2章 アンケート調査 結果概要

(1) 職業等について

①年齢

- ・アンケートに回答した大工の平均年齢は 45.04 歳であった。
- ・地域ごとの平均年齢では、四国が 47.42 歳で最も高く、北海道が 39.85 歳で最も低いという結果であった。

②性別

- ・アンケートに回答した大工の性別は 97.6%が男性であった。
- ・地域ごとの性別について、女性の割合が高かったのは北海道 (1.8%)、四国 (1.55)、中部 (1.0%) であった。

③職種の経験年数

- ・平均経験年数は 16.5 年。前回調査 (H26 年度) と比較すると、経験年数 10 年以下の大工が大幅に増加がみられた。経験年数 10 年以下の大工は、H26 年度 17.3%からH27 年度には 45.0%となった。一方で、「11～20 年」、「41～50 年」の経験年数の大工で大きく減少がみられた。
- ・地域別の平均経験年数では、「九州・沖縄」が 17.7 年で最も高く、「北海道」が 10.8 年で最も低い。
- ・経験年数「3 年未満」の入職初期の大工は 30 代までは 7.7% (1124 人中 86 人) みられた。40 代以上ではごく少数となるが 60 代まで「3 年未満」と回答した大工が数名みられた。

④職種においてベテランだと思えますか

- ・ベテラン度合いは「中堅」の割合が 35.0%で最も高い。次いで「ややベテラン」が 21.3%、「ベテラン」が 18.8%であった。
- ・地域毎で各回答の割合が最も高い地域は「ベテラン」は「近畿」(20.5%)、「ややベテラン」は「四国」(24.8%)、「中堅」は「北海道」(38.2%)、「やや中堅」は「北海道」(20.0%)、「見習い」は「関東」(12.7%)。
- ・年齢別で各回答の割合が最も高い年代は「ベテラン」は「60 代」(46.9%)、「ややベテラン」は「50 代」(35.9%)、「中堅」は「30 代」(50.4%)、「やや中堅」は「30 代」(22.2%)、「見習い」は「10 代」(92.2%)。
- ・経験年数別で各回答の割合が最も高い経験年数は「ベテラン」は「51 年以上」(52.7%)、「ややベテラン」は「31～40 年」(37.2%)、「中堅」は「11～20 年」(56.2%)、「やや中堅」は「6～10 年」(41.3%)、「見習い」は「5 年未満」(82.3%)。
- ・雇用形態別で各回答の割合が最も高い雇用形態は「ベテラン」は「元請として仕事」(30.3%)、「ややベテラン」は「元請として仕事」(28.6%)、「中堅」は「その都度契約」(41.8%)、「やや中堅」は「工務店社員」(17.6%)、「見習い」は「その他 (アルバイト等)」(59.6%)。
- ・賃金別で各回答の割合が最も高い賃金帯は「ベテラン」は「25,000 円以上」(30.7%)、「ややベテラン」は「25,000 円以上」(27.3%)、「中堅」は「10,000～15,000 円未満」(39.5%)、「やや中堅」は「8,000～10,000 円未満」(20.2%)、「見習い」は「8,000 円未満」(65.8%)。

(2) 雇用形態について

①雇用形態（工務店等との）

- ・大工の雇用形態では「工務店社員」が最も多く 36.3%。次いで「元請として仕事」が 33.9%、「外注常用（日当制）」が 11.5%であった。
- ・地域毎で各回答の割合が最も高い地域は「工務店社員」は「北海道」（61.8%）、「外注常用（日給制）」は「四国」（15.2%）、「外注常用（坪請主体）」は「関東」（12.8%）、「その都度契約」は「近畿」、「四国」（4.8%）、「元請として仕事」は「中部」（40.0%）、「その他（アルバイト等）」は「中国」（2.5%）。
- ・年齢別で各回答の割合が最も高い年代は「工務店社員」は「20代」（72.9%）、「外注常用（日当制）」は「60代」（14.4%）、「外注常用（坪請主体）」は「40代」（12.2%）、「その都度契約」は「70代以上」（11.5%）、「元請として仕事」は「70代以上」（67.9%）、「その他（アルバイト等）」は「10代」（9.8%）。
- ・経験年数別で各回答の割合が最も高い経験年数は「工務店社員」は「5年未満」（70.9%）、「外注常用（日当制）」は「41～50年」（15.5%）、「外注常用（坪請主体）」は「21～30年」（13.1%）、「その都度契約」は「21～30年」（5.5%）、「元請として仕事」は「51年以上」（73.6%）、「その他（アルバイト等）」は「5年未満」（7.8%）。

②就業規則

- ・就業規則が「有る」と回答した割合は 27.0%、「無い」と回答した割合は 51.6%、「不明」と回答した割合は 21.4%であった。大工は就業規則が整備されているとはいえない状況にある。
- ・就業規則が「有る」と回答した割合が高い地域は「北海道」で 56.4%。
- ・就業規則が「有る」と回答した割合が最も高い年代は「20代」で 38.6%。「無い」と回答した割合が最も高い年代は「40代」で 60.0%。
- ・就業規則が「有る」と回答した割合が最も高い経験年数は「5年未満」で 41.0%。「無い」と回答した割合が最も高い経験年数は「21～30年」が 57.8%。
- ・就業規則が「有る」と回答した割合が最も高い雇用形態は「工務店社員」で 42.3%。「無い」と回答した割合が最も高い雇用形態は「その都度契約」で 74.1%。

③有給休暇

- ・有給休暇が「有る」と回答した割合は 12.4%、「無い」と回答した割合は 63.3%、「不明」と回答した割合は 24.3%であった。大工は有給休暇が整備されているとはいえない状況にある。
- ・有給休暇が「有る」と回答した割合が高い地域は「北海道」で 36.4%。
- ・有給休暇が「有る」と回答した割合が最も高い年代は「20代」で 39.2%。「無い」と回答した割合が最も高い年代は「40代」で 71.8%。
- ・有給休暇が「有る」と回答した割合が最も高い経験年数は「3年未満」で 28.4%。「無い」と回答した割合が最も高い経験年数は「11～20年」で 71.1%。
- ・有給休暇が「有る」と回答した割合が最も高い雇用形態は「工務店社員」で 21.9%。「無い」と回答した割合が最も高い雇用形態は「その都度契約」で 73.5%。

④年間就業日数

- ・平均年間就業日数は 264.88 日であった。「不明」と回答した割合は 44.6%と高く、年間就業日数を把握できていない実態も窺える結果であった。
- ・平均年間就業日数が最も多い地域は「九州・沖縄」で 274.80 日。最も少ない地域は「北海道」で

243.90日。

- ・平均年間就業日数が最も多かった年代は、「10代」で279.69日。最も少なかった年代は、「70代以上」で220.17日。
- ・平均年間就業日数が最も多い経験年数は「21～30年」で277.87日。最も少ない経験年数は「51年以上」で242.69日。
- ・平均年間就業日数が最も高い雇用形態は「外注常用（坪請主体）」で279.13日。最も低い雇用形態は「その他（アルバイト等）」で222.85日。

⑤保険等について

1) 年金保険

- ・「国民年金」の割合が55.9%で最も多く、次いで「厚生年金」が29.7%だった。年金保険についての「不明」と回答した割合は15.0%だった。
- ・年金保険に加入している割合の合計値が最も高かったのは「北海道」で94.5%。最も低い地域は「四国」で82.6%だった。
- ・雇用形態毎の回答では、「厚生年金」の加入している割合は「工務店社員」が最も高く52.3%。「国民年金」の加入している割合は「外注常庸（日当制）」が最も高く77.2%。「企業年金」の加入している割合は「元請として仕事」が最も高く2.1%。

2) 労働保険

- ・「雇用保険」に加入している割合は19.2%であった。「労災保険（一人親方労災保険を含む）」に加入している割合は62.3%（労災保険：35.0%、一人親方労災保険：27.3%）であった。
- ・雇用保険に加入している割合が最も高かった地域は「北海道」で47.3%。「労災保険」に加入している割合が高かった地域は「関東」で37.5%。「一人親方労災保険」に加入している割合が高かった地域は「四国」で38.1%。
- ・雇用形態毎の回答では、「雇用保険」の割合が最も高いのは「工務店社員」で38.4%。「労災保険」の割合が最も高いのは「元請として仕事」で46.3%。「一人親方労災保険」の割合が最も高いのは「外注常庸（坪請主体）」で58.3%。

3) 健康保険

- ・健康保険の割合は、「組合健康保険（建設国保）」が40.0%で最も高く、次いで「国民健康保険」が29.0%であった。
- ・健康保険に加入していると回答した割合の合計値が最も高かったのは「中国」で81.7%。最も低かったのは「九州・沖縄」で65.4%。
- ・雇用形態毎の回答では、「国民健康保険」の割合が最も高いのは「その他（アルバイト等）」で38.6%。「組合健康保険（建設国保）」の割合が最も高いのは「外注常用（坪請主体）」で52.8%。「組合健康保険（建設国保以外）」の割合が最も高いのは「元請として仕事」で3.4%。「その他の健康保険」の割合が最も高いのは「工務店社員」で5.0%。

⑥賃金の中に含まれ、自己負担となっているもの

- ・賃金の中に含まれ、自己負担となっているものの割合を合計すると、258.3%であった。自己負担となっているものの中では、最も割合が高いのは「手道具」が70.2%であった。次いで、「電動工具」が63.8%、「車（保険含む）」と「ガソリン」は、それぞれ51.3%、50.9%でほぼ同割合だった。「クギ金物」は22.1%であり、選択肢の中では割合が低い。

- ・自己負担の割合の合計が最も高かった地域は「四国」で 301.9%。最も低かった地域は「北海道」で 225.5%。
- ・自己負担となっているものの割合の合計が最も高かったのは「60代」で 270.1%。最も少なかったのは「10代」で 172.6%。
- ・自己負担となっているものの割合の合計値が最も高い経験年数は「41~50年」で 280.6%。最も低いのは「5年未満」で 191.9%。
- ・自己負担となっているものの割合の合計が最も高い雇用形態は「外注常雇（坪請主体）」で 424.8%。最も低い雇用形態は「工務店社員」で 211.6%。

⑦おおよその賃金（諸経費が含まれた1日あたりの平均単価）

- ・一日あたりのおおよその賃金は 14,863.6 円だった。
- ・地域別の回答では、平均賃金が最も高かった地域は「近畿」で 16,514.0 円。最も低かった地域は「東北」で 12,780.6 円。
- ・年齢別の回答では、平均賃金が最も高かった年代は「40代」で 15,875.6 円。最も低かった年代は「10代」で 8,647.7 円。
- ・経験年数別の回答では、平均賃金が最も高かった経験年数は「21~30年」で 16,246.7 円。最も低かった経験年数は「5年未満」で 9,651.6 円。
- ・雇用形態別の回答では、平均賃金が最も高いのは「元請として仕事」で 16,534.3 円。最も低いのは「その他（アルバイト等）」で 11,620.4 円。

（3）資格や技能について

①持っている資格

- ・大工では、「玉掛け技能講習修了者」（43.0%）、「木造建築物組立て作業主任者」（40.1%）、「足場の組立て等作業主任者」（36.2%）の労働安全衛生法に係る資格の取得割合が高い結果であった。
- ・地域別の回答では、持っている資格の割合の合計値が最も高かった地域は「北陸」で 321.6%。最も低かった地域は「四国」で 214.8%。
- ・年齢別の回答では、持っている資格の合計値が最も高かった年代は「70代以上」で 378.2%。最も低かった年代は「10代」で 41.2%。
- ・経験年数別の回答では、持っている資格の割合の合計が最も高い経験年数は「51年以上」で 386.8%。最も低い経験年数は「5年未満」で 85.6%。
- ・雇用形態別の回答では、持っている資格の割合の合計値が最も高い雇用形態は「元請として仕事」で 329.3%。最も低い雇用形態は「外注常用（日当制）」で 204.8%。
- ・賃金別の回答では、持っている資格の割合の合計が最も高かった賃金帯は「25,000円以上」で 292.0%。最も低かった賃金帯は「8,000未満」で 129.3%。

②墨付けができますか

- ・墨付けができると回答した割合は 71.6%であった。
- ・「はい」と回答した割合が最も高かった地域は、「中国」で 76.7%。「いいえ」と回答した割合が最も高かった地域は、「北海道」で 21.8%。
- ・「はい」と回答した割合が最も高かった年代は「50代」で 82.4%。「いいえ」と回答した割合が最も高かった年代は「10代」で 52.9%。
- ・「はい」と回答した割合が最も高い経験年数は「31~40年」で 83.9%。「いいえ」と回答した割合が最も高い経験年数は「5年未満」で 50.1%。
- ・「はい」と回答した割合が最も高い雇用形態は「元請として仕事」で 79.8%。「いいえ」と回答した

割合が最も高い雇用形態は「その他（アルバイト等）」で42.1%。

- ・「はい」と回答した割合が最も高い賃金帯は「15,000～20,000 円未満」で80.1%。「いいえ」と回答した割合が最も高い賃金帯は「8,000 円未満」で40.9%

③今でも手刻み加工の仕事を年1棟以上行っていますか。（新築）

- ・新築の手刻み加工の仕事を年1棟以上行っていると回答した割合は、23.9%であった。
- ・「はい」と回答した割合が最も高かった地域は「東北」で28.9%。「いいえ」と回答した割合が最も高かった地域は「中国」で65.6%。
- ・「はい」と回答した割合が最も高かった年代は「60代」で31.6%。「いいえ」と回答した割合が最も高かった年代は「10代」で70.6%。
- ・「はい」と回答した割合が最も高い経験年数は「41～50年」で33.3%。「いいえ」と回答した割合が最も高い経験年数は「11～20年」で66.7%。
- ・「はい」と回答した割合が最も高い雇用形態は「元請として仕事」で27.0%。「いいえ」と回答した割合が最も高い雇用形態は「外注常用（坪請主体）」で73.5%。
- ・「はい」と回答した割合が最も高い賃金帯は「10,000～15,000 円未満」で25.7%。「いいえ」と回答した割合が最も高い賃金帯は「20,000～25,000 円未満」で68.9%。

④今でも手刻み加工の仕事を年1棟以上行っていますか。（増改築）

- ・増改築の手刻み加工の仕事を年1棟以上行っていると回答した割合は、47.1%であった。「いいえ」と回答した割合は37.8%であった。
- ・「はい」と回答した割合が最も高かった地域は「近畿」で51.9%。「いいえ」と回答した割合が最も高かった地域は「北海道」で45.5%。
- ・「はい」と回答した割合が最も高い年代は「60代」で55.3%。「いいえ」と回答した割合が最も高い年代は「10代」で70.6%。
- ・「はい」と回答した割合が最も高い経験年数は「41～50年」で58.6%。「いいえ」と回答した割合が最も高い経験年数は「5年未満」で54.4%。
- ・「はい」と回答した割合が最も高い雇用形態は「元請として仕事」で56.9%。「いいえ」と回答した割合が最も高い雇用形態は「外注常用（坪請主体）」で59.0%。
- ・「はい」と回答した割合が最も高い賃金帯は「15,000～20,000 円未満」で50.7%。「いいえ」と回答した割合が最も高い賃金帯は「8,000 円未満」で49.8%。

⑤和室造作ができますか。

- ・和室造作ができると回答した大工の割合は66.4%。「いいえ」と回答した割合は18.8%であった。
- ・「はい」と回答した割合が最も高かった地域は「中国」で75.0%。「いいえ」と回答した割合が最も高かった地域は「北海道」で30.9%。
- ・「はい」と回答した割合が高い年代は「50代」で79.2%。「いいえ」と回答した割合が高い年代は「10代」で82.4%。
- ・「はい」と回答した割合が最も高い経験年数は「41～50年」で82.4%。「いいえ」と回答した割合が最も高い経験年数は「5年未満」で78.2%。
- ・「はい」と回答した割合が最も高い雇用形態は「外注常用（坪請主体）」で79.8%。「いいえ」と回答した割合が最も高い雇用形態は「その他（アルバイト等）」で54.4%。
- ・「はい」と回答した割合が高い賃金帯は「15,000～20,000 円未満」で78.4%。「いいえ」と回答した割合が高い賃金帯は「8,000 円未満」で61.3%。

⑥2×4工法の住宅の施工ができますか。

- ・2×4工法の住宅の施工ができると回答した大工の割合は26.1%。「いいえ」と回答した割合は58.3%であった。
- ・「はい」と回答した割合が最も高かった地域は「北海道」で40.0%。「いいえ」と回答した割合が最も高かった地域は「北陸」で65.1%。
- ・「はい」と回答した割合が高い年代は「50代」で31.5%。「いいえ」と回答した割合が高い年代は「10代」で86.3%。
- ・「はい」と回答した割合が最も高い経験年数は「41～50年」で32.5%。「いいえ」と回答した割合が最も高い経験年数は「5年未満」で75.7%。
- ・「はい」と回答した割合が最も高い雇用形態は「外注常用（坪請主体）」で41.7%。「いいえ」と回答した割合が最も高い雇用形態は「その他（アルバイト等）」で10.5%。
- ・「はい」と回答した割合が最も高い賃金帯は「25,000円以上」で37.5%。「いいえ」と回答した割合が最も高い賃金帯は「8,000円未満」で71.6%。

（４）仕事に対する満足度や今後の意向について

①現在の仕事の内容について満足していますか。

- ・仕事の内容に対して「満足している」割合は61.0%、「満足していない」割合は28.6%だった。大工の約6割が仕事の内容について満足しているという結果であった。
- ・「満足している」割合が最も高かった地域は「北海道」で69.1%。「満足していない」割合が最も高かった地域は「北陸」で33.8%。
- ・「満足している」割合が最も高い年代は「10代」で72.6%。「満足していない」割合が最も高い年代は「40代」で31.9%。
- ・「満足している」と回答した割合が最も高い経験年数は「5年未満」で69.9%。「満足していない」と回答した割合が最も高い経験年数は「21～30年」の31.0%。
- ・「満足している」と回答した割合が最も高い雇用形態は「工務店社員」で66.9%。「満足していない」と回答した割合が最も高い雇用形態は「外注常用（坪請主体）」で41.2%。
- ・「満足している」と回答した割合が最も高い賃金帯は「25,000円以上」で71.6%。「満足していない」と回答した割合が最も高い賃金帯は「15,000～20,000円未満」で30.2%。

②現在の仕事で得られる収入等について満足していますか。

- ・仕事で得られる収入等について「満足している」割合は36.7%、「満足していない」割合は53.0%だった。大工の約5割は、仕事で得られる収入等について満足していないという結果であった。
- ・「満足している」割合が最も高かった地域は「北海道」で41.8%。「満足していない」割合が最も高かった地域は「四国」で59.6%。
- ・「満足している」割合が最も高い年代は「10代」で54.9%。「満足していない」割合が最も高い年代は「40代」で55.8%。
- ・「満足している」と回答した割合が最も高い経験年数は「5年未満」で42.3%。「満足していない」と回答した割合が最も高い経験年数は「21～30年」の56.5%。
- ・「満足している」と回答した割合が最も高い雇用形態は「工務店社員」で41.9%。「満足していない」と回答した割合が最も高いのは「外注常用（坪請主体）」で65.3%。
- ・「満足している」と回答した割合が最も高い賃金帯は「25,000円以上」で71.6%。「満足していない」と回答した割合が最も高い賃金帯は「15,000～20,000円未満」で30.2%。

③今後何歳までお仕事を続けられる予定ですか。

- ・大工では、「仕事ができる限り続ける」の割合が50.8%で最も高く、次いで「65歳で引退する」が15.8%であった。
- ・「仕事ができる限り続ける」と回答した割合が最も高かった地域は、「北陸」で55.0%。最も低かったのは「九州・沖縄」で46.0%。
- ・「仕事ができる限り続ける」と回答した割合が最も高い年代は「10代」で62.7%。最も低い年代は「60代」で36.6%。
- ・「仕事ができる限り続ける」と回答した割合が最も高い経験年数は「5年未満」で67.6%であった。
- ・「仕事ができる限り続ける」と回答した割合が最も高い雇用形態は「外注常用（日当制）」で58.5%。

（５）担い手育成について

①現在、担い手（見習い等）の育成を行っていますか。

- ・「現在は育てていないが、人材がいれば育てたい」が39.5%で最も高く、次いで「現在は育てていないし、今後も育てる予定はない」が30.7%だった。「現在育てている」と回答した割合は、14.1%だった。
- ・「現在育てている」と回答した割合が最も高かった地域は「北海道」で30.9%。
- ・「現在育てている」と回答した割合が最も高い年代は「60代」で17.4%。
- ・「現在育てている」と回答した割合が最も高い経験年数は「51年以上」で23.1%。
- ・「現在育てている」と回答した割合が最も高い雇用形態は「元請として仕事」で19.9%。

②育成期間の担い手の立場

- ・育成期間の担い手の立場として、「正社員（弟子として）」が61.8%で最も割合が高く、次いで「正社員（職業訓練校）」が18.3%、「一人親方等にあずける（弟子として）」が10.8%であった。
- ・地域毎で各回答の割合が最も高い地域は「正社員（職業訓練校）」は「北海道」（41.2%）、「正社員（弟子として）」は「中部」（64.2%）、「一人親方等にあずける（職業訓練校）」は「関東」（6.1%）、「一人親方等にあずける（弟子として）」は「近畿」（18.6%）。
- ・年齢毎で各回答の割合が最も高い年代は「正社員（職業訓練校）」は「20代」（44.4%）、「正社員（弟子として）」は「10代」（100%）、「一人親方等にあずける（職業訓練校）」は「50代」（4.3%）、「一人親方等にあずける（弟子として）」は「30代」（14.1%）。
- ・経験年数毎で各回答の割合が最も高い経験年数は「正社員（職業訓練校）」は「5年未満」（41.4%）、「正社員（弟子として）」は「21～30年」（66.1%）、「一人親方等にあずける（職業訓練校）」は「6～10年」（7.1%）、「一人親方等にあずける（弟子として）」は「11～20年」（12.8%）。
- ・雇用形態毎で各回答の割合が最も高い雇用形態は「正社員（職業訓練校）」は「工務店社員」（26.8%）、「正社員（弟子として）」は「その都度契約」（85.7%）、「一人親方等にあずける（職業訓練校）」は「外注常用（日当制）」（13.6%）、「一人親方等にあずける（弟子として）」は「外注常用（坪請主体）」（34.1%）。

③育成にかかる費用負担

- ・育成期間にかかる費用の負担について、大工で「有る」と回答した割合は29.4%、「無い」と回答した割合は15.2%、無回答などの「不明」は55.5%であった。
- ・「有る」と回答した割合が最も高かった地域は「近畿」で37.2%。「無い」と回答した割合が最も高かった地域は「中部」で25.4%。
- ・「有る」と回答した割合が最も高かった年代は「40代」で35.3%。「無い」と回答した割合が最も高かった年代は「40代」で20.3%。

- ・「有る」と回答した割合が最も高い経験年数は「51年以上」で42.9%。「無い」と回答した割合が最も高い経験年数は「5年未満」で24.1%。
- ・「有る」と回答した割合が最も高い雇用形態は「その他（アルバイト等）」で50.0%。「無い」と回答した割合が最も高い雇用形態は「外注常用（日当制）」で45.5%。

④なぜ育てる予定はないのか。

- ・育てる予定がない理由として、「将来の保障ができないため」が40.0%で最も高く、次いで「人材がいないため」が21.7%、「新築が少ないため」が21.0%であった。
- ・地域別の回答では、育てる予定はない理由では、「中部」で最も多く回答され合計値は172%。「将来の保障ができないため」と回答した割合が高いが、「北海道」では「人材がいないため」、「一人前になると辞めてしまうため」と回答した割合が高い。
- ・年齢別の回答では、育てる予定がない理由としては「60代」が最も多く回答しており、合計値は179.7%。「10代」では「教えるのが面倒なため」、「育てる自信がないため」と回答した割合が最も高く29.4%。「20代」から「60代」では「将来の保障ができないため」と回答した割合が最も高い。「70代以上」では「年齢のため」と回答した割合が最も高く42.9%。
- ・経験年数別の回答では、「将来の保障ができないため」と回答した割合が最も高い経験年数は「21～30年」で52.6%。「費用がかかるため」の割合が最も高いのは「21～30年」で27.8%。「人材がいないため」の割合が最も高いのは「31～40年」で25.8%。
- ・雇用形態別の回答では、「将来の保障ができないため」と回答した割合が最も高い雇用形態は「元請として仕事」で51.5%。「人材がいないため」と回答した割合が最も高い雇用形態は「工務店社員」で27.0%。「費用がかかるため」と回答した割合が最も高い雇用形態は「外注常庸（坪請主体）」で33.1%。

⑤担い手育成にかかる費用の公的補助について、1人／月当たりどの程度必要と考えますか。

- ・大工では担い手にかかる費用の公的補助について1人／月当たり必要な額として、「10万円／月」と回答した割合が28.0%で最も高く、次いで「15万円／月」が18.5%であった。
- ・地域毎の回答では、各地域で「10万円／月」への回答が多くみられた。
- ・年齢毎の回答では、「10代」では「5万円／月」と回答した割合が最も高く19.6%。その他の「20代」から「70代以上」の年代では「10万円／月」と回答した割合が最も高かった。
- ・経験年数毎の回答では、各経験年数で「10万円／月」への回答が多くみられた。
- ・雇用形態毎の回答では、各雇用形態で「10万円／月」への回答が多くみられた。

3章 アンケート調査 集計結果

1. 職種別集計

(1) 職業等について

①年齢

大工の平均年齢は 45.04 歳であった。

30代の割合が 27.0%と最も高く、次いで 40代が 24.6%、50代が 19.6%、60代が 16.5%であった。

前回調査（H26 年度）と比較して、アンケート調査回答者の年齢構成に大きな変化はみられなかった。

	合計	(1)年齢									平均
		10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	不明		
全体	8,392	0.9	9.0	26.0	27.2	19.7	13.8	1.6	1.8	45.04	
職 種											
大工	4,169	1.2	8.1	27.0	24.6	19.6	16.5	1.9	1.1	45.58	
設備組立工	109	0.0	9.2	31.2	22.0	22.9	10.1	3.7	0.9	44.93	
その他	3,706	0.5	9.7	25.6	30.5	20.0	11.1	1.2	1.3	44.44	

表 3.1.1 年齢（H27 年度）（割合％）

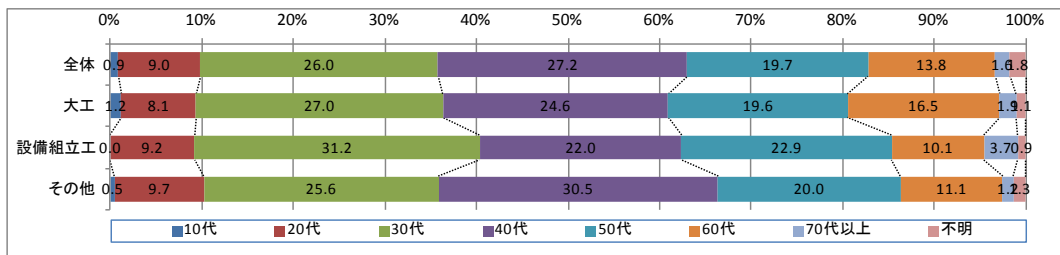


図 3.1.1 年齢（H27 年度）

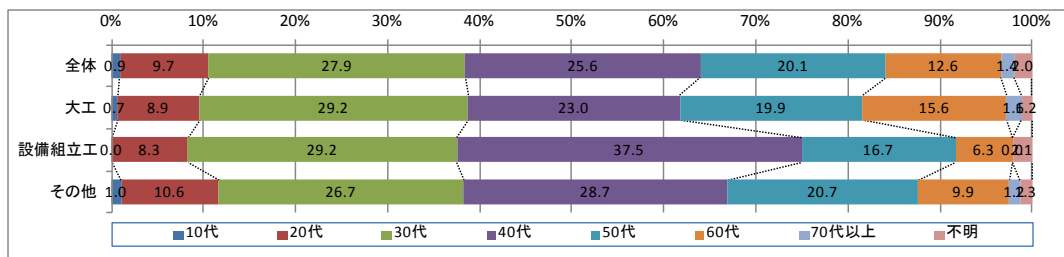


図 3.1.1# 年齢（H26 年度）

②性別

大工の性別は 97.6%が男性であった。

女性の割合は 0.7 で、今回のアンケート票数の合計 4,169 票に対して、30 票が女性である。

アンケート調査に回答した大工以外の設備組立工、その他の職種と比較して大工の女性は少数である。

前回調査（H26 年度）と比較して、アンケート調査回答者の性別構成に大きな変化はみられない。

	合計	(2)性別		
		男	女	不明
全体	8,392	93.3	4.7	2.0
職種				
大工	4,169	97.6	0.7	1.7
設備組立工	109	96.3	0.9	2.8
その他	3,706	89.2	9.3	1.5

表 3.1.2 性別（H27 年度）（割合%）

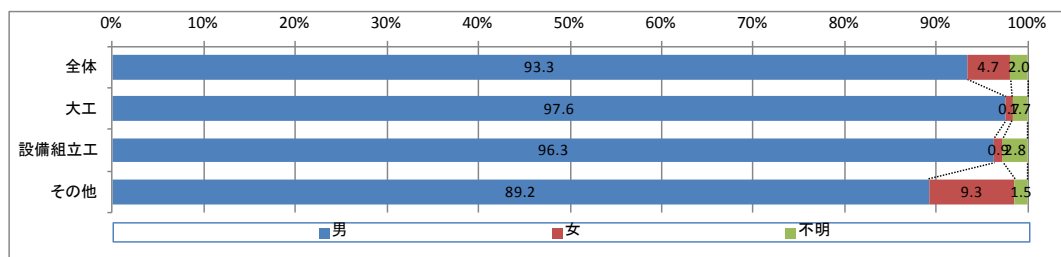


図 3.1.2 性別（H27 年度）

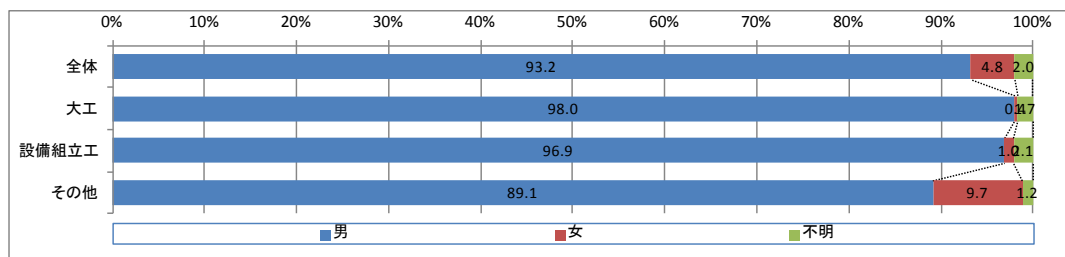


図 3.1.2# 性別（H26 年度）

③職種の経験年数

大工の経験年数は、「6～10年」が27.8%で最も多い。次いで「11～20年」が21.0%、「21～30年」が16.6%であった。

大工の平均経験年数は16.5年で、他の職種と比較して大工の平均経験年数は高い。

前回調査（H26年度）と比較すると、経験年数10年以下の大工が大幅に増加がみられた。経験年数10年以下の大工は、H26年度17.3%からH27年度には45.0%となった。一方で、「11～20年」、「41～50年」の経験年数の大工で大きく減少がみられた。

「①年齢」については、前回調査から大きな変化は見られなかったことから、中途入社等により経験年数10年以下の大工の割合が増したことから、他方では経験年数「11～20年」の中堅の大工の不足や、40年以上の高齢の大工の離職等により減少していること等が窺える結果となった。

	合計	(4)職種の経験年数									平均 経験 年数 (年)
		3年未満	3～5年	6～10年	11～20年	21～30年	31～40年	41～50年	51年以上	不明	
全体	8,392	13.5	9.2	26.1	20.5	14.6	9.9	1.5	4.8	5.4	17.0
大工	4,169	9.5	7.7	27.8	21.0	16.6	14.7	2.2	0.6	0.5	16.5
設備組立工	109	17.4	9.2	37.6	16.5	11.9	3.7	2.8	0.9	1.0	12.3
その他	3,706	18.4	11.6	25.7	21.5	13.5	5.3	0.7	3.3	3.9	13.9

表 3.1.3 職種の経験年数（H27年度）（割合%）

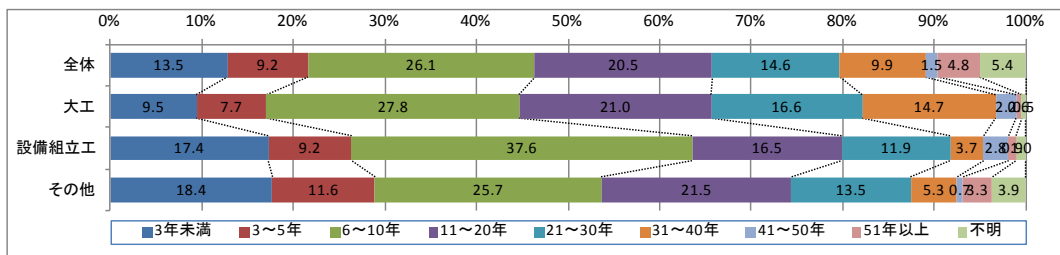


図 3.1.3 職種の経験年数（H27年度）

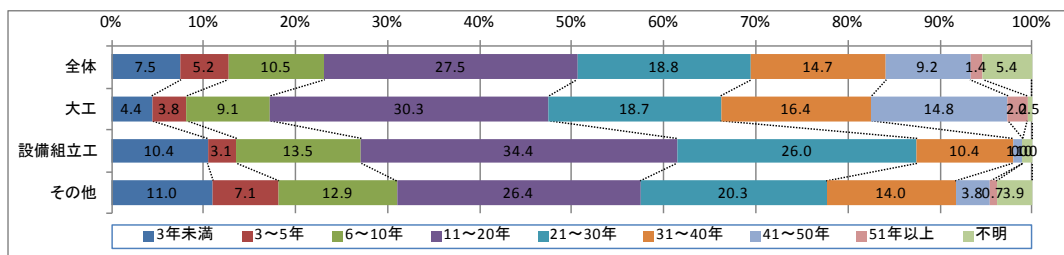


図 3.1.3# 職種の経験年数（H26年度）

④職種においてベテランだと思いますか。

大工のベテラン度合いは「中堅」の割合が35.0%で最も多い。次いで「ややベテラン」が21.3%、「ベテラン」が18.8%であった。

前回調査（H26年度）と比較してベテラン度合いの割合構成には大きな変化は見られなかった。

職種	合計	(5)あなたのベテラン度合いについて					
		ベテラン	ややベテラン	中堅	やや中堅	見習い	不明
全体	8392	15.8	18.7	32.4	13.2	12.8	7.1
大工	4169	18.8	21.3	35.0	11.4	10.5	2.9
設備組立工	109	17.4	19.3	38.5	12.8	10.1	1.8
その他	3706	13.7	17.0	31.7	16.1	15.6	5.9

表 3.1.4 職種のベテラン度合（H27年度）（割合%）

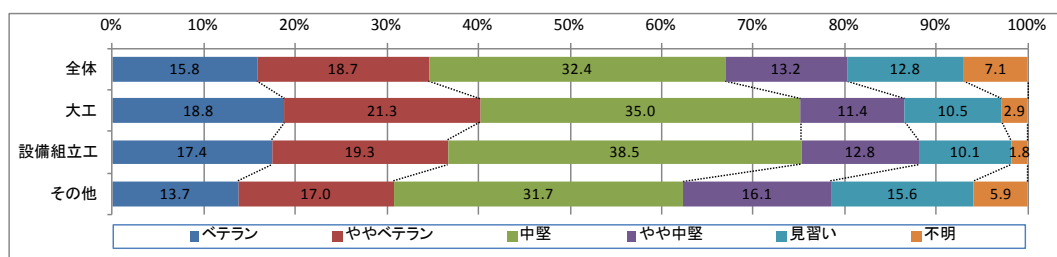


図 3.1.4 職種のベテラン度合（H27年度）

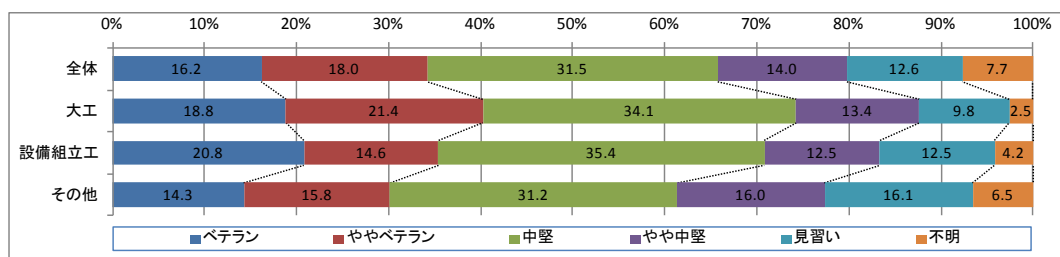


図 3.1.4# 職種のベテラン度合（H26年度）

(2) 雇用形態について

①雇用形態（工務店等との）

大工の雇用形態では、「工務店社員」が最も多く 36.3%、次いで「元請として仕事」が 33.9%、「外注常用（日当制）」が 11.5%であった。

今回のアンケート調査では、大工の雇用形態として「工務店社員」、「元請として仕事」が各々1/3 ずつを占めており、残りの約 1/3 をその他の雇用形態で構成されている。

前回調査（H26 年度）との比較においてもほぼ同様の結果が得られており、変化はみられなかった。

	合計	(6)あなたの雇用形態						
		工務店社員	外注常用(日当制)	外注常用(坪請主体)	その都度契約	元請として仕事	その他(アルバイト等)	不明
全体	8392	40.1	6.4	5.7	3.4	29.8	3.1	11.6
職種								
大工	4169	36.3	11.5	10.0	4.1	33.9	1.4	2.9
設備組立工	109	36.7	6.4	3.7	9.2	28.4	4.6	11.0
その他	3706	46.5	1.0	1.3	2.7	27.0	5.2	16.3

表 3.1.5 雇用形態（H27 年度）（割合%）

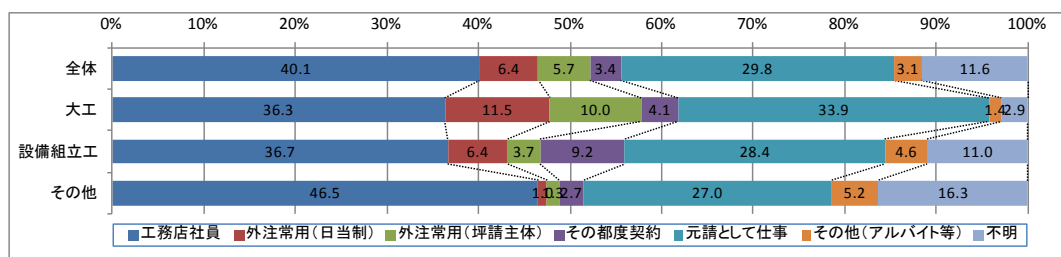


図 3.1.5 雇用形態（H27 年度）

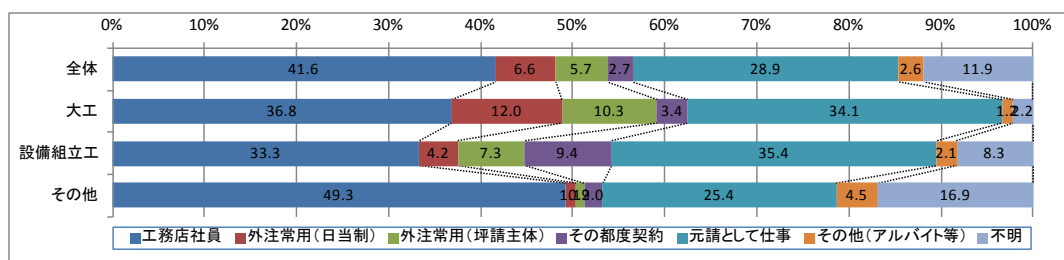


図 3.1.5# 雇用形態（H26 年度）

②就業規則

大工で就業規則が「有る」と回答した割合は 27.0%、「無い」と回答した割合は 51.6%、「不明」と回答した割合は 21.4%であった。

大工以外の職種においては、就業規則が「有る」と回答した割合は、設備組立工(54.1%)、その他(62.6%)であり、半数以上が「有る」と回答しており、他職種と比較して大工は就業規則が整備されていない。

前回調査（H26 年度）との比較においても、同様の結果が得られており、変化はみられなかった。

	合計	(7)就業規則		
		有	無	不明
全体	8392	42.8	34.3	22.8
職種				
大工	4169	27.0	51.6	21.4
設備組立工	109	54.1	26.6	19.3
その他	3706	62.6	17.7	19.7

表 3.1.5 就業規則（H27 年度）（割合%）

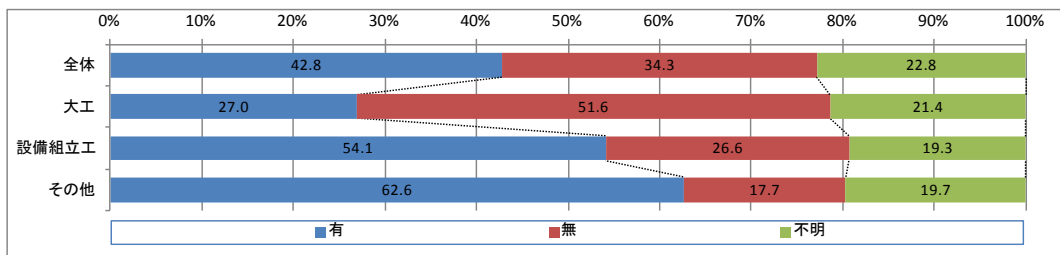


図 3.1.5 就業規則（H27 年度）

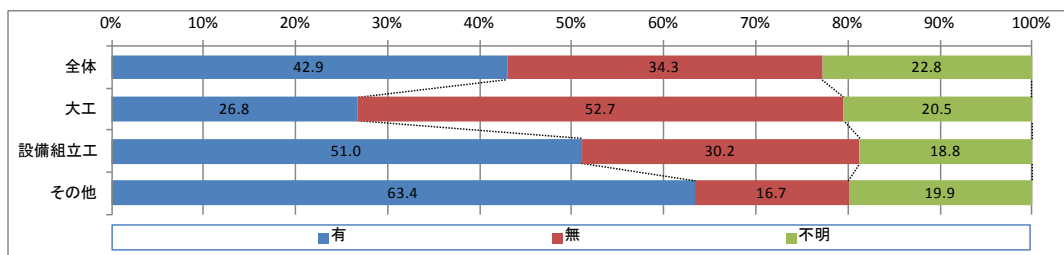


図 3.1.5# 就業規則（H26 年度）

③有給休暇

大工で有給休暇が「有る」と回答した割合は12.4%、「無い」と回答した割合は63.3%、「不明」と回答した割合は24.3%であった。

大工以外の職種では、有給休暇が「有る」と回答した割合は、設備組立工（40.4%）、その他（53.5%）であった。他職種と比較して大工は有給休暇が整備されていない。

前回調査（H26年度）においても同様の結果であった。

	合計	(8)有給休暇		
		有	無	不明
全体	8392	31.1	43.3	25.6
職種				
大工	4169	12.4	63.3	24.3
設備組立工	109	40.4	44.0	15.6
その他	3706	53.5	24.1	22.4

表 3.1.7 有給休暇（H27年度）（割合%）

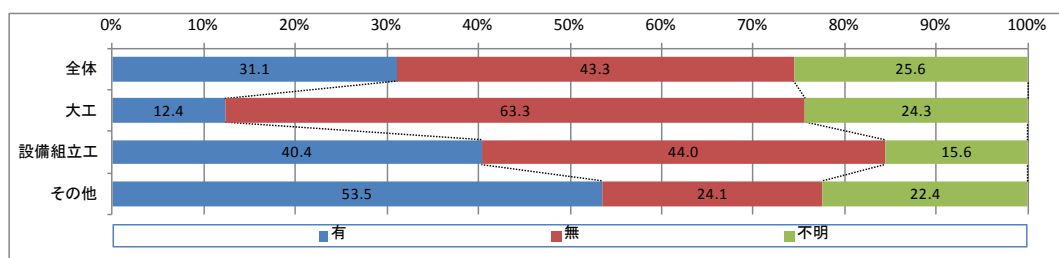


図 3.1.7 有給休暇（H27年度）

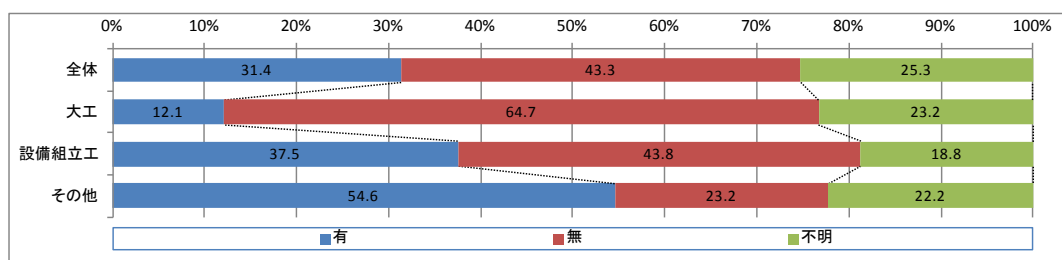


図 3.1.7 有給休暇（H26年度）

④年間就業日数

大工全体の平均年間就業日数は264.88日であった。

大工以外の職種の平均年間就業日数では、設備組立工（270.49日）、その他（241.24日）であり、設備組立工が大工よりも平均年間就業日数が多い結果となった。

大工の年間就業日数の割合は「300日以上」が24.5%で最も多く、次いで「250日～300日未満」が20.3%であった。しかしながら「不明」と回答した割合は44.6%と多く、大工以外の職種においても同様に約半数が「不明」と回答しており、そもそも年間就業日数を本人が把握できていない実態が窺える結果であった。

前回調査（H26年度）では、大工で「300日以上」と回答した割合が多く、平均年間就業日数は大工の方が設備組立工よりも多い結果であった。

	合計	(9)年間就業日数							平均
		100日未満	100～150日未満	150～200日未満	200～250日未満	250～300日未満	300日以上	不明	
全体	8392	3.6	2.1	0.6	5.6	19.5	18.9	49.7	254.67
大工	4169	3.2	0.8	0.7	5.8	20.3	24.5	44.6	264.88
設備組立工	109	0.0	1.8	1.8	3.7	18.3	19.3	55.0	270.49
その他	3706	4.5	3.8	0.5	5.8	20.1	14.0	51.3	241.24

表 3.1.8 年間就業日数（H27年度）（割合%）

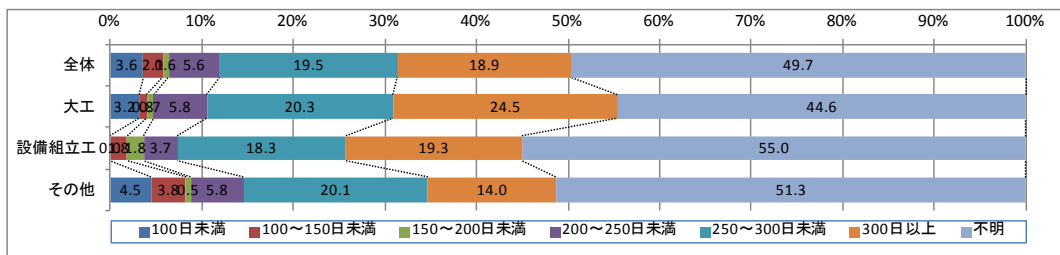


図 3.1.8 年間就業日数（H27年度）

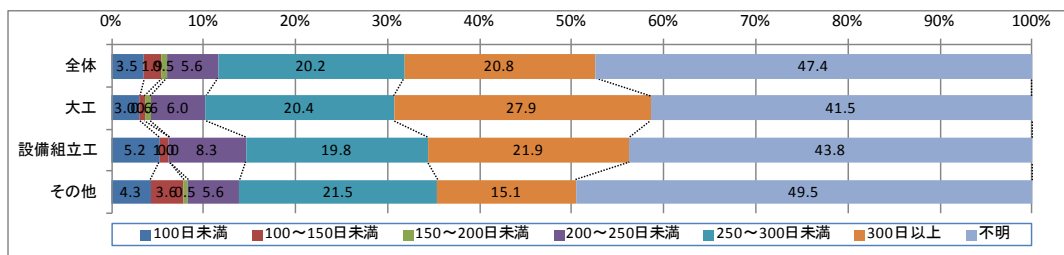


図 3.1.8# 年間就業日数（H26年度）

⑤保険等について

1) 年金保険

大工では「国民年金」の割合が55.9%で最も多く、次いで「厚生年金」が29.7%だった。年金保険についての「不明」と回答した割合は15.0%だった。

大工以外の職種では、設備組立工（「厚生年金」66.1%、「国民年金」22.9%、「不明」15.6%）、その他（「厚生年金」68.0%、「国民年金」17.9%、「不明」16.2%）であった。

大工では「国民年金」が多く、大工以外の職種では「厚生年金」が多い結果であった。

前回調査（H25年度）と比較すると、大工は前回からほぼ同様の結果である。設備組立工では「厚生年金」への回答した割合に増加がみられた。

	合計	(10-1)加入している年金			
		厚生年金	国民年金	企業年金	不明
全体	8392	47.1	36.5	1.4	17.7
職種					
大工	4169	29.7	55.9	1.2	15.0
設備組立工	109	66.1	22.9	2.8	15.6
その他	3706	68.0	17.9	1.8	16.2

図 3.1.9 年金保険（H27年度）（割合%）

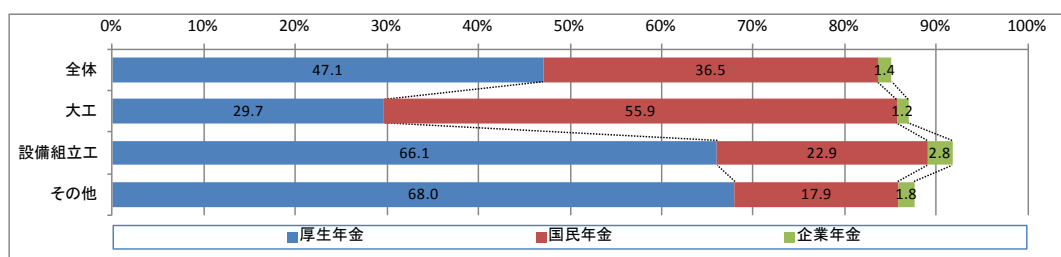


図 3.1.9 年金保険（H27年度）

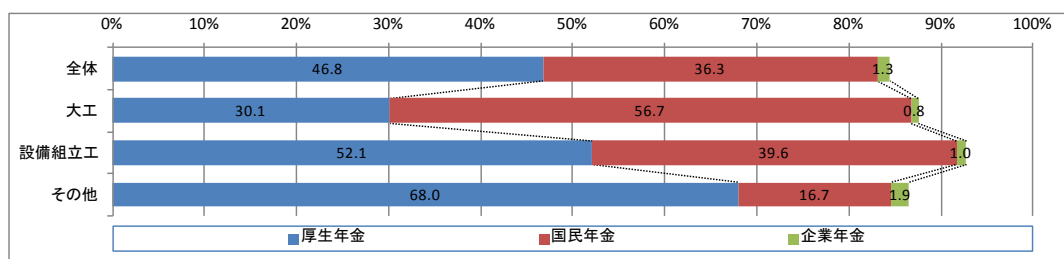


図 3.1.9# 年金保険（H26年度）

2) 労働保険

大工では、「雇用保険」に加入している割合は 19.2%であった。大工以外の職種と比較すると、設備組立工 (41.3%)、その他 (49.6%) であった。「(2) ①雇用形態 (工務店等との)」において「工務店社員」と回答した割合 (36.3%) に対して、「雇用保険」に加入している大工の割合は低い結果であった。

大工全体で、「労災保険 (一人親方労災保険を含む)」に加入している割合は 62.3% (労災保険: 35.0%、一人親方労災保険: 27.3%) であった。大工以外の職種では、設備組立工が 40.4% (労災保険 30.3%、一人親方労災保険 10.1%)、その他が 26.7% (労災保険 21.8%、一人親方労災保険 4.9%) であった。前回調査 (H26 年度) と比較しても、大工の労働保険への加入の割合は同様の結果であった。

	合計	(10-2)加入している労働保険			
		雇用保険	労災保険	一人親方労災保険	不明
全体	8392	32.8	27.9	16.2	33.8
職種					
大工	4169	19.2	35.0	27.3	29.8
設備組立工	109	41.3	30.3	10.1	29.4
その他	3706	49.6	21.8	4.9	34.2

表 3.1.10 労働保険 (H27 年度) (割合%)

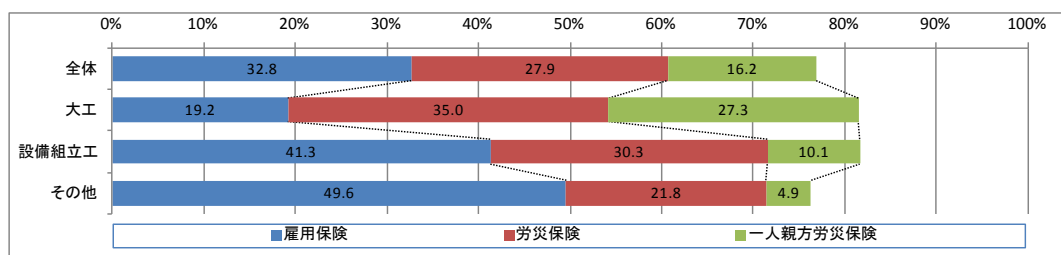


図 3.1.10 労働保険 (H27 年度)

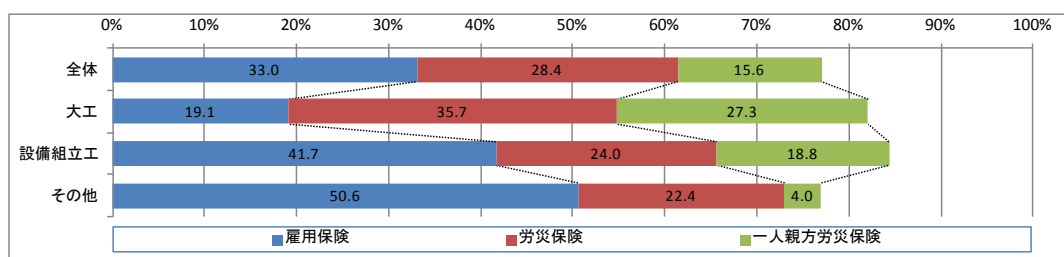


図 3.1.10# 労働保険 (H26 年度)

3) 健康保険

大工が加入している健康保険の割合は、「組合健康保険（建設国保）」が40.0%で最も高く、次いで「国民健康保険」が29.0%であった。

前回調査（H26年度）においても、加入している健康保険の割合構成はほぼ同様であった。

大工以外の職種においては、「組合健康保険（建設国保）」よりも「国民健康保険」と回答する割合が多くみられた。

	合計	(10-3)加入している健康保険				
		国民健康保険	組合健康保険（建設国保）	組合健康保険（建設国保以外）	その他の健康保険	不明
全体	8392	28.7	28.1	4.3	6.5	32.9
大工	4169	29.0	40.0	2.5	3.1	26.0
設備組立工	109	27.5	26.6	5.5	5.5	34.9
その他	3706	30.2	16.9	6.4	10.9	36.0

表 3.1.11 健康保険（H27年度）（割合%）

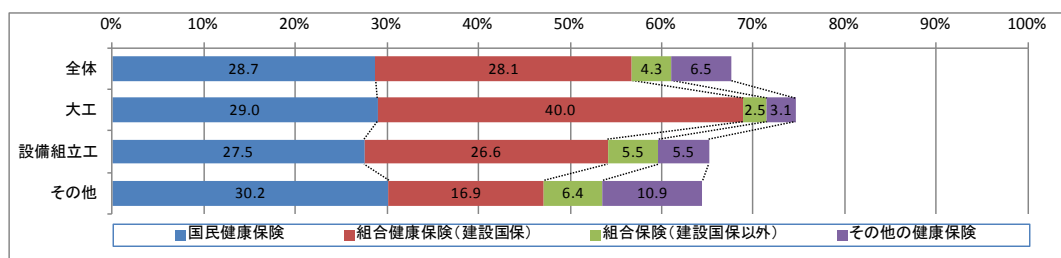


図 3.1.11 健康保険（H27年度）

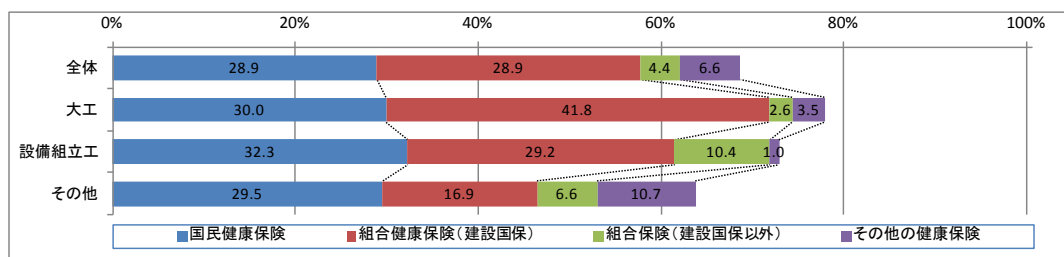


図 3.1.11# 健康保険（H26年度）

⑥賃金の中に含まれ、自己負担となっているもの

大工で、賃金の中に含まれ、自己負担となっているものの割合を合計すると、258.3%であった。大工以外の職種と比較すると、自己負担とされているものが多く全般的に割合が高い。

大工で自己負担となっているものの中では、最も割合が高いのは「手道具」が70.2%であった。次いで、「電動工具」が63.8%、「車（保険含む）」と「ガソリン」は、それぞれ51.3%、50.9%でほぼ同割合だった。「クギ金物」は22.1%であり、選択肢の中では割合が低い。

前回調査（H26年度）の結果においても、ほぼ同様の割合構成であった。

職種	合計	(11)自己負担となっているもの						
		手道具	電動工具	クギ金物	車(保険含む)	ガソリン	全て所属する工務店等が負担	不明
全体	8392	42.5	37.5	13.1	33.9	31.7	22.5	25.9
大工	4169	70.2	63.8	22.1	51.3	50.9	15.0	8.6
設備組立工	109	26.6	21.1	8.3	19.3	18.3	40.4	25.7
その他	3706	14.8	11.1	3.9	17.4	12.8	31.9	40.3

表 3.1.12 自己負担となっているもの（H27年度）（割合%）

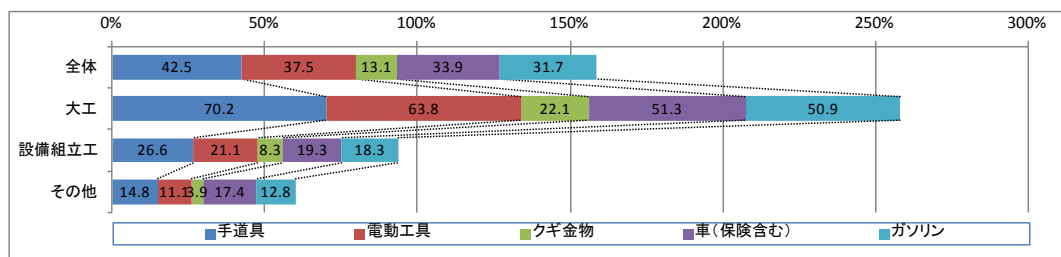


図 3.1.12.1 自己負担となっているもの（H27年度）

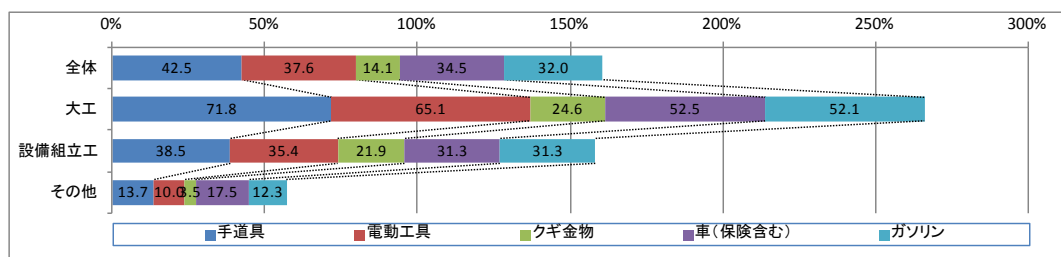


図 3.1.12.1# 自己負担となっているもの（H26年度）

⑦おおよその賃金（諸経費が含まれた1日あたりの平均単価）

大工の一日あたりのおおよその賃金は14,863.6円だった。設備組立工は14,903.2円、その他の職種では14,433.9円であった。

大工の中では、「10,000～15,000円未満」の割合が最も高く37.3%、次いで「15,000～20,000円未満」が34.3%であった。

前回調査（H26年度）においてもほぼ同様の結果で変化はみられなかった。

	合計	(12)1日あたりのおおよその賃金							平均賃金
		8,000円未満	8,000～10,000円未満	10,000～15,000円未満	15,000～20,000円未満	20,000～25,000円未満	25,000円以上	不明	
全体	8392	5.5	9.7	30.3	24.4	7.1	3.2	19.8	14678.1
大工	4169	5.4	8.0	37.3	34.3	7.9	2.1	5.1	14863.6
設備組立工	109	4.6	12.8	32.1	21.1	7.3	7.3	14.7	14903.2
その他	3706	5.9	12.0	24.6	14.8	6.8	4.7	31.2	14433.9

表 3.1.13 一日あたりのおおよその賃金（H27年度）（割合%）

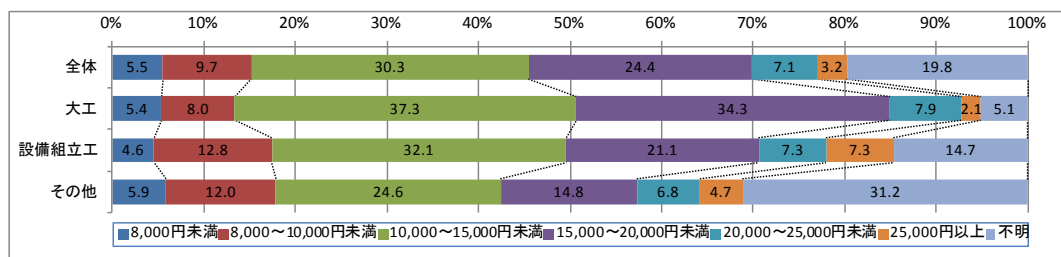


図 3.1.13 一日あたりのおおよその賃金（H27年度）

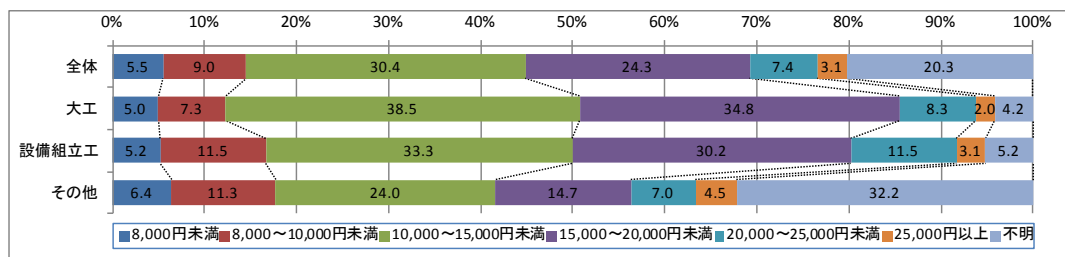


図 3.1.13# 一日あたりのおおよその賃金（H26年度）

以下のグラフは、大工の平均年収の推移を推定したものである。

厚労省の賃金構造基本統計調査の対象となっている 10 人以上の事業所の大工を社員大工としている。また、常用・手間受、一人親方、野丁場一人親方については、全建総連の賃金調査の日額に対して、厚労省の賃金統計と同じ労働日数と仮定して年収を算出している。

各年の賃金を見ると、2013 年の厚労省の賃金統計（社員大工）のばらつきを除けば、社員大工と一人親方の賃金が 2013 年までは、他の賃金をリードしてきたように見える。

2015 年と 2014 年までの平均を比べると、社員大工で 1.23 倍、野丁場一人親方が 1.27 倍上がっており、2012 年からの野丁場の労務単価引き上げ（28.5%）がやっと表れて来た観がある。

しかし、常用・手間受や一人親方の上昇率は 1.15 倍程度で、景況に関わらない賃金上昇は、価格競争を手間賃の合理化で行って来た木造住宅業界にとっては、大工の減少と共に経営状況に、今後さらに重くのしかかってくる

賃金構造基本統計調査においては大工技能者の賃金に上昇傾向がみられ始めているが、他方では今回のアンケート調査のように賃金の上昇傾向がみられないという結果であった。今回のアンケート調査結果から、大工本人にとってはなかなか賃金上昇の実感が持たれていないという事が窺える結果となった。

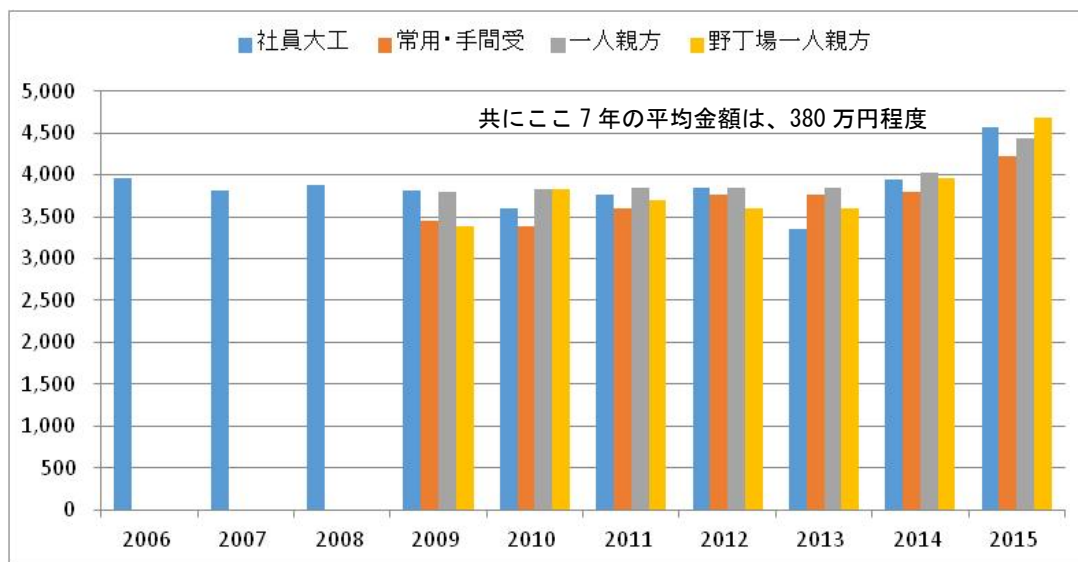


図 3.1.12.2 大工の平均年収の推移

(3) 資格や技能について

①持っている資格

大工では、「玉掛け技能講習修了者」(43.0%)、「木造建築物組立て作業主任者」(40.1%)、「足場の組立て等作業主任者」(36.2%)の労働安全衛生法に係る資格の取得割合が高い結果であった。

「建築大工技能士」は1級、2級を合わせても21.6%の取得率であった。「2級建築士」は31.8%の取得率で「足場の組立て等作業主任者」に次いで取得割合が高い資格である。

前回調査(H26年度)においてもほぼ同様の結果であり、大きな変化はみられなかった。

職種	合計	(13)お持ちの資格														
		1級建築士	2級建築士	木造建築士	1級建築施工管理技士	2級建築施工管理技士	建築大工技能士(1級・2級)	枠組壁建築技能士	職業訓練指導員	増改築相談員	足場の組立て等作業主任者	木造建築物組立て作業主任者	玉掛け技能講習修了者	クレーン運転技能講習修了者	木材加工用機械作業主任者	不明
全体	8392	11.3	31.5	2.0	11.6	13.8	11.4	1.4	6.2	7.0	27.3	25.7	33.1	14.6	6.1	25.1
大工	4169	4.9	31.8	3.0	4.6	15.2	21.6	2.3	10.5	8.8	36.2	40.1	43.0	18.2	10.5	18.7
設備組立工	109	0.0	3.7	0.0	3.7	7.3	0.0	0.0	2.8	13.8	11.9	3.7	32.1	24.8	2.8	46.8
その他	3706	19.0	33.4	1.0	19.9	13.0	1.3	0.5	1.9	5.4	19.5	12.2	23.9	11.2	1.8	28.5

表 3.1.14 持っている資格 (H27年度) (割合%)

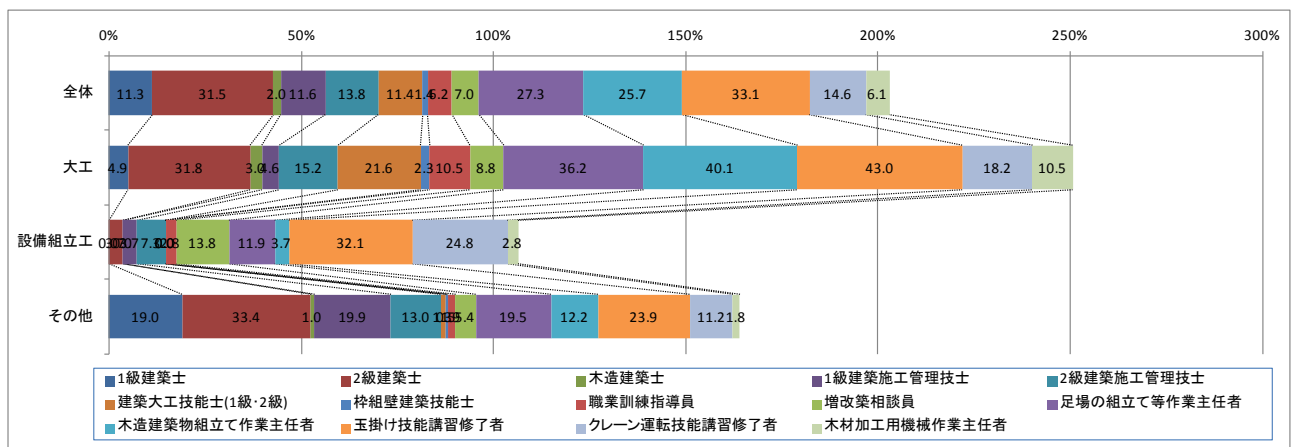


図 3.1.14 持っている資格 (H27年度)

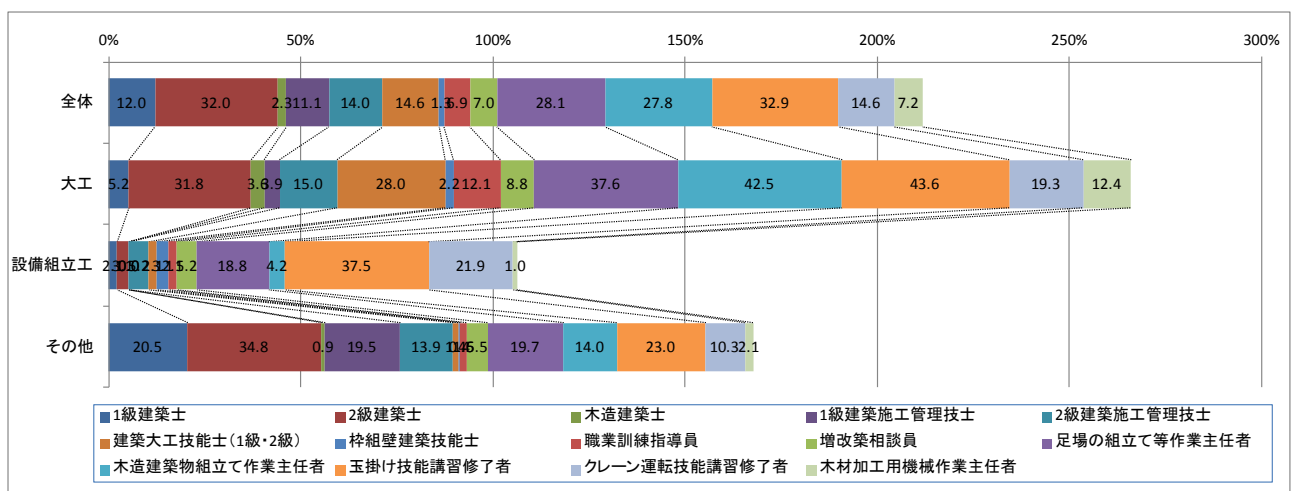


図 3.1.14# 持っている資格 (H26年度)

②大工職のみ回答 墨付けができますか。

大工で墨付けができると回答した割合は71.6%であった。

前回調査（H26年度）と比較すると3.1ポイント減少しているが、ほぼ同様の結果であった。

平成24年度からの調査結果の推移をみると、墨付けができると回答した割合は年々減少しており通算で約4.7ポイント減少がみられた。

		合計	(14)①墨付けができますか		
			はい	いいえ	不明
職種	全体	4169	71.6	14.6	13.8
	大工	4169	71.6	14.6	13.8
	設備組立工	3	100.0	0.0	0.0
	その他	23	65.2	0.0	34.8

表 3.1.15 墨付け（H27年度）（割合%）

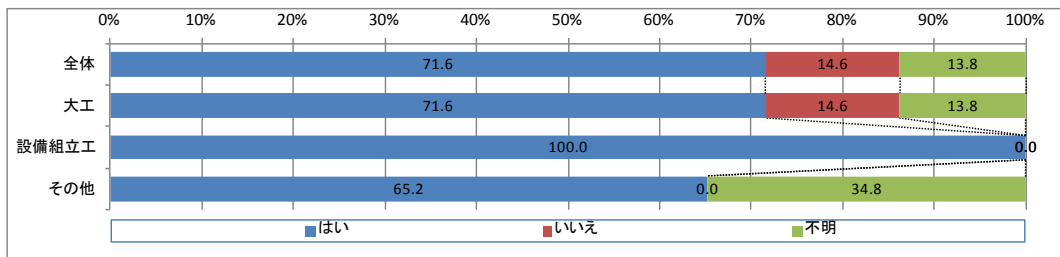


図 3.1.15 墨付け（H27年度）

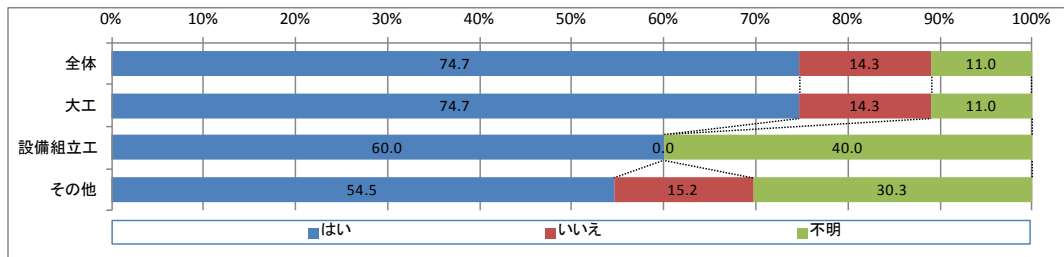


図 3.1.15# 墨付け（H26年度）

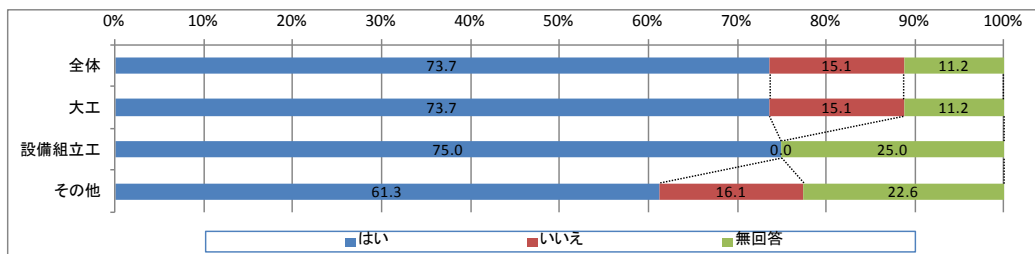


図 3.1.15## 墨付け（H25年度）

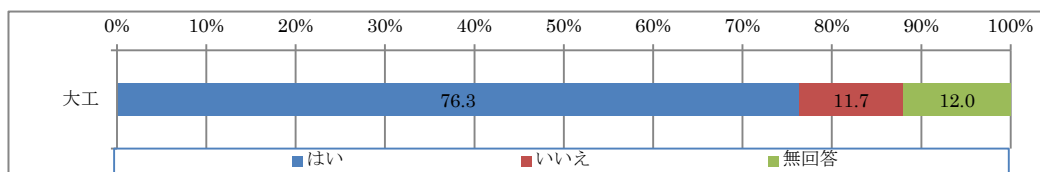


図 3.1.15### 墨付け（H24年度）

③大工職のみ回答 今でも手刻み加工の仕事を年1棟以上行っていますか。(新築)

大工で今でも新築の手刻み加工の仕事を年1棟以上行っていると回答した割合は、23.9%であった。「いいえ」と回答した大工の割合は60.5%で、半数以上の大工は新築の手刻み加工の仕事を行っていないという結果であった。

前回調査（H26年度）と比較すると、ほぼ同様の結果であったが、今回調査で「はい」と回答した割合は1.8ポイント減少しており、「いいえ」の割合についても1.2ポイント減少している。

平成24年度の調査結果からの推移をみると、手刻み加工の仕事をしている割合は年々減少しており、通算で約7.7ポイントの減少がみられた。

		合計	(14)②新築の手刻み加工の仕事を年1棟以上行っていますか		
			はい	いいえ	不明
職種	全体	4169	23.9	60.5	15.6
	大工	4169	23.9	60.5	15.6
	設備組立工	3	0.0	100.0	0.0
	その他	23	30.4	34.8	34.8

表 3.1.16 手刻み加工の仕事（新築）（H27年度）（割合%）

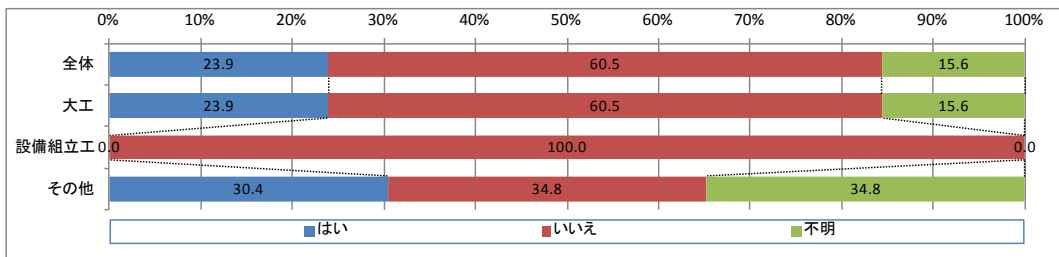


図 3.1.16 手刻み加工の仕事（新築）（H27年度）

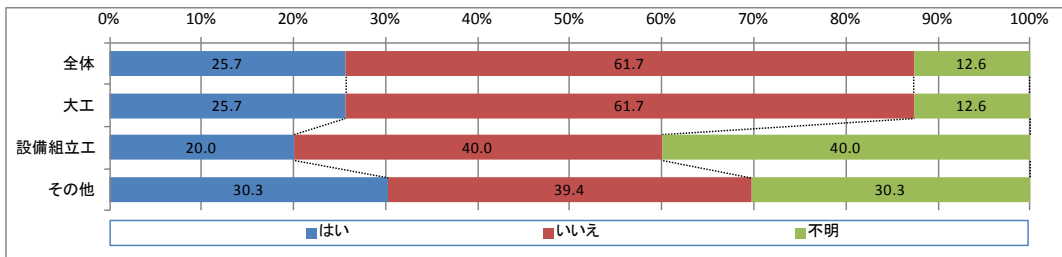


図 3.1.16# 手刻み加工の仕事（新築）（H26年度）

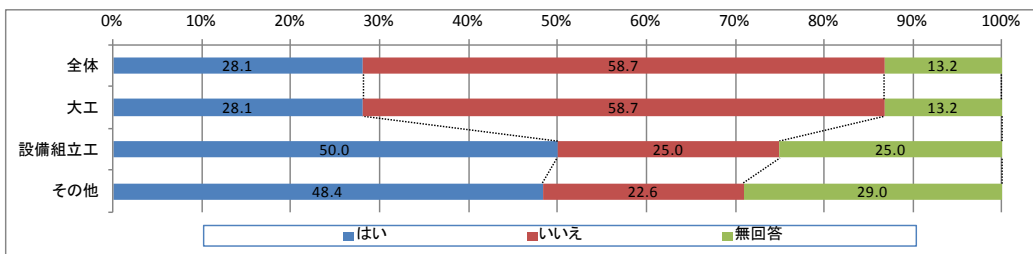


図 3.1.16## 手刻み加工の仕事（新築）（H25年度）

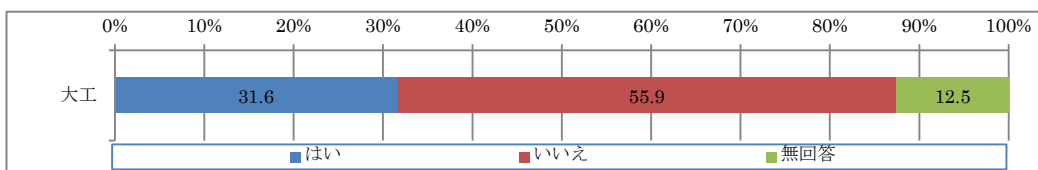


図 3.1.16### 手刻み加工の仕事（H24年度）

④大工職のみ回答 今でも手刻み加工の仕事を年1棟以上行っていますか。(増改築)

大工で、今でも増改築の手刻み加工の仕事を年1棟以上行っていると回答した割合は、47.1%であった。「いいえ」と回答した割合は37.8%であった。

前設問と合わせて、現在の大工の仕事の実態として、手刻み加工の技能は、新築の仕事では用いる機会がなくなってきており、主に増改築の仕事で発揮する機会が多いということが窺える。

前回調査（H26年度）との比較では、ほぼ同様の結果であるが、今回調査では「はい」と回答した割合に4.7ポイント減少がみられた。

平成25年度からの調査結果の推移をみると、平成26年度においては増加がみられたが、通算では約3.6ポイント減少している。

		(14)③増改築の手刻み加工の仕事を年1棟以上行っていますか			
		合計	はい	いいえ	不明
	全体	4169	47.1	37.8	15.2
職種	大工	4169	47.1	37.8	15.2
	設備組立工	3	33.3	66.7	0.0
	その他	23	47.8	17.4	34.8

表 3.1.17 手刻み加工の仕事（増改築）（H27年度）（割合％）

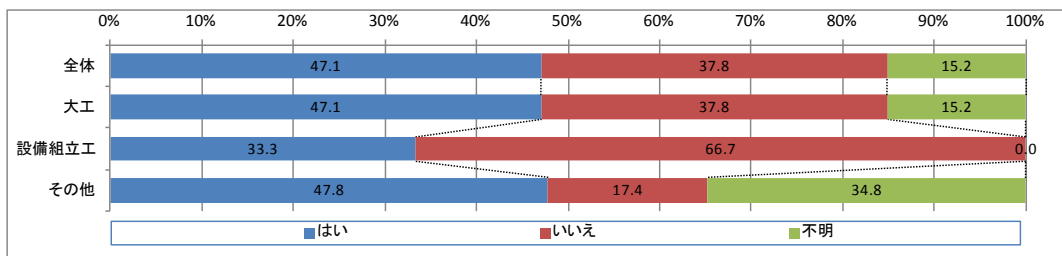


図 3.1.17 手刻み加工の仕事（増改築）（H27年度）

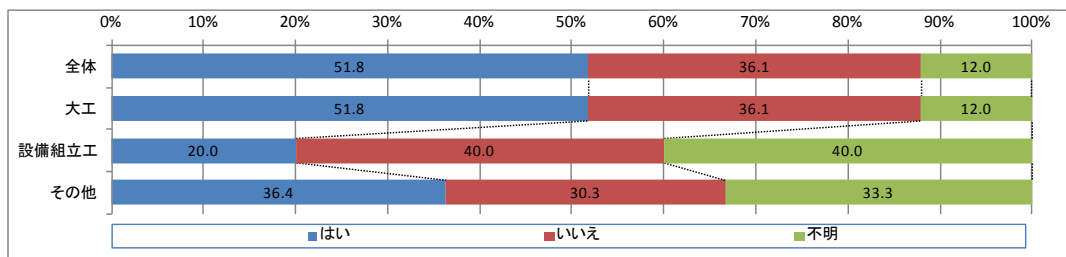


図 3.1.17# 手刻み加工の仕事（増改築）（H26年度）

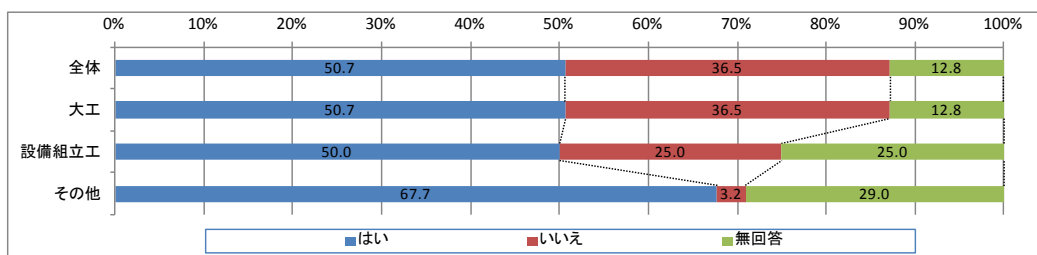


図 3.1.17## 手刻み加工の仕事（増改築）（H25年度）

⑤大工職のみ回答 和室造作ができますか。

和室造作ができると回答した大工の割合は 66.4%。「いいえ」と回答した割合は 18.8%であった。半数以上の大工が和室造作ができる技能があるという結果であった。

前回調査（H26 年度）と比較すると、回答の割合には大きな変化はみられないが、今回調査では「はい」は 3.7 ポイント減少しており、「いいえ」は 0.6 ポイント増加している。

平成 24 年度の調査結果からの推移をみると、和室造作ができると回答した割合には年々減少がみられ、通算で約 5.6 ポイント減少している。

		合計	(14)④和室造作ができますか		
			はい	いいえ	不明
職種	全体	4169	66.4	18.8	14.8
	大工	4169	66.4	18.8	14.8
	設備組立工	3	66.7	33.3	0.0
	その他	23	56.5	4.3	39.1

表 3.1.18 和室造作（H27 年度）（割合%）

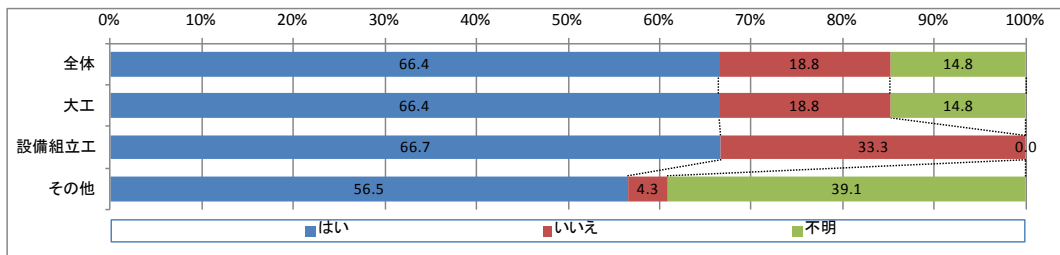


図 3.1.18 和室造作（H27 年度）

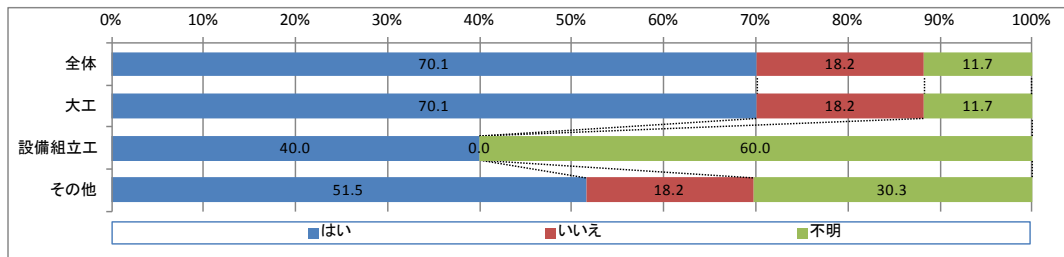


図 3.1.18# 和室造作（H26 年度）

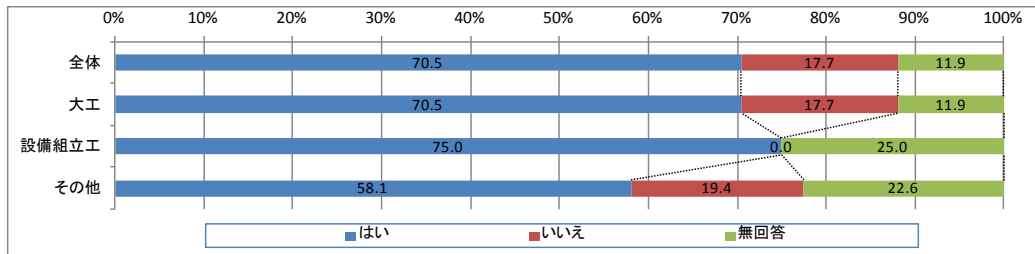


図 3.1.18## 和室造作（H25 年度）

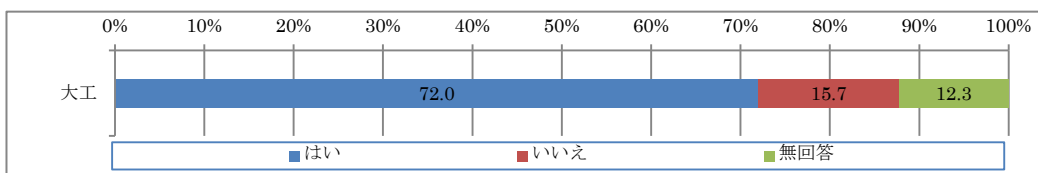


図 3.1.18### 和室造作（H24 年度）

⑥大工職のみ回答 2×4 工法の住宅の施工ができますか。

2×4 工法の住宅の施工ができると回答した大工の割合は 26.1%。「いいえ」と回答した割合は 58.3%であった。

前回調査（H26 年度）と比較して、ほぼ同様の結果であった。

平成 24 年度の調査結果からの推移をみると、2×4 工法の住宅の施工ができると回答した割合は 26%～27%の範囲で推移をしており、ほぼ一定であった。

	合計	(14)⑤2×4工法の住宅の施工ができますか		
		はい	いいえ	不明
全体	4169	26.1	58.3	15.6
職種 大工	4169	26.1	58.3	15.6
設備組立工	3	66.7	33.3	0.0
その他	23	34.8	21.7	43.5

表 3.1.19 2×4 工法の住宅の施工（H27 年度）（割合%）

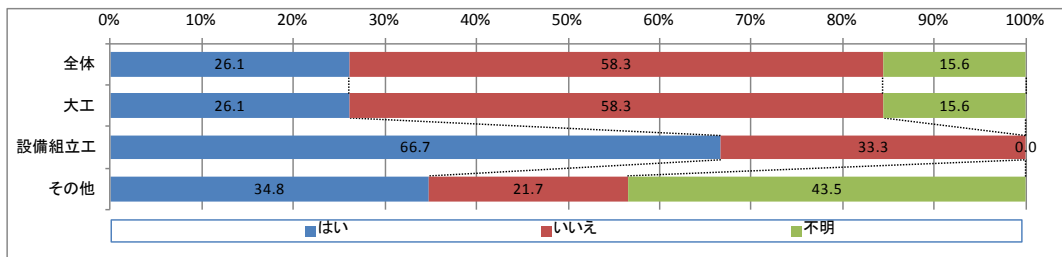


図 3.1.19 2×4 工法の住宅の施工（H27 年度）

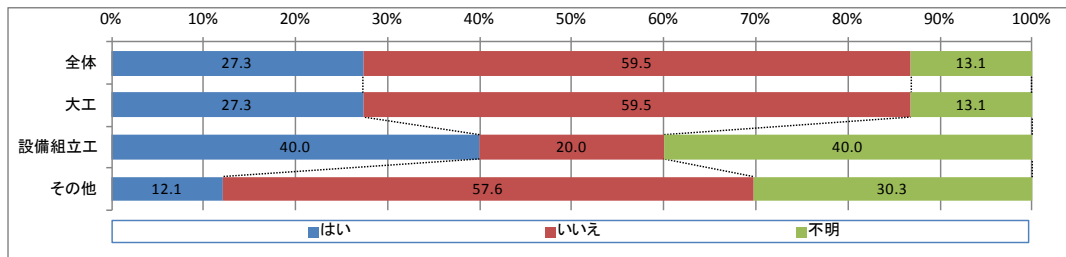


図 3.1.19# 2×4 工法の住宅の施工（H26 年度）

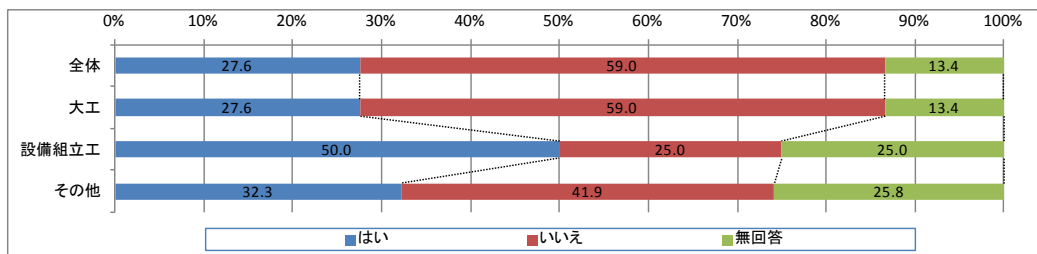


図 3.1.19## 2×4 工法の住宅の施工（H25 年度）

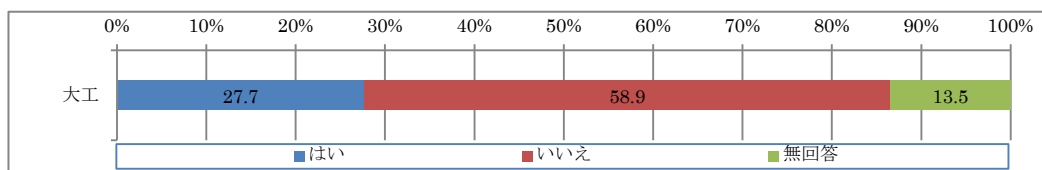


図 3.1.19### 2×4 工法の住宅の施工（H24 年度）

(4) 仕事に対する満足度や今後の意向について

①現在の仕事の内容について満足していますか。

大工で、「とても満足している」(10.3%)、「まあ満足している」(50.7%)を合計した「満足している」割合は61.0%だった。一方で、「あまり満足していない」(23.2%)、「満足していない」(5.4%)を合計した「満足していない」割合は28.6%だった。大工の約6割が仕事の内容について満足しているという結果であった。

大工以外の職種と比較すると、「満足していない」と回答した割合は、設備組立工(17.4%)、その他の職種(19.1%)であり、大工では「満足していない」と回答する割合が高い傾向がみられた。

前回調査(H26年度)においても、ほぼ同様の結果であった。前回調査では大工の「満足している」と回答した割合は60.5%であり、今回調査では満足度は0.5ポイント増加している。また「満足していない」割合は前回調査の31.2%から2.6ポイント減少している。

	合計	(15)現在の仕事の内容について満足度				
		とても満足している	まあ満足している	あまり満足していない	満足していない	不明
全体	8392	9.4	48.8	19.1	4.4	18.3
職種						
大工	4169	10.3	50.7	23.2	5.4	10.3
設備組立工	109	11.0	56.9	12.8	4.6	14.7
その他	3706	8.9	48.7	15.7	3.4	23.4

表 3.1.20 仕事の内容についての満足度 (H27年度) (割合%)

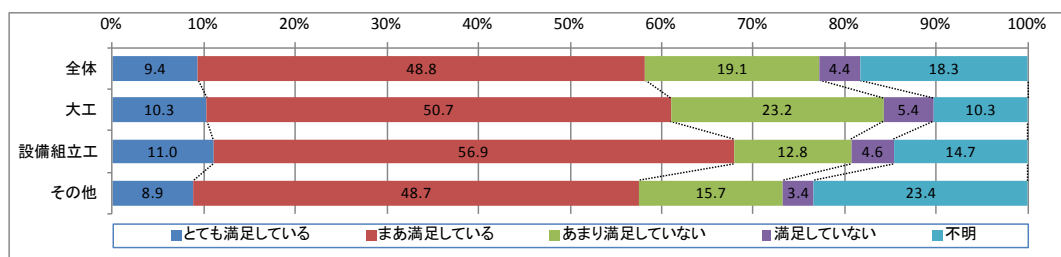


図 3.1.20 仕事の内容についての満足度 (H27年度)

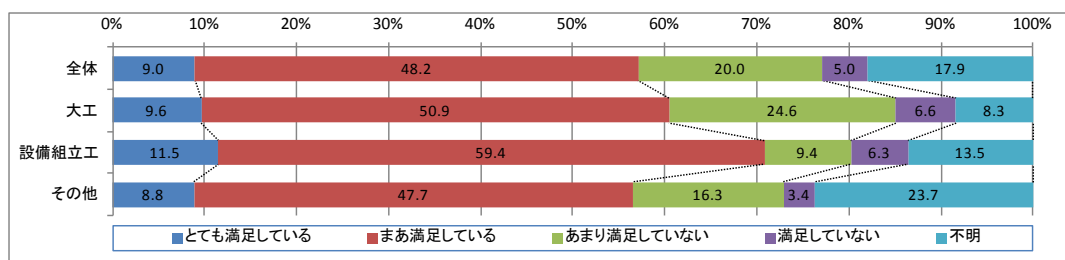


図 3.20# 仕事の内容についての満足度 (H25年度)

②現在の仕事で得られる収入等について満足していますか。

大工で、「とても満足している」(3.5%)、「まあ満足している」(33.2%)を合計した「満足している」割合は36.7%であった。一方で、「あまり満足していない」(37.0%)、「満足していない」(16.0%)を合計した「満足していない」割合は53.0%であった。大工の約5割は、仕事で得られる収入等について満足していないという結果であった。

大工以外の職種と比較すると、「満足していない」と回答した割合は、設備組立工(42.2%)、その他の職種(39.5%)であり、大工では「満足していない」と回答する割合が高い傾向がみられた。

前回調査(H26年度)においては、ほぼ同様の結果であった。大工の「満足している」割合は前回調査の35.2%から1.5ポイント増加しており、「満足していない」割合は前回調査の56.6%から3.6ポイント減少している。

		合計	(16)現在の仕事で得られる収入等について満足度				
			とても満足している	まあ満足している	あまり満足していない	満足していない	不明
	全体	8392	3.3	32.8	32.9	12.5	18.4
職種	大工	4169	3.5	33.2	37.0	16.0	10.4
	設備組立工	109	1.8	41.3	31.2	11.0	14.7
	その他	3706	3.5	33.7	30.3	9.2	23.3

表 3.1.21 収入等についての満足度 (H27年度) (割合%)

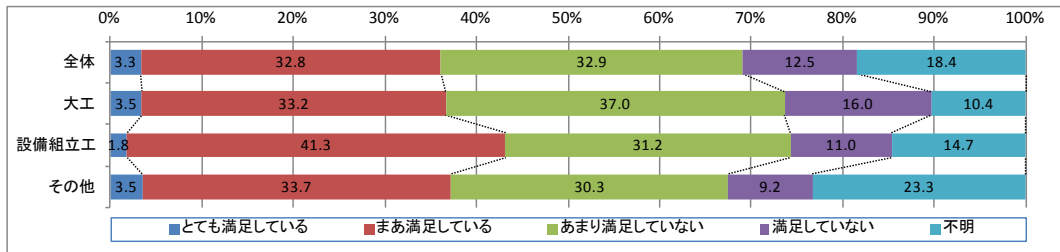


図 3.1.21 収入等についての満足度 (H27年度)

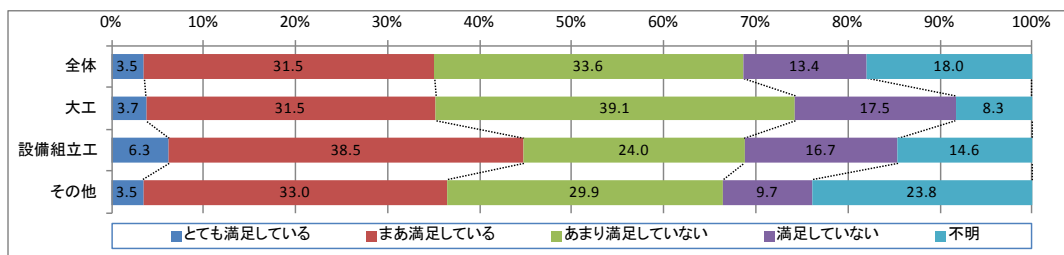


図 3.1.21# 収入等についての満足度 (H26年度)

③今後何歳までお仕事を続けられる予定ですか。

大工では、「仕事ができる限り続ける」の割合が50.8%で最も高く、次いで「65歳で引退する」が15.8%であった。

「仕事ができる限り続ける」の割合は設備組立工（36.7%）、その他の職種（32.2%）であり、大工が最も割合が高い。

前回調査（H26年度）でも、大工の回答の割合構成はほぼ等しく、大きな変化は見られなかった。

職種	合計	(17)今後何歳までお仕事を続けられる予定ですか						
		60歳で引退する	65歳で引退する	70歳で引退する	75歳で引退する	仕事ができる限り続ける	仕事がないため近々退職・引退する予定である	不明
全体	8392	8.5	18.6	10.2	2.0	40.9	0.7	19.1
大工	4169	6.3	15.8	13.0	2.6	50.8	0.9	10.7
設備組立工	109	11.0	17.4	11.0	4.6	36.7	2.8	16.5
その他	3706	11.1	22.9	7.3	1.6	32.2	0.5	24.5

表 3.1.22 何歳まで仕事を続ける予定か（H27年度）（割合%）

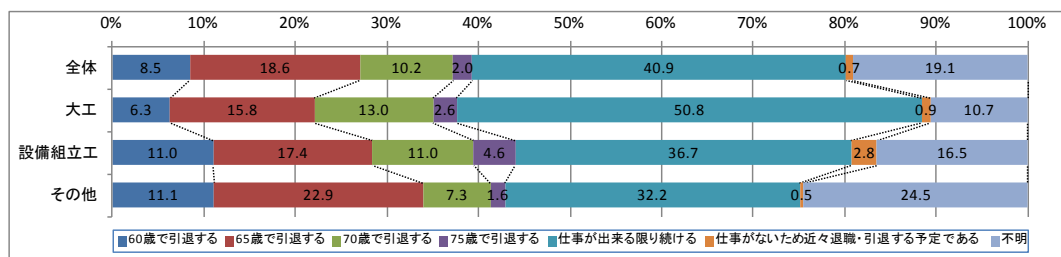


図 3.1.22 何歳まで仕事を続ける予定か（H27年度）

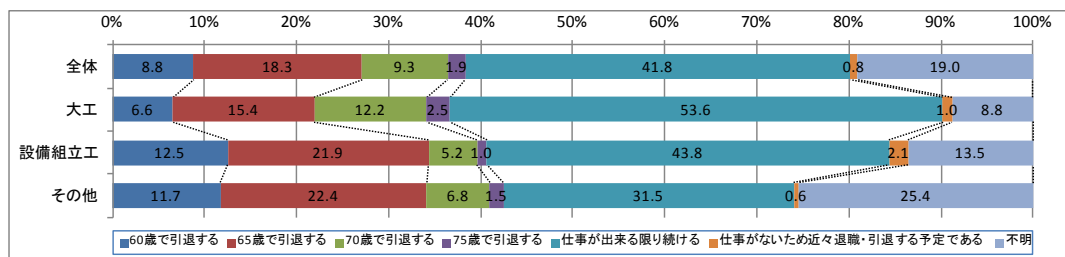


図 3.1.22# 何歳まで仕事を続ける予定か（H26年度）

(5) 担い手育成について

①現在、担い手（見習い等）の育成を行っていますか。

大工では、「現在は育てていないが、人材がいれば育てたい」が 39.5%で最も高く、次いで「現在は育てていないし、今後も育てる予定はない」が 30.7%だった。「現在育てている」と回答した割合は、14.1%だった。

設備組立工、その他の職種と比較すると、「現在は育てていないし、今後も育てる予定はない」は設備組立工（14.7%）、その他の職種（14.3%）であり、大工では育成について「今後も育てる予定はない」と考える傾向が強い。

前回調査（H26 年度）との比較では、ほぼ同等の結果であり、大きな変化はみられなかった。

	合計	(18)現在、担い手の育成を行っていますか			
		現在育てている	現在は育てていないが、人材がいれば育てたい	現在は育てていないし、今後も育てる予定はない	不明
全体	8392	13.5	36.8	22.3	27.3
職種					
大工	4169	14.1	39.5	30.7	15.8
設備組立工	109	21.1	45.9	14.7	18.3
その他	3706	13.8	35.6	14.3	36.4

表 3.1.23 担い手の育成状況（H27 年度）（割合%）

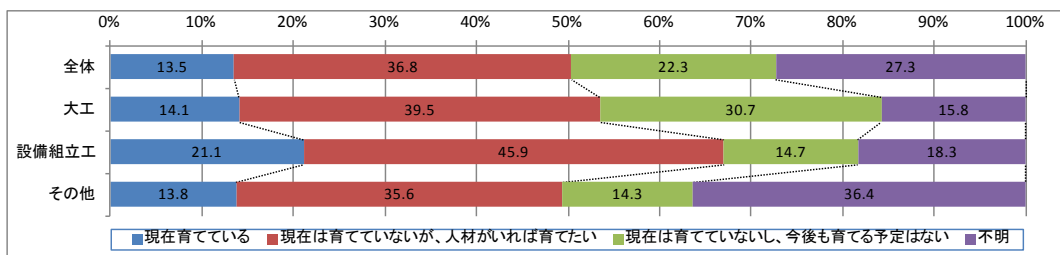


図 3.1.23 担い手の育成状況（H27 年度）

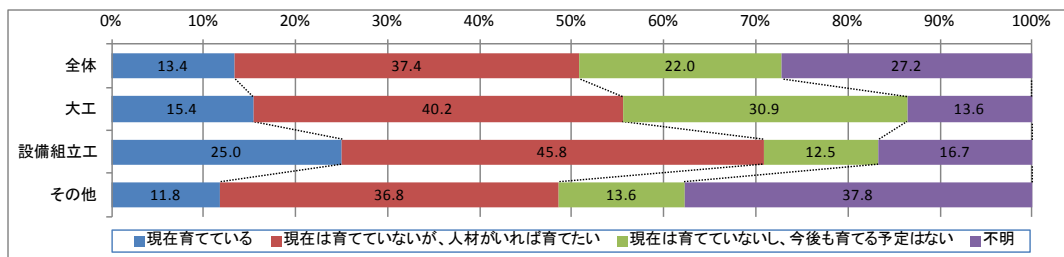


図 3.1.23# 担い手の育成状況（H26 年度）

②「1.現在育てている」および「2.過去には育てた」のみ回答

育成期間の担い手の立場

大工では、育成期間の担い手の立場として、「正社員（弟子として）」が61.8%で最も割合が高く、次いで「正社員（職業訓練校）」が18.3%、「一人親方等にあずける（弟子として）」が10.8%であった。

設備組立工、その他の職種では、「正社員（弟子として）」と回答した割合が設備組立工（60.9%）、その他の職種（52.6%）で最も高く、次いで「正社員（職業訓練校）」が設備組立工（30.4%）、その他の職種（30.9%）であった。

大工における育成機関の担い手の立場としては、「正社員」が80.1%、「一人親方等にあずける」は14.4%であった。

前回調査（H26年度）と比較して、大工の育成期間の担い手の立場については同様の結果であり、大きな変化はみられなかった。

職種	合計	(19)育成期間の担い手の立場				
		正社員 (職業訓 練校)	正社員 (弟子と して)	一人親 方等に あずけ る(職業 訓練校)	一人親 方等に あずけ る(弟子 として)	不明
全体	1137	24.7	57.3	2.4	7.5	8.1
大工	586	18.3	61.8	3.6	10.8	5.6
設備組立工	23	30.4	60.9	0.0	4.3	4.3
その他	511	30.9	52.6	1.0	4.5	11.0

表 3.1.24 育成期間の担い手の立場（H27+年度）（割合%）

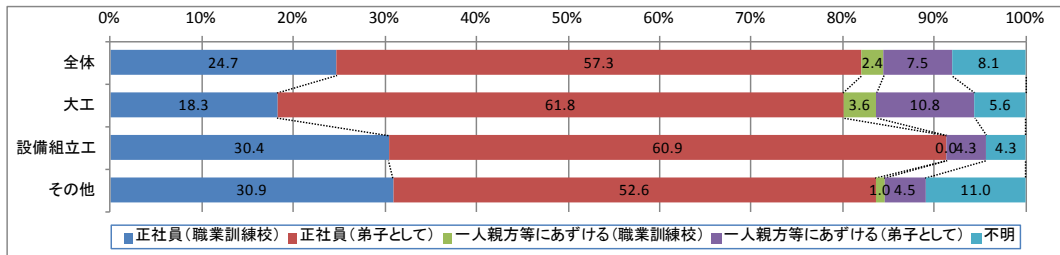


図 3.1.24 育成期間の担い手の立場（H27年度）

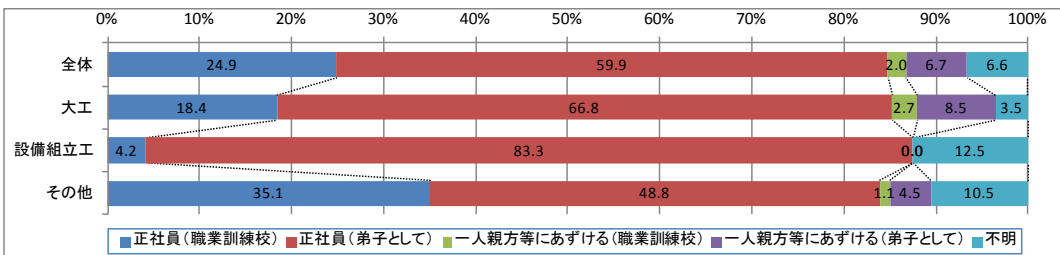


図 3.1.24# 育成期間の担い手の立場（H26年度）

③ 「1.現在育てている」および「2.過去には育てた」のみ回答
育成にかかる費用負担

育成期間にかかる費用の負担について、大工で「有る」と回答した割合は 29.4%、「無い」と回答した割合は 15.2%、無回答などの「不明」は 55.5%であった。

前回調査（H26 年度）においても同様の結果であり、大きな変化はみられなかった。

	合計	(20)育成期間にかかる費用の負担を行っているか		
		有	無	不明
全体	1137	25.1	14.0	60.9
職種				
大工	586	29.4	15.2	55.5
設備組立工	23	13.0	8.7	78.3
その他	511	21.7	12.7	65.6

表 3.1.25 育成期間にかかる費用負担（H27 年度）（割合%）

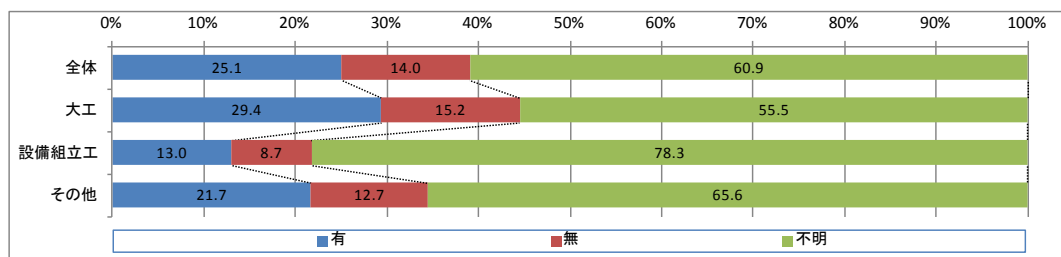


図 3.1.25 育成期間にかかる費用負担（H27 年度）

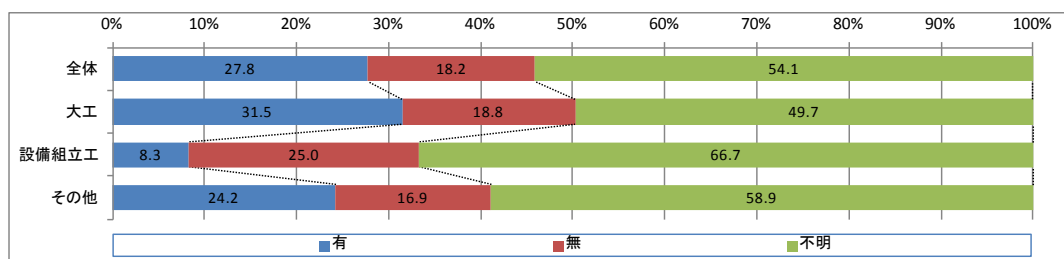


図 3.1.25 # 育成期間にかかる費用負担（H26 年度）

④「4.現在は育てていないし、今後も育てる予定はない」のみ回答
なぜ育てる予定はないのか。

大工では、育てる予定がない理由として、「将来の保障ができないため」が40.0%で最も高く、次いで「人材がないため」が21.7%、「新築が少ないため」が21.0%であった。

設備組立工、その他の職種では「人材がないため」への回答が多くみられた。

大工では「将来の保障ができないため」の割合が突出しており、大工自身が将来性に大きな不安を抱いていることが考えられる。

前回調査（H26年度）においても同様の結果であったが、今回調査では「新築が少ないため」と回答した割合が18.7%から21.0%へ増加がみられた。

職種	合計	(21)なぜ育てる予定はないのですか											
		育てても、一人前になると辞めてしまうため	教えるのが面倒なため	費用がかかるため	言うことを聞かないため	人材がないため	育てる自信がないため	将来の保障ができないため	年齢のため	仕事がプレカットのため	新築が少ないため	その他	不明
全体	1875	8.8	6.5	16.1	2.7	21.4	10.5	33.9	13.3	7.4	16.5	8.8	15.3
大工	1280	9.5	6.8	18.1	3.0	21.7	11.2	40.0	13.4	10.0	21.0	5.6	13.0
設備組立工	16	18.8	12.5	12.5	6.3	18.8	12.5	18.8	12.5	0.0	12.5	12.5	12.5
その他	529	6.0	5.7	11.2	1.9	21.6	9.1	20.8	13.0	1.7	6.6	16.4	20.2

表 3.1.26 なぜ育てる予定はないのか（H27年度）（割合%）

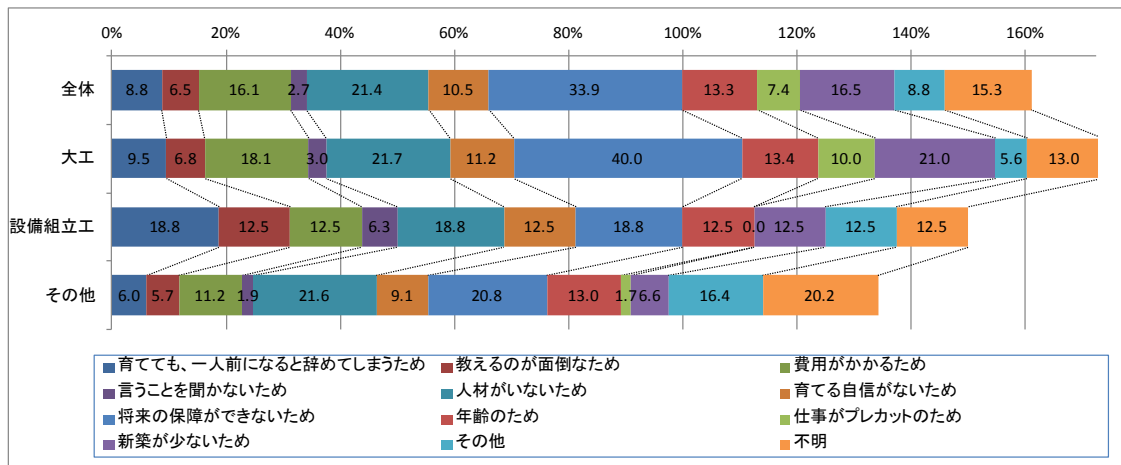


図 3.1.26 なぜ育てる予定はないのか（H27年度）

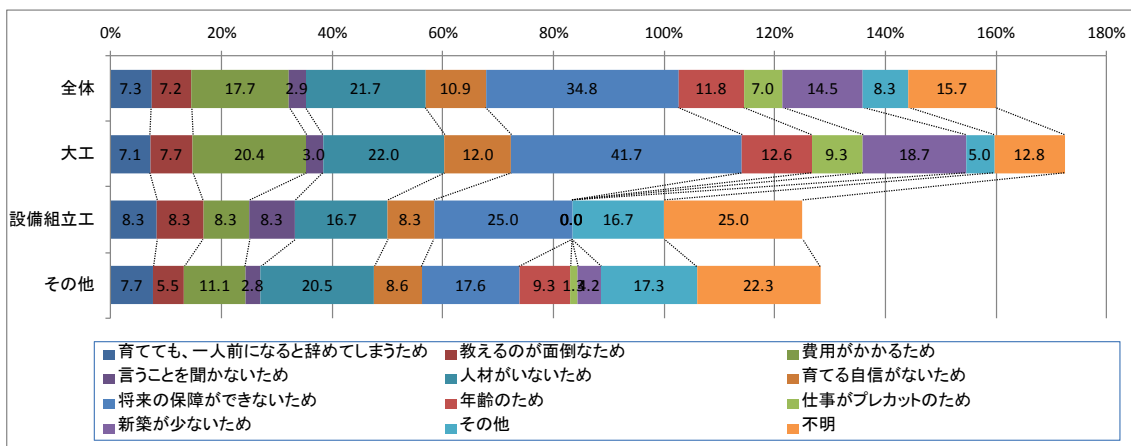


図 3.1.26# なぜ育てる予定はないのか（H26年度）

⑤担い手育成にかかる費用の公的補助について、1人/月当たりどの程度必要と考えますか。

大工では担い手にかかる費用の公的補助について1人/月当たり必要な額として、「10万円/月」と回答した割合が28.0%で最も高く、次いで「15万円/月」が18.5%であった。

前回調査（H26年度）と比較しても、同様の結果であり、大きな変化はみられなかった。

	合計	(22)担い手の育成にかかる費用の公的補助はどの程度必要か					
		3万円/月	5万円/月	10万円/月	15万円/月	必要ない	不明
全体	8392	3.5	12.9	22.8	14.6	3.0	43.1
職種 大工	4169	3.5	14.8	28.0	18.5	2.8	32.3
設備組立工	109	9.2	11.0	22.9	11.0	3.7	42.2
その他	3706	3.7	11.7	18.2	11.1	3.3	51.9

表 3.1.27 公的補助について、1人/月当たりどの程度必要か（H27年度）（割合%）

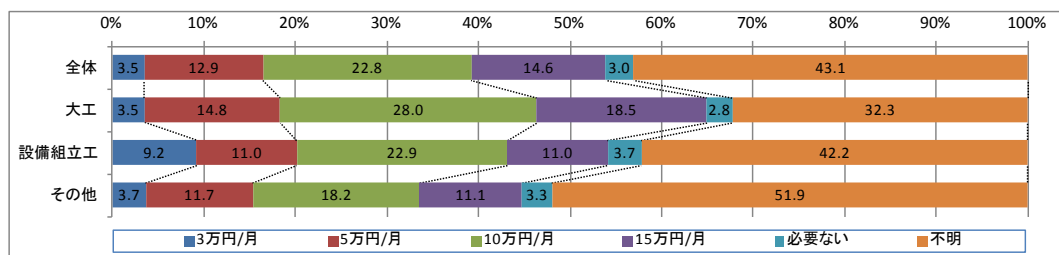


図 3.1.27 公的補助について、1人/月当たりどの程度必要か（H27年度）

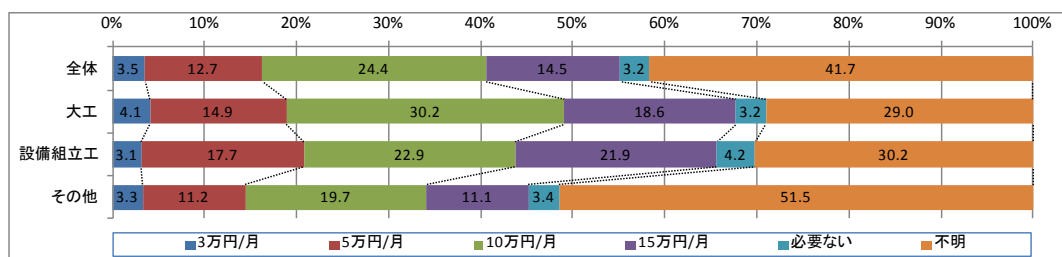


図 3.1.27 # 公的補助について、1人/月当たりどの程度必要か（H26年度）

2. 地方別集計

(1) 職業等について

① 年齢

地域ごとの平均年齢では、四国が47.42歳で最も高く、北海道が39.85歳で最も低いという結果であった。

前回調査（H26年度）と比較すると、四国では30代が減少して40代、50代の割合が大きくなっている。北海道では60代の大工が減少して20代の大工の割合が大きくなっている。

	合計	(1)年齢									平均
		10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	不明		
全体	4169	1.2	8.1	27.0	24.6	19.6	16.5	1.9	1.1	45.58	
地域											
北海道	55	0.0	18.2	36.4	21.8	14.5	7.3	0.0	1.8	39.85	
東北	738	0.3	8.7	30.4	19.2	21.7	18.4	0.5	0.8	45.56	
関東	961	2.1	8.4	23.9	27.0	17.4	17.1	3.4	0.7	46.07	
北陸	278	0.4	10.4	33.8	24.5	14.7	14.4	1.1	0.7	43.53	
中部	493	0.8	9.1	27.4	27.2	19.5	13.6	2.0	0.4	44.75	
近畿	414	1.4	7.0	25.1	30.7	18.1	14.0	2.2	1.4	45.26	
中国	404	1.5	7.7	30.2	24.0	18.8	15.3	2.0	0.5	44.82	
四国	270	2.2	5.2	21.5	23.7	26.3	18.1	0.7	2.2	47.42	
九州・沖縄	556	1.1	6.5	24.6	22.1	22.3	19.6	1.6	2.2	47.02	

表 3.2.1 年齢(H27年度) (割合%)

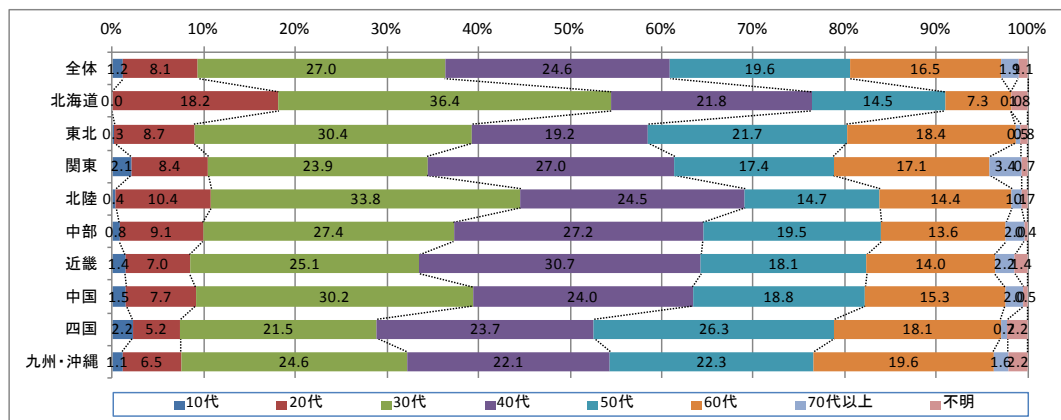


図 3.2.1 年齢(H27年度)

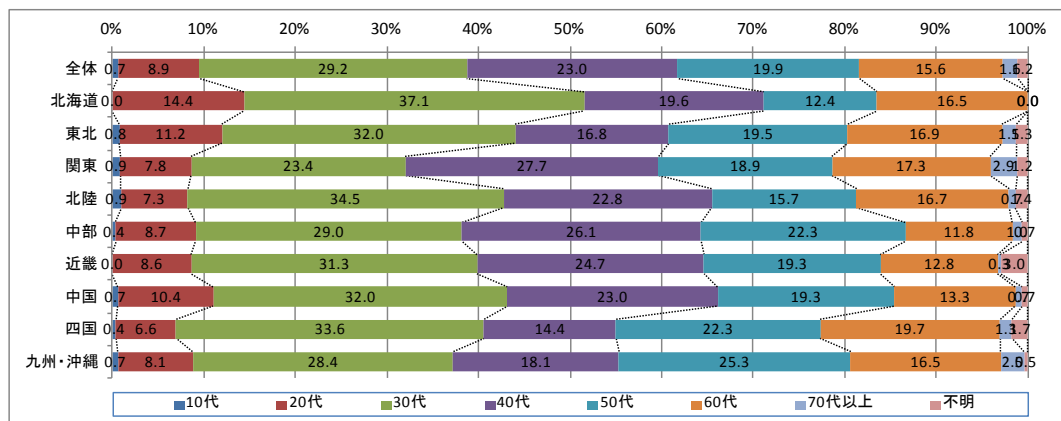


図 3.2.1# 年齢(H26年度)

②性別

地域ごとの性別について、女性の割合が高かったのは北海道（1.8%）、四国（1.5%）、中部（1.0%）であった。

前回調査（H26年度）との比較では、全ての地域で女性の割合に増加がみられた。前回調査では四国では女性は0%であったが、今回調査では1.5%となった。

	合計	(2)性別			
		男	女	不明	
全体	4169	97.6	0.7	1.7	
地域	北海道	55	96.4	1.8	1.8
	東北	738	97.8	0.8	1.4
	関東	961	98.0	0.5	1.5
	北陸	278	97.8	0.7	1.4
	中部	493	97.0	1.0	2.0
	近畿	414	97.8	0.7	1.4
	中国	404	98.0	0.5	1.5
	四国	270	96.3	1.5	2.2
	九州・沖縄	556	97.1	0.5	2.3

表 3.2.2 性別(H27年度) (割合%)

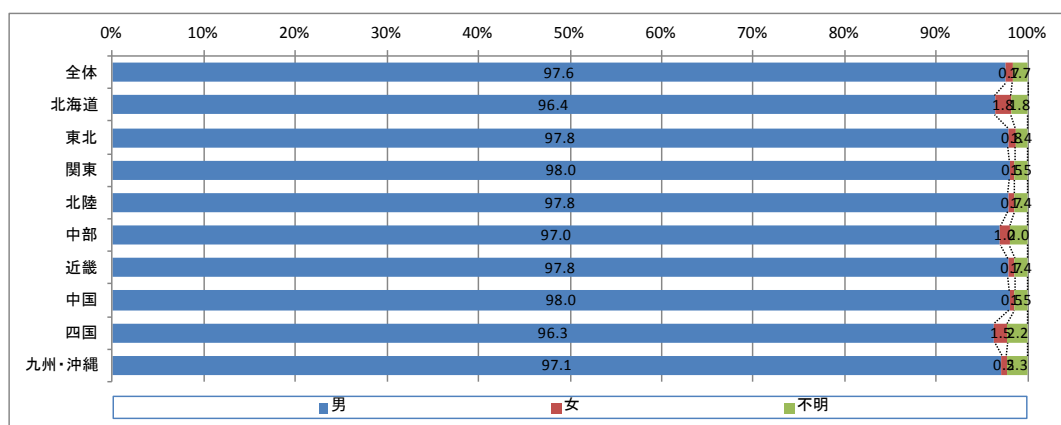


図 3.2.2 性別(H27年度)

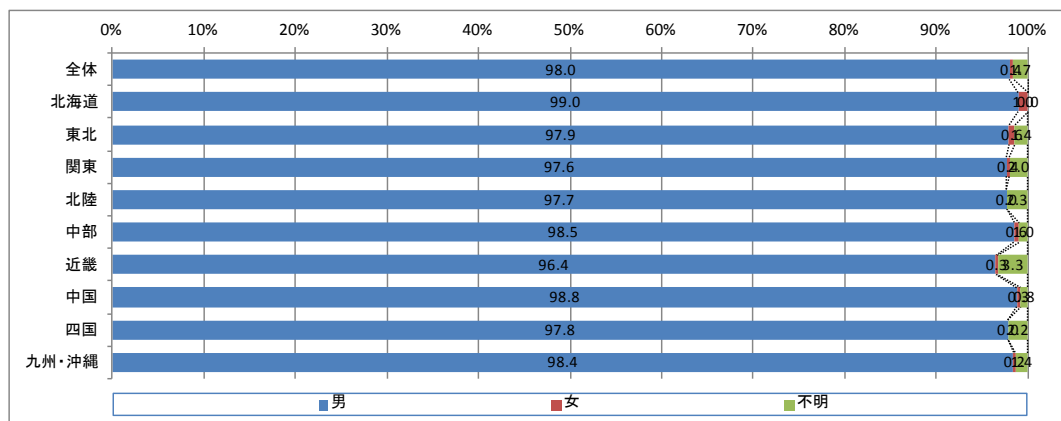


図 3.2.2# 性別(H26年度)

③職種の経験年数

大工の平均経験年数は16.5%であった。

地域毎の平均経験年数では、「九州・沖縄」が17.7年で最も高く、「北海道」が10.8年で最も低い。

前回調査（H26年度）と比較すると、全ての地域で経験年数10年未満の割合が増加している。一方で、経験年数「11～20年」、「41～50年」は大きな減少がみられた。

	合計	(4)職種の経験年数									平均経験年数(年)
		3年未満	3～5年	6～10年	11～20年	21～30年	31～40年	41～50年	51年以上	不明	
全体	4169	9.5	7.7	27.8	21.0	16.6	14.7	2.2	0.6	0.5	16.5
地域											
北海道	55	12.7	18.2	40.0	10.9	12.7	5.5	0.0	0.0	0.0	10.8
東北	738	10.3	8.3	27.6	18.6	17.3	15.9	1.6	0.4	0.8	16.4
関東	961	11.9	6.2	25.6	21.2	15.4	15.0	3.9	0.8	0.4	17.0
北陸	278	10.4	8.3	33.5	19.8	12.9	13.7	0.7	0.7	0.7	15.0
中部	493	8.7	7.1	30.4	20.9	16.0	14.4	1.4	1.0	0.4	16.3
近畿	414	8.2	7.7	27.5	28.3	14.5	12.3	1.4	0.0	0.3	15.5
中国	404	7.9	8.4	31.4	21.0	16.6	12.1	2.0	0.5	1.0	15.8
四国	270	6.7	7.8	23.3	22.6	20.4	16.3	1.9	1.1	0.4	18.0
九州・沖縄	556	7.6	7.9	25.0	19.4	20.0	17.3	2.5	0.4	0.0	17.7

表 3.2.3 職種の経験年数(H27年度) (割合%)

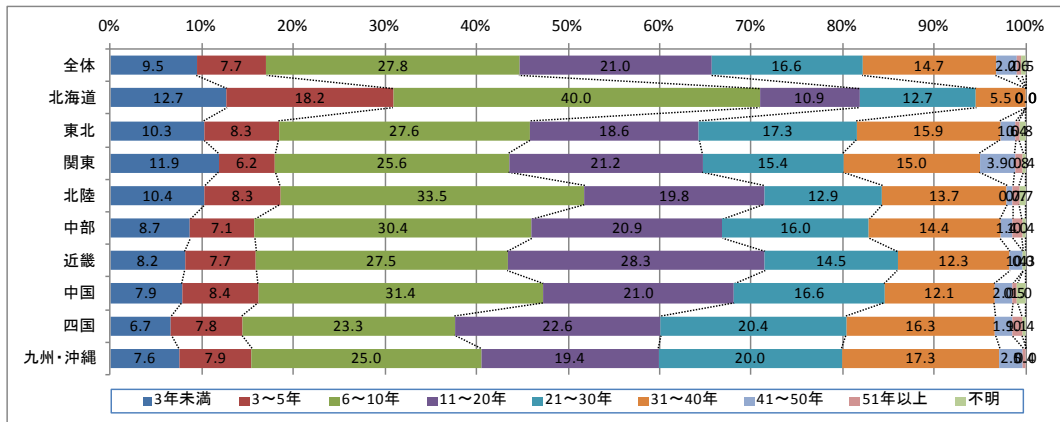


図 3.2.3 職種の経験年数(H27年度)

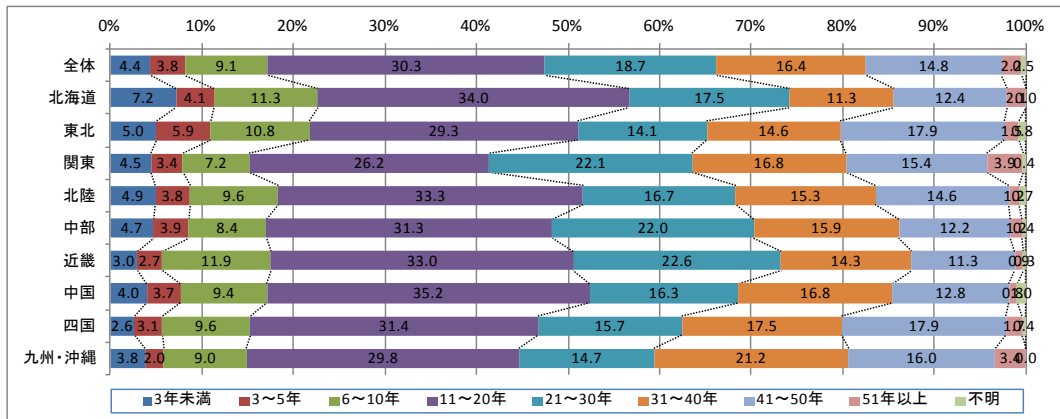


図 3.2.3 職種の経験年数(H26年度)

⑤職種においてベテランだと思いますか。

「ベテラン」と回答した割合が最も多い地域は「近畿」で20.5%。

「ややベテラン」と回答した割合が最も多い地域は「四国」で24.8%。

「中堅」と回答した割合が最も多い地域は「北海道」で38.2%。

「やや中堅」と回答した割合が最も多い地域は「北海道」で20.0%。

「見習い」と回答した割合が最も多い地域は「関東」で12.7%。

前回調査（H26年度）との比較では、全体の割合では大きな変化はみられなかったが、地域毎ではベテラン度合いがそれぞれ増減している。

	合計	(5)あなたのベテラン度合いについて					
		ベテラン	ややベテラン	中堅	やや中堅	見習い	不明
全体	4169	18.8	21.3	35.0	11.4	10.5	2.9
地域							
北海道	55	20.0	14.5	38.2	20.0	7.3	0.0
東北	738	14.5	22.6	36.0	14.2	10.6	2.0
関東	961	19.4	19.3	35.7	10.8	12.7	2.2
北陸	278	18.7	19.4	35.3	13.3	11.2	2.2
中部	493	19.3	22.1	34.3	10.3	11.4	2.6
近畿	414	20.5	21.7	35.7	9.2	9.2	3.6
中国	404	17.8	20.5	33.9	11.9	10.4	5.4
四国	270	18.5	24.8	33.3	10.7	10.0	2.6
九州・沖縄	556	22.8	22.8	33.5	9.5	7.2	4.1

表 3.2.4 職種のベテラン度合(H27年度) (割合%)

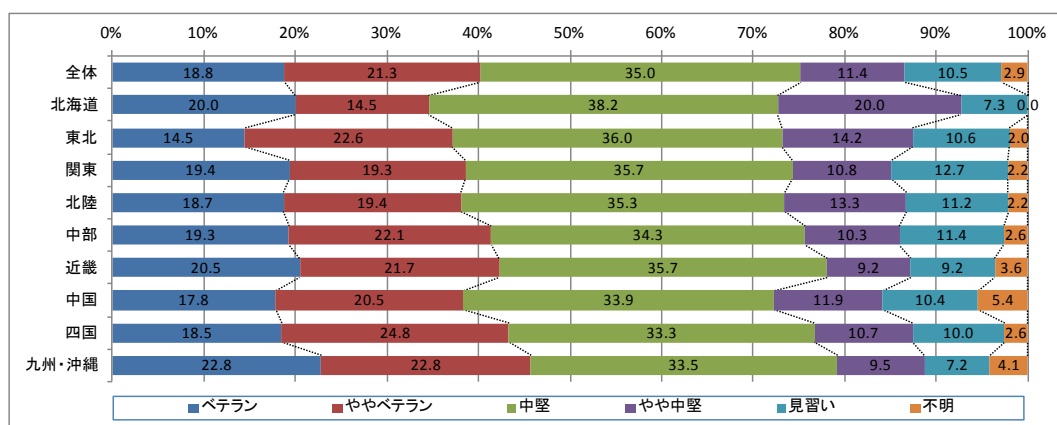


図 3.2.4 職種のベテラン度合(H27年度)

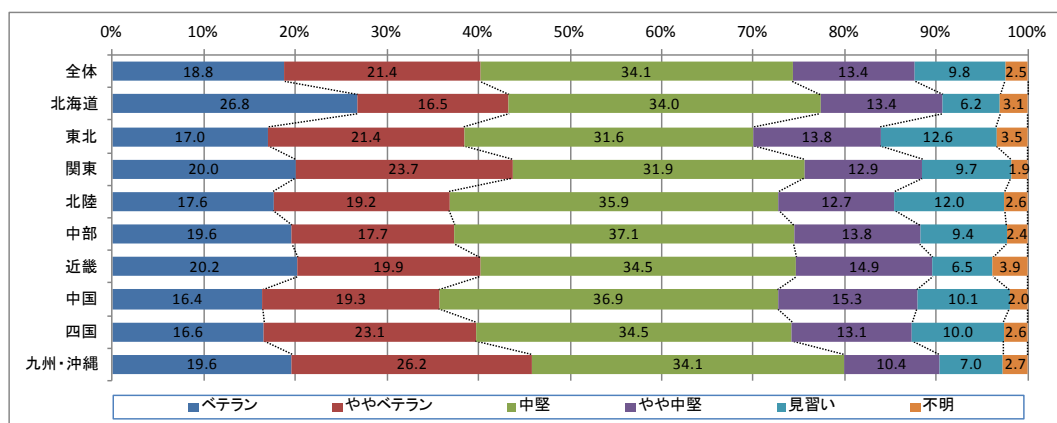


図 3.2.4# 職種のベテラン度合(H26年度)

(2) 雇用形態について

①雇用形態（工務店等との）

「工務店社員」と回答した割合が最も多い地域は「北海道」で61.8%。

「外注常雇（日給制）」と回答した割合が最も多い地域は「四国」で15.2%。

「外注常雇（坪請主体）」と回答した割合が最も多い地域は「関東」で12.8%。

「その都度契約」と回答した割合が最も多い地域は「近畿」、「四国」で4.8%。

「元請として仕事」と回答した割合が最も多い地域は「中部」で40.0%。

「その他（アルバイト等）」と回答した割合が最も多い地域は「中国」で2.5%。

	合計	(6)あなたの雇用形態						
		工務店社員	外注常雇(日給制)	外注常雇(坪請主体)	その都度契約	元請として仕事	その他(アルバイト等)	不明
全体	4169	36.3	11.5	10.0	4.1	33.9	1.4	2.9
地域								
北海道	55	61.8	9.1	5.5	0.0	20.0	0.0	3.6
東北	738	51.4	10.2	6.9	2.6	25.2	0.9	2.8
関東	961	31.8	10.4	12.8	4.3	36.3	1.9	2.5
北陸	278	47.8	6.8	4.7	4.7	33.5	0.7	1.8
中部	493	30.0	10.8	11.8	4.3	40.0	1.0	2.2
近畿	414	28.5	14.0	9.7	4.8	39.9	1.4	1.7
中国	404	35.4	15.1	10.4	4.2	29.7	2.5	2.7
四国	270	21.1	15.2	13.7	4.8	37.8	1.1	6.3
九州・沖縄	556	35.3	12.1	8.6	4.7	34.4	1.1	4.0

表 3.2.5 雇用形態(H27年度) (割合%)

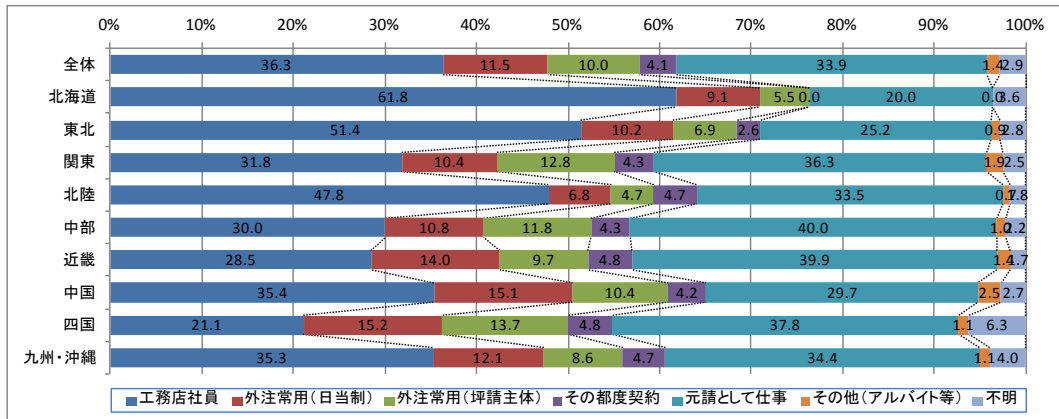


図 3.2.5 雇用形態(H27年度)

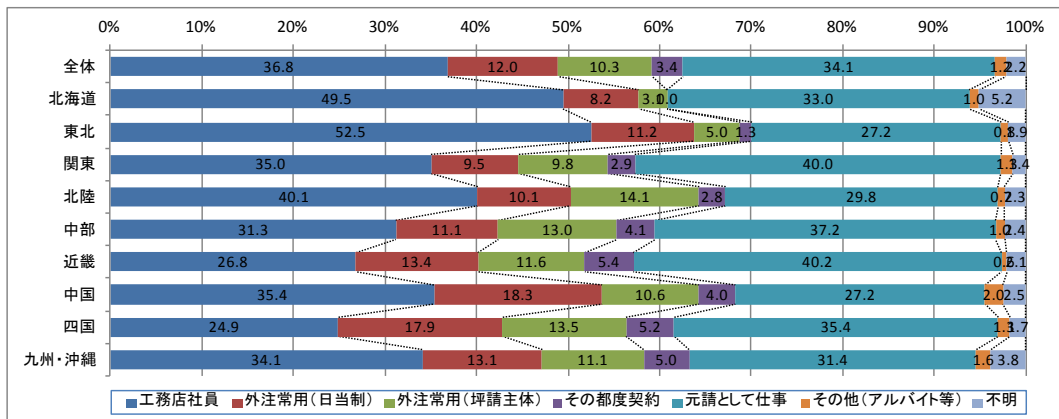


図 3.2.5# 雇用形態(H26年度)

②就業規則

就業規則が「有る」と回答した割合が高い地域は「北海道」で56.4%。

「無い」と回答した割合が高い地域は「四国」で59.3%。

前回調査（H26年度）においても就業規則が有る地域と無い地域は、同様の傾向がみられ、今回調査で大きな変化はみられなかった。

	合計	(7)就業規則		
		有	無	不明
全体	4169	27.0	51.6	21.4
地域				
北海道	55	56.4	29.1	14.5
東北	738	37.9	38.6	23.4
関東	961	23.0	56.1	20.9
北陸	278	34.5	52.5	12.9
中部	493	25.4	56.2	18.5
近畿	414	20.3	58.0	21.7
中国	404	26.7	51.0	22.3
四国	270	15.6	59.3	25.2
九州・沖縄	556	24.6	50.9	24.5

表 3.2.6 就業規則(H27年度) (割合%)

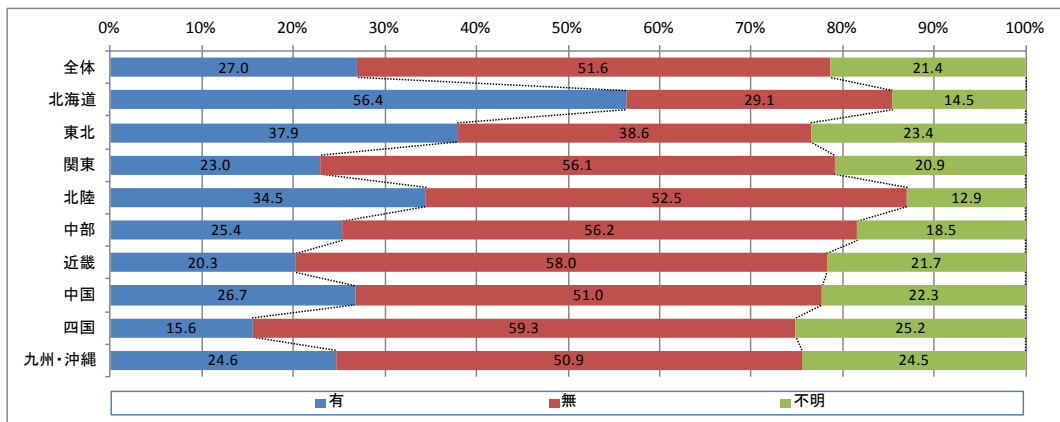


図 3.2.6 就業規則(H27年度)

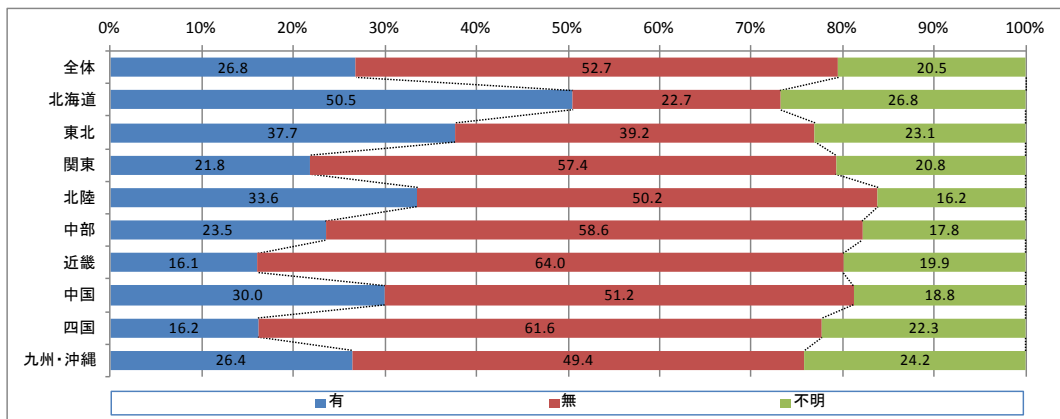


図 3.2.6# 就業規則(H26年度)

③有給休暇

有給休暇が「有る」と回答した割合が高い地域は「北海道」で36.4%。

有給休暇が「無い」と回答した割合が高い地域は「北陸」で70.9%。

前回調査（H26年度）と比較すると有給休暇が「有る」と回答した割合は全般的に増加している。特に「北海道」では27.8%から36.4%に増加している。一方で、「中国」地方では13.8%から9.9%に減少がみられた。

	合計	(8)有給休暇		
		有	無	不明
全体	4169	12.4	63.3	24.3
地域				
北海道	55	36.4	49.1	14.5
東北	738	16.1	58.7	25.2
関東	961	13.3	62.9	23.8
北陸	278	12.6	70.9	16.5
中部	493	11.6	66.1	22.3
近畿	414	8.2	66.4	25.4
中国	404	9.9	65.1	25.0
四国	270	7.0	65.6	27.4
九州・沖縄	556	11.3	60.8	27.9

表 3.2.7 有給休暇(H27年度) (割合%)

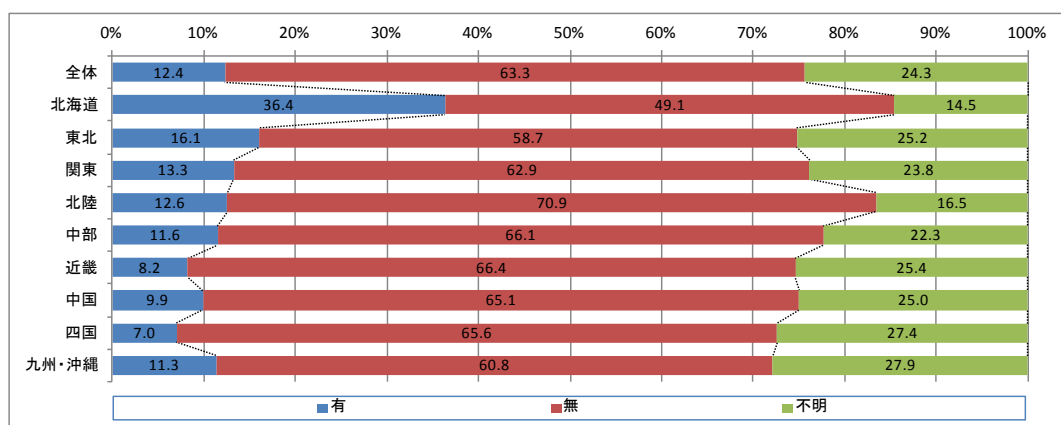


図 3.2.7 有給休暇(H27年度)

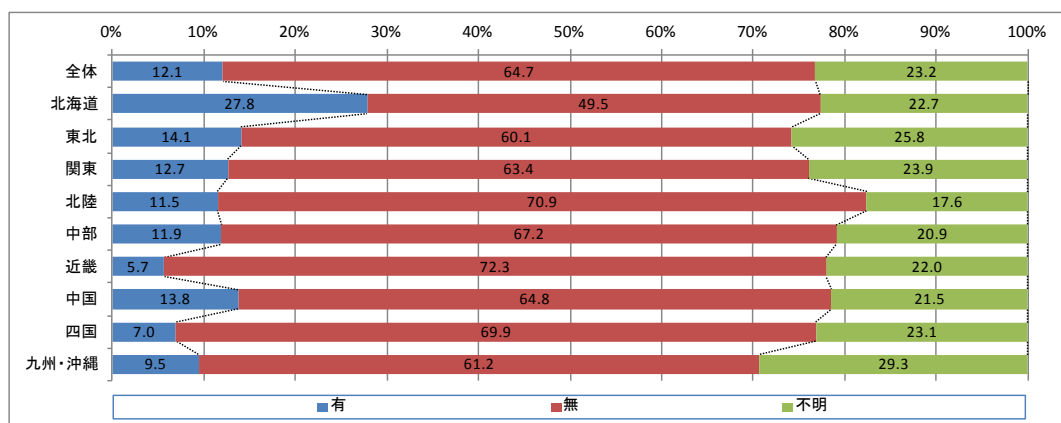


図 3.2.7# 有給休暇(H26年度)

④年間就業日数

平均年間就業日数が最も多い地域は「九州・沖縄」で 274.80 日。

平均年間就業日数が最も少ない地域は「北海道」で 243.90 日。

平均年間就業人数が最も多い地域と少ない地域では 30.9 日の差がみられた。

	合計	(9)年間就業日数							平均
		100日未満	100～150日未満	150～200日未満	200～250日未満	250～300日未満	300日以上	不明	
全体	4169	3.2	0.8	0.7	5.8	20.3	24.5	44.6	264.88
地域									
北海道	55	9.1	0.0	0.0	3.6	16.4	27.3	43.6	243.90
東北	738	2.0	1.2	0.5	7.0	20.5	18.0	50.7	260.75
関東	961	2.8	1.0	0.4	4.8	20.6	25.5	44.8	268.07
北陸	278	3.6	2.9	1.4	8.3	27.3	20.5	36.0	251.50
中部	493	4.7	0.0	0.4	4.7	19.3	26.0	45.0	264.10
近畿	414	5.1	0.7	1.2	5.6	19.1	26.3	42.0	257.83
中国	404	2.0	0.2	0.7	7.4	23.5	27.5	38.6	270.41
四国	270	3.0	0.0	1.1	5.2	18.5	29.3	43.0	267.83
九州・沖縄	556	2.9	0.4	1.1	5.4	17.1	26.1	47.1	274.80

表 3.2.8 年間就業日数(H27 年度) (割合%)

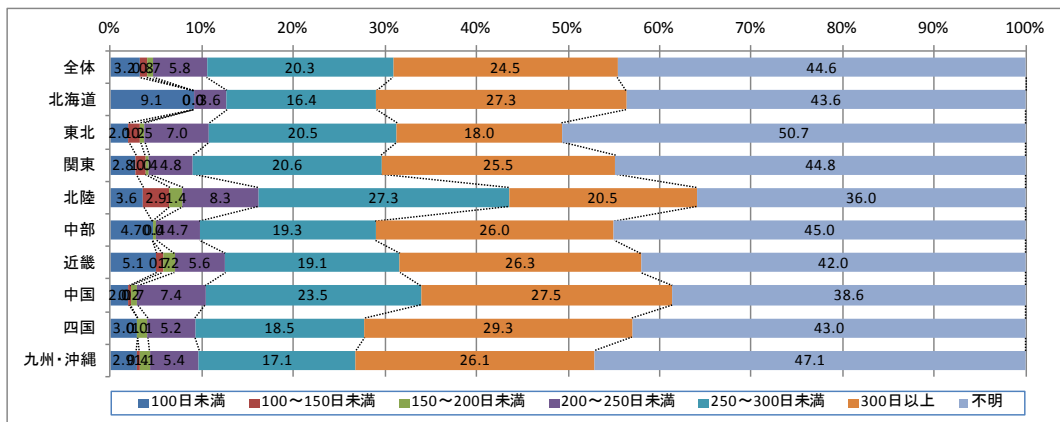


図 3.2.8 年間就業日数(H27 年度)

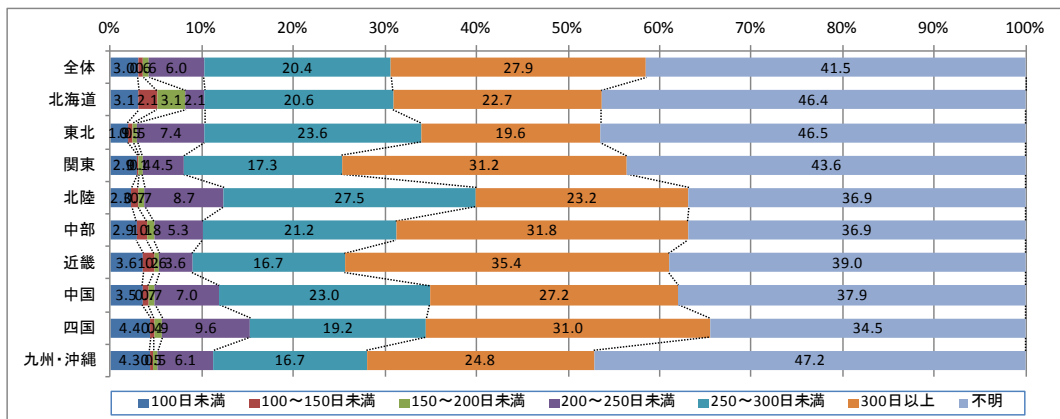


図 3.2.8# 年間就業日数(H26 年度)

⑤保険等について

1) 年金保険

年金保険に加入している割合の合計値が最も高かったのは「北海道」で94.5%。最も低い地域は「四国」で82.6%だった。

厚生年金に加入している割合が最も高かったのは「北海道」で63.6%。

国民年金に加入している割合が最も高かったのは「四国」で63.7%。

	合計	(10-1)加入している年金				
		厚生年金	国民年金	企業年金	不明	
全体	4169	29.7	55.9	1.2	15.0	
地域	北海道	55	63.6	30.9	0.0	10.9
	東北	738	34.4	51.2	1.1	15.0
	関東	961	28.0	56.2	1.5	15.8
	北陸	278	37.1	57.2	0.4	8.3
	中部	493	27.4	57.0	1.6	15.0
	近畿	414	22.7	60.1	2.9	16.2
	中国	404	35.4	54.5	0.7	11.9
	四国	270	18.9	63.7	0.0	18.5
	九州・沖縄	556	27.9	56.8	1.1	16.9

表 3.2.9 年金保険(H27年度) (割合%)

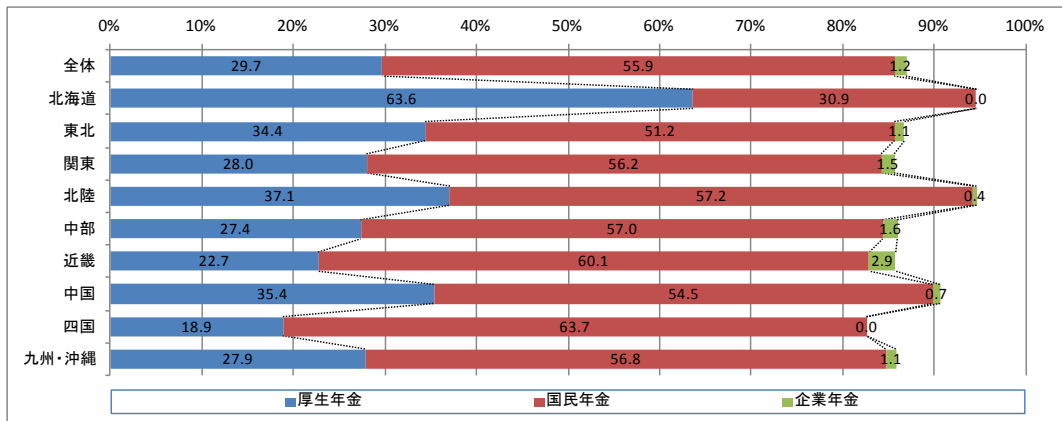


図 3.2.9 年金保険(H27年度)

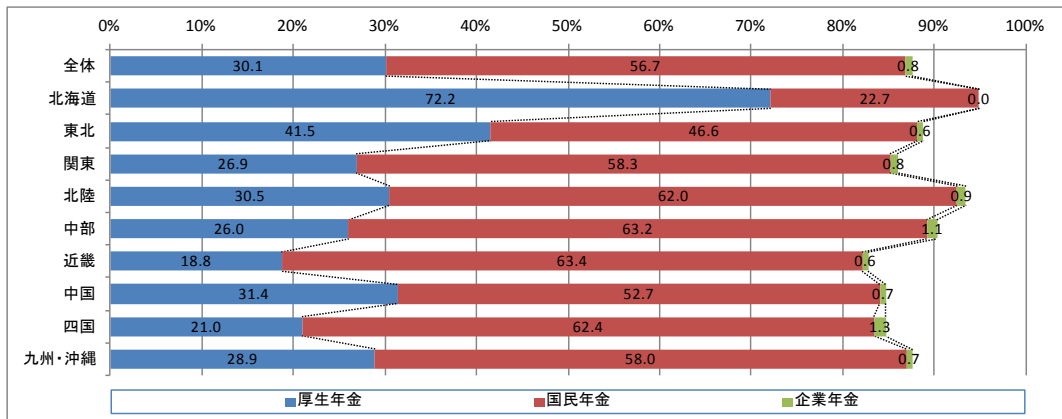


図 3.2.9# 年金保険(H26年度)

2) 労働保険

雇用保険に加入している割合が最も高かった地域は「北海道」で47.3%。

労災保険および一人親方労災保険に加入している割合が最も高かった地域は「四国」で69.2%。最も低かった地域は「北海道」で47.3%。

「労災保険」に加入している割合が高かった地域は「関東」で37.5%。

「一人親方労災保険」に加入している割合が高かった地域は「四国」で38.1%。

	合計	(10-2)加入している労働保険			
		雇用保 険	労災保 険	一人親 方労災 保険	不明
全体	4169	19.2	35.0	27.3	29.8
地域					
北海道	55	47.3	36.4	10.9	18.2
東北	738	34.0	35.5	15.9	30.8
関東	961	12.2	37.5	30.6	29.1
北陸	278	28.8	37.4	23.4	23.0
中部	493	14.0	31.2	34.9	28.6
近畿	414	10.9	36.0	30.7	32.9
中国	404	22.0	32.4	32.4	23.0
四国	270	9.3	31.1	38.1	29.3
九州・沖縄	556	17.8	34.9	21.9	38.1

表 3.2.10 労働保険(H27年度) (割合%)

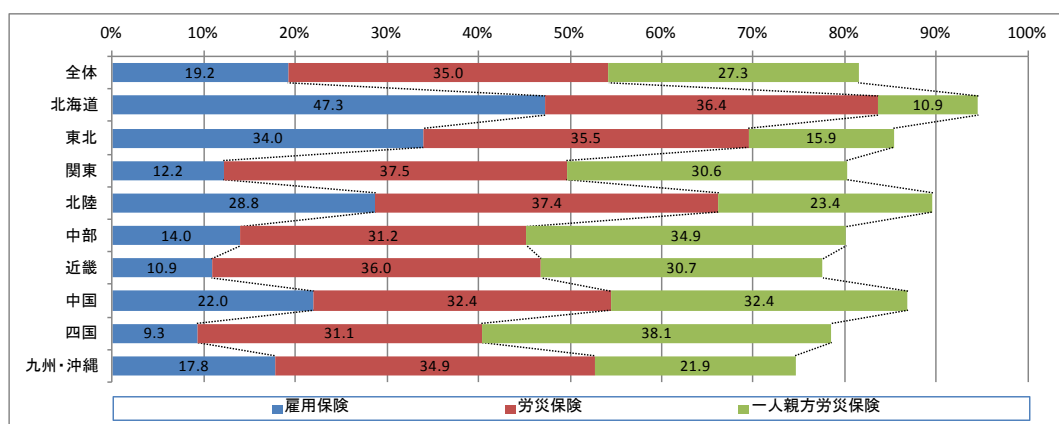


図 3.2.10 労働保険(H27年度)

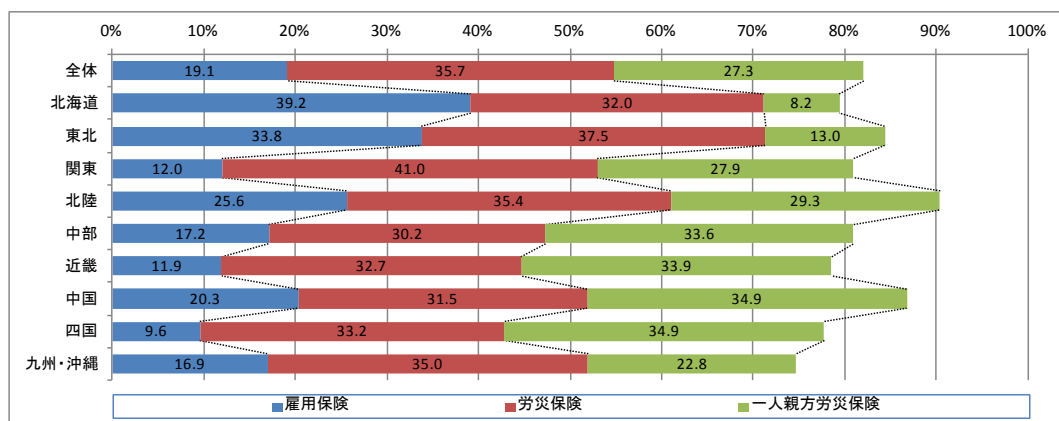


図 3.2.10# 労働保険(H26年度)

3) 健康保険

健康保険に加入していると回答した割合の合計値が最も高かったのは「中国」で81.7%。最も低かったのは「九州・沖縄」で65.4%。

「国民健康保険」の加入している割合が最も高かったのは、「東北」で34.0%。

「組合健康保険（建設国保）」の割合が最も高かったのは「中国」で60.1%。

「組合健康保険（建設国保以外）」の割合が最も高かったのは「中国」で3.5%。

「その他の健康保険」の割合が最も高かったのは「北海道」で5.5%。

	合計	(10-3)加入している健康保険				
		国民健康保険	組合健康保険 (建設国保)	組合健康保険 (建設国保以外)	その他の健康保険	不明
全体	4169	29.0	40.0	2.5	3.1	26.0
地域						
北海道	55	29.1	38.2	1.8	5.5	25.5
東北	738	34.0	28.7	2.4	4.5	30.6
関東	961	33.2	37.6	2.7	2.6	24.7
北陸	278	22.7	52.2	3.2	2.5	20.5
中部	493	26.8	43.0	1.4	3.0	26.2
近畿	414	30.2	46.6	3.1	1.2	19.1
中国	404	15.1	60.1	3.5	3.0	18.8
四国	270	29.3	40.7	3.0	2.6	25.2
九州・沖縄	556	29.1	30.4	1.8	4.1	35.3

表 3.2.11 健康保険(H27年度) (割合%)

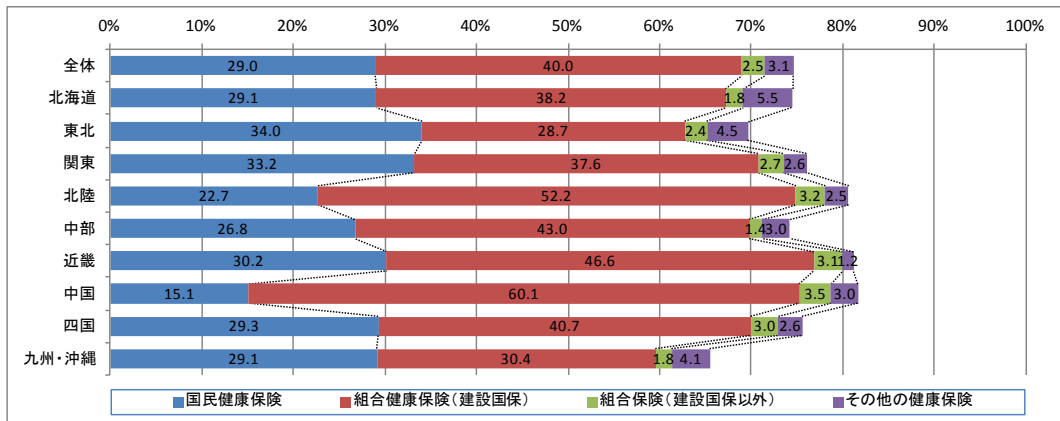


図 3.2.11 健康保険(H27年度)

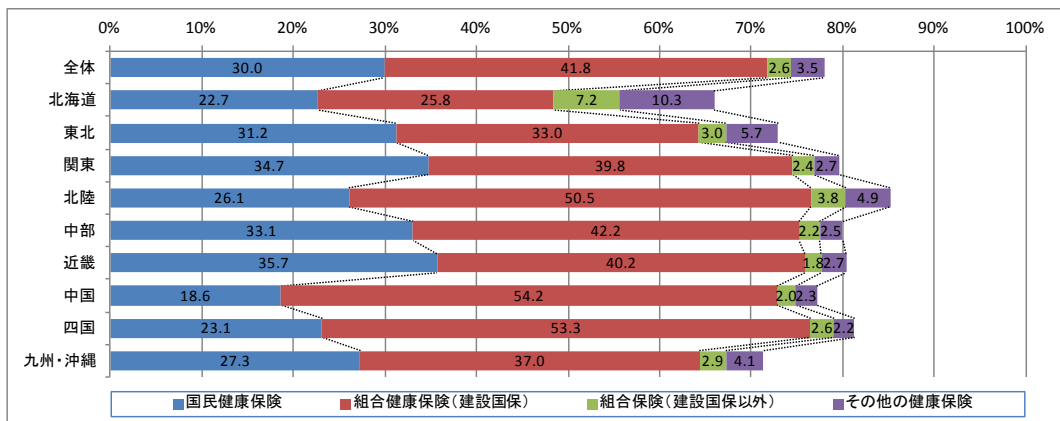


図 3.2.11 # 健康保険(H26年度)

⑥賃金の中に含まれ、自己負担となっているもの

自己負担の割合の合計が最も高かった地域は「四国」で 301.9%。

自己負担の割合の合計が最も低かった地域は「北海道」で 225.5%。

「全て所属する工務店等が負担」と回答した割合が最も高かった地域は「関東」で 22.6%、最も低かった地域は「東北」で 9.2%であった。

	合計	(11)自己負担となっているもの						
		手道具	電動工具	クギ金物	車(保険含む)	ガソリン	全て所属する工務店等が負担	不明
全体	4169	70.2	63.8	22.1	51.3	50.9	15.0	8.6
地域								
北海道	55	61.8	58.2	5.5	54.5	45.5	21.8	5.5
東北	738	76.7	67.5	11.8	50.1	49.7	9.2	7.0
関東	961	63.8	58.1	25.0	48.2	47.1	22.6	8.9
北陸	278	74.5	68.7	18.0	52.2	49.3	10.1	5.0
中部	493	70.0	64.3	27.0	54.8	55.2	14.0	8.3
近畿	414	69.3	62.8	27.3	51.7	50.2	17.4	7.7
中国	404	72.5	67.1	24.8	54.0	53.2	15.1	6.9
四国	270	73.7	70.4	31.5	61.5	64.8	11.5	9.6
九州・沖縄	556	68.9	61.3	20.1	47.3	48.4	11.9	13.7

表 3.2.12 自己負担となっているもの(H27年度) (割合%)

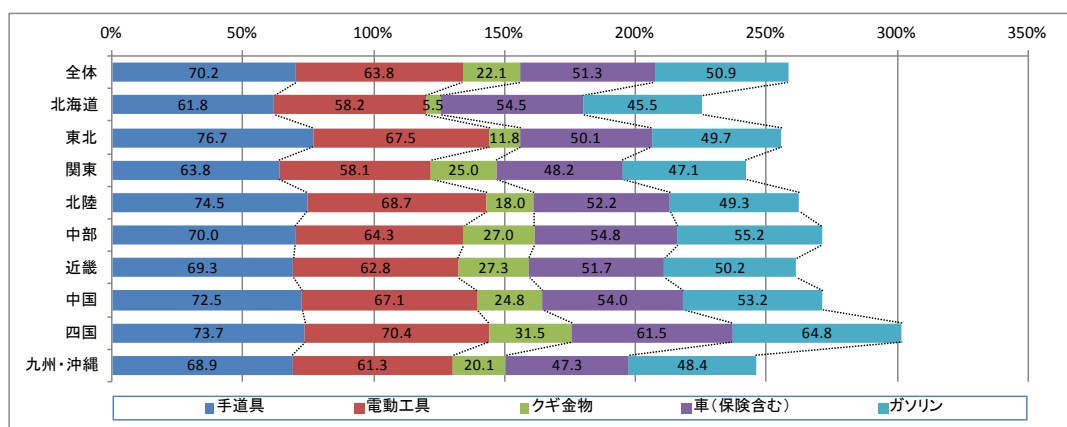


図 3.2.12 自己負担となっているもの(H27年度)

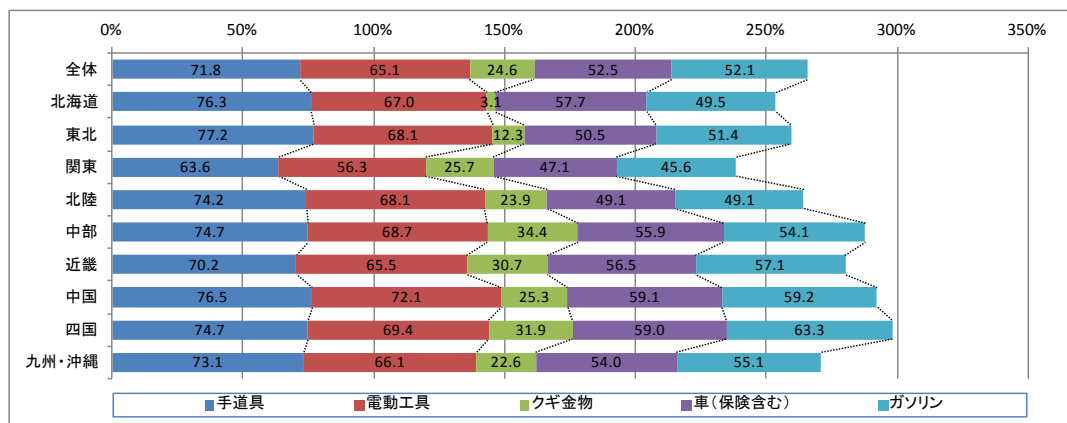


図 3.2.12# 自己負担となっているもの(H26年度)

⑦おおよその賃金（諸経費が含まれた1日あたりの平均単価）

平均賃金が最も高かった地域は「近畿」で16,514.0円。

平均賃金が最も低かった地域は「東北」で12,780.6円。

前回調査（H26年度）においても各地域の賃金毎の割合は同様の結果であり、今回調査での大きな変化はみられなかった。

	合計	(12)1日あたりのおおよその賃金							平均賃金
		8,000円未満	8,000～10,000円未満	10,000～15,000円未満	15,000～20,000円未満	20,000～25,000円未満	25,000円以上	不明	
全体	4169	5.4	8.0	37.3	34.3	7.9	2.1	5.1	14863.6
地域									
北海道	55	3.6	10.9	50.9	23.6	1.8	0.0	9.1	13400
東北	738	5.7	13.4	59.3	13.8	2.2	0.7	4.9	12780.6
関東	961	5.7	7.2	22.2	41.0	15.3	3.3	5.3	16182.4
北陸	278	6.8	9.0	41.0	33.8	5.0	1.4	2.9	14303.7
中部	493	4.3	5.9	26.2	46.0	10.5	2.4	4.7	15923.4
近畿	414	4.6	5.1	19.1	50.0	12.3	3.6	5.3	16514
中国	404	4.2	6.9	31.4	43.1	7.4	2.7	4.2	15427.6
四国	270	5.6	6.7	50.4	28.5	1.9	1.1	5.9	13846.5
九州・沖縄	556	6.3	6.7	52.2	25.4	2.2	1.1	6.3	13676.6

表 3.2.13 1日あたりのおおよその賃金(H27年度) (割合%)

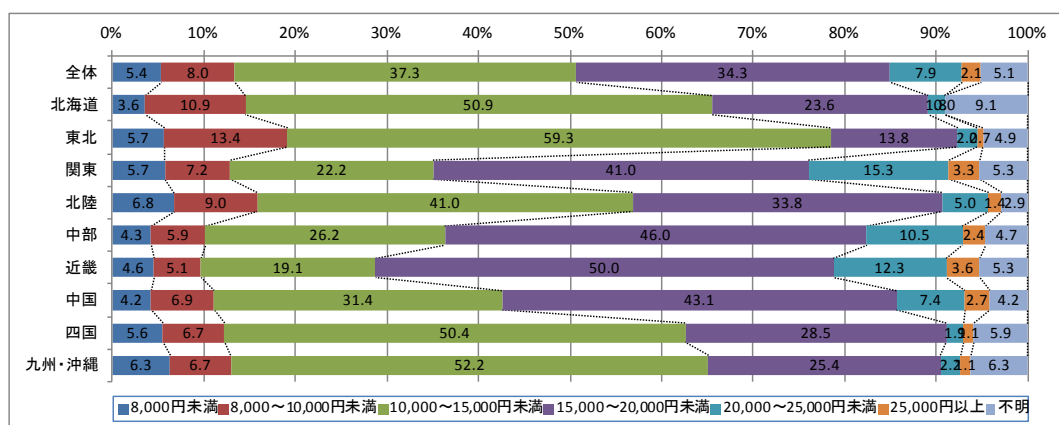


図 3.2.13 1日あたりのおおよその賃金(H27年度)

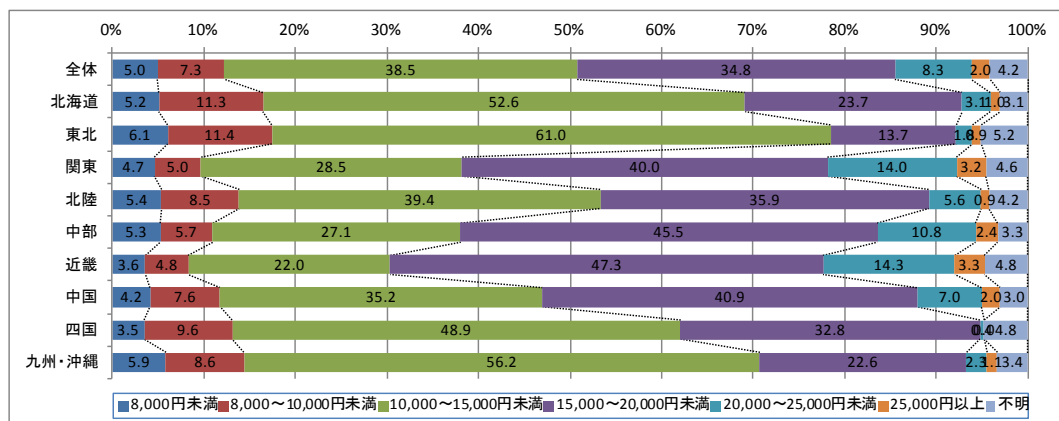


図 3.2.13# 1日あたりのおおよその賃金(H26年度)

(3) 資格や技能について

①持っている資格

持っている資格の割合の合計値が最も高かった地域は「北陸」で321.6%。

持っている資格の割合の合計値が最も低かった地域は「四国」で214.8%。

「北海道」では、他地域と比較して「クレーン運転技能講習修了者」の割合が高い。

	合計	(13)お持ちの資格														
		1級建築士	2級建築士	木造建築士	1級建築施工管理技士	2級建築施工管理技士	建築大工技能士(1級・2級)	枠組壁建築技能士	職業訓練指導員	増改築相談員	足場の組立て等作業主任者	木造建築物組立て作業主任者	玉掛け技能講習修了者	クレーン運転技能講習修了者	木材加工用機械作業主任者	不明
全体	4169	4.9	31.8	3.0	4.6	15.2	21.6	2.3	10.5	8.8	36.2	40.1	43.0	18.2	10.5	18.7
地域																
北海道	55	1.8	23.6	1.8	10.9	25.5	27.3	3.6	14.5	9.1	40.0	45.5	41.8	30.9	12.7	18.2
東北	738	2.7	30.2	2.8	5.1	16.5	29.4	1.4	16.8	7.6	36.9	46.5	48.6	23.8	8.7	16.1
関東	961	5.6	30.0	2.0	2.8	12.7	16.8	1.6	8.4	13.4	32.3	33.2	33.2	15.9	8.9	21.6
北陸	278	4.7	38.1	2.9	4.7	12.2	32.0	1.4	13.7	9.0	42.4	51.1	64.4	19.1	25.9	10.4
中部	493	5.3	28.0	4.1	4.3	11.6	26.6	2.4	15.6	9.5	41.2	45.2	51.5	20.3	17.0	17.2
近畿	414	7.7	32.6	3.9	6.0	15.2	14.5	3.4	5.6	7.5	35.3	37.2	37.2	12.1	13.5	22.7
中国	404	3.2	33.2	4.2	4.7	15.8	19.3	2.2	7.2	7.2	43.3	49.8	53.7	22.8	9.4	15.1
四国	270	6.7	35.6	3.7	4.8	12.6	9.3	2.2	1.5	3.7	35.2	38.1	41.1	14.8	5.6	20.7
九州・沖縄	556	5.2	34.7	2.3	5.0	22.1	22.1	4.1	9.9	6.5	30.6	28.8	31.5	14.0	2.9	21.0

表 3.2.14 持っている資格(H27年度) (割合%)

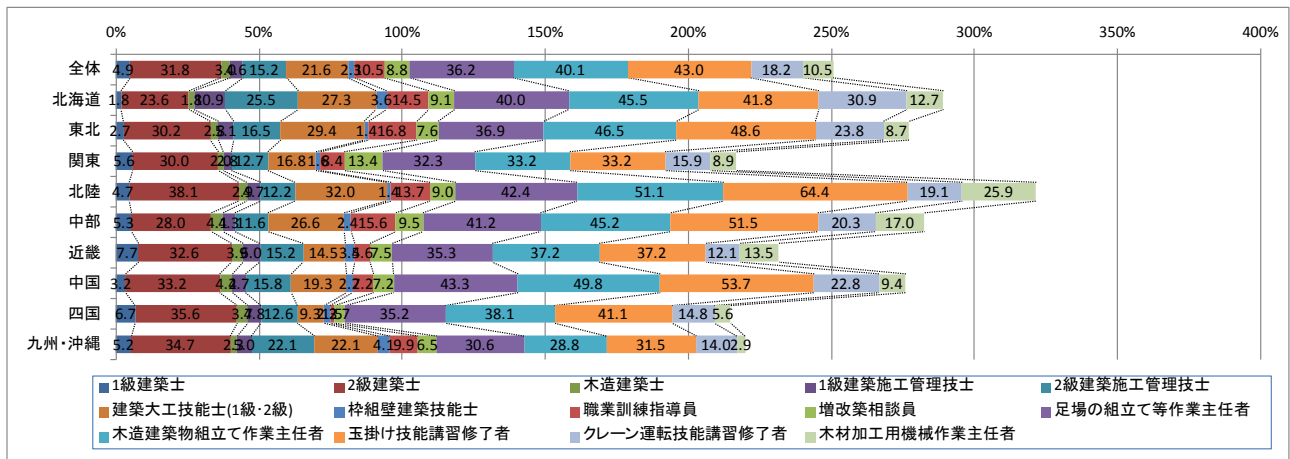


図 3.2.14 持っている資格(H27年度)

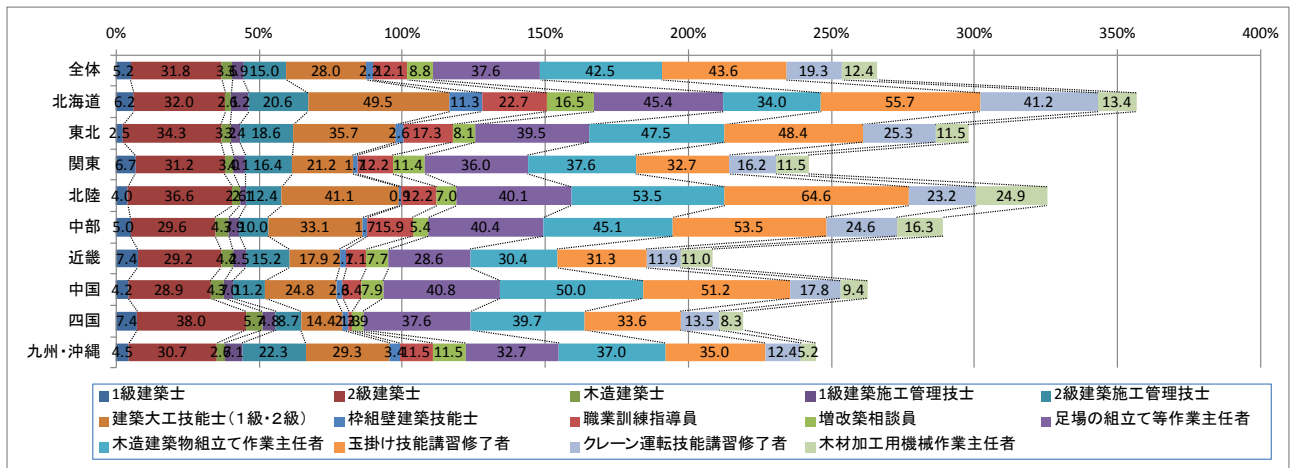


図 3.2.14# 持っている資格(H26年度)

②大工職のみ回答 墨付けができますか。

墨付けについて「はい」と回答した割合が最も高かった地域は、「中国」で76.7%。

墨付けについて「いいえ」と回答した割合が最も高かった地域は、「北海道」で21.8%。

	合計	(14)①墨付けができますか		
		はい	いいえ	不明
全体	4169	71.6	14.6	13.8
地域				
北海道	55	52.7	21.8	25.5
東北	738	72.4	15.2	12.5
関東	961	69.8	16.9	13.3
北陸	278	74.8	15.5	9.7
中部	493	75.7	11.8	12.6
近畿	414	69.3	12.8	17.9
中国	404	76.7	14.9	8.4
四国	270	69.3	15.2	15.6
九州・沖縄	556	69.2	12.2	18.5

表 3.2.15 墨付け(H27年度) (割合%)

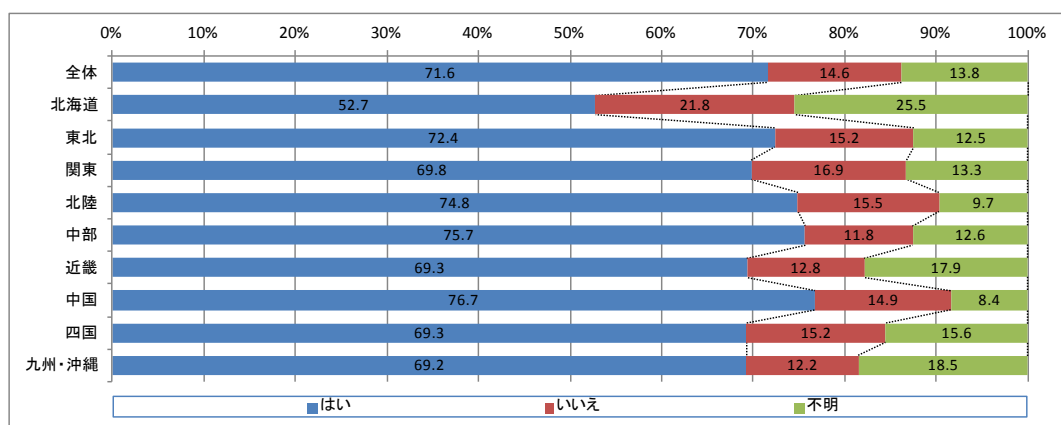


図 3.2.15 墨付け(H27年度)

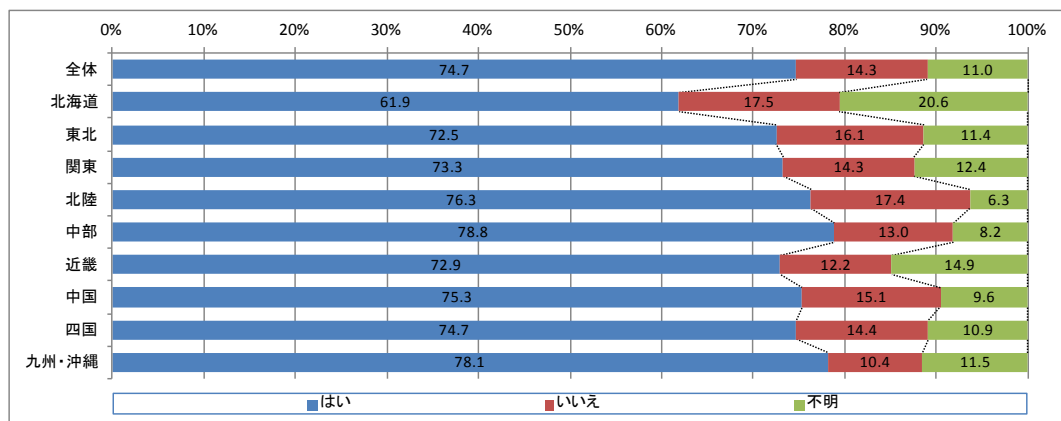


図 3.2.15# 墨付け(H26年度)

③大工職のみ回答 今でも手刻み加工の仕事を年1棟以上行っていますか。(新築)

新築の手刻み加工の仕事について「はい」と回答した割合が最も高かった地域は「東北」で28.9%。

「いいえ」と回答した割合が最も高かった地域は「中国」で65.6%。

各地域で約5割以上が新築の手刻み加工について「いいえ」と回答している。

	合計	(14)②新築の手刻み加工の仕事 を年1棟以上行っていますか		
		はい	いいえ	不明
全体	4169	23.9	60.5	15.6
地域				
北海道	55	12.7	61.8	25.5
東北	738	28.9	57.6	13.6
関東	961	18.3	65.5	16.2
北陸	278	26.6	63.3	10.1
中部	493	27.2	59.8	13.0
近畿	414	23.7	56.0	20.3
中国	404	25.0	65.6	9.4
四国	270	20.4	61.5	18.1
九州・沖縄	556	25.0	54.0	21.0

表 3.2.16 手刻み加工の仕事（新築）（H27年度）（割合%）

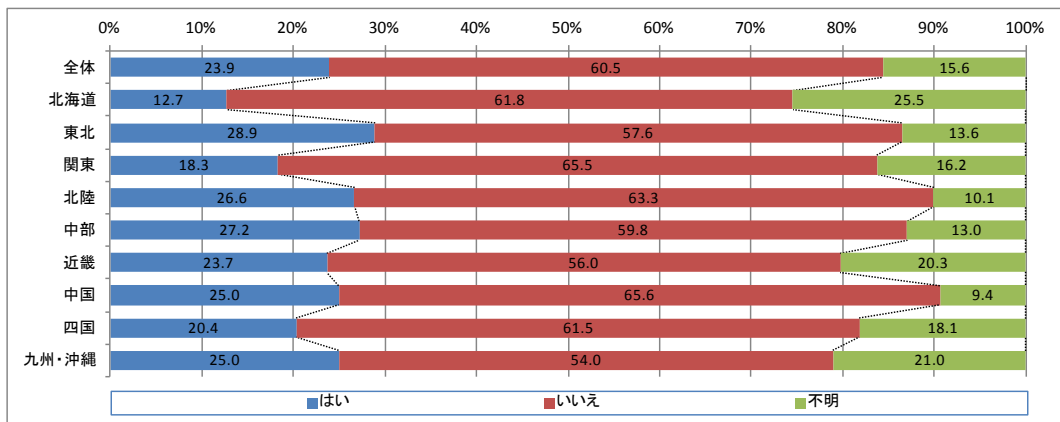


図 3.2.16 手刻み加工の仕事（新築）（H27年度）

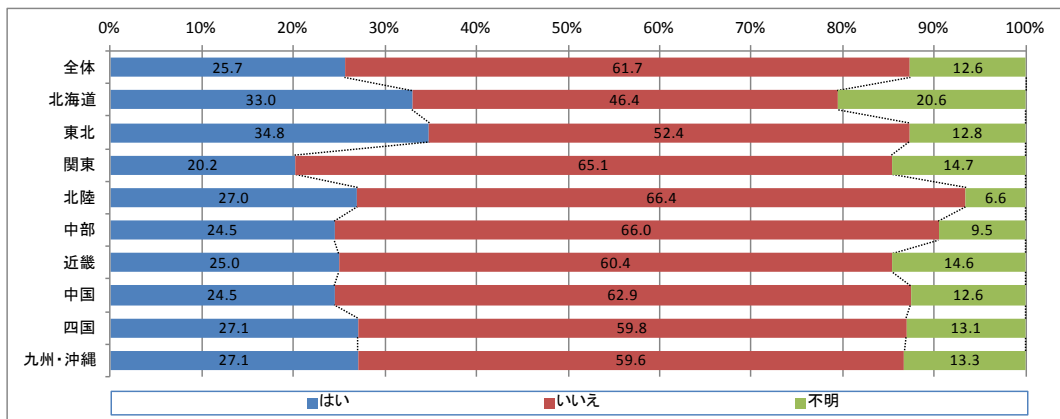


図 3.2.16# 手刻み加工の仕事（新築）（H26年度）

④大工職のみ回答 今でも手刻み加工の仕事を年1棟以上行っていますか。(増改築)

増改築の手刻み加工の仕事について「はい」と回答した割合が最も高かった地域は「近畿」で51.9%。

「いいえ」と回答した割合が最も高かった地域は「北海道」で45.5%。

「北海道」を除いて、全国的に増改築の手刻み加工の仕事は約4割以上が行っている。

前回調査（H26年度）においても、ほぼ同様の結果であった。

	合計	(14)③増改築の手刻み加工の仕事を年1棟以上行っていますか		
		はい	いいえ	不明
全体	4169	47.1	37.8	15.2
地域				
北海道	55	29.1	45.5	25.5
東北	738	51.8	34.6	13.7
関東	961	41.5	43.2	15.3
北陸	278	51.1	38.8	10.1
中部	493	44.2	42.6	13.2
近畿	414	51.9	28.7	19.3
中国	404	49.8	40.6	9.7
四国	270	43.3	40.4	16.3
九州・沖縄	556	49.1	30.4	20.5

表 3.2.17 手刻み加工の仕事（増改築）（H27年度）（割合%）

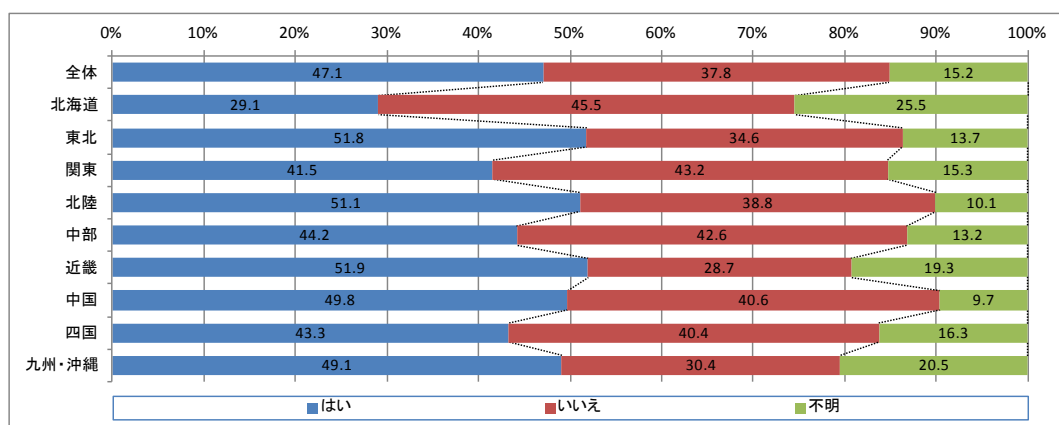


図 3.2.17 手刻み加工の仕事（増改築）（H27年度）

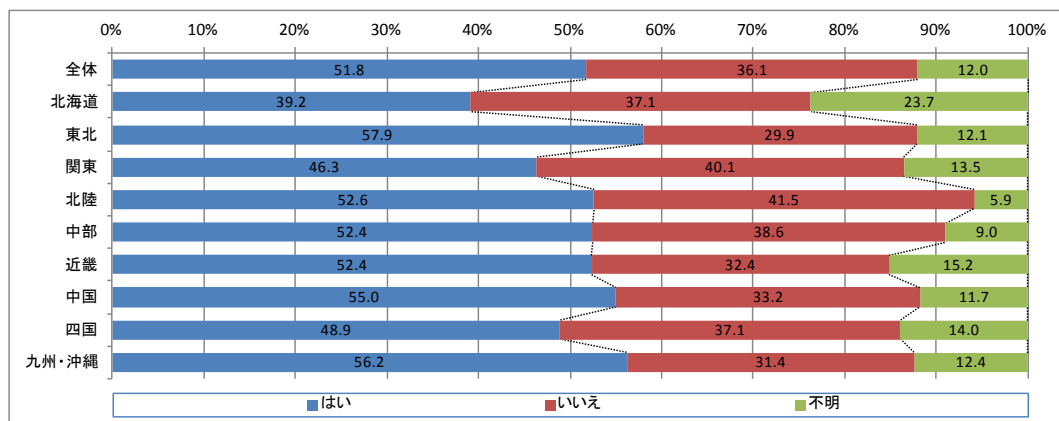


図 3.2.17# 手刻み加工の仕事（増改築）（H26年度）

⑤大工職のみ回答 和室造作ができますか。

和室造作について「はい」と回答した割合が最も高かった地域は「中国」で75.0%。

「いいえ」と回答した割合が最も高かった地域は「北海道」で30.9%。

	合計	(14)④和室造作ができますか		
		はい	いいえ	不明
全体	4169	66.4	18.8	14.8
地域				
北海道	55	40.0	30.9	29.1
東北	738	62.7	23.8	13.4
関東	961	62.4	22.9	14.7
北陸	278	70.9	18.3	10.8
中部	493	72.8	14.8	12.4
近畿	414	66.4	13.8	19.8
中国	404	75.0	16.6	8.4
四国	270	69.3	14.4	16.3
九州・沖縄	556	65.3	14.9	19.8

表 3.2.18 和室造作(H27年度) (割合%)

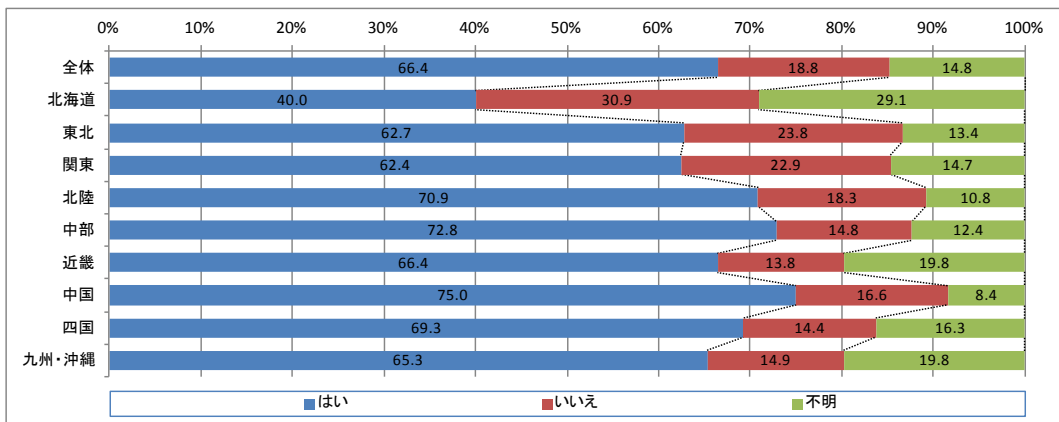


図 3.2.18 和室造作(H27年度)

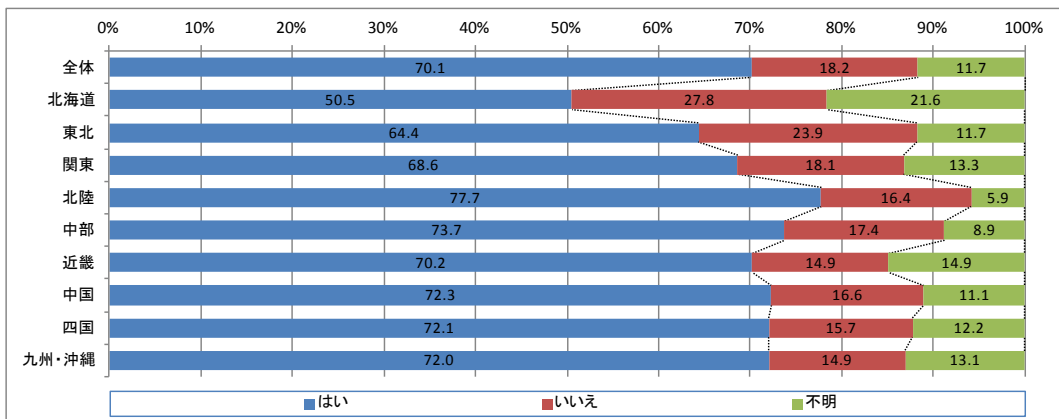


図 3.2.18# 和室造作(H26年度)

⑥大工職のみ回答 2×4 工法の住宅の施工ができますか。

2×4 工法の住宅の施工について「はい」と回答した割合が最も高かった地域は「北海道」で 40.0%。

「いいえ」と回答した割合が最も高かった地域は「北陸」で 65.1%。

	合計	(14)⑤2×4工法の住宅の施工ができますか		
		はい	いいえ	不明
全体	4169	26.1	58.3	15.6
地域				
北海道	55	40.0	34.5	25.5
東北	738	28.9	56.4	14.8
関東	961	23.7	60.8	15.5
北陸	278	24.5	65.1	10.4
中部	493	28.4	58.2	13.4
近畿	414	25.6	54.8	19.6
中国	404	28.0	62.1	9.9
四国	270	29.3	55.6	15.2
九州・沖縄	556	21.6	56.7	21.8

表 3.2.19 2×4 工法の住宅の施工(H27 年度) (割合%)

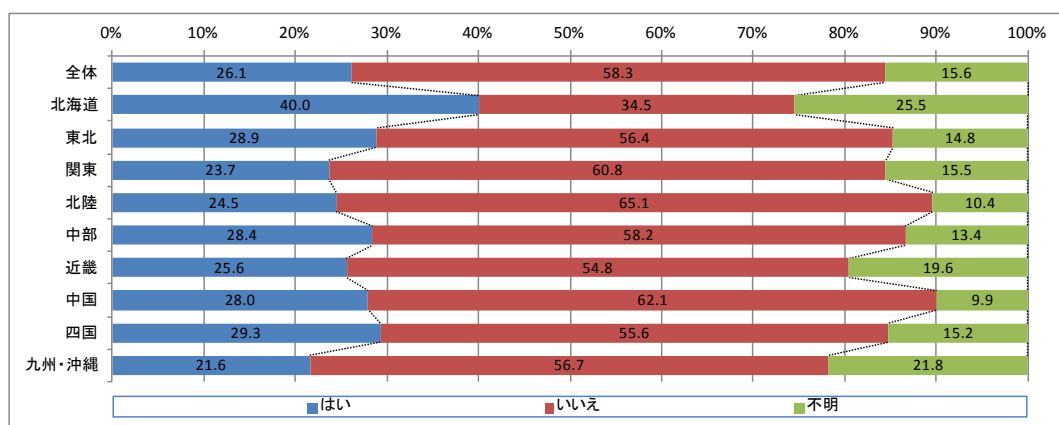


図 3.2.19 2×4 工法の住宅の施工(H27 年度)

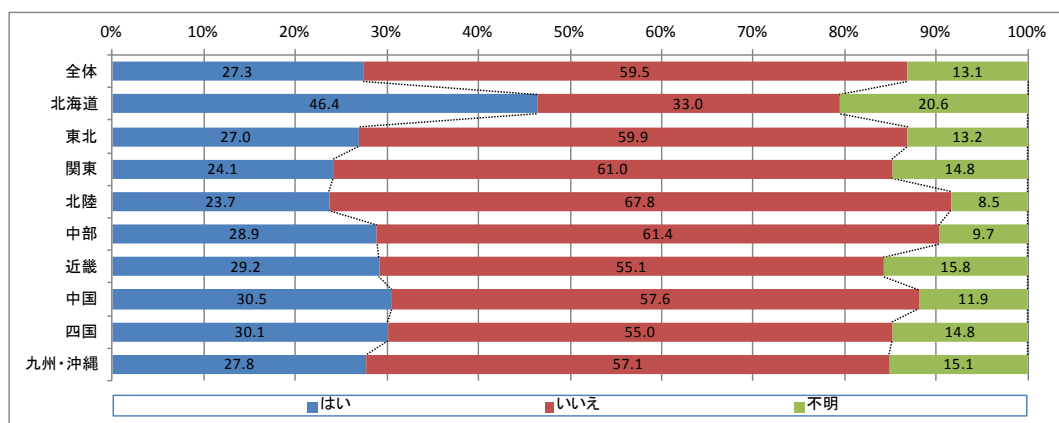


図 3.2.19# 2×4 工法の住宅の施工(H26 年度)

(4) 仕事に対する満足度や今後の意向について

①現在の仕事の内容について満足していますか。

「とても満足している」、「まあ満足している」を合計した「満足している」割合が最も高かった地域は「北海道」で69.1%。

「あまり満足していない」、「満足していない」を合計した「満足していない」割合が最も高かった地域は「北陸」で33.8%。

	合計	(15)現在の仕事の内容について満足度				
		とても満足している	まあ満足している	あまり満足していない	満足していない	不明
全体	4169	10.3	50.7	23.2	5.4	10.3
地域						
北海道	55	12.7	56.4	10.9	9.1	10.9
東北	738	10.0	53.3	22.5	5.4	8.8
関東	961	9.5	50.5	22.7	6.0	11.3
北陸	278	9.0	50.4	28.1	5.8	6.8
中部	493	12.4	50.5	23.5	4.9	8.7
近畿	414	10.4	45.7	26.6	3.9	13.5
中国	404	11.6	52.2	23.0	6.2	6.9
四国	270	8.9	46.3	24.1	8.5	12.2
九州・沖縄	556	10.3	52.5	20.9	3.6	12.8

表 3.2.20 仕事の内容についての満足度(H27年度) (割合%)

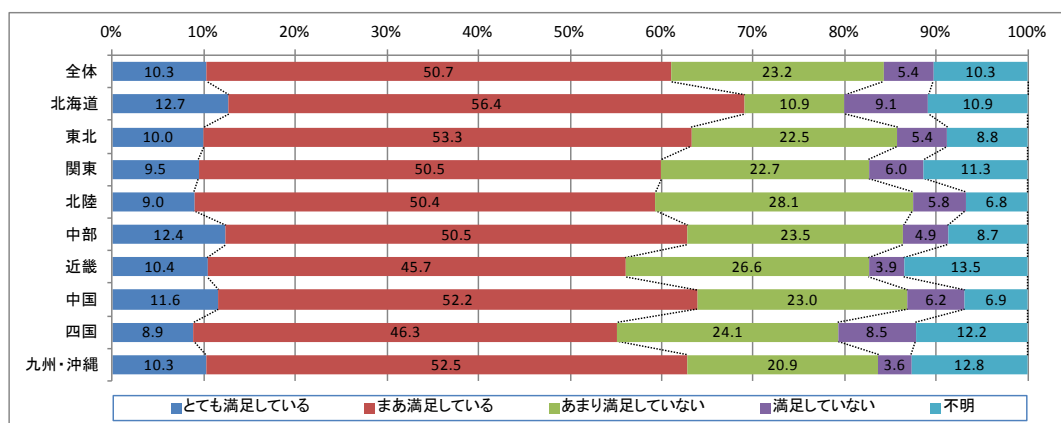


図 3.2.20 仕事の内容についての満足度(H27年度)

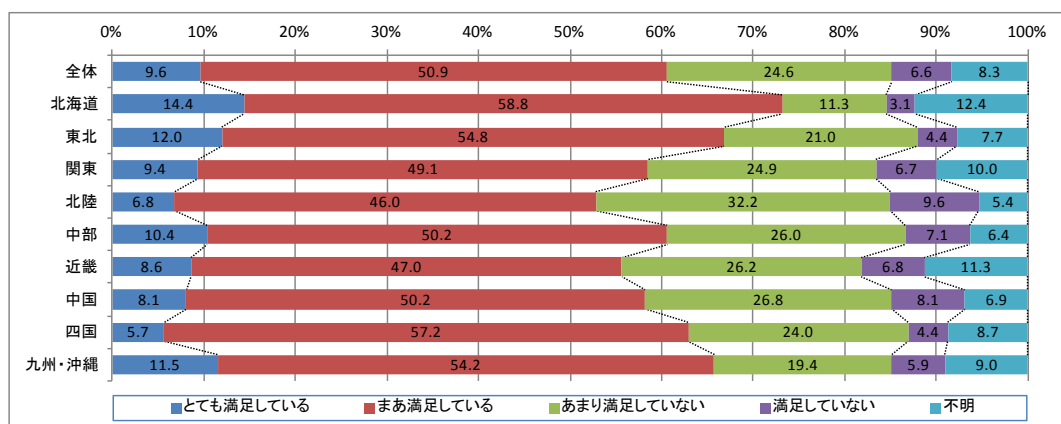


図 3.2.20# 仕事の内容についての満足度(H26年度)

②現在の仕事で得られる収入等について満足していますか。

「とても満足している」、「まあ満足している」を合計した「満足している」割合が最も高かった地域は「北海道」で41.8%。

「あまり満足していない」、「満足していない」を合計した「満足していない」割合が最も高かった地域は「四国」で59.6%。

	合計	(16)現在の仕事で得られる収入等について満足度					
		とても満足している	まあ満足している	あまり満足していない	満足していない	不明	
全体	4169	3.5	33.2	37.0	16.0	10.4	
地域	北海道	55	7.3	34.5	30.9	16.4	10.9
	東北	738	3.4	37.0	36.2	14.0	9.5
	関東	961	2.8	31.0	36.3	18.6	11.2
	北陸	278	2.2	32.4	38.8	19.8	6.8
	中部	493	4.3	32.0	39.6	15.0	9.1
	近畿	414	4.3	33.8	36.5	12.3	13.0
	中国	404	4.7	35.1	33.4	20.0	6.7
	四国	270	2.6	24.8	44.1	15.6	13.0
	九州・沖縄	556	3.1	35.4	36.0	13.3	12.2

表 3.2.21 収入等についての満足度(H27年度) (割合%)

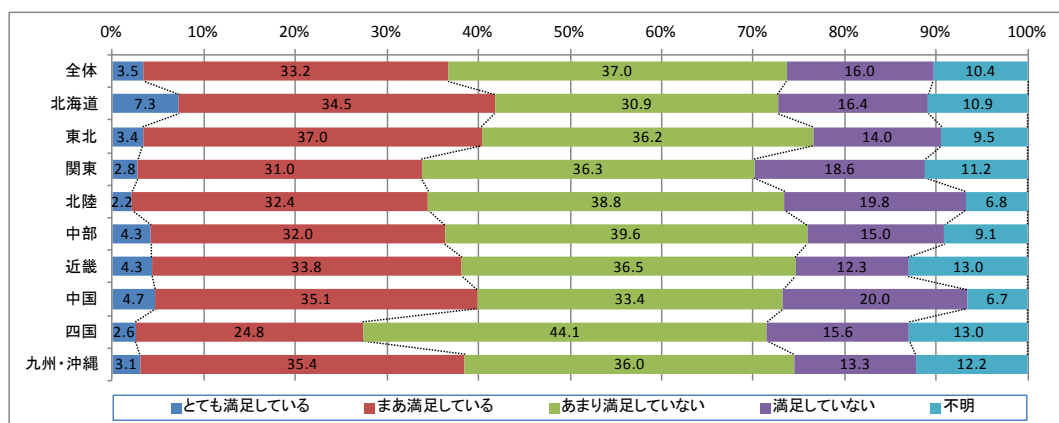


図 3.2.21 収入等についての満足度(H27年度)

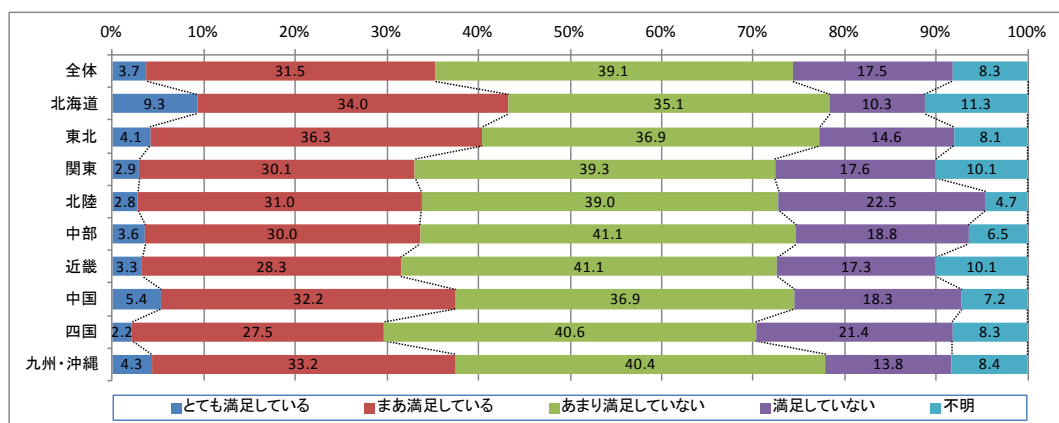


図 3.2.21# 収入等についての満足度(H26年度)

③今後何歳までお仕事を続けられる予定ですか。

「仕事ができる限り続ける」と回答した割合が最も高かった地域は、「北陸」で 55.0%。最も低かったのは「九州・沖縄」で 46.0%。

「仕事ができる限り続ける」に次いで、各地域で回答した割合が高いものは「65歳で引退する」であったが、「関東」と「四国」では「70歳で引退する」と回答した割合が高かった。

	合計	(17)今後何歳までお仕事を続けられる予定ですか						
		60歳で引退する	65歳で引退する	70歳で引退する	75歳で引退する	仕事ができる限り続ける	仕事がないため近々退職・引退する予定である	不明
全体	4169	6.3	15.8	13.0	2.6	50.8	0.9	10.7
地域								
北海道	55	7.3	21.8	9.1	0.0	50.9	0.0	10.9
東北	738	6.5	20.1	11.7	2.4	48.8	0.9	9.6
関東	961	5.6	12.3	12.6	2.5	54.6	1.2	11.1
北陸	278	6.5	17.6	11.5	1.4	55.0	0.4	7.6
中部	493	6.5	15.8	13.8	2.0	52.3	0.4	9.1
近畿	414	7.2	13.5	12.6	3.6	49.3	1.0	12.8
中国	404	8.2	14.4	14.4	2.2	51.7	1.5	7.7
四国	270	5.2	14.1	17.0	3.3	46.3	0.4	13.7
九州・沖縄	556	5.6	18.0	12.9	3.2	46.0	0.9	13.3

表 3.2.22 何歳まで仕事を続ける予定か(H27 年度) (割合%)

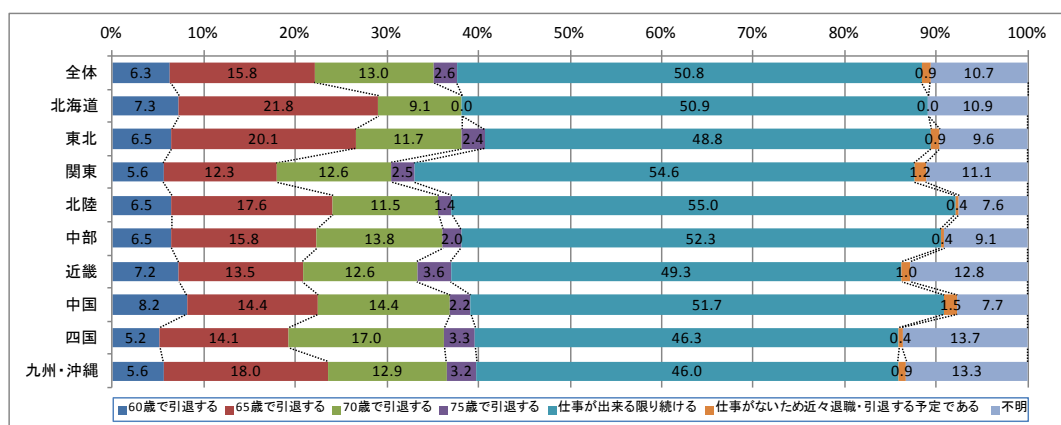


図 3.2.22 何歳まで仕事を続ける予定か(H27 年度)

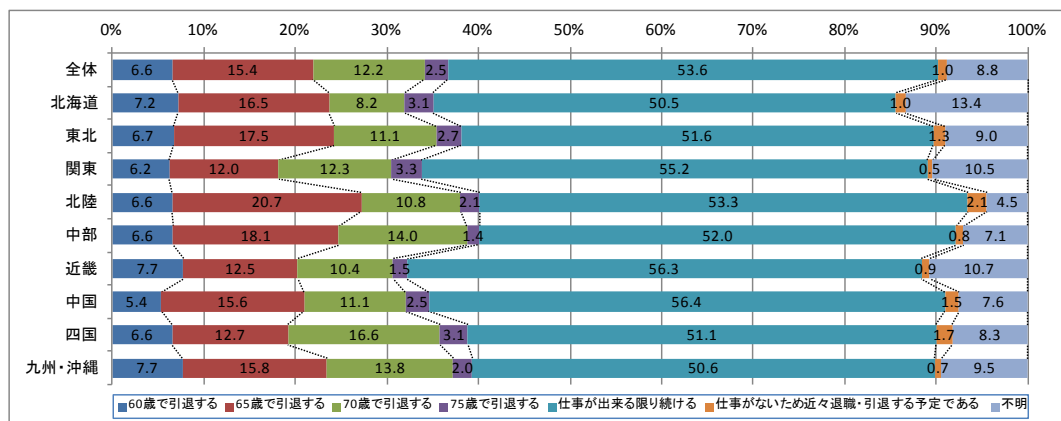


図 3.2.22# 何歳まで仕事を続ける予定か(H26 年度)

(5) 担い手育成について

①現在、担い手（見習い等）の育成を行っていますか。

「現在育てている」と回答した割合が最も高かった地域は「北海道」で30.9%。

「現在は育てていないが、人材がいれば育てたい」と回答した割合が最も高かった地域は「北陸」、「近畿」で43.2%。

「現在は育てていないし、今後も育てる予定はない」と回答した割合が最も高かった地域は「四国」で40.4%。

	合計	(18)現在、担い手の育成を行っていますか			
		現在育てている	現在は育てていないが、人材がいれば育てたい	現在は育てていないし、今後も育てる予定はない	不明
全体	4169	14.1	39.5	30.7	15.8
地域					
北海道	55	30.9	38.2	16.4	14.5
東北	738	17.5	40.0	23.6	19.0
関東	961	11.9	39.4	33.8	14.9
北陸	278	16.5	43.2	28.1	12.2
中部	493	13.6	37.3	34.1	15.0
近畿	414	10.4	43.2	30.0	16.4
中国	404	13.4	42.8	32.4	11.4
四国	270	13.0	29.3	40.4	17.4
九州・沖縄	556	14.6	38.7	29.1	17.6

表 3.2.23 担い手の育成状況(H27年度) (割合%)

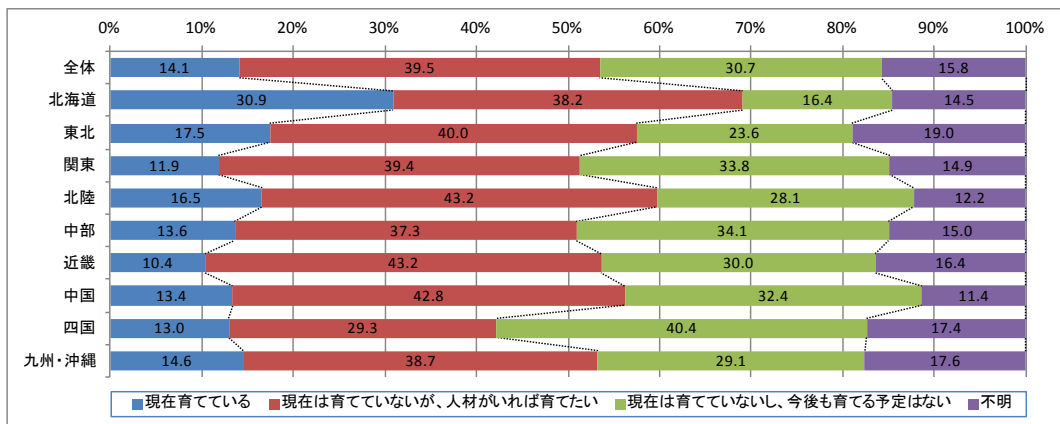


図 3.2.23 担い手の育成状況(H27年度)

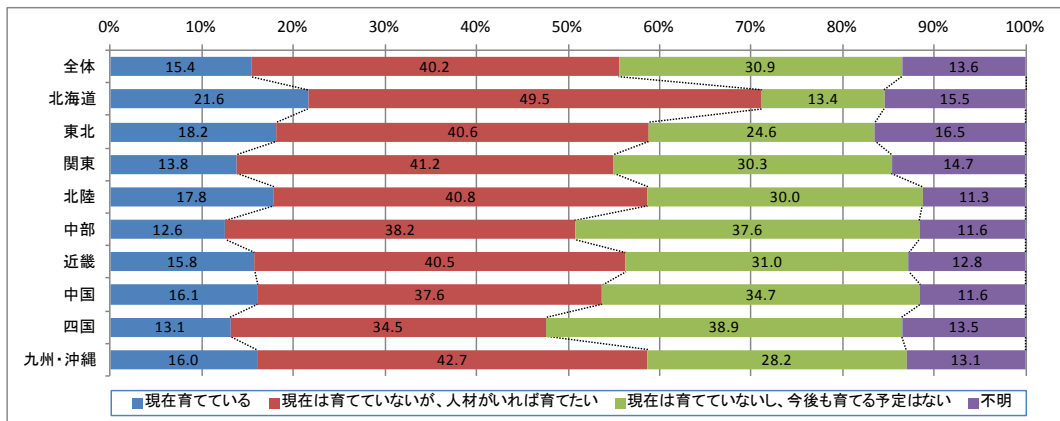


図 3.2.23# 担い手の育成状況(H26年度)

② 「1.現在育てている」および「2.過去には育てた」のみ回答

育成期間の担い手の立場

「正社員（職業訓練校）」と回答した割合が最も高かった地域は「北海道」で41.2%。

「正社員（弟子として）」と回答した割合が最も高かった地域は「中部」で64.2%。

「一人親方等にあずける（職業訓練校）」と回答した割合が最も高かった地域は「関東」で6.1%。

「一人親方等にあずける（弟子として）」と回答した割合が最も高かった地域は「近畿」で18.6%。

		合計	(19)育成期間の担い手の立場				
地域			正社員 (職業訓練校)	正社員 (弟子として)	一人親方等 にあずける (職業訓練校)	一人親方等 にあずける (弟子として)	不明
全体		586	18.3	61.8	3.6	10.8	5.6
北海道		17	41.2	35.3	5.9	11.8	5.9
東北		129	24.8	59.7	1.6	7.0	7.0
関東		114	15.8	62.3	6.1	9.6	6.1
北陸		46	26.1	60.9	2.2	8.7	2.2
中部		67	11.9	64.2	6.0	13.4	4.5
近畿		43	16.3	58.1	2.3	18.6	4.7
中国		54	18.5	57.4	1.9	16.7	5.6
四国		35	2.9	77.1	2.9	14.3	2.9
九州・沖縄		81	14.8	66.7	3.7	7.4	7.4

表 3.2.24 育成期間の担い手の立場(H27年度) (割合%)

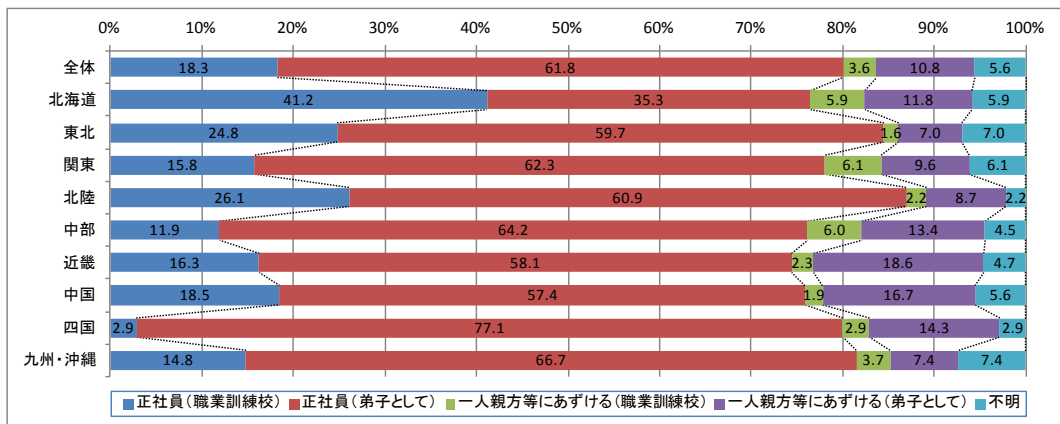


図 3.2.24 育成期間の担い手の立場(H27年度)

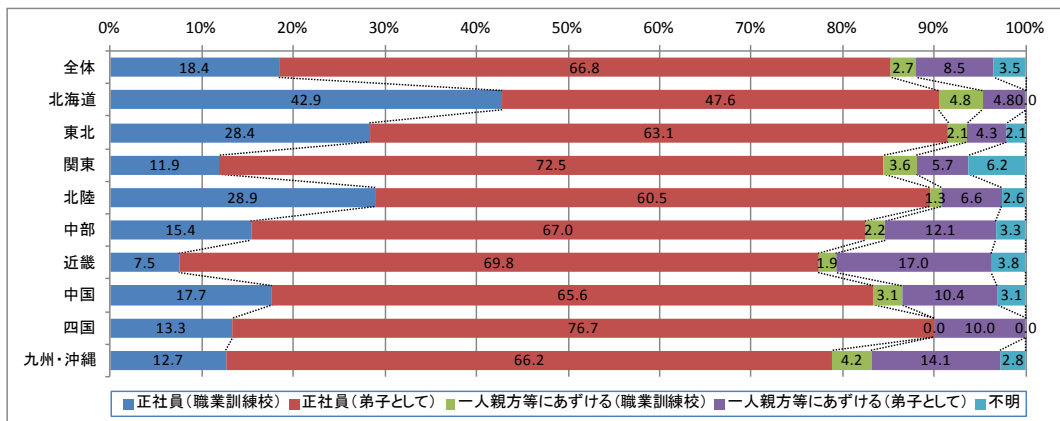


図 3.2.24# 育成期間の担い手の立場(H26年度)

③ 「1.現在育てている」および「2.過去には育てた」のみ回答
育成にかかる費用負担

育成にかかる費用負担が「有る」と回答した割合が最も高かった地域は「近畿」で37.2%。
「無い」と回答した割合が最も高かった地域は「中部」で25.4%。

	合計	(20)育成期間にかかる費用の負担を行っているか		
		有	無	不明
全体	586	29.4	15.2	55.5
地域				
北海道	17	23.5	17.6	58.8
東北	129	24.0	12.4	63.6
関東	114	33.3	14.0	52.6
北陸	46	30.4	10.9	58.7
中部	67	29.9	25.4	44.8
近畿	43	37.2	11.6	51.2
中国	54	31.5	14.8	53.7
四国	35	28.6	8.6	62.9
九州・沖縄	81	27.2	19.8	53.1

表 3.2.25 育成期間にかかる費用負担(H27年度) (割合%)

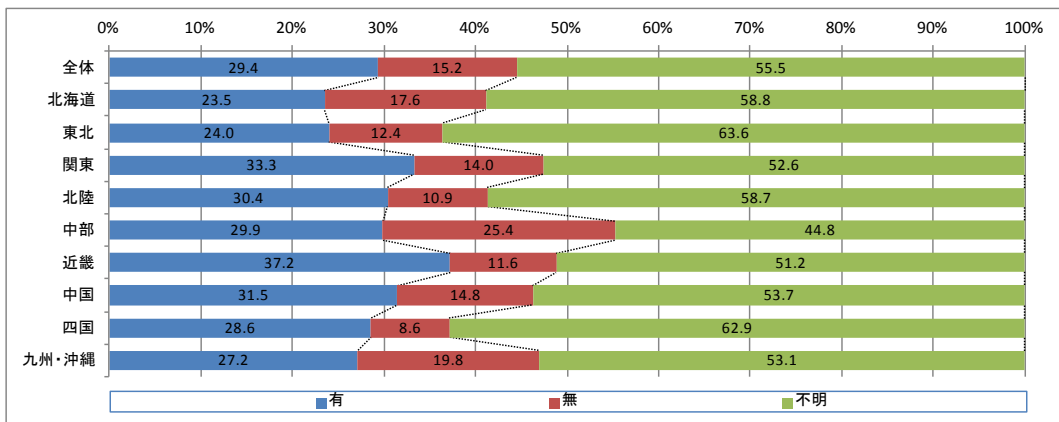


図 3.2.25 育成期間にかかる費用負担(H27年度)

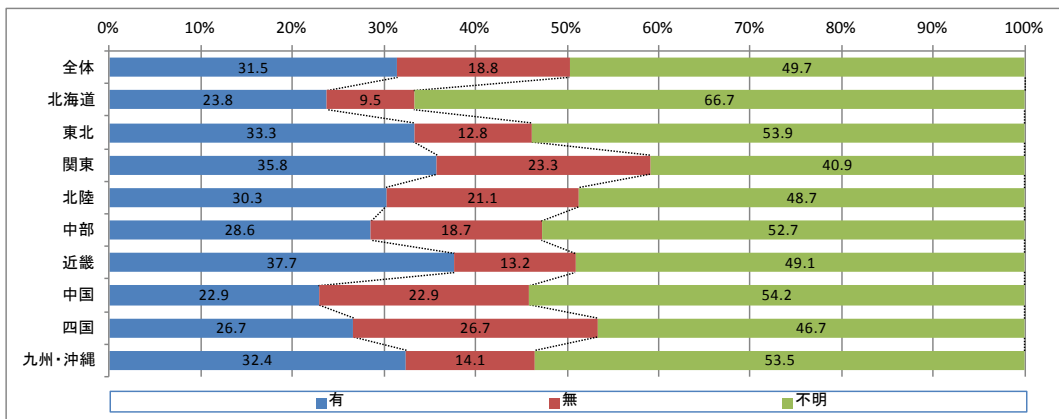


図 3.2.25# 育成期間にかかる費用負担(H26年度)

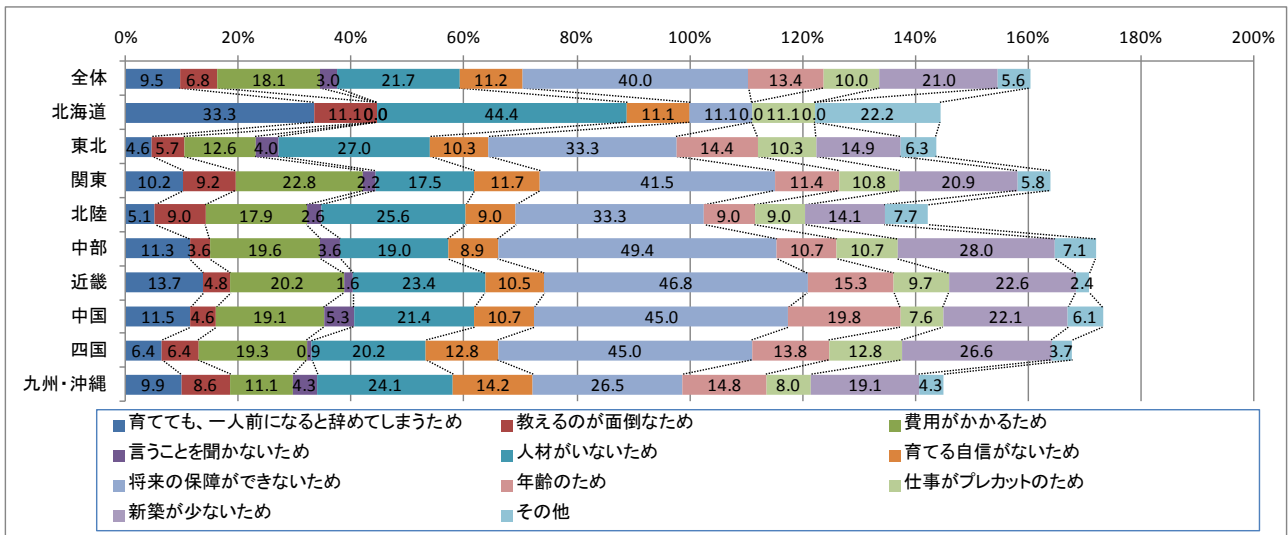
④ 「4.現在は育てていないし、今後も育てる予定はない」のみ回答
なぜ育てる予定はないのか。

育てる予定はない理由では、「中部」で最も多く回答され合計値は 172%。

各地域で「将来の保障ができないため」と回答した割合が高いが、「北海道」では「人材がいないため」、「一人前になると辞めてしまうため」と回答した割合が高いという結果であった。

	合計	(21)なぜ育てる予定はないのですか											
		育てても、一人前になると辞めてしまうため	教えるのが面倒なため	費用がかかるため	言うことを聞かないため	人材がいないため	育てる自信がないため	将来の保障ができないため	年齢のため	仕事がプレカートのため	新築が少ないため	その他	不明
全体	1280	9.5	6.8	18.1	3.0	21.7	11.2	40.0	13.4	10.0	21.0	5.6	13.0
地域													
北海道	9	33.3	11.1	0.0	0.0	44.4	11.1	11.1	0.0	11.1	0.0	22.2	0.0
東北	174	4.6	5.7	12.6	4.0	27.0	10.3	33.3	14.4	10.3	14.9	6.3	19.5
関東	325	10.2	9.2	22.8	2.2	17.5	11.7	41.5	11.4	10.8	20.9	5.8	13.5
北陸	78	5.1	9.0	17.9	2.6	25.6	9.0	33.3	9.0	9.0	14.1	7.7	15.4
中部	168	11.3	3.6	19.6	3.6	19.0	8.9	49.4	10.7	10.7	28.0	7.1	11.9
近畿	124	13.7	4.8	20.2	1.6	23.4	10.5	46.8	15.3	9.7	22.6	2.4	11.3
中国	131	11.5	4.6	19.1	5.3	21.4	10.7	45.0	19.8	7.6	22.1	6.1	9.2
四国	109	6.4	6.4	19.3	0.9	20.2	12.8	45.0	13.8	12.8	26.6	3.7	7.3
九州・沖縄	162	9.9	8.6	11.1	4.3	24.1	14.2	26.5	14.8	8.0	19.1	4.3	14.2

表 3.2.26 なぜ育てる予定はないのか(H27 年度) (割合%)



2.2.26 なぜ育てる予定はないのか(H27 年度)

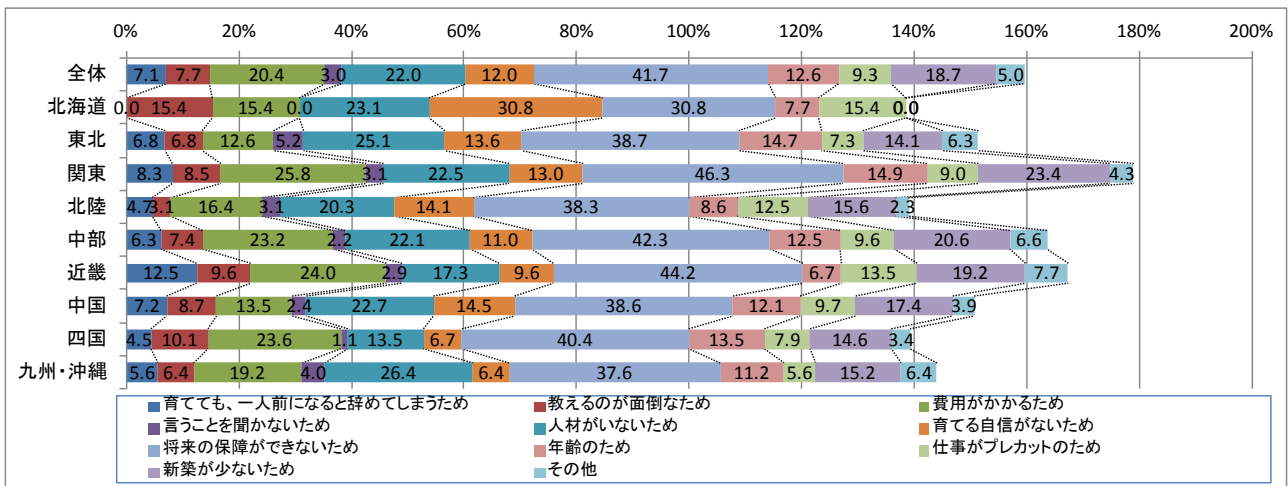


図 3.2.26# なぜ育てる予定はないのか(H26 年度)

⑤担い手育成にかかる費用の公的補助について、1人/月当たりどの程度必要と考えますか。
 担い手の育成にかかる費用の公的補助については、各地域で「10万円/月」への回答が多くみられた。

	合計	(22)担い手の育成にかかる費用の公的補助どの程度必要か						
		3万円/月	5万円/月	10万円/月	15万円/月	必要ない	不明	
全体	4169	3.5	14.8	28.0	18.5	2.8	32.3	
地域	北海道	55	5.5	12.7	32.7	12.7	3.6	32.7
	東北	738	4.7	13.6	25.7	14.8	3.1	38.1
	関東	961	3.5	15.0	27.5	20.6	3.1	30.3
	北陸	278	5.4	17.3	31.3	14.0	2.9	29.1
	中部	493	3.7	15.6	27.2	18.9	2.2	32.5
	近畿	414	2.7	12.8	30.9	22.5	1.9	29.2
	中国	404	2.5	18.3	28.5	19.6	3.5	27.7
	四国	270	2.2	13.3	27.4	19.3	3.0	34.8
	九州・沖縄	556	2.5	14.4	28.2	18.5	2.5	33.8

表 3.2.27 公的補助について、1人/月当たりどの程度必要か(H27年度) (割合%)

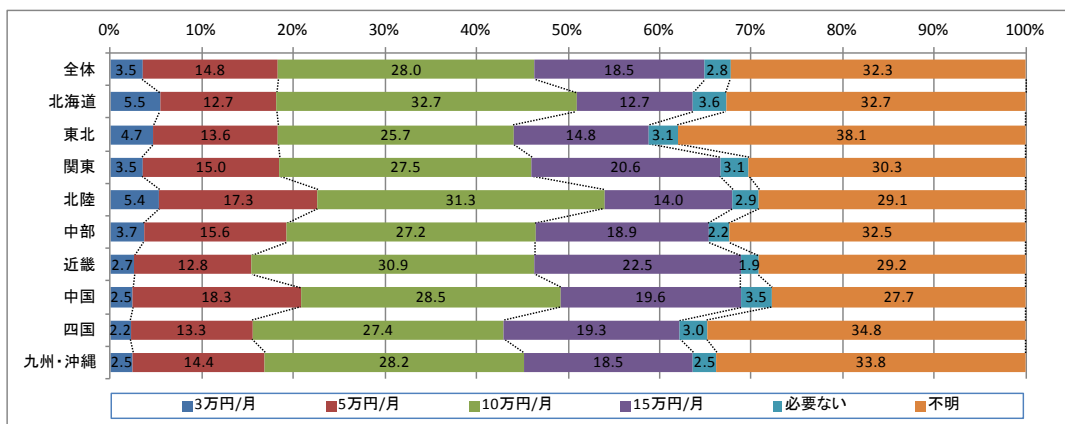


図 3.2.27 公的補助について、1人/月当たりどの程度必要か(H27年度)

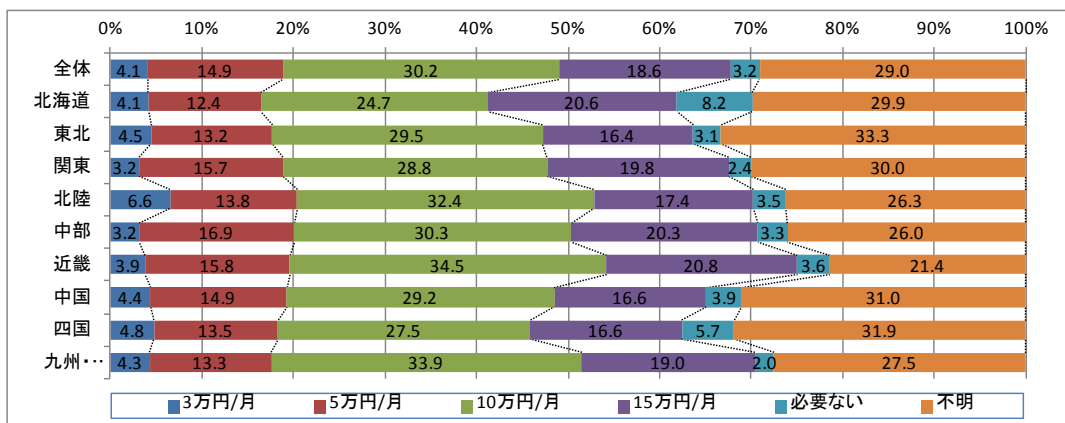


図 3.2.27# 公的補助について、1人/月当たりどの程度必要か(H26年度)

3. 年齢別集計

(1) 職業等について

① 職種の経験年数

経験年数「3年未満」の入職初期の大工は30代までは7.7%（1124人中86人）みられた。40代以上ではごく少数となるが60代まで「3年未満」と回答した大工が数名みられた。

前回調査と比較すると、経験年数は全体的に低下がみられた。前回調査では10代～20代前半に入職したと思われる経験年数で推移していたが、今回調査では20代～30代前後にかけて入職したと考えられる経験年数に移行しており、70代以上の大工でも経験年数「51年以上」と回答した大工はごく少数であった。

		合計	(4)職種の経験年数								平均経験年数(年)	
			3年未満	3～5年	6～10年	11～20年	21～30年	31～40年	41～50年	51年以上		不明
全体		4169	9.5	7.7	27.8	21.0	16.6	14.7	2.2	0.6	0.5	16.5
年齢	10代	51	98.0	0.0	0.0	2.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.8
	20代	339	66.7	27.7	5.0	0.0	0.3	0.0	0.0	0.3	0.2	2.8
	30代	1124	7.7	16.5	68.6	6.5	0.2	0.1	0.0	0.4	0.4	7.6
	40代	1026	2.1	2.0	30.5	60.8	3.4	0.5	0.0	0.6	0.4	13.1
	50代	818	0.6	1.2	4.6	18.1	59.8	14.4	0.4	0.9	0.9	24.0
	60代	689	0.3	0.3	1.3	2.9	21.8	67.1	5.7	0.7	0.1	32.5
	70代以上	78	0.0	0.0	0.0	3.8	7.7	28.2	59.0	1.3	0.0	39.6

表 3.3.1 職種の経験年数（H27年度）（割合％）

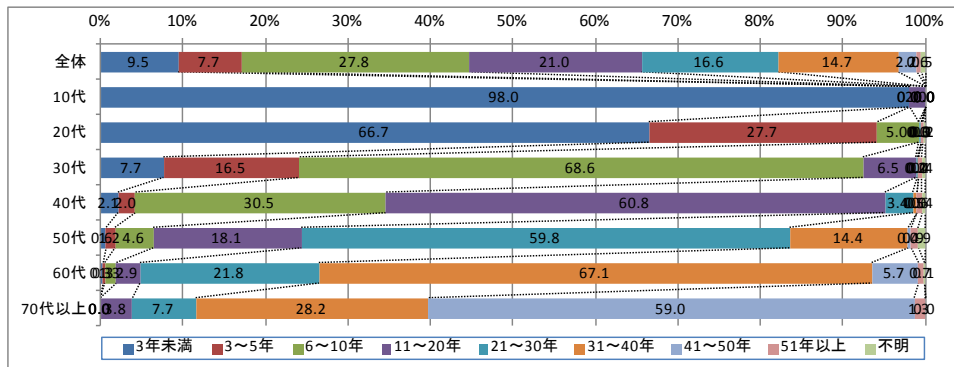


図 3.3.1 職種の経験年数（H27年度）

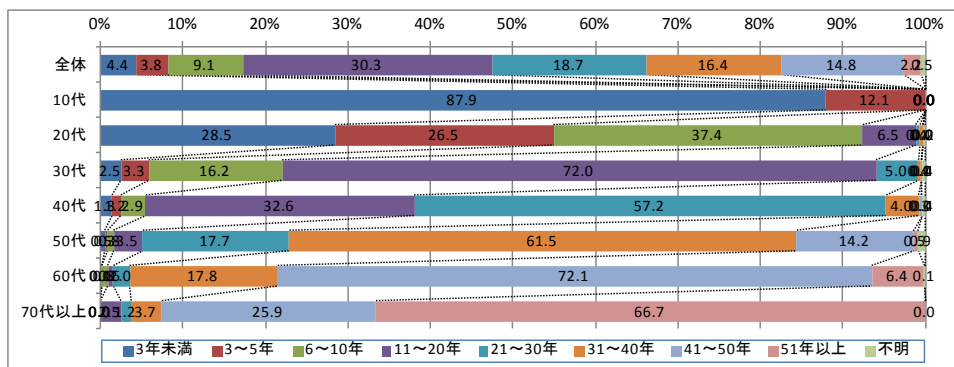


図 3.3.1# 職種の経験年数（H26年度）

②職種においてベテランだと思いますか。

「ベテラン」と回答した割合が最も高い年代は「60代」で46.9%。

「ややベテラン」と回答した割合が最も高い年代は「50代」で35.9%。

「中堅」と回答した割合が最も高い年代は「30代」で50.4%。

「やや中堅」と回答した割合が最も高い年代は「30代」で22.2%。

「見習い」回答した割合が最も高い年代は「10代」で92.2%。

前回調査（H26年）と比較して、ベテラン度合いについては各年代でほぼ同様の結果であり、大きな変化はみられなかった。

		合計	(5)あなたのベテラン度合いについて					
			ベテラン	ややベテラン	中堅	やや中堅	見習い	不明
全体	4169	18.8	21.3	35.0	11.4	10.5	2.9	
年齢	10代	51	0.0	0.0	0.0	0.0	92.2	7.8
	20代	339	1.8	1.2	12.4	20.1	62.8	1.8
	30代	1124	5.2	9.2	50.4	22.2	10.1	2.8
	40代	1026	12.2	24.7	47.8	9.7	3.6	2.0
	50代	818	28.6	35.9	27.3	3.7	1.3	3.2
	60代	689	46.9	29.6	16.5	2.3	0.9	3.8
	70代以上	78	39.7	30.8	12.8	5.1	3.8	7.7

表 3.3.2 職種のベテラン度合（H27年度）（割合%）

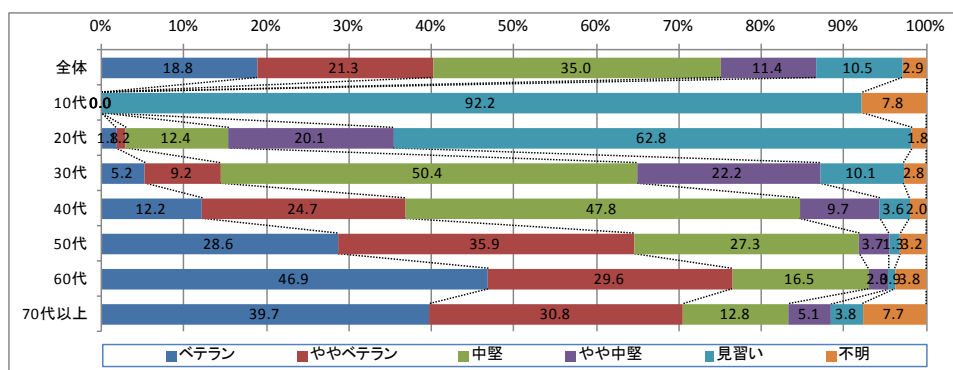


図 3.3.2 職種のベテラン度合（H27年度）

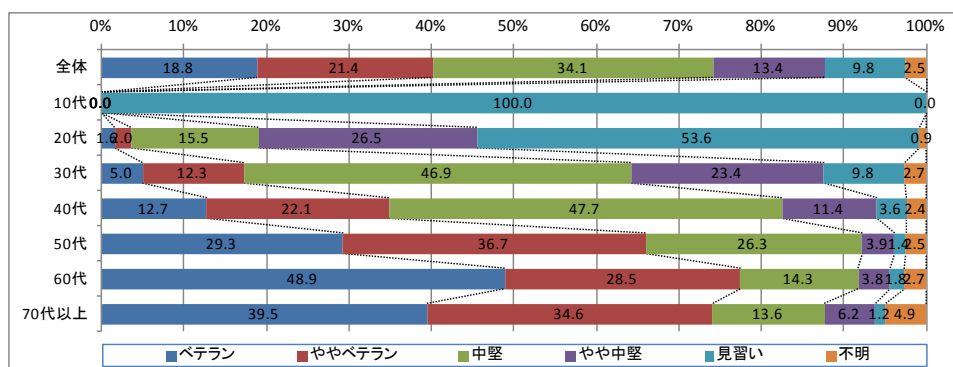


図 3.3.2# 職種のベテラン度合（H26年度）

(2) 雇用形態について

①雇用形態（工務店等との）

大工の雇用形態は、「10代」、「20代」、「30代」までは「工務店社員」の割合が最も高い。

「工務店社員」と回答した割合が最も高い年代は「20代」で72.9%。

「外注常用（日当制）」と回答した割合が最も高い年代は「60代」で14.4%。

「外注常用（坪請主体）」と回答した割合が最も高い年代は「40代」で12.2%。

「その都度契約」と回答した割合が最も高い年代は「70代以上」で11.5%。

「元請として仕事」と回答した割合が最も高い年代は「70代以上」で67.9%。

「その他（アルバイト等）」と回答した割合が最も高い年代は「10代」で9.8%。

前回調査（H26年度）においても、同様の結果であり、今回調査での大きな変化はみられなかった。

		合計	(6)あなたの雇用形態						不明
			工務店社員	外注常用(日当制)	外注常用(坪請主体)	その都度契約	元請として仕事	その他(アルバイト等)	
全体		4169	36.3	11.5	10.0	4.1	33.9	1.4	2.9
年齢	10代	51	51.0	13.7	0.0	0.0	3.9	9.8	21.6
	20代	339	72.9	10.9	2.7	1.8	3.8	5.3	2.7
	30代	1124	50.0	10.5	10.3	3.6	22.1	1.3	2.2
	40代	1026	35.2	10.0	12.2	5.6	34.5	1.0	1.6
	50代	818	25.8	13.1	11.0	3.1	44.0	0.4	2.7
	60代	689	12.5	14.4	9.7	4.6	53.4	0.7	4.6
	70代以上	78	5.1	7.7	6.4	11.5	67.9	0.0	1.3

表 3.3.3 雇用形態（H27年度）（割合%）

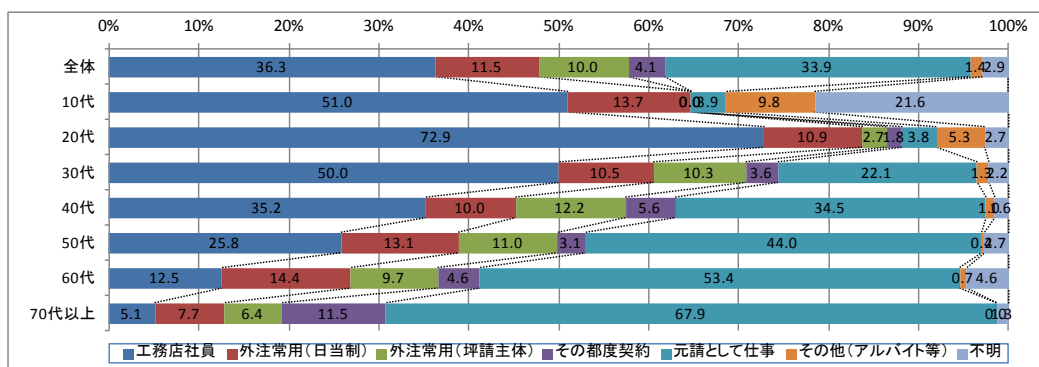


図 3.3.3 雇用形態（H27年度）

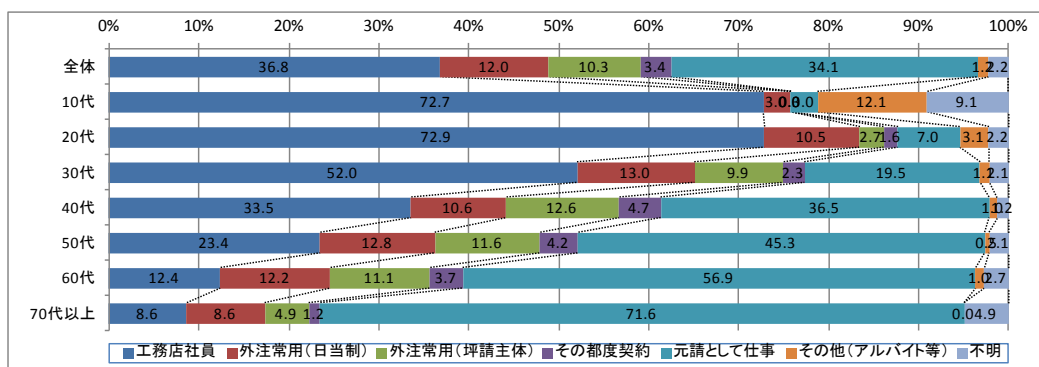


図 3.3.3# 雇用形態（H26年度）

②就業規則

就業規則が「有る」と回答した割合が最も高い年代は「20代」で38.6%。

就業規則が「無い」と回答した割合が最も高い年代は「40代」で60.0%。

前回調査（H26年度）と比較すると、「10代」では就業規則が「有る」と回答した割合が33.3%から47.1%へ増加がみられた。その他の年代については、前回調査も同様の結果であり、大きな変化はみられなかった。

	合計	(7)就業規則		
		有	無	不明
全体	4169	27.0	51.6	21.4
年齢				
10代	51	47.1	11.8	41.2
20代	339	38.6	38.9	22.4
30代	1124	30.6	52.1	17.3
40代	1026	24.9	60.0	15.1
50代	818	23.2	53.5	23.2
60代	689	22.9	47.9	29.2
70代以上	78	19.2	38.5	42.3

表 3.3.4 就業規則（H27年度）（割合%）

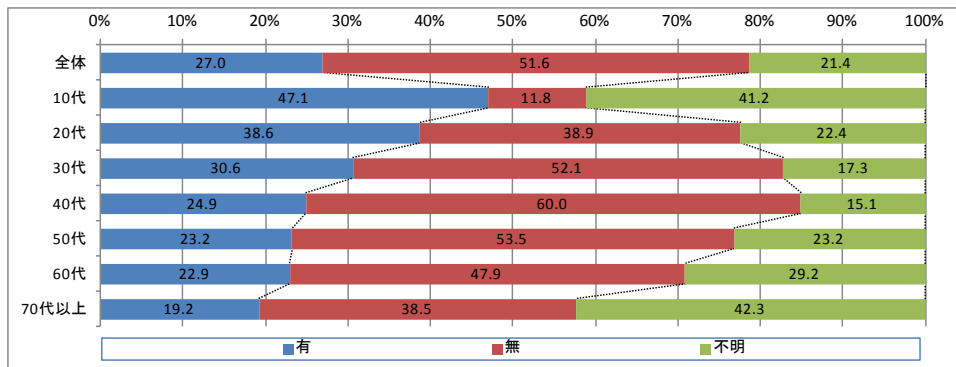


図 3.3.4 就業規則（H27年度）

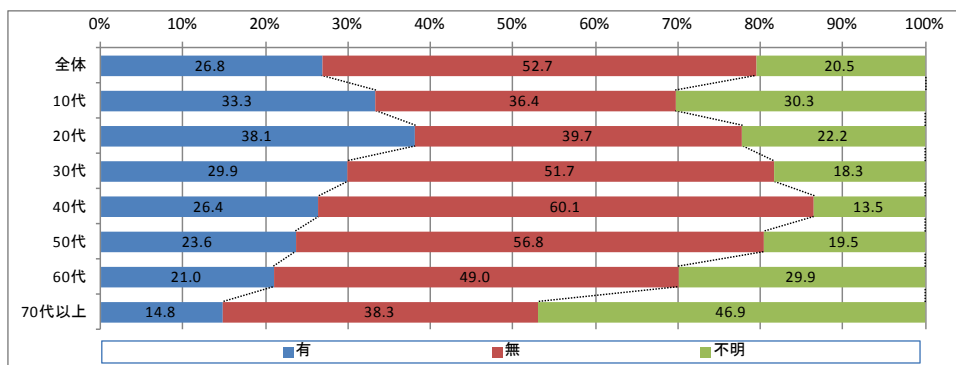


図 3.3.4# 就業規則（H26年度）

③有給休暇

有給休暇が「有る」と回答した割合が最も高い年代は「20代」で39.2%。

有給休暇が「無い」と回答した割合が最も高い年代は「40代」で71.8%。

前回調査（H26年度）から比較すると、有給休暇が「有る」と回答した割合は「10代」では18.2%から39.2%、「20代」では19.7%から23.3%に増加がみられた。その他の年代については前回調査とほぼ同様の結果であり、大きな変化はみられなかった。

	合計	(8)有給休暇		
		有	無	不明
全体	4169	12.4	63.3	24.3
年齢				
10代	51	39.2	27.5	33.3
20代	339	23.3	58.7	18.0
30代	1124	13.2	70.7	16.1
40代	1026	11.5	71.8	16.7
50代	818	11.1	61.0	27.9
60代	689	7.7	52.2	40.1
70代以上	78	6.4	26.9	66.7

表 3.3.5 有給休暇（H27年度）（割合%）

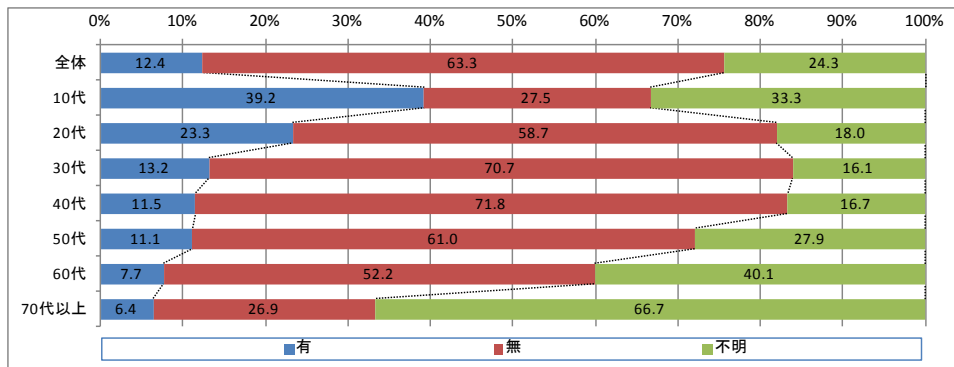


図 3.3.5 有給休暇（H27年度）

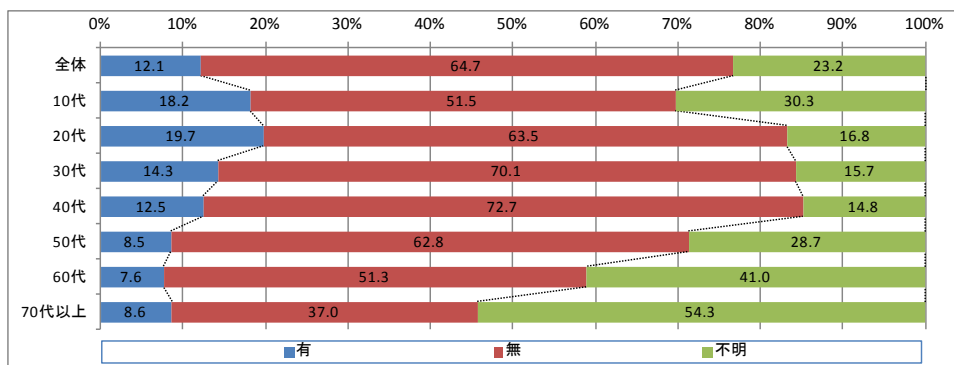


図 3.3.5# 有給休暇（H26年度）

④年間就業日数

平均年間就業日数が最も多かった年代は、「10代」で279.69日。

平均年間就業日数が最も少なかった年代は、「70代以上」で220.17日。

前回調査（H26年度）から比較すると、「10代」、「70代以上」では「不明」の回答が多くみられた。

	合計	(9)年間就業日数							平均	
		100日未満	100～150日未満	150～200日未満	200～250日未満	250～300日未満	300日以上	不明		
全体	4169	3.2	0.8	0.7	5.8	20.3	24.5	44.6	264.88	
年齢	10代	51	0.0	0.0	0.0	2.0	15.7	7.8	74.5	279.69
	20代	339	4.7	0.3	0.3	2.4	18.6	26.3	47.5	265.47
	30代	1124	3.7	0.8	0.3	2.8	18.7	32.7	41.0	271.81
	40代	1026	2.9	0.6	0.3	3.3	19.1	32.5	41.3	278.09
	50代	818	3.1	0.5	1.0	7.1	24.6	19.2	44.6	259.63
	60代	689	2.8	1.5	2.2	14.1	22.4	9.6	47.6	239.36
	70代以上	78	1.3	3.8	1.3	15.4	15.4	1.3	61.5	220.17

表 3.3.6 年間就業日数（H27年度）（割合%）

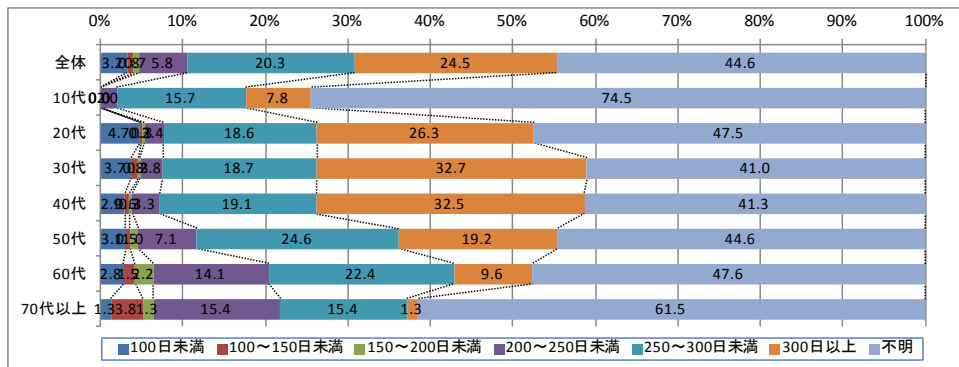


図 3.3.6 年間就業日数（H27年度）

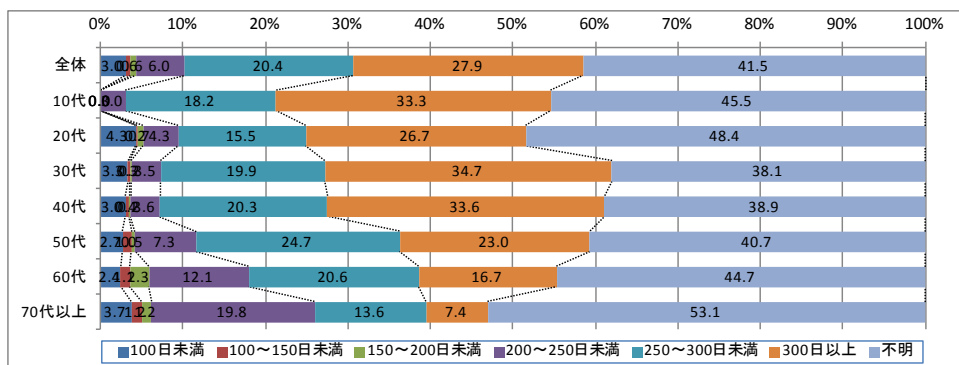


図 3.3.6# 年間就業日数（H26年度）

⑤賃金の中に含まれ、自己負担となっているもの

自己負担となっているものの割合の合計が最も高かったのは「60代」で270.1%。

最も少なかったのは「10代」で172.6%。

「10代」、「20代」では、「30代」以上の年代と比較して、「電動工具」、「車（保険含む）」、「ガソリン」への回答の割合が低い。「30代」以上では自己負担となるものの割合は250%以上の水準となる。

		合計	(11)自己負担となっているもの						
			手道具	電動工具	クギ金物	車(保険含む)	ガソリン	全て所属する工務店等が負担	不明
全体		4169	70.2	63.8	22.1	51.3	50.9	15.0	8.6
年齢	10代	51	66.7	51.0	2.0	25.5	27.5	21.6	11.8
	20代	339	67.8	54.3	8.0	45.1	40.7	17.1	5.3
	30代	1124	72.8	65.2	20.1	49.2	48.8	15.4	6.9
	40代	1026	71.4	65.9	25.2	54.2	53.3	16.4	5.3
	50代	818	70.8	65.5	24.8	54.6	54.0	14.5	9.2
	60代	689	67.2	63.7	25.8	53.3	55.9	11.9	13.9
	70代以上	78	61.5	57.7	28.2	46.2	41.0	12.8	23.1

表 3.3.7 自己負担となっているもの（H27年度）（割合%）

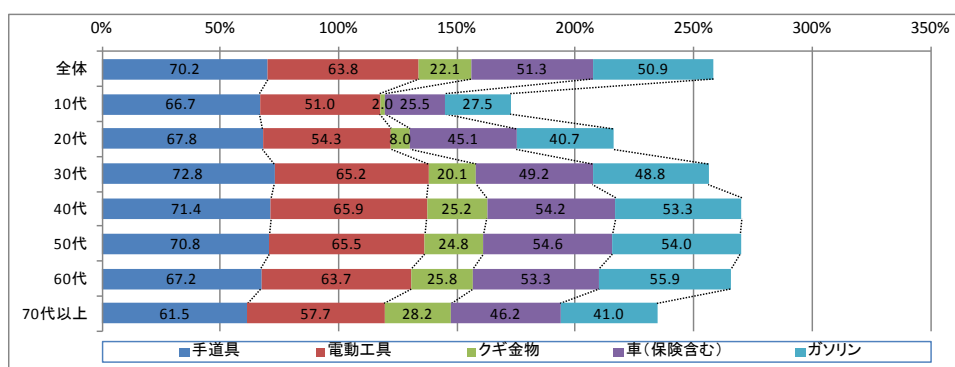


図 3.3.7 自己負担となっているもの（H27年度）

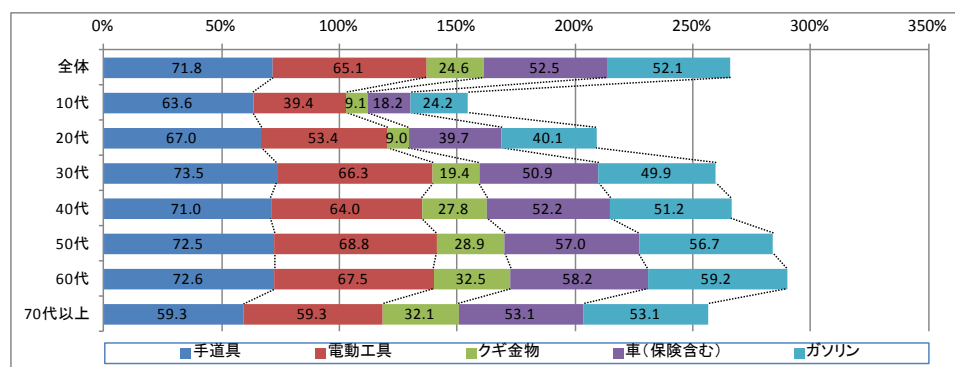


図 3.3.7# 自己負担となっているもの（H26年度）

⑥おおよその賃金（諸経費が含まれた1日あたりの平均単価）

平均賃金が最も高かった年代は「40代」で15,875.6円。

平均賃金が最も低かった年代は「10代」で8,647.7円。

	合計	(12)1日あたりのおおよその賃金							平均賃金
		8,000円未満	8,000～10,000円未満	10,000～15,000円未満	15,000～20,000円未満	20,000～25,000円未満	25,000円以上	不明	
全体	4169	5.4	8.0	37.3	34.3	7.9	2.1	5.1	14863.6
10代	51	70.6	9.8	2.0	3.9	0.0	0.0	13.7	8647.7
20代	339	29.5	33.0	25.4	7.4	0.9	0.0	3.8	10392.6
30代	1124	2.9	9.5	44.7	29.4	7.6	2.4	3.5	14637.8
40代	1026	1.6	4.2	35.8	41.3	10.1	3.0	4.0	15875.6
50代	818	1.2	4.2	36.3	41.7	9.2	1.6	5.9	15686.4
60代	689	3.0	3.5	37.6	38.8	8.1	2.3	6.7	15480.6
70代以上	78	9.0	5.1	32.1	37.2	3.8	1.3	11.5	14558

表 3.3.8 1日あたりのおおよその賃金（H27年度）（割合%）

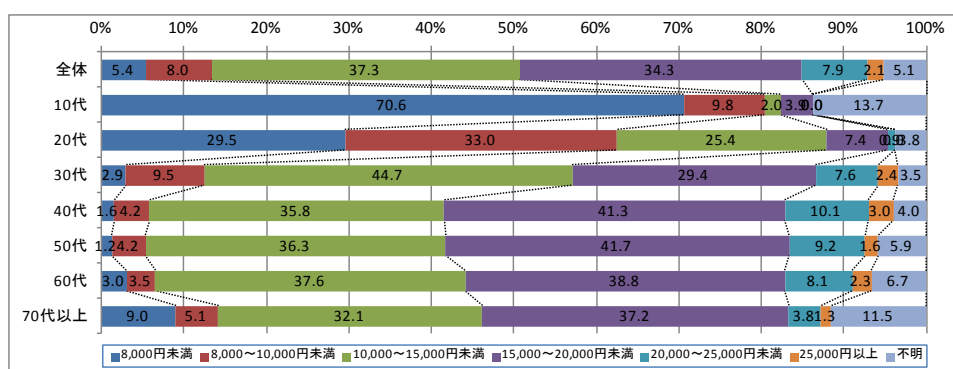


図 3.3.8 1日あたりのおおよその賃金（H27年度）

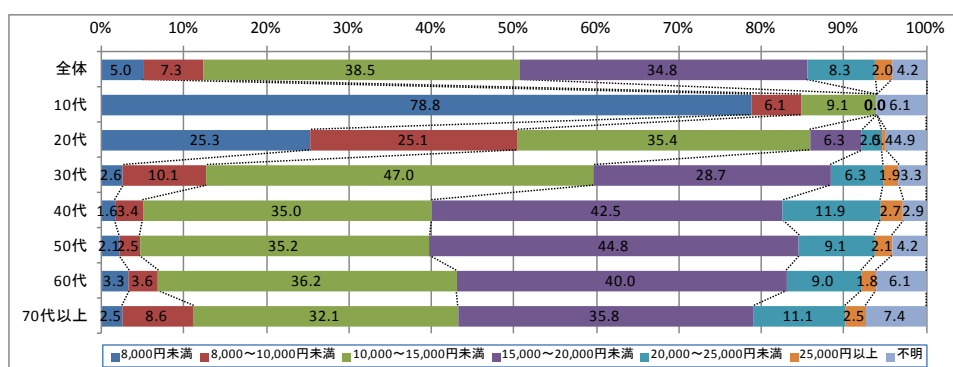


図 3.3.8# 1日あたりのおおよその賃金（H26年度）

(3) 資格や技能について

①持っている資格

持っている資格の合計値が最も高かった年代は「70代以上」で378.2%。

持っている資格の合計値が最も低かった年代は「10代」で41.2%。

「10代」が最も取得している資格は「玉掛け技能講習」で27.5%。

「30代」より上の年代になると「2級建築士」、「足場の組立て等作業主任者」、「木造建築物組立て作業主任者」を中心として資格を取得している割合が高くなる。

年齢	合計	(13)お持ちの資格														
		1級建築士	2級建築士	木造建築士	1級建築施工管理技士	2級建築施工管理技士	建築大工技能士(1級・2級)	枠組壁建築技能士	職業訓練指導員	増改築相談員	足場の組立て等作業主任者	木造建築物組立て作業主任者	玉掛け技能講習修了者	クレーン運転技能講習修了者	木材加工用機械作業主任者	不明
全体	4169	4.9	31.8	3.0	4.6	15.2	21.6	2.3	10.5	8.8	36.2	40.1	43.0	18.2	10.5	18.7
10代	51	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.9	0.0	0.0	0.0	2.0	0.0	27.5	7.8	0.0	66.7
20代	339	1.5	13.6	0.3	0.6	5.3	15.6	0.0	0.9	0.0	11.8	9.7	39.2	15.6	3.8	41.0
30代	1124	3.4	30.8	2.0	4.5	11.0	24.7	1.1	5.3	4.2	31.0	38.2	45.7	16.8	6.3	20.3
40代	1026	5.5	36.1	1.1	5.5	11.5	17.7	0.6	6.0	9.6	39.7	42.4	43.2	17.0	9.2	16.2
50代	818	8.2	36.2	3.8	6.4	24.1	21.1	3.5	13.1	10.4	41.3	45.1	42.5	21.8	13.1	13.1
60代	689	4.9	33.4	7.8	3.8	21.3	25.4	5.7	25.1	15.8	45.6	51.4	42.8	19.9	18.9	12.9
70代以上	78	5.1	39.7	5.1	3.8	28.2	35.9	6.4	35.9	33.3	57.7	48.7	33.3	17.9	26.9	6.4

表 3.3.9 持っている資格 (H27 年度) (割合%)

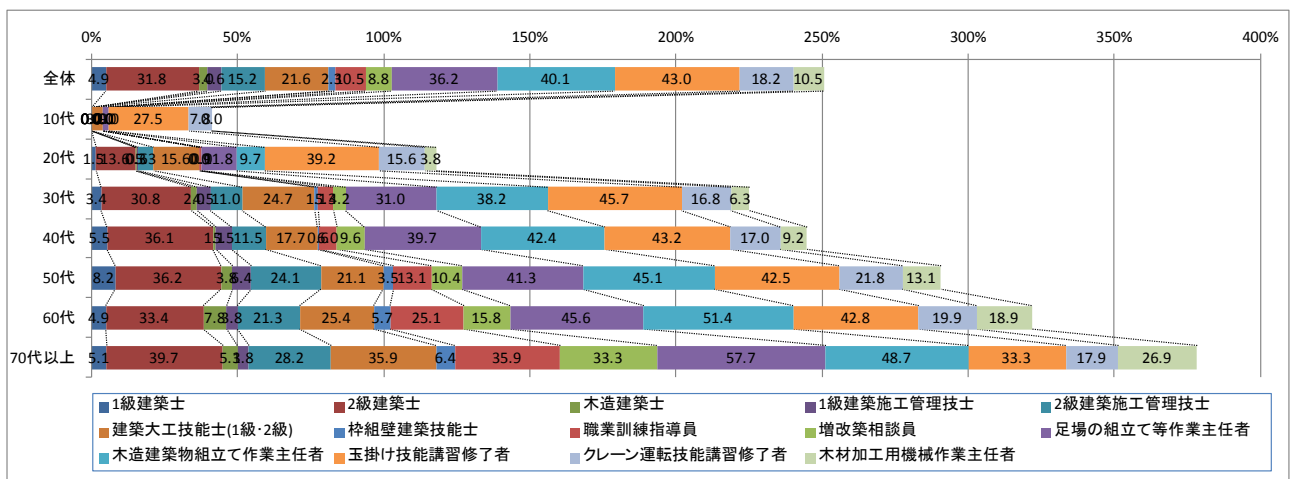


図 3.3.9 持っている資格 (H27 年度)

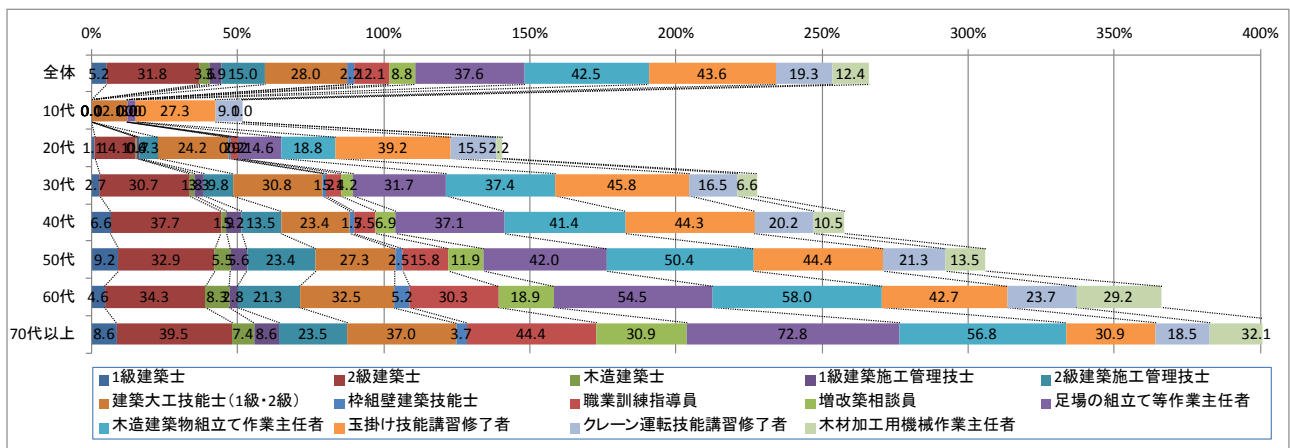


図 3.3.9# 持っている資格 (H26 年度)

②大工職のみ回答 墨付けができますか。

墨付けについて「はい」と回答した割合が最も高かった年代は「50代」で82.4%。

墨付けについて「いいえ」と回答した割合が最も高かった年代は「10代」で52.9%。

	合計	(14)①墨付けができますか		
		はい	いいえ	不明
全体	4169	71.6	14.6	13.8
年齢				
10代	51	33.3	52.9	13.7
20代	339	42.8	45.4	11.8
30代	1124	65.9	23.0	11.1
40代	1026	75.4	11.6	13.0
50代	818	82.4	4.2	13.4
60代	689	80.0	1.6	18.4
70代以上	78	70.5	1.3	28.2

表 3.3.10 墨付け（H27年度）（割合%）

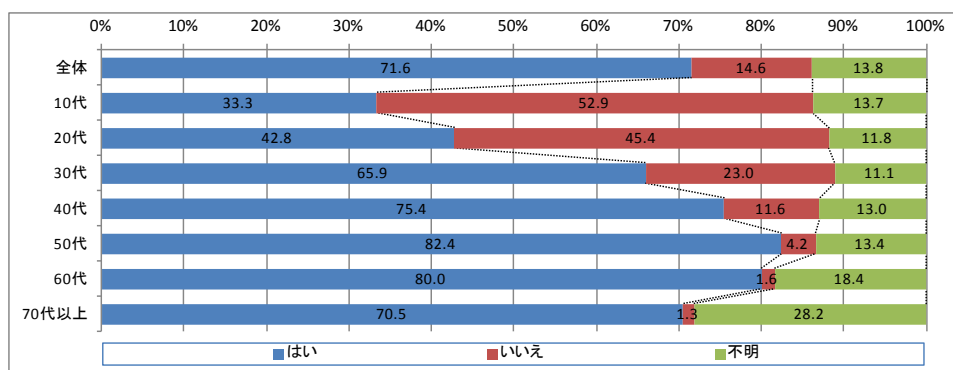


図 3.3.10 墨付け（H27年度）

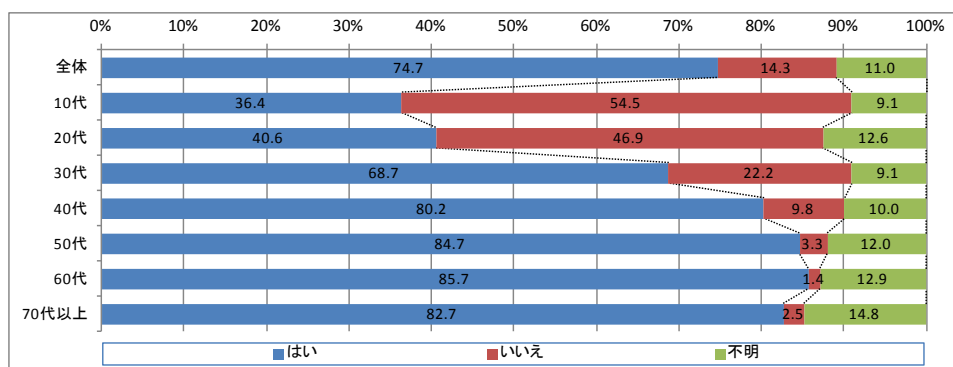


図 3.3.10# 墨付け（H26年度）

③大工職のみ回答 今でも手刻み加工の仕事を年1棟以上行っていますか。(新築)

新築の手刻み加工の仕事について「はい」と回答した割合が最も高かった年代は「60代」で31.6%。
 新築の手刻み加工の仕事について「いいえ」と回答した割合が最も高かった年代は「10代」で70.6%。
 前回調査（H26年度）においても同様の結果の傾向がみられた。

		合計	(14)②新築の手刻み加工の仕事を年1棟以上行っていますか		
			はい	いいえ	不明
全体		4169	23.9	60.5	15.6
年齢	10代	51	13.7	70.6	15.7
	20代	339	23.3	63.7	13.0
	30代	1124	21.4	66.9	11.7
	40代	1026	20.1	66.9	13.1
	50代	818	26.2	56.8	17.0
	60代	689	31.6	45.9	22.5
	70代以上	78	24.4	43.6	32.1

表 3.3.11 手刻み加工の仕事（新築）（H27年度）（割合%）

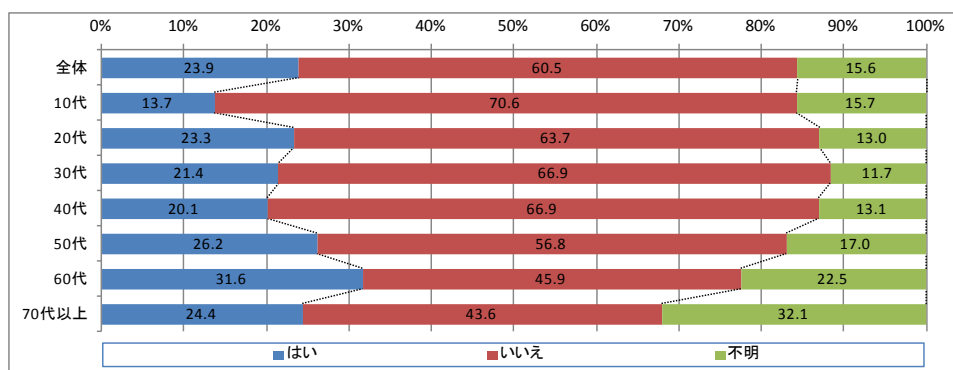


図 3.3.11 手刻み加工の仕事（新築）（H27年度）

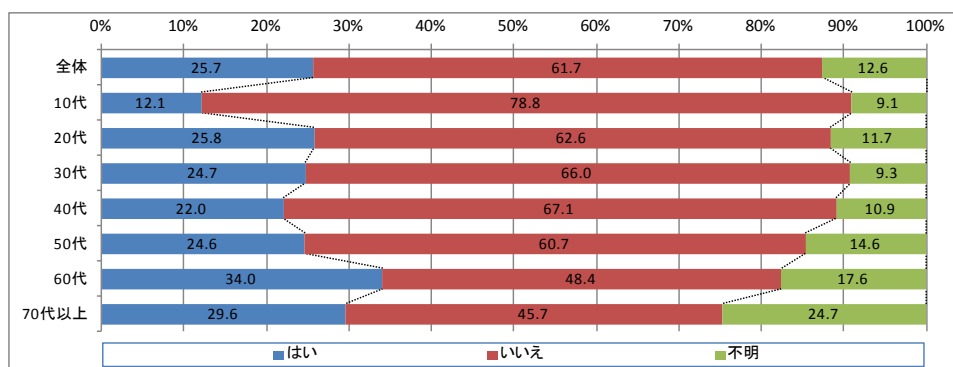


図 3.3.11# 手刻み加工の仕事（新築）（H26年度）

④大工職のみ回答 今でも手刻み加工の仕事を年1棟以上行っていますか。(増改築)

増改築の手刻み加工の仕事について「はい」と回答した割合が最も高い年代は「60代」で55.3%。増改築の手刻み加工の仕事について「いいえ」と回答した割合が最も高い年代は「10代」で70.6%。前回調査（H26年度）においても同様の結果の傾向がみられた。

		合計	(14)③増改築の手刻み加工の仕事を年1棟以上行っていますか		
			はい	いいえ	不明
全体		4169	47.1	37.8	15.2
年齢	10代	51	13.7	70.6	15.7
	20代	339	37.2	49.6	13.3
	30代	1124	46.6	41.8	11.6
	40代	1026	46.1	40.9	13.0
	50代	818	48.9	35.3	15.8
	60代	689	55.3	22.9	21.8
	70代以上	78	42.3	26.9	30.8

表 3.3.12 手刻み加工の仕事（増改築）（H27年度）（割合%）

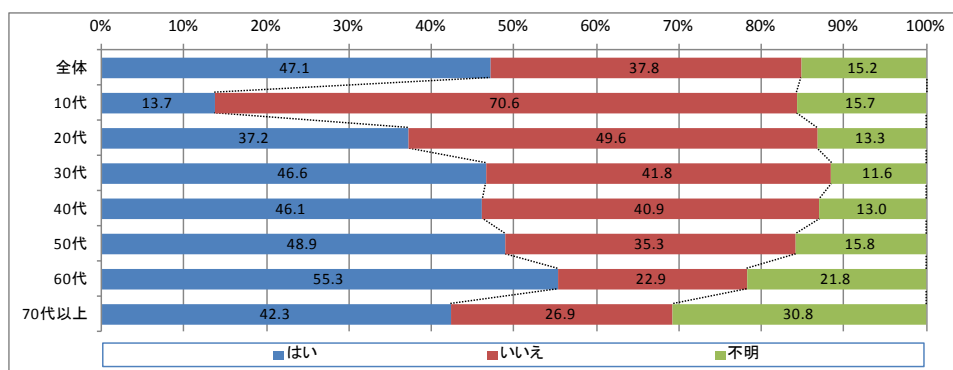


図 3.3.12 手刻み加工の仕事（増改築）（H27年度）

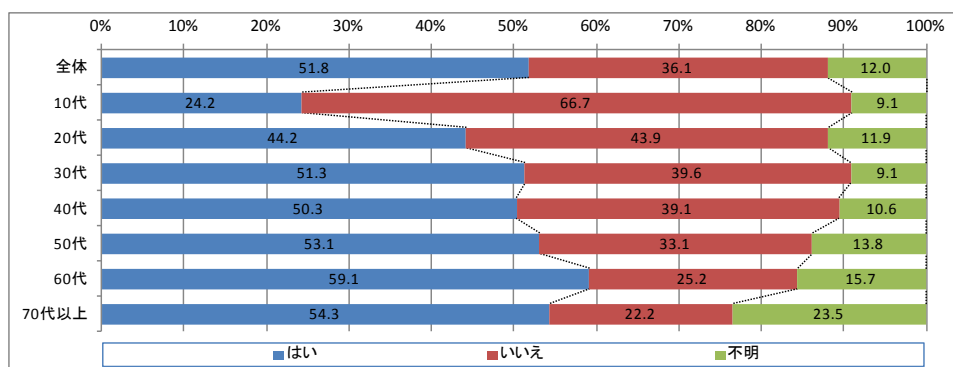


図 3.3.12# 手刻み加工の仕事（増改築）（H26年度）

⑤大工職のみ回答 和室造作ができますか。

和室造作の技能について「はい」と回答した割合が高い年代は「50代」で79.2%。
 和室造作の技能について「いいえ」と回答した割合が高い年代は「10代」で82.4%。
 前回調査（H26年度）においても同様の結果の傾向がみられた。

	合計	(14)④和室造作ができますか			
		はい	いいえ	不明	
全体	4169	66.4	18.8	14.8	
年齢	10代	51	3.9	82.4	13.7
	20代	339	19.8	67.3	13.0
	30代	1124	61.5	26.2	12.4
	40代	1026	72.5	14.6	12.9
	50代	818	79.2	6.1	14.7
	60代	689	78.2	1.7	20.0
	70代以上	78	67.9	2.6	29.5

表 3.3.13 和室造作（H27年度）（割合%）

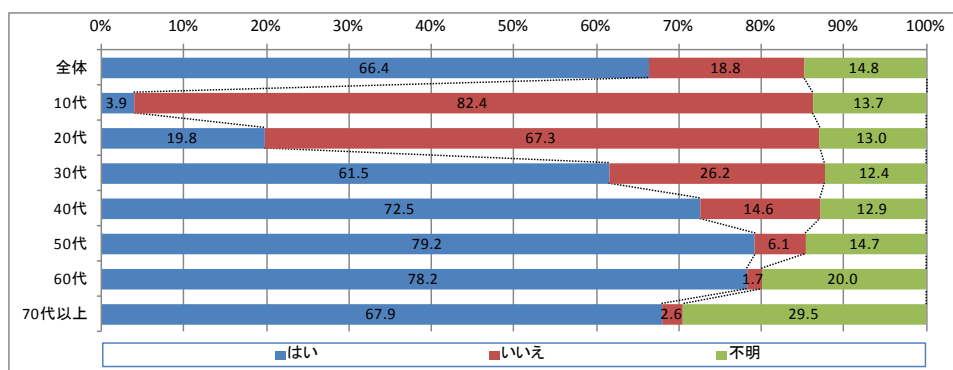


図 3.3.13 和室造作（H27年度）

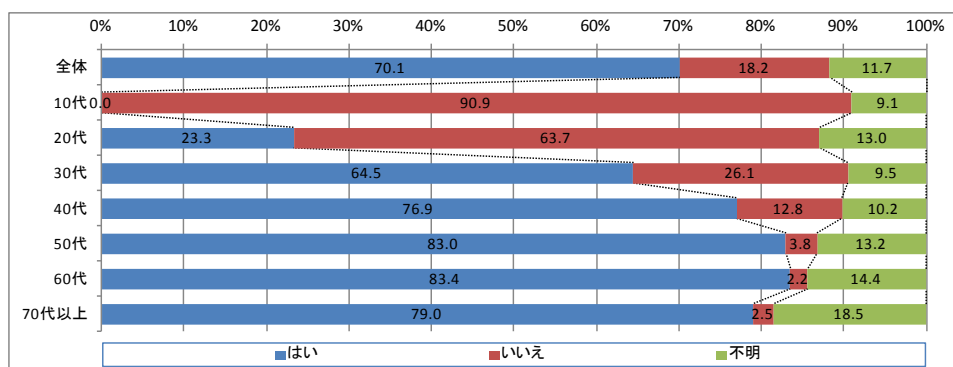


図 3.3.13# 和室造作（H26年度）

⑥大工職のみ回答 2×4 工法の住宅の施工ができますか。

2×4 工法の住宅の施工技能について「はい」と回答した割合が高い年代は「50代」で31.5%。
 2×4 工法の住宅の施工技能について「いいえ」と回答した割合が高い年代は「10代」で86.3%。
 前回調査（H26 年度）においても同様の結果の傾向がみられた。

		合計	(14)⑤2×4工法の住宅の施工ができますか		
			はい	いいえ	不明
年齢	全体	4169	26.1	58.3	15.6
	10代	51	2.0	86.3	11.8
	20代	339	13.9	73.5	12.7
	30代	1124	24.5	63.7	11.8
	40代	1026	28.5	58.4	13.2
	50代	818	31.5	52.6	15.9
	60代	689	27.4	49.1	23.5
	70代以上	78	25.6	42.3	32.1

表 3.3.14 2×4 工法の住宅の施工（H27 年度）（割合%）

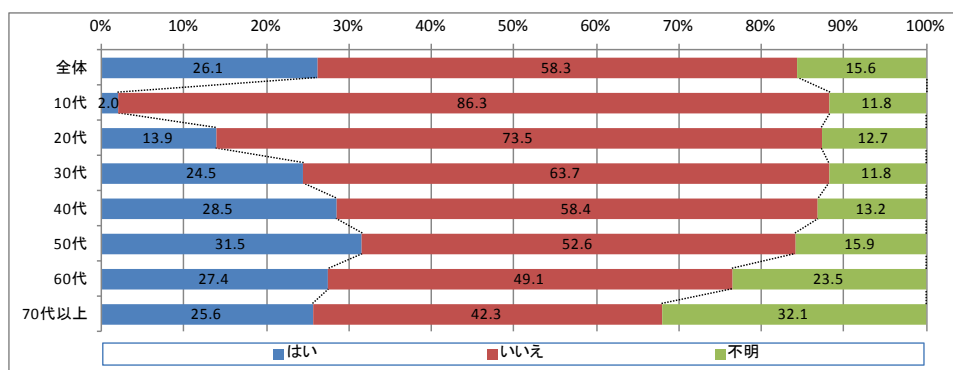


図 3.3.14 2×4 工法の住宅の施工（H27 年度）

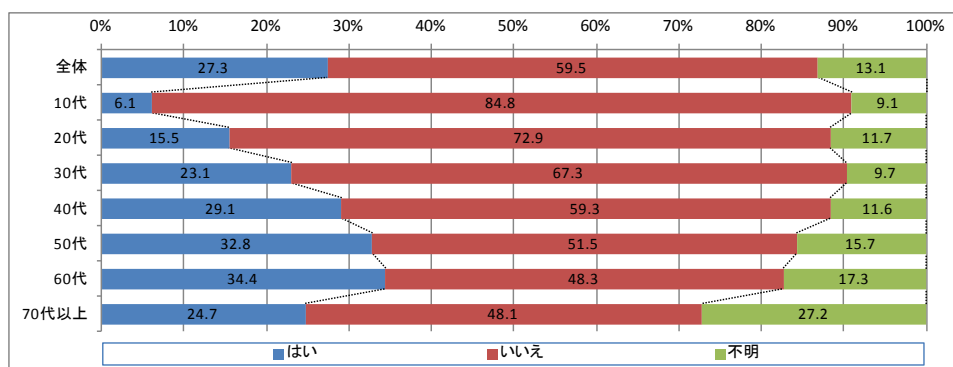


図 3.3.14# 2×4 工法の住宅の施工（H26 年度）

(4) 仕事に対する満足度や今後の意向について

①現在の仕事の内容について満足していますか。

「とても満足している」、「まあ満足している」を合計した「満足している」割合が最も高い年代は「10代」で72.6%。

「あまり満足していない」、「満足していない」を合計した「満足していない」割合が最も高い年代は「40代」で31.9%。

前回調査（H26年度）では「50代」が最も「満足している」割合が低く、「60代」以上になると「満足している」割合が増加する傾向がみられたが、今回調査では「満足してる」割合は「60代」以上で増加しなかった。

		合計	(15)現在の仕事の内容について満足度				
			とても満足している	まあ満足している	あまり満足していない	満足していない	不明
全体		4169	10.3	50.7	23.2	5.4	10.3
年齢	10代	51	25.5	47.1	9.8	3.9	13.7
	20代	339	16.5	53.4	16.5	5.0	8.6
	30代	1124	11.7	52.4	23.5	5.9	6.6
	40代	1026	8.6	51.1	26.1	5.8	8.5
	50代	818	6.6	52.7	24.4	5.5	10.8
	60代	689	9.9	46.7	21.9	4.9	16.5
	70代以上	78	15.4	38.5	19.2	2.6	24.4

表 3.3.15 仕事の内容についての満足度（H27年度）（割合%）

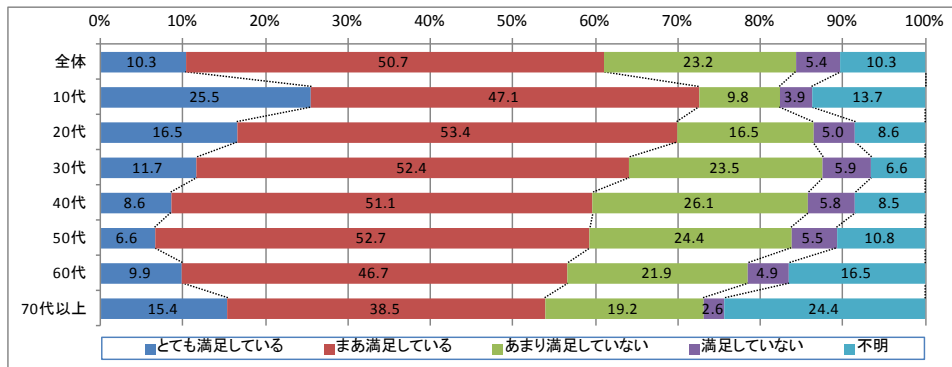


図 3.3.15 仕事の内容についての満足度（H27年度）

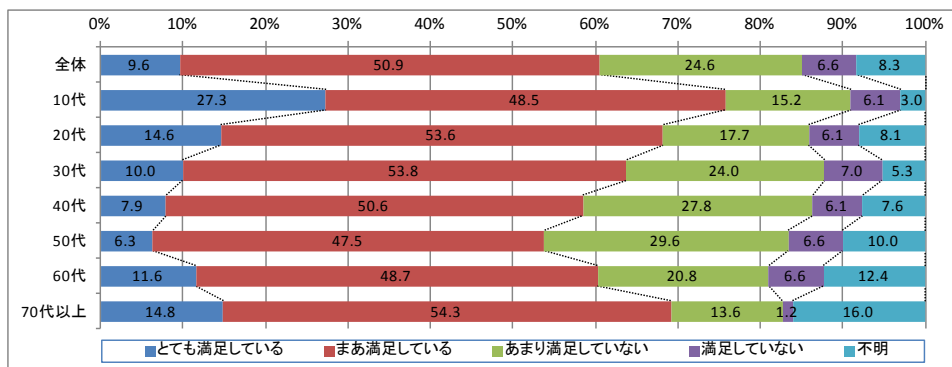


図 3.3.15# 仕事の内容についての満足度（H26年度）

②現在の仕事で得られる収入等について満足していますか。

「とても満足している」、「まあ満足している」を合計した「満足している」割合が最も高い年代は「10代」で54.9%。

「あまり満足していない」、「満足していない」を合計した「満足していない」割合が最も高い年代は「40代」で55.8%。

前回調査（H26年度）においても同様の結果の傾向がみられた。

	合計	(16)現在の仕事で得られる収入等について満足度				
		とても満足している	まあ満足している	あまり満足していない	満足していない	不明
全体	4169	3.5	33.2	37.0	16.0	10.4
10代	51	5.9	49.0	13.7	17.6	13.7
20代	339	4.1	33.6	28.3	24.8	9.1
30代	1124	4.4	35.2	36.7	16.9	6.8
40代	1026	3.2	32.2	40.1	15.7	8.9
50代	818	2.4	30.3	41.9	14.8	10.5
60代	689	2.6	33.1	35.1	12.9	16.3
70代以上	78	5.1	38.5	24.4	10.3	21.8

表 3.3.16 収入等についての満足度（H27年度）（割合%）

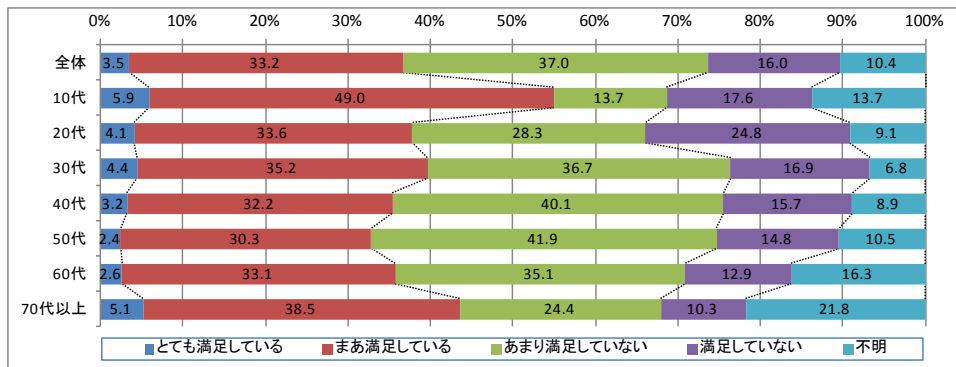


図 3.3.16 収入等についての満足度（H27年度）

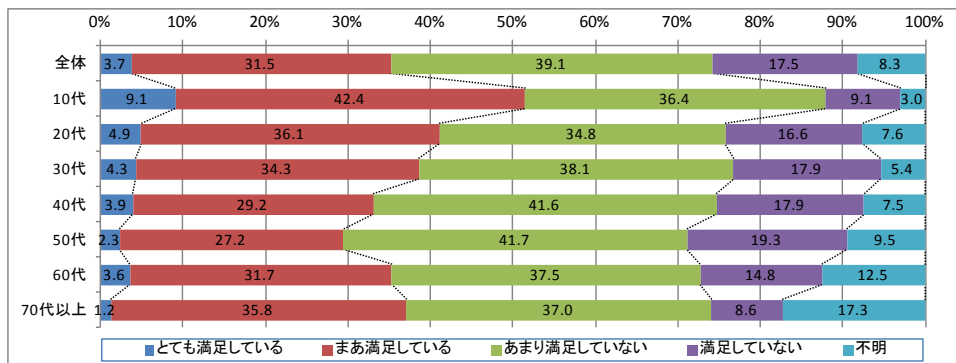


図 3.3.16# 収入等についての満足度（H26年度）

③今後何歳までお仕事を続けられる予定ですか。

「仕事ができる限り続ける」と回答した割合が最も高い年代は「10代」で62.7%。最も低い年代は「60代」で36.6%。

各年代で「仕事ができる限り続ける」に次いで回答した割合が高いのは、「10代」では「60歳で引退する」、「20代」から「50代」までは「65歳で引退する」、「60代」では「70歳で引退する」、「70代以上」では「75歳で引退する」であった。

「仕事がないため、近々退職・引退する予定である」と回答した割合が高い年代は「10代」(5.9%)、「70代以上」(5.1%)であった。入職初期の10代で、退職を意識する大工が少ない。

	合計	(17)今後何歳までお仕事を続けられる予定ですか							
		60歳で引退する	65歳で引退する	70歳で引退する	75歳で引退する	仕事ができる限り続ける	仕事がないため近々退職・引退する予定である	不明	
全体	4169	6.3	15.8	13.0	2.6	50.8	0.9	10.7	
年齢	10代	51	7.8	5.9	2.0	2.0	62.7	5.9	13.7
	20代	339	7.4	8.6	2.4	0.3	69.6	1.2	10.6
	30代	1124	8.6	16.0	5.6	0.8	60.4	1.1	7.5
	40代	1026	9.4	16.6	9.8	1.2	53.6	0.8	8.7
	50代	818	4.6	24.6	19.6	1.6	38.6	0.4	10.6
	60代	689	0.1	10.2	28.9	7.7	36.6	0.6	16.0
	70代以上	78	0.0	0.0	3.8	23.1	47.4	5.1	20.5

表 3.3.17 何歳まで仕事を続ける予定か（H27年度）（割合%）

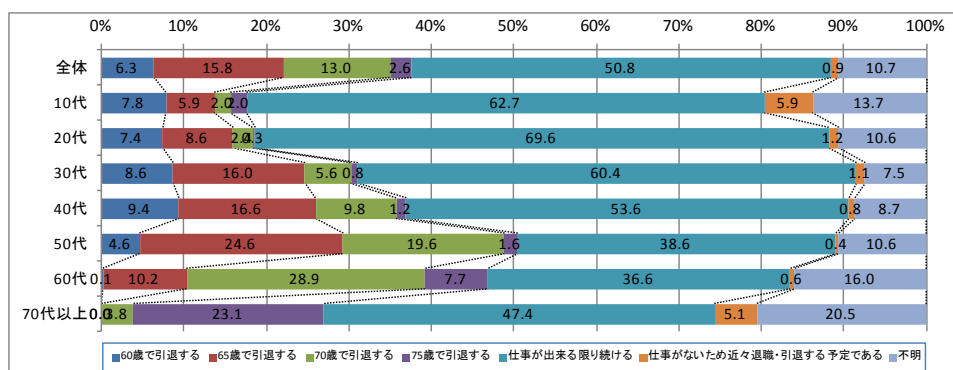


図 3.3.17 何歳まで仕事を続ける予定か（H27年度）

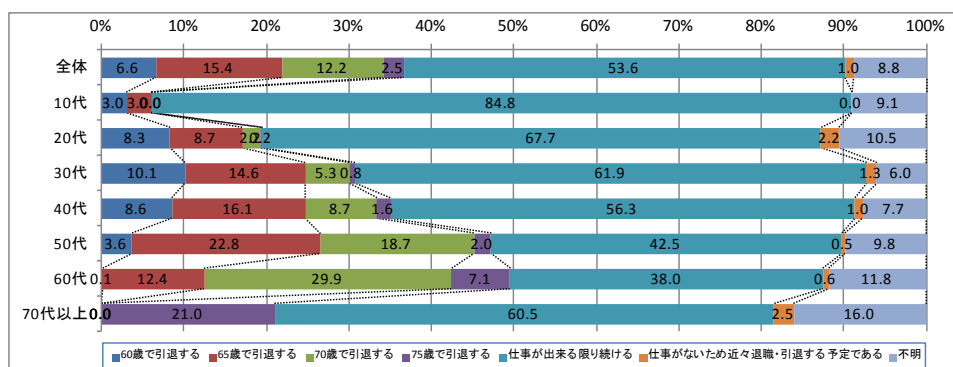


図 3.3.17# 何歳まで仕事を続ける予定か（H26年度）

(5) 担い手育成について

①現在、担い手（見習い等）の育成を行っていますか。

「現在育てている」と回答した割合が最も高い年代は「60代」で17.4%。

「現在は育てていないが、人材がいれば育てたい」と回答した割合が最も高い年代は「30代」で49.6%。

「現在は育てていないし、今後も育てる予定はない」と回答した割合が最も高い年代は「70代以上」で44.9%。

	合計	(18)現在、担い手の育成を行っていますか			
		現在育てている	現在は育てていないが、人材がいれば育てたい	現在は育てていないし、今後も育てる予定はない	不明
全体	4169	14.1	39.5	30.7	15.8
年齢					
10代	51	3.9	25.5	33.3	37.3
20代	339	8.0	37.8	23.6	30.7
30代	1124	13.3	49.6	24.6	12.6
40代	1026	13.0	46.2	29.5	11.3
50代	818	17.2	34.4	35.7	12.7
60代	689	17.4	24.4	38.6	19.6
70代以上	78	16.7	11.5	44.9	26.9

表 3.3.18 担い手の育成状況（H27年度）（割合%）

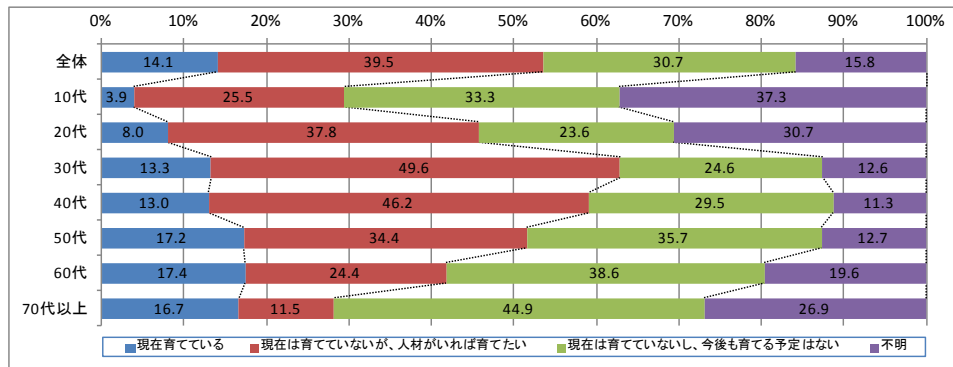


図 3.3.18 担い手の育成状況（H27年度）

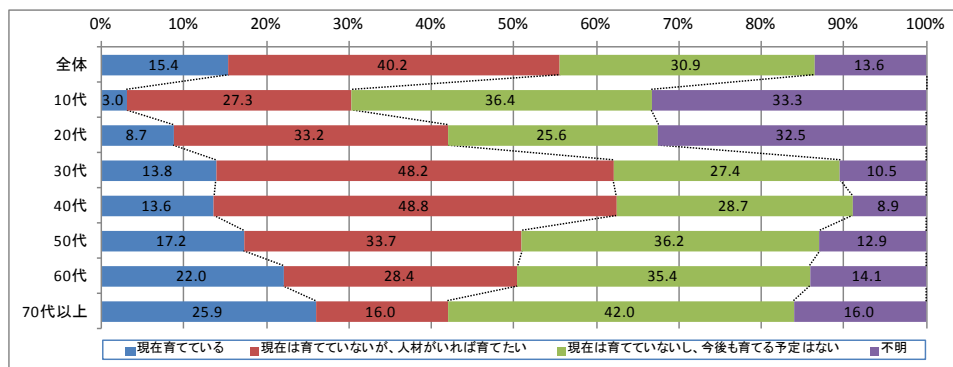


図 3.3.18# 担い手の育成状況（H26年度）

② 「1.現在育てている」および「2.過去には育てた」のみ回答

育成期間の担い手の立場

「正社員（職業訓練校）」と回答した割合が最も高い年代は「20代」で44.4%。

「正社員（弟子として）」と回答した割合が最も高い年代は「10代」で100%。

「一人親方等にあずける（職業訓練校）」と回答した割合が最も高い年代は「50代」で4.3%。

「一人親方等にあずける（弟子として）」と回答した割合が最も高い年代は「30代」で14.1%。

		合計	(19)育成期間の担い手の立場				
			正社員 (職業訓練校)	正社員 (弟子として)	一人親方等 にあずける (職業訓練校)	一人親方等 にあずける (弟子として)	不明
全体		586	18.3	61.8	3.6	10.8	5.6
年齢	10代	2	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	20代	27	44.4	48.1	0.0	7.4	0.0
	30代	149	15.4	62.4	3.4	14.1	4.7
	40代	133	15.8	69.2	3.8	8.3	3.0
	50代	141	18.4	59.6	4.3	11.3	6.4
	60代	120	20.8	55.8	4.2	10.8	8.3
	70代以上	13	0.0	76.9	0.0	0.0	23.1

表 3.3.19 育成期間の担い手の立場（H27年度）（割合%）

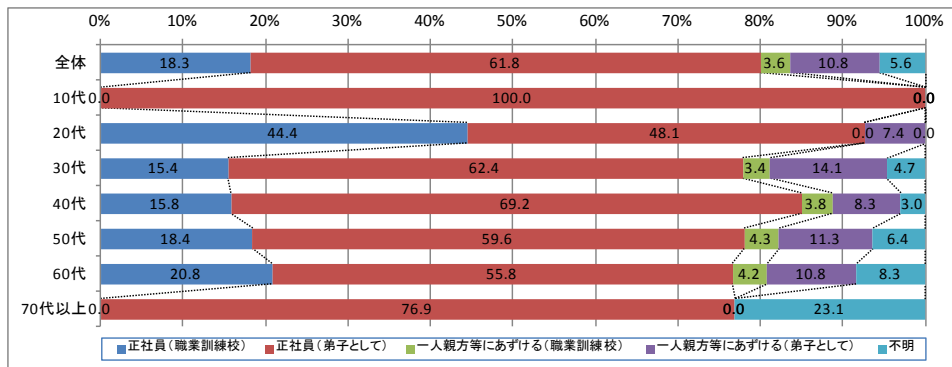


図 3.3.19 育成期間の担い手の立場（H27年度）

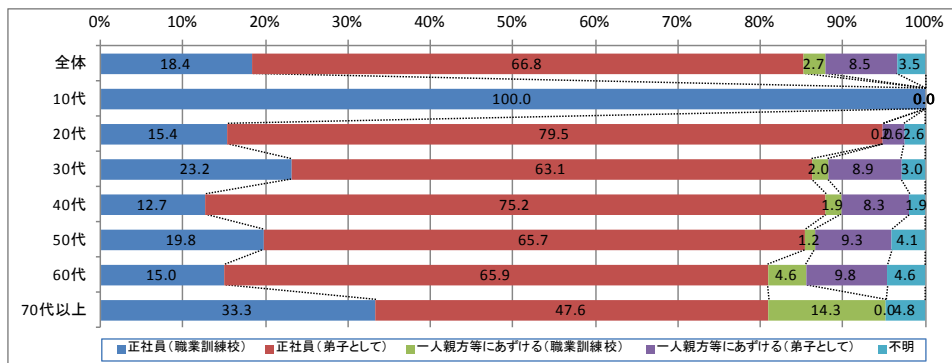


図 3.3.19# 育成期間の担い手の立場（H26年度）

③ 「1.現在育てている」 および 「2.過去には育てた」 のみ回答
 育成にかかる費用負担

育成期間にかかる費用負担が「有る」と回答した割合が最も高かった年代は「40代」で35.3%。
 「無い」と回答した割合が最も高かった年代は「40代」で20.3%。

	合計	(20)育成期間にかかる費用の負担を行っているか			
		有	無	不明	
全体	586	29.4	15.2	55.5	
年齢	10代	2	0.0	0.0	100.0
	20代	27	25.9	18.5	55.6
	30代	149	30.9	18.8	50.3
	40代	133	35.3	20.3	44.4
	50代	141	27.0	15.6	57.4
	60代	120	25.0	5.0	70.0
	70代以上	13	23.1	7.7	69.2

表 3.3.20 育成期間にかかる費用負担（H27年度）（割合%）

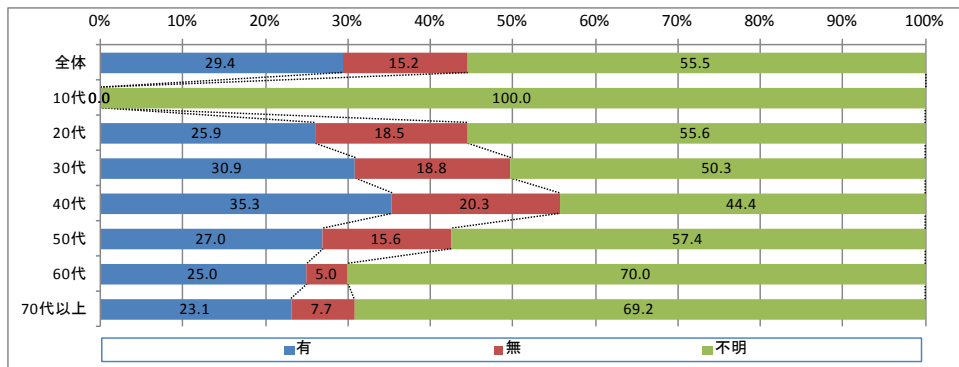


図 3.3.20 育成期間にかかる費用負担（H27年度）

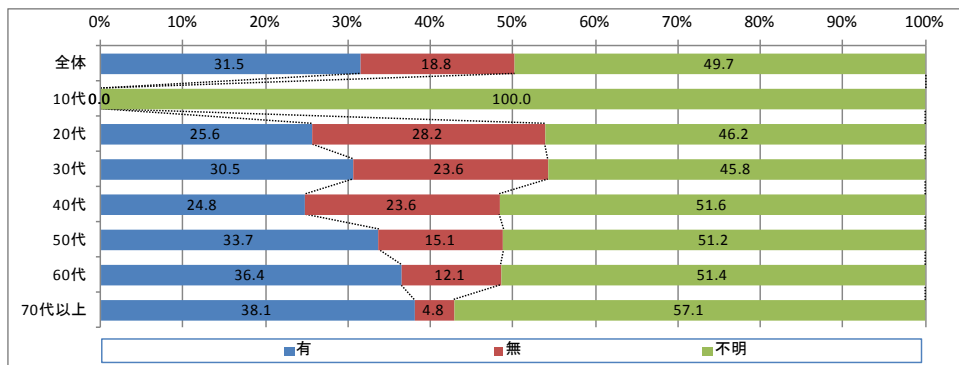


図 3.3.20# 育成期間にかかる費用負担（H26年度）

④ 「4.現在は育てていないし、今後も育てる予定はない」のみ回答
なぜ育てる予定はないのか。

育てる予定がない理由としては「60代」が最も多く回答しており、合計値は179.7%。
「10代」では「教えるのが面倒なため」、「育てる自信がないため」と回答した割合が最も高く29.4%。
「20代」から「60代」では「将来の保障ができないため」と回答した割合が最も高い。
「70代以上」では「年齢のため」と回答した割合が最も高く42.9%。

	合計	(21)なぜ育てる予定はないのですか											
		育てても、一人前になると辞めてしまうため	教えるのが面倒なため	費用がかかるため	言うことを聞かないため	人材がないため	育てる自信がないため	将来の保障ができないため	年齢のため	仕事がプレカートのため	新築が少ないため	その他	不明
全体	1280	9.5	6.8	18.1	3.0	21.7	11.2	40.0	13.4	10.0	21.0	5.6	13.0
10代	17	5.9	29.4	5.9	0.0	0.0	29.4	17.6	11.8	5.9	5.9	17.6	17.6
20代	80	7.5	8.8	10.0	0.0	8.8	17.5	18.8	13.8	3.8	7.5	15.0	15.0
30代	276	9.8	8.7	21.7	2.9	23.2	12.3	33.7	1.4	6.9	15.6	5.8	16.3
40代	303	10.2	7.9	26.7	4.0	19.8	13.9	49.8	1.0	7.9	19.8	4.6	9.2
50代	292	10.6	5.1	16.1	3.8	25.7	11.6	42.8	13.4	13.7	25.7	4.5	15.1
60代	266	7.5	4.1	12.4	3.0	24.4	5.3	43.2	35.7	13.2	27.1	3.8	9.8
70代以上	35	17.1	0.0	2.9	0.0	20.0	0.0	20.0	42.9	17.1	31.4	2.9	22.9

表 3.3.21 なぜ育てる予定はないのか（H27年度）（割合%）

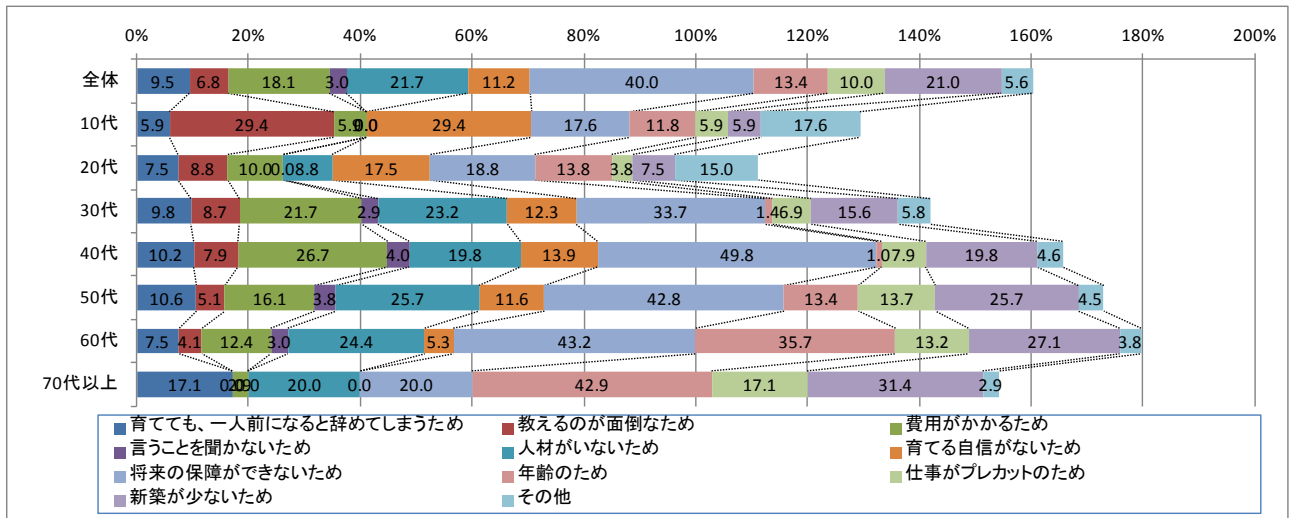


図 3.3.21 なぜ育てる予定はないのか（H27年度）

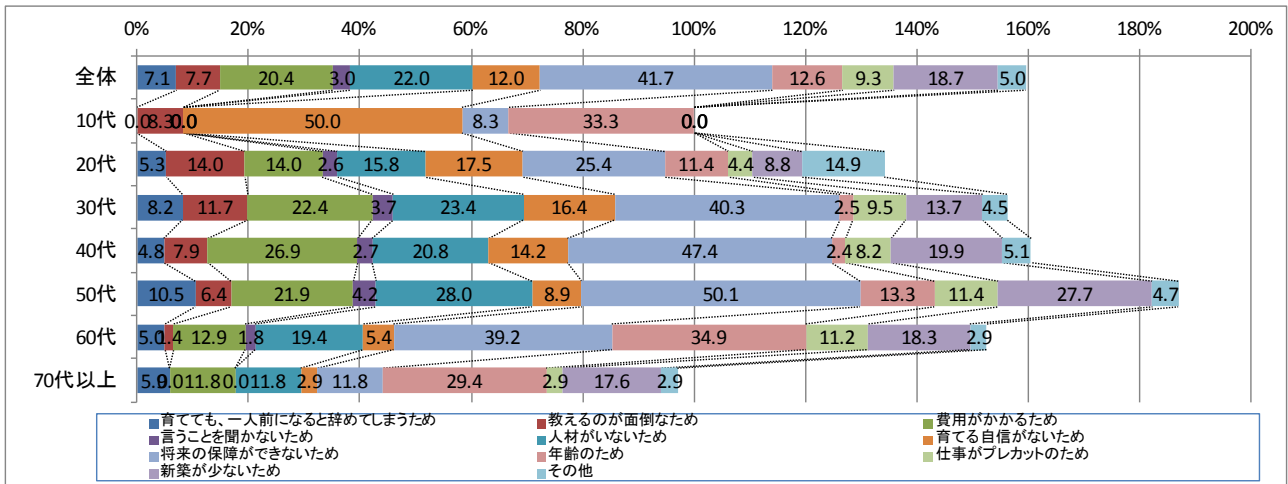


図 3.3.21# なぜ育てる予定はないのか（H26年度）

⑤担い手育成にかかる費用の公的補助について、1人/月当たりどの程度必要と考えますか。

担い手の育成にかかる費用の公的補助については、「10代」では「5万円/月」と回答した割合が最も高く19.6%。その他の「20代」から「70代以上」の年代では「10万円/月」と回答した割合が最も高かった。

	合計	(22)担い手の育成にかかる費用の公的補助はどの程度必要か						
		3万円/月	5万円/月	10万円/月	15万円/月	必要ない	不明	
全体	4169	3.5	14.8	28.0	18.5	2.8	32.3	
年齢	10代	51	5.9	19.6	2.0	9.8	7.8	54.9
	20代	339	3.2	14.2	21.5	10.9	3.5	46.6
	30代	1124	3.9	16.4	29.8	19.8	3.2	27.0
	40代	1026	3.0	16.3	30.4	24.4	3.1	22.8
	50代	818	3.2	13.9	30.8	18.7	2.0	31.4
	60代	689	4.1	12.5	25.1	13.2	2.5	42.7
	70代以上	78	3.8	7.7	20.5	11.5	1.3	55.1

表 3.3.22 公的補助について、1人/月当たりどの程度必要か（H27年度）（割合%）

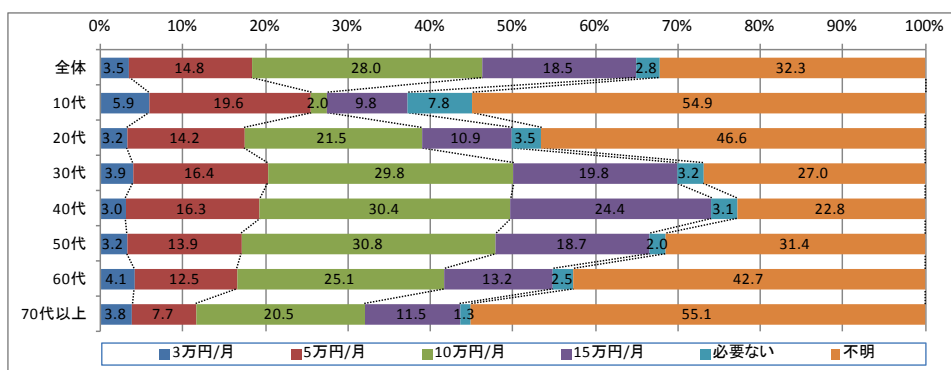


図 3.3.22 公的補助について、1人/月当たりどの程度必要か（H27年度）

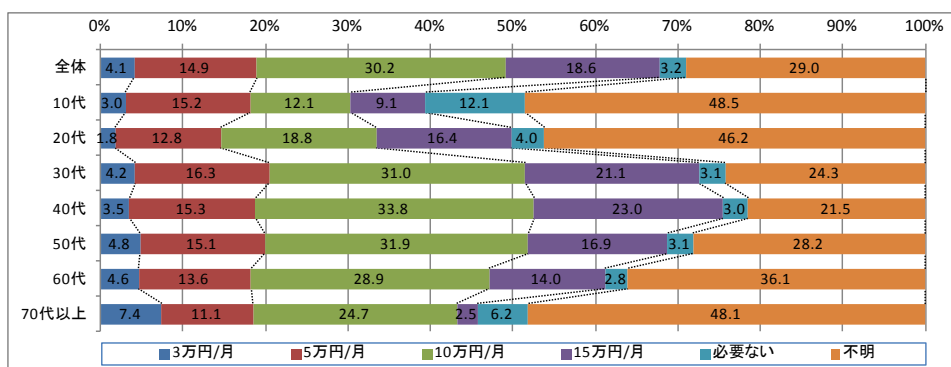


図 3.3.22# 公的補助について、1人/月当たりどの程度必要か（H26年度）

4. 経験年数別集計

(1) 職業等について

①職種においてベテランだと思いますか。

「ベテラン」と回答した割合が最も高い経験年数は「51年以上」で52.7%。

「ややベテラン」と回答した割合が最も高い経験年数は「31～40年」で37.2%。

「中堅」と回答した割合が最も高い経験年数は「11～20年」で56.2%。

「やや中堅」と回答した割合が最も高い経験年数は「6～10年」で41.3%。

「見習い」と回答した割合が最も高い経験年数は「5年未満」で82.3%。

	合計	(5)あなたのベテラン度合いについて					
		ベテラン	ややベテラン	中堅	やや中堅	見習い	不明
全体	4169	18.8	21.3	35.0	11.4	10.5	2.9
経験年数							
5年未満	395	1.5	0.5	2.8	11.4	82.3	1.5
6～10年	320	1.9	2.2	35.9	41.3	16.3	2.5
11～20年	1158	5.6	12.7	56.2	19.3	2.8	3.4
21～30年	876	16.2	30.7	45.1	5.3	1.4	1.4
31～40年	691	31.3	37.2	25.3	2.0	1.2	3.0
41～50年	613	48.6	29.4	15.8	1.6	0.8	3.8
51年以上	91	52.7	25.3	11.0	2.2	3.3	5.5

表 3.4.1 職種のベテラン度合（H27年度）（割合%）

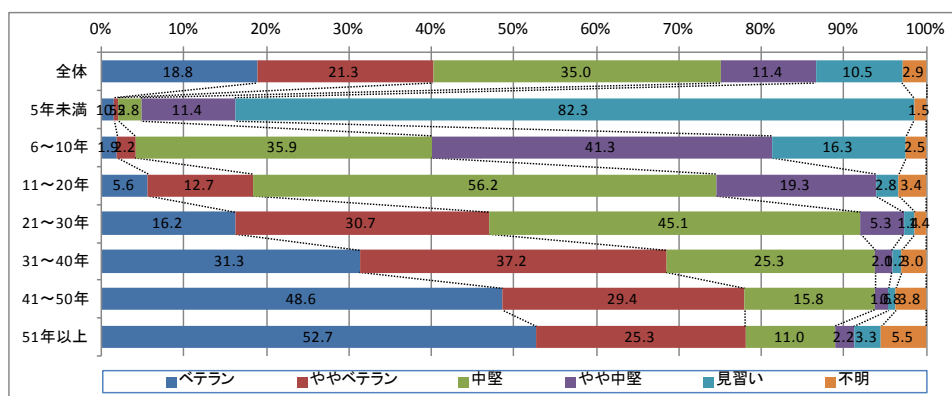


図 3.4.1 職種のベテラン度合（H27年度）

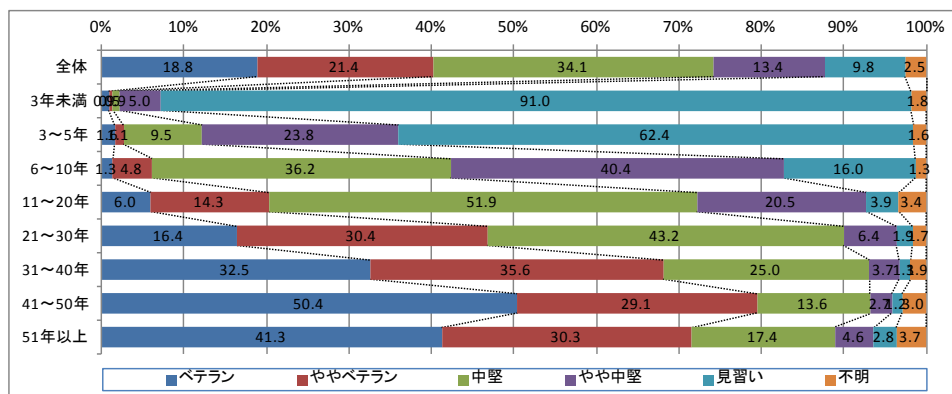


図 3.4.1# 職種のベテラン度合（H26年度）

(2) 雇用形態について

①雇用形態（工務店等との）

「工務店社員」と回答した割合が最も高い経験年数は「5年未満」で70.9%。
 「外注常用（日当制）」と回答した割合が最も高い経験年数は「41～50年」で15.5%。
 「外注常用（坪請主体）」と回答した割合が最も高い経験年数は「21～30年」で13.1%。
 「その都度契約」と回答した割合が最も高い経験年数は「21～30年」で5.5%。
 「元請として仕事」と回答した割合が最も高い経験年数は「51年以上」で73.6%。
 「その他（アルバイト等）」と回答した割合が最も高い経験年数は「5年未満」で7.8%。

	合計	(6)あなたの雇用形態							
		工務店社員	外注常用(日当制)	外注常用(坪請主体)	その都度契約	元請として仕事	その他(アルバイト等)	不明	
全体	4169	36.3	11.5	10.0	4.1	33.9	1.4	2.9	
経験年数	5年未満	395	70.9	10.4	1.5	1.5	3.5	7.8	4.3
	6～10年	320	59.4	12.2	5.3	2.8	14.4	3.1	2.8
	11～20年	1158	45.9	10.7	11.1	3.8	25.6	0.7	2.2
	21～30年	876	30.0	9.1	13.1	5.5	39.8	0.3	2.1
	31～40年	691	24.0	13.3	9.4	4.3	45.3	0.4	3.2
	41～50年	613	11.9	15.5	11.9	4.7	52.7	0.2	3.1
	51年以上	91	4.4	6.6	6.6	4.4	73.6	1.1	3.3

表 3.4.2 雇用形態（H27年度）（割合%）

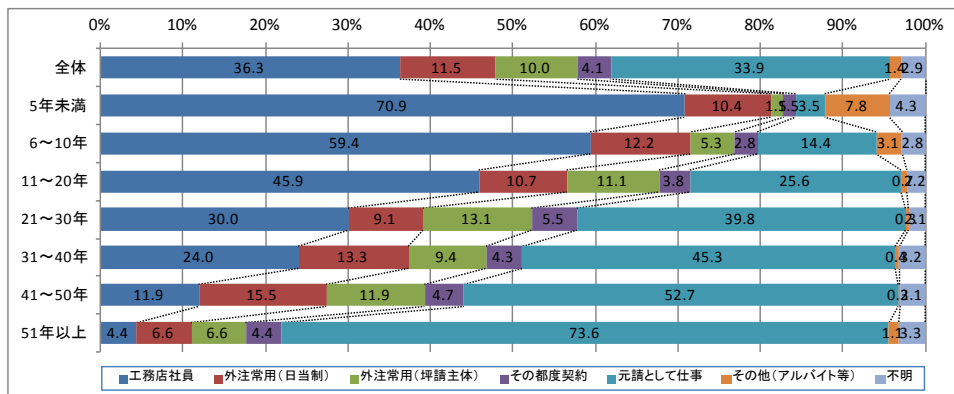


図 3.4.2 雇用形態（H27年度）

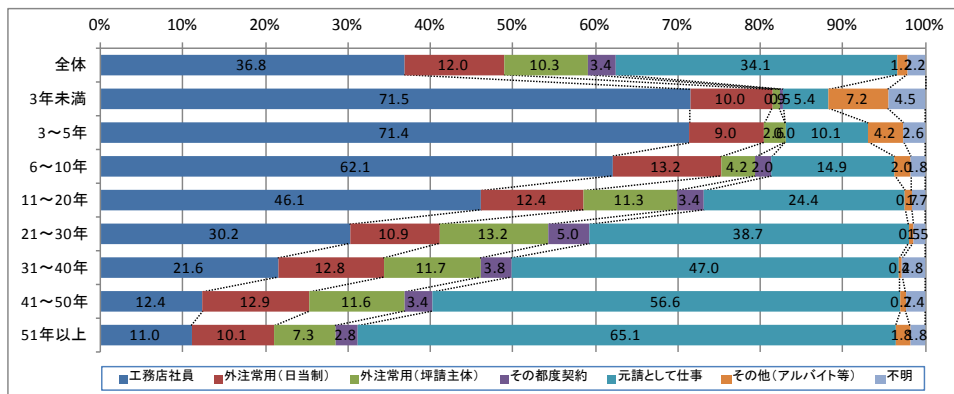


図 3.4.2# 雇用形態（H26年度）

②就業規則

就業規則が「有る」と回答した割合が最も高い経験年数は「5年未満」で41.0%。
 就業規則が「無い」と回答した割合が最も高い経験年数は「21~30年」が57.8%。

	合計	(7)就業規則			
		有	無	不明	
全体	4169	27.0	51.6	21.4	
経験年数	5年未満	395	41.0	34.2	24.8
	6~10年	320	32.8	48.4	18.8
	11~20年	1158	29.6	53.3	17.1
	21~30年	876	23.6	57.8	18.6
	31~40年	691	23.3	54.4	22.3
	41~50年	613	21.2	51.2	27.6
	51年以上	91	15.4	42.9	41.8

表 3.4.3 就業規則（H27 年度）（割合%）

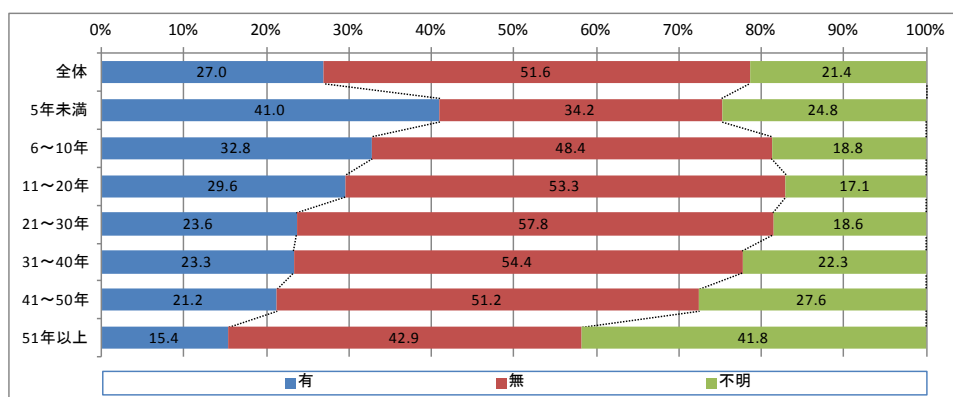


図 3.4.3 就業規則（H27 年度）

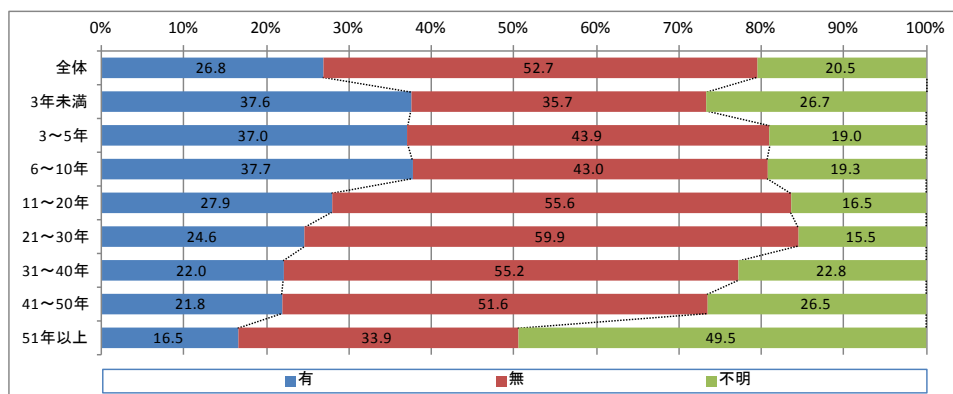


図 3.4.3# 就業規則（H26 年度）

③有給休暇

有給休暇が「有る」と回答した割合が最も高い経験年数は「3年未満」で28.4%。
有給休暇が「無い」と回答した割合が最も高い経験年数は「11~20年」で71.1%。

	合計	(8)有給休暇			
		有	無	不明	
全体	4169	12.4	63.3	24.3	
経験年数	5年未満	395	28.4	50.4	21.3
	6~10年	320	14.4	68.8	16.9
	11~20年	1158	12.8	71.1	16.1
	21~30年	876	10.6	69.2	20.2
	31~40年	691	10.4	58.8	30.8
	41~50年	613	6.2	56.3	37.5
	51年以上	91	5.5	35.2	59.3

表 3.4.4 有給休暇（H27年度）（割合%）

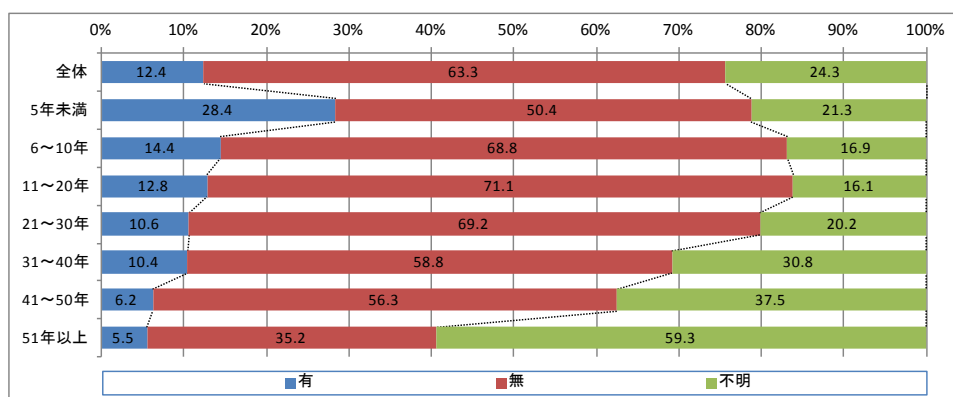


図 3.4.4 有給休暇（H27年度）

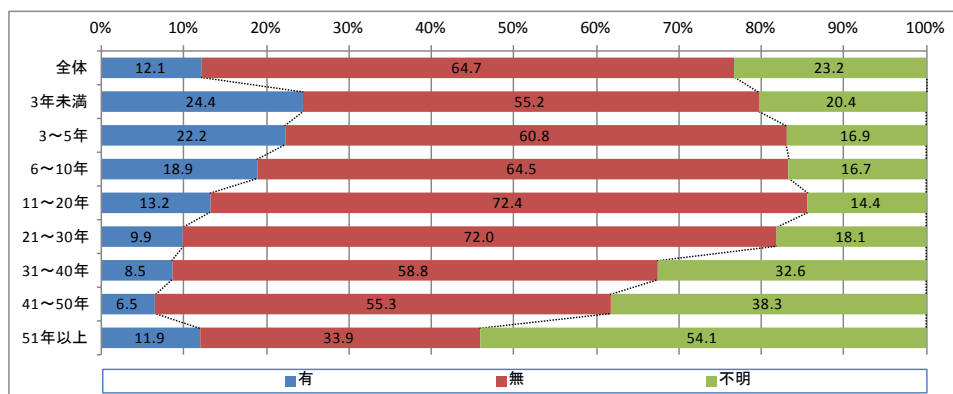


図 3.4.4# 有給休暇（H26年度）

④年間就業日数

平均年間就業日数が最も多い経験年数は「21～30年」で277.87日。

平均年間就業日数が最も少ない経験年数は「51年以上」で242.69日。

	合計	(9)年間就業日数							平均	
		100日未満	100～150日未満	150～200日未満	200～250日未満	250～300日未満	300日以上	不明		
全体	4169	3.2	0.8	0.7	5.8	20.3	24.5	44.6	264.88	
経験年数	5年未満	395	4.8	0.8	0.3	2.8	16.7	20.5	54.2	257.70
	6～10年	320	4.7	0.9	0.3	2.8	20.6	25.9	44.7	263.15
	11～20年	1158	3.2	0.9	0.4	2.8	19.8	33.3	39.6	273.57
	21～30年	876	2.7	0.5	0.5	3.9	19.5	30.8	42.1	277.87
	31～40年	691	3.3	0.3	0.6	9.6	21.3	17.2	47.8	255.16
	41～50年	613	2.4	1.5	2.3	13.4	24.1	12.2	44.0	244.61
	51年以上	91	0.0	2.2	2.2	9.9	19.8	4.4	61.5	242.69

表 3.4.5 年間就業日数（H27年度）（割合%）

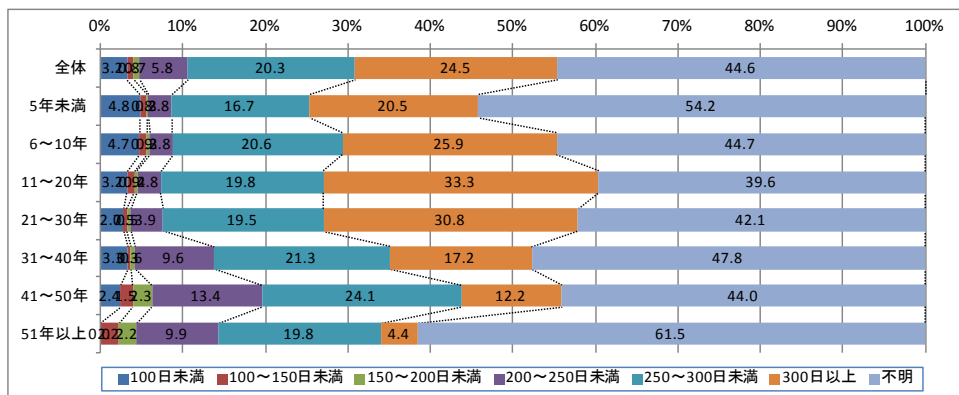


図 3.4.5 年間就業日数（H27年度）

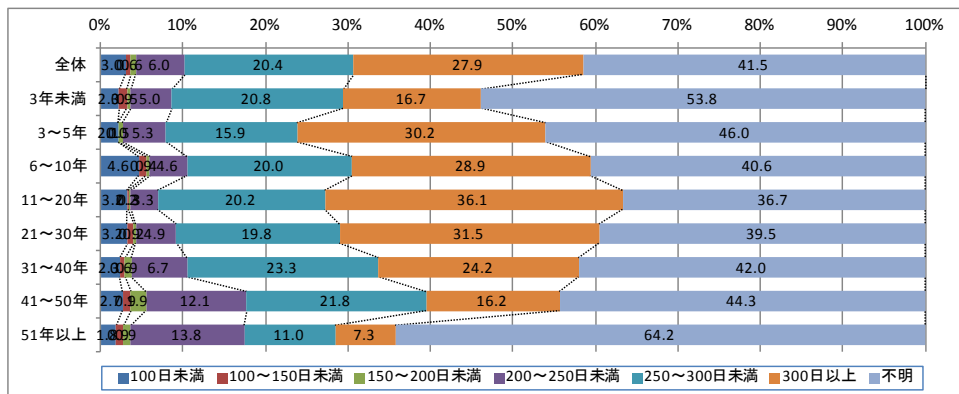


図 3.4.5# 年間就業日数（H26年度）

⑤賃金の中に含まれ、自己負担となっているもの

賃金の中に含まれ、自己負担となっているものの割合の合計値が最も高い経験年数は「41~50年」で280.6%。最も低いのは「5年未満」で191.9%。

「手道具」、「電動工具」は経験年数に関わりなく約6割の大工が自己負担となっている。

「クギ金物」は経験年数「11~20年」以上では約2~3割の大工が自己負担となっている。

「車（保険含む）」、「ガソリン」は経験年数「51年以上」の大工では減少がみられた。

	合計	(11)自己負担となっているもの							
		手道具	電動工具	クギ金物	車(保険含む)	ガソリン	全て所属する工務店等が負担	不明	
全体	4169	70.2	63.8	22.1	51.3	50.9	15.0	8.6	
経験年数	5年未満	395	65.3	50.4	4.1	38.0	34.2	18.7	6.6
	6~10年	320	68.8	59.7	12.8	45.6	43.4	17.5	8.1
	11~20年	1158	73.0	66.1	21.6	50.8	50.9	15.2	6.0
	21~30年	876	71.8	66.9	28.0	55.4	54.9	15.3	6.8
	31~40年	691	69.0	63.8	25.5	52.5	53.1	15.3	9.6
	41~50年	613	70.5	66.7	26.9	57.4	59.1	10.3	13.4
	51年以上	91	57.1	57.1	28.6	46.2	39.6	16.5	23.1

表 3.4.6 自己負担となっているもの（H27年度）（割合%）

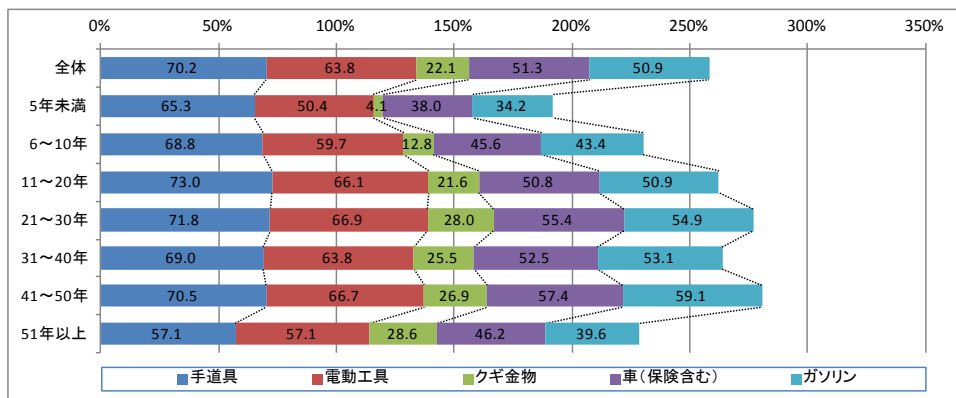


図 3.4.6 自己負担となっているもの（H27年度）

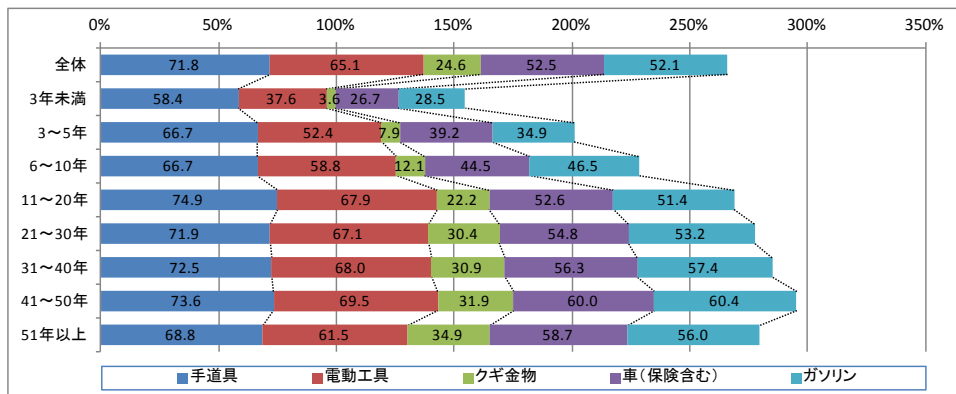


図 3.4.6# 自己負担となっているもの（H26年度）

⑥おおよその賃金（諸経費が含まれた1日あたりの平均単価）

平均賃金が最も高かった経験年数は「21～30年」で16,246.7円。

平均賃金が最も低かった経験年数は「5年未満」で9,651.6円。

	合計	(12)1日あたりのおおよその賃金							平均賃金	
		8,000円未満	8,000～10,000円未満	10,000～15,000円未満	15,000～20,000円未満	20,000～25,000円未満	25,000円以上	不明		
全体	4169	5.4	8.0	37.3	34.3	7.9	2.1	5.1	14863.6	
経験年数	5年未満	395	38.5	34.7	18.2	3.0	0.5	0.3	4.8	9651.6
	6～10年	320	4.7	18.4	51.6	14.7	4.4	0.9	5.3	12957.1
	11～20年	1158	0.9	5.5	43.7	35.7	7.9	2.4	3.8	15248.2
	21～30年	876	1.4	2.9	33.0	43.9	11.0	3.7	4.2	16246.7
	31～40年	691	1.6	3.9	38.2	40.2	8.7	1.4	5.9	15532.3
	41～50年	613	3.4	2.6	36.1	40.6	9.1	1.8	6.4	15622
	51年以上	91	3.3	4.4	33.0	39.6	6.6	2.2	11.0	15432.1

表 3.4.7 1日あたりのおおよその賃金（H27年度）（割合％）

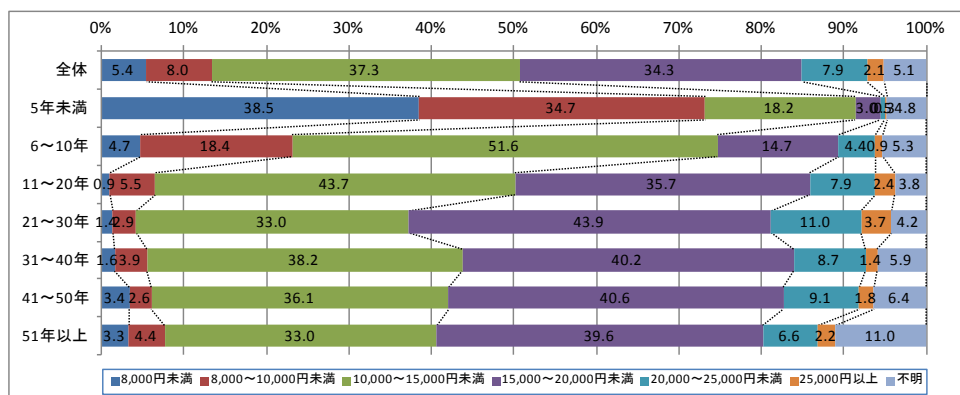


図 3.4.7 1日あたりのおおよその賃金（H27年度）

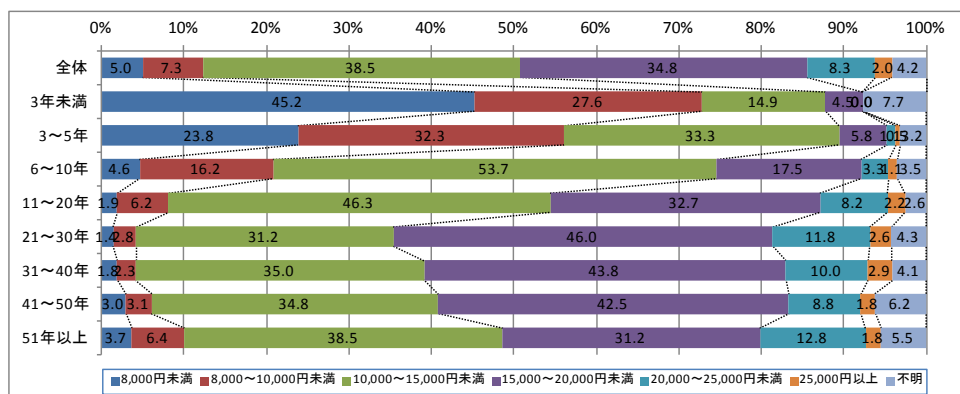


図 3.4.7# 1日あたりのおおよその賃金（H26年度）

(3) 資格や技能について

①持っている資格

持っている資格の割合の合計が最も高い経験年数は「51年以上」で386.8%。

持っている資格の割合の合計が最も低い経験年数は「5年未満」で85.6%。

	合計	(13)お持ちの資格														
		1級建築士	2級建築士	木造建築士	1級建築施工管理技士	2級建築施工管理技士	建築大工技能士(1級・2級)	枠組壁建築技能士	職業訓練指導員	増改築相談員	足場の組立て等作業主任者	木造建築物組立て作業主任者	玉掛け技能講習修了者	クレーン運転技能講習修了者	木材加工用機械作業主任者	不明
全体	4169	4.9	31.8	3.0	4.6	15.2	21.6	2.3	10.5	8.8	36.2	40.1	43.0	18.2	10.5	18.7
経験年数																
5年未満	395	1.8	7.1	0.3	1.3	3.8	7.6	0.3	1.0	0.5	8.9	3.0	34.4	14.2	1.5	50.6
6～10年	320	3.8	24.4	1.6	5.0	12.2	19.1	0.9	2.5	1.6	27.8	27.2	41.3	16.6	4.7	28.1
11～20年	1158	4.8	34.2	1.9	5.1	11.8	23.7	1.1	5.4	6.4	33.0	40.2	47.1	15.5	7.3	16.1
21～30年	876	5.8	37.2	1.4	6.1	13.8	19.5	1.0	7.6	9.9	41.7	45.5	44.5	20.2	9.5	13.5
31～40年	691	7.2	35.5	3.8	5.5	23.2	21.6	4.2	12.6	11.0	42.3	45.2	41.2	21.4	14.0	13.7
41～50年	613	4.4	34.4	8.5	2.4	22.8	27.9	5.7	28.2	16.0	47.0	55.6	41.8	20.1	20.1	11.9
51年以上	91	1.1	41.8	7.7	3.3	23.1	40.7	5.5	40.7	26.4	58.2	47.3	39.6	20.9	30.8	8.8

表 3.4.8 持っている資格 (H27 年度) (割合%)

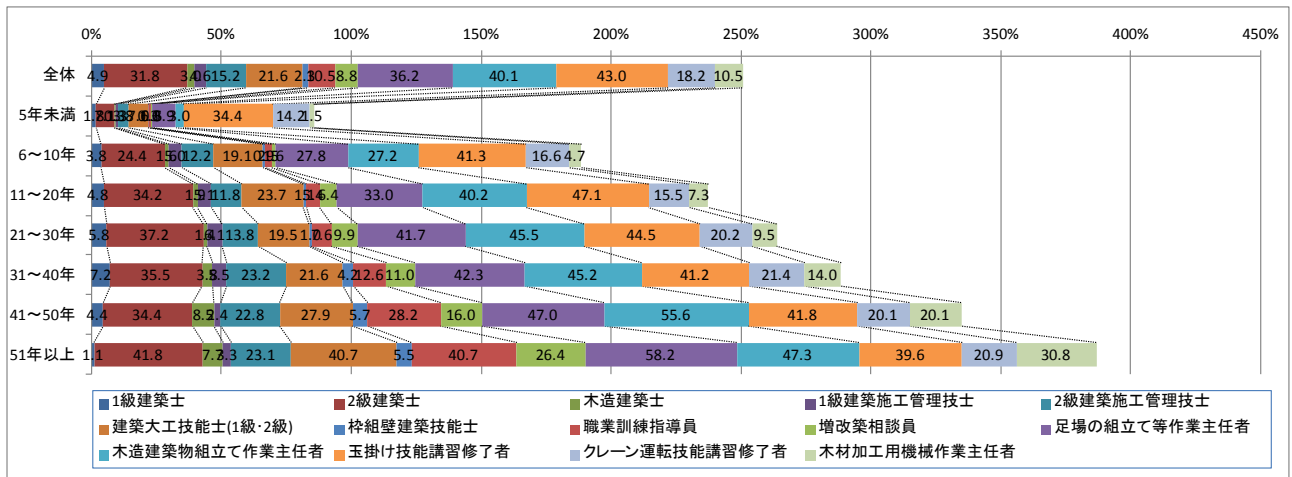


図 3.4.8 持っている資格 (H27 年度)

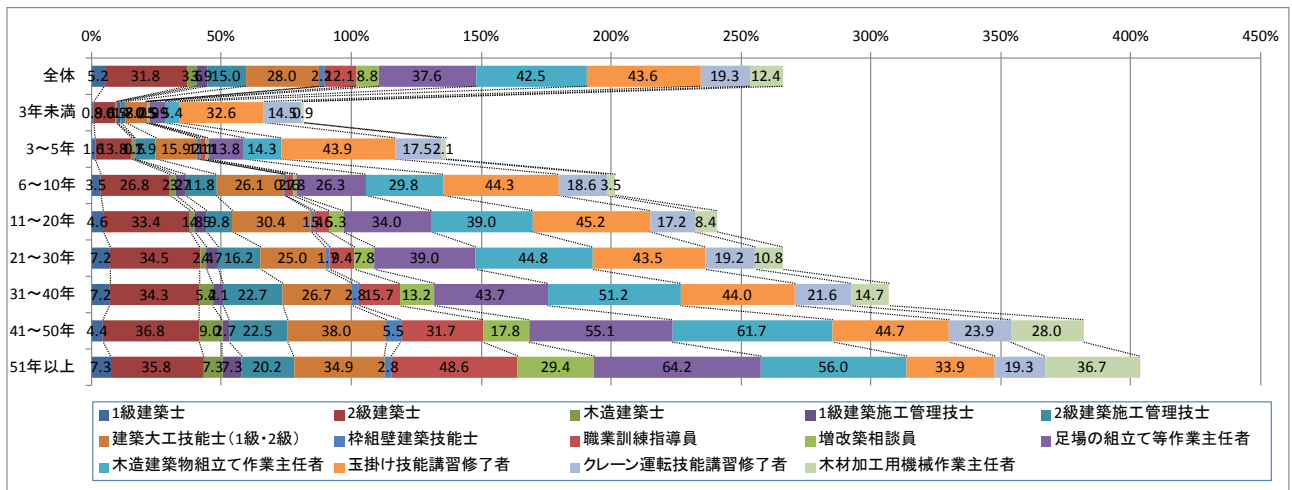


図 3.4.8# 持っている資格 (H26 年度)

②大工職のみ回答 墨付けができますか。

墨付けについて「はい」と回答した割合が最も高い経験年数は「31～40年」で83.9%。
 墨付けについて「いいえ」と回答した割合が最も高い経験年数は「5年未満」で50.1%。

		合計	(14)①墨付けができますか		
			はい	いいえ	不明
全体		4169	71.6	14.6	13.8
経験年数	5年未満	395	35.2	50.1	14.7
	6～10年	320	46.9	38.1	15.0
	11～20年	1158	68.7	19.2	12.2
	21～30年	876	82.1	6.3	11.6
	31～40年	691	83.9	1.0	15.1
	41～50年	613	83.5	0.5	16.0
	51年以上	91	79.1	1.1	19.8

表 3.4.9 墨付け（H27年度）（割合%）

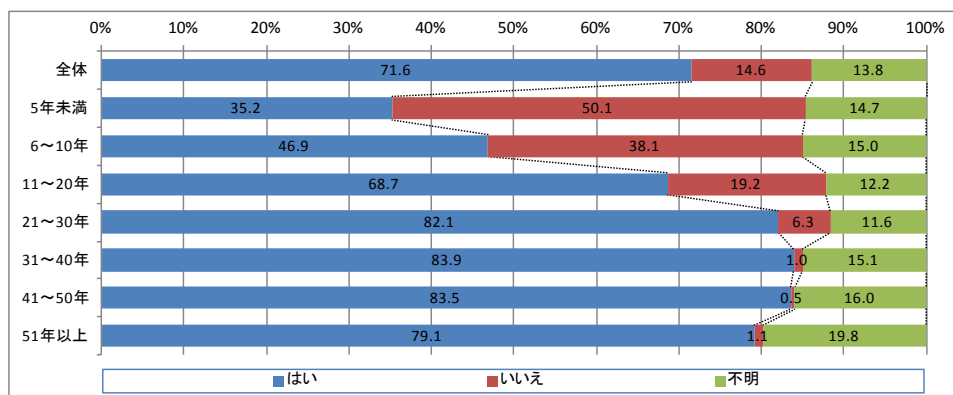


図 3.4.9 墨付け（H27年度）

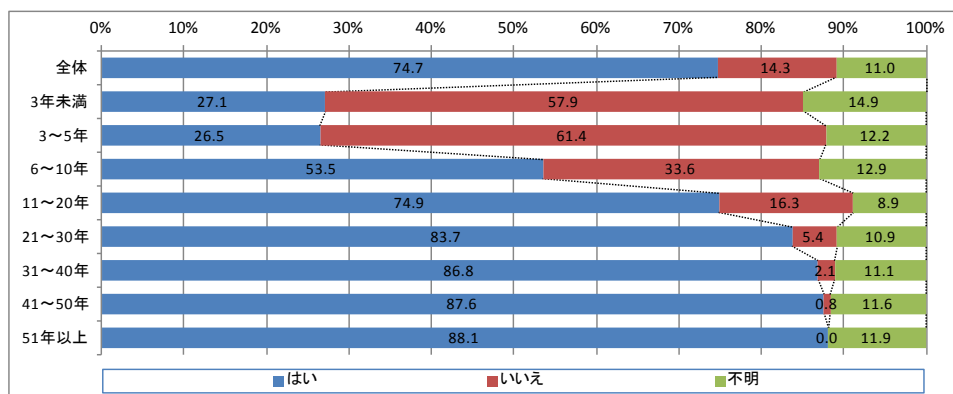


図 3.4.9# 墨付け（H26年度）

③大工職のみ回答 今でも手刻み加工の仕事を年1棟以上行っていますか。(新築)

新築の手刻み加工の仕事について「はい」と回答した割合が最も高い経験年数は「41～50年」で33.3%。
「いいえ」と回答した割合が最も高い経験年数は「11～20年」で66.7%。

	合計	(14)②新築の手刻み加工の仕事を年1棟以上行っていますか			
		はい	いいえ	不明	
全体	4169	23.9	60.5	15.6	
経験年数	5年未満	395	19.2	65.1	15.7
	6～10年	320	19.4	65.0	15.6
	11～20年	1158	20.7	66.7	12.6
	21～30年	876	21.0	65.8	13.2
	31～40年	691	27.9	53.7	18.4
	41～50年	613	33.3	47.5	19.2
	51年以上	91	33.0	42.9	24.2

表 3.4.10 手刻み加工の仕事（新築）（H27年度）（割合%）

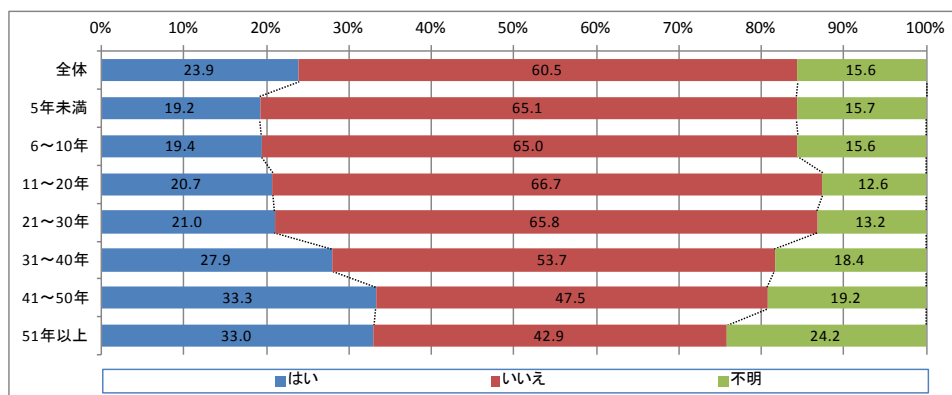


図 3.4.10 手刻み加工の仕事（新築）（H27年度）

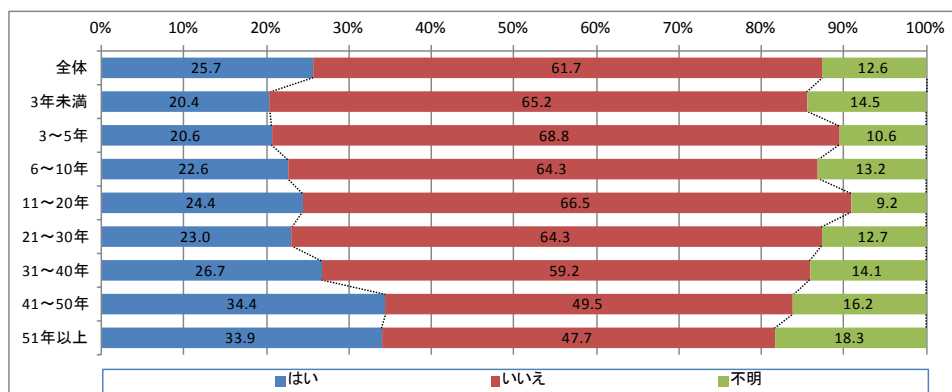


図 3.4.10# 手刻み加工の仕事（新築）（H26年度）

④大工職のみ回答 今でも手刻み加工の仕事を年1棟以上行っていますか。(増改築)

増改築の手刻み加工の仕事について「はい」と回答した割合が最も高い経験年数は「41～50年」で58.6%。

「いいえ」と回答した割合が最も高い経験年数は「5年未満」で54.4%。

		合計	(14)③増改築の手刻み加工の仕事を年1棟以上行っていますか		
			はい	いいえ	不明
全体		4169	47.1	37.8	15.2
経験年数	5年未満	395	29.9	54.4	15.7
	6～10年	320	39.7	44.7	15.6
	11～20年	1158	45.2	42.1	12.8
	21～30年	876	49.5	38.2	12.2
	31～40年	691	50.1	32.6	17.4
	41～50年	613	58.6	22.8	18.6
	51年以上	91	51.6	25.3	23.1

表 3.4.11 手刻み加工の仕事（増改築）（H27年度）（割合%）

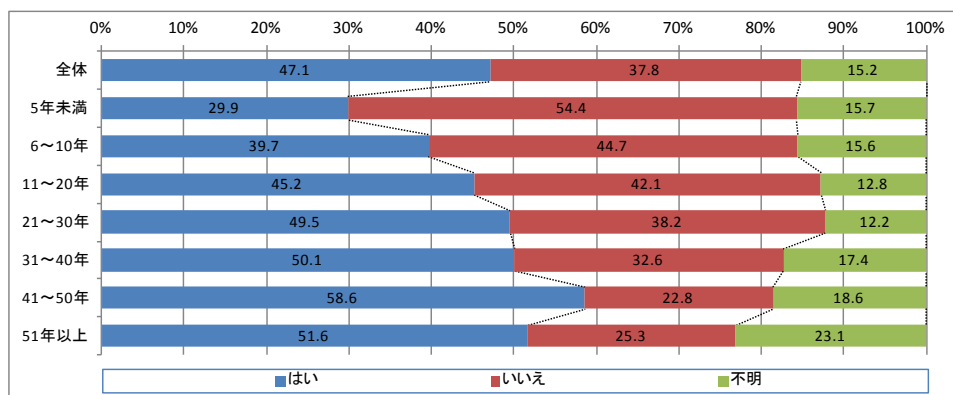


図 3.4.11 手刻み加工の仕事（増改築）（H27年度）

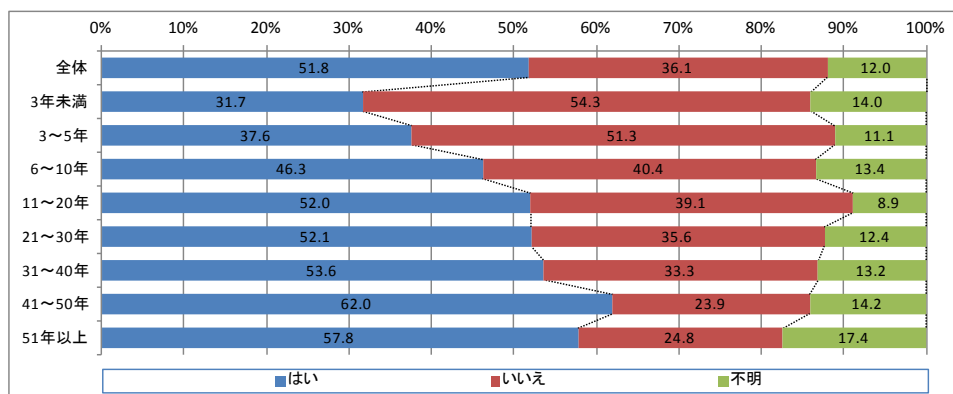


図 3.4.11# 手刻み加工の仕事（増改築）（H26年度）

⑤大工職のみ回答 和室造作ができますか。

和室造作の技能について「はい」と回答した割合が最も高い経験年数は「41～50年」で82.4%。
「いいえ」と回答した割合が最も高い経験年数は「5年未満」で78.2%。

	合計	(14)④和室造作ができますか			
		はい	いいえ	不明	
全体	4169	66.4	18.8	14.8	
経験年数	5年未満	395	6.3	78.2	15.4
	6～10年	320	34.1	49.4	16.6
	11～20年	1158	66.5	20.3	13.2
	21～30年	876	81.1	7.1	11.9
	31～40年	691	81.5	1.9	16.6
	41～50年	613	82.4	0.7	17.0
	51年以上	91	79.1	1.1	19.8

表 3.4.12 和室造作（H27年度）（割合%）

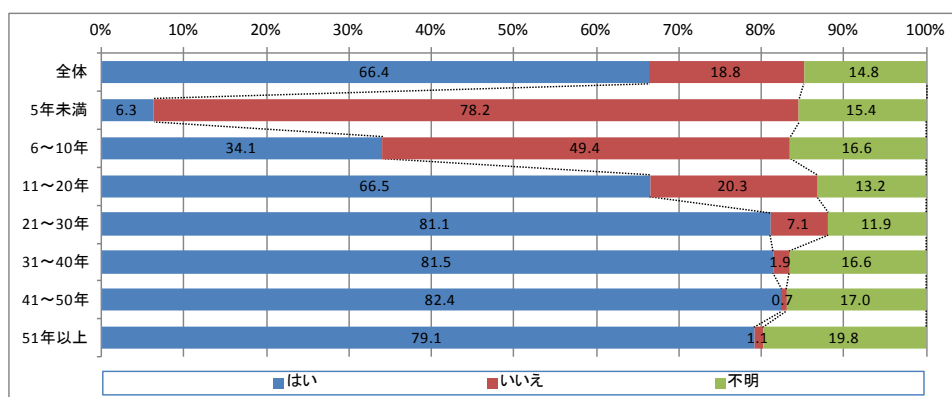


図 3.4.12 和室造作（H27年度）

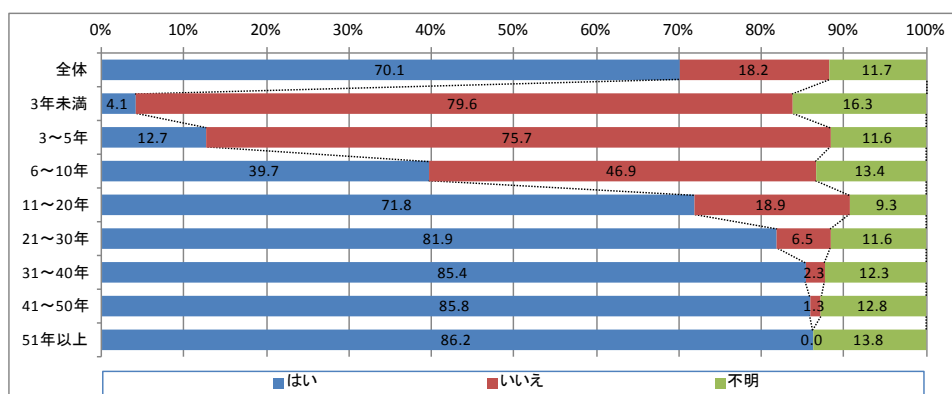


図 3.4.12 和室造作（H26年度）

⑥大工職のみ回答 2×4 工法の住宅の施工ができますか

2×4 工法の住宅の施工技能ついて「はい」と回答した割合が最も高い経験年数は「41～50 年」で 32.5%。
「いいえ」と回答した割合が最も高い経験年数は「5 年未満」で 75.7%。

	合計	(14)⑤2×4 工法の住宅の施工ができますか			
		はい	いいえ	不明	
全体	4169	26.1	58.3	15.6	
経験年数	5年未満	9.6	75.7	14.7	
	6～10年	320	20.0	63.1	16.9
	11～20年	1158	24.7	62.6	12.7
	21～30年	876	31.2	55.9	12.9
	31～40年	691	29.4	52.7	17.9
	41～50年	613	32.5	47.8	19.7
	51年以上	91	23.1	50.5	26.4

表 3.4.13 2×4 工法の住宅の施工（H27 年度）（割合%）

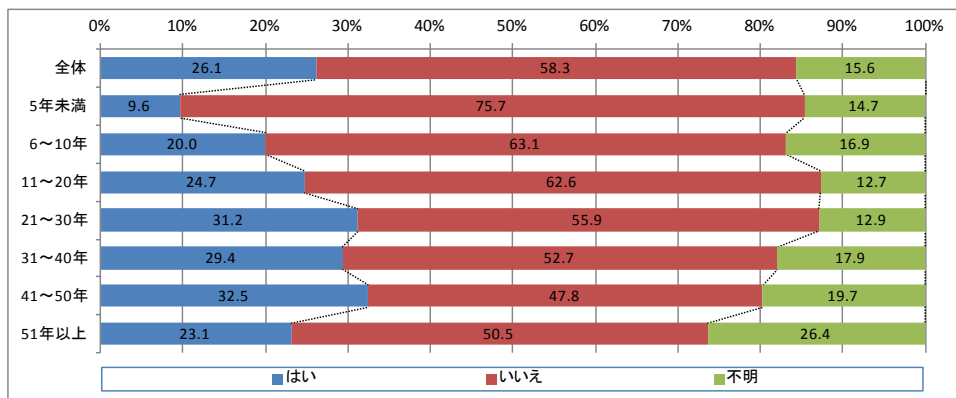


図 3.4.13 2×4 工法の住宅の施工（H27 年度）

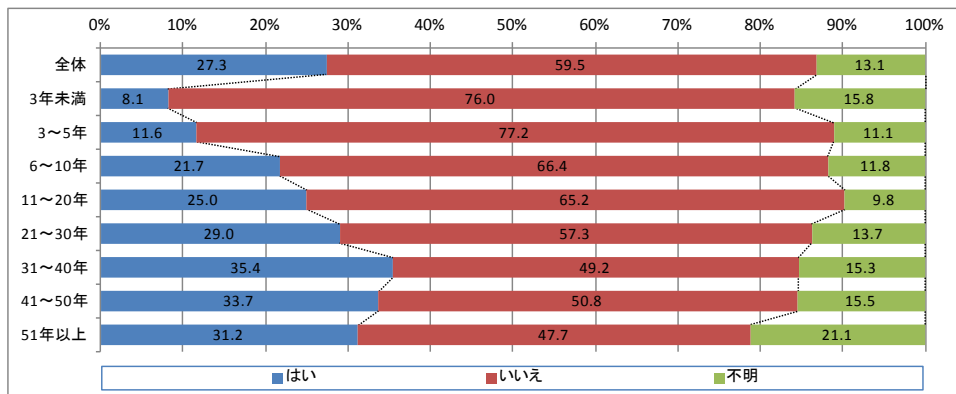


図 3.4.13# 2×4 工法の住宅の施工（H26 年度）

(4) 仕事に対する満足度や今後の意向について

①現在の仕事の内容について満足していますか。

「とても満足している」、「まあ満足している」を合計した「満足している」と回答した割合が最も高い経験年数は「5年未満」で69.9%。

「あまり満足していない」、「満足していない」を合計した「満足していない」と回答した割合が最も高い経験年数は「21～30年」の31.0%。

		合計	(15)現在の仕事の内容について満足度				
			とても満足している	まあ満足している	あまり満足していない	満足していない	不明
全体		4169	10.3	50.7	23.2	5.4	10.3
経験年数	5年未満	395	18.0	51.9	15.9	4.6	9.6
	6～10年	320	12.8	46.3	24.4	6.9	9.7
	11～20年	1158	9.6	53.5	24.3	5.5	7.1
	21～30年	876	9.0	51.0	24.8	6.2	9.0
	31～40年	691	6.5	53.1	23.6	4.3	12.4
	41～50年	613	10.1	45.8	23.7	5.5	14.8
	51年以上	91	19.8	42.9	17.6	4.4	15.4

表 3.4.14 仕事の内容についての満足度（H27年度）（割合%）

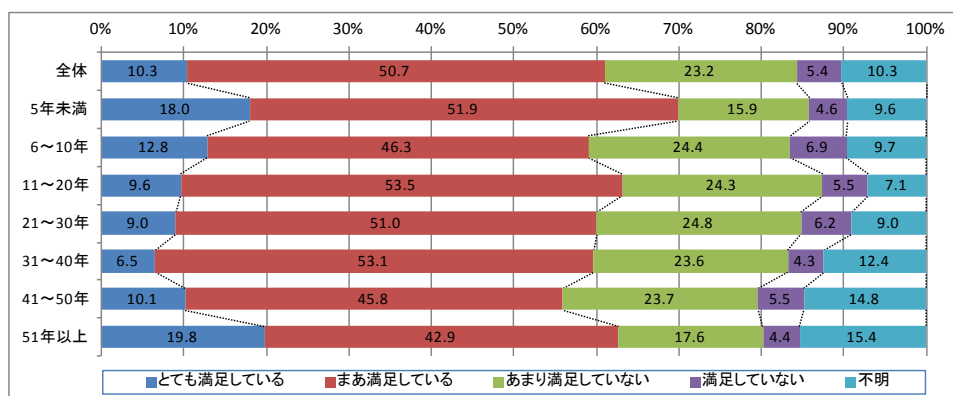


図 3.4.14 仕事の内容についての満足度（H27年度）

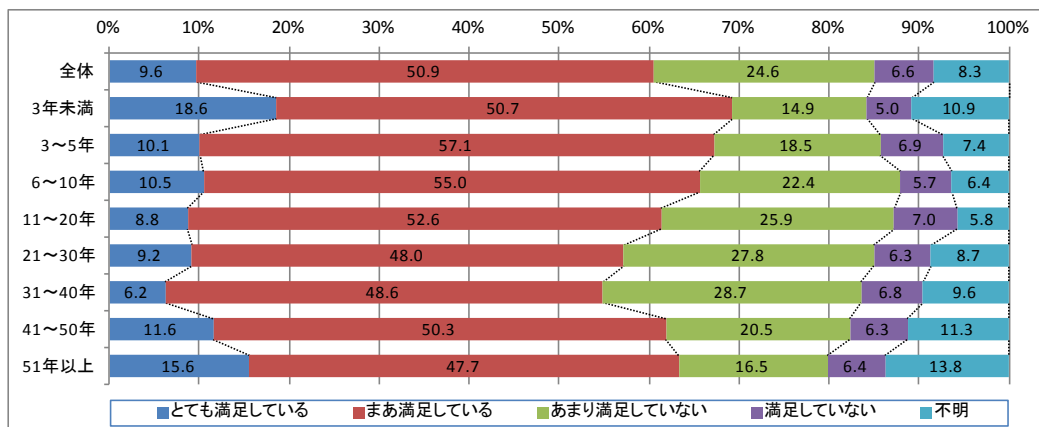


図 3.4.14# 仕事の内容についての満足度（H26年度）

②現在の仕事で得られる収入等について満足していますか。

「とても満足している」、「まあ満足している」を合計した「満足している」と回答した割合が最も高い経験年数は「5年未満」で42.3%。

「あまり満足していない」、「満足していない」を合計した「満足していない」と回答した割合が最も高い経験年数は「21～30年」の56.5%。

	合計	(16)現在の仕事で得られる収入等について満足度					
		とても満足している	まあ満足している	あまり満足していない	満足していない	不明	
全体	4169	3.5	33.2	37.0	16.0	10.4	
経験年数	5年未満	395	4.8	37.5	26.1	22.0	9.6
	6～10年	320	4.1	35.9	33.4	16.3	10.3
	11～20年	1158	3.5	35.2	37.9	15.9	7.5
	21～30年	876	3.5	31.2	39.7	16.8	8.8
	31～40年	691	1.9	30.4	41.2	14.5	12.0
	41～50年	613	3.3	32.5	35.7	14.0	14.5
	51年以上	91	7.7	31.9	35.2	9.9	15.4

表 3.4.15 収入等についての満足度（H27年度）（割合%）

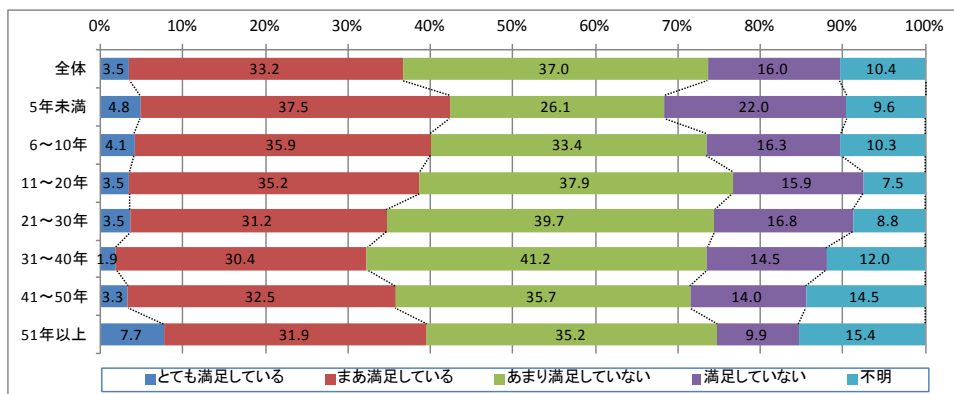


図 3.4.15 収入等についての満足度（H27年度）

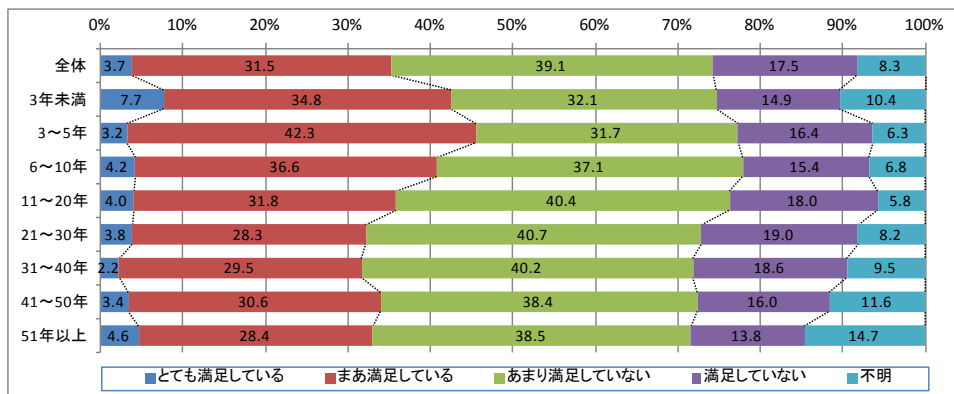


図 3.4.15# 収入等についての満足度（H26年度）

③今後何歳までお仕事を続けられる予定ですか。

「仕事ができる限り続ける」と回答した割合が最も高い経験年数は「5年未満」で67.6%であった。「65歳で引退する」の割合が最も高いのは「31~40年」で23.6%であった。「70歳で引退する」の割合が最も高いのは「41~50年」で28.9%であった。

	合計	(17)今後何歳までお仕事を続けられる予定ですか							
		60歳で引退する	65歳で引退する	70歳で引退する	75歳で引退する	仕事ができる限り続ける	仕事がないため近々退職・引退する予定である	不明	
全体	4169	6.3	15.8	13.0	2.6	50.8	0.9	10.7	
経験年数	5年未満	395	6.8	9.6	2.0	0.8	67.6	2.0	11.1
	6~10年	320	8.1	10.6	5.9	0.0	61.6	2.2	11.6
	11~20年	1158	9.1	17.7	7.5	1.4	55.8	0.7	7.9
	21~30年	876	8.8	16.7	11.2	1.5	52.4	0.7	8.8
	31~40年	691	3.9	23.6	19.5	2.9	37.8	0.1	12.2
	41~50年	613	0.2	11.1	28.9	6.9	37.7	0.7	14.7
	51年以上	91	0.0	1.1	16.5	14.3	48.4	4.4	15.4

表 3.4.16 何歳まで仕事を続ける予定か（H27年度）（割合%）

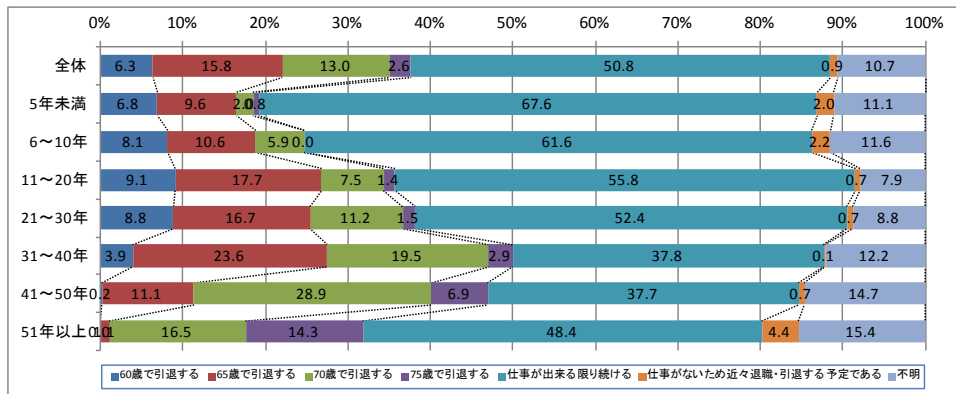


図 3.4.16 何歳まで仕事を続ける予定か（H27年度）

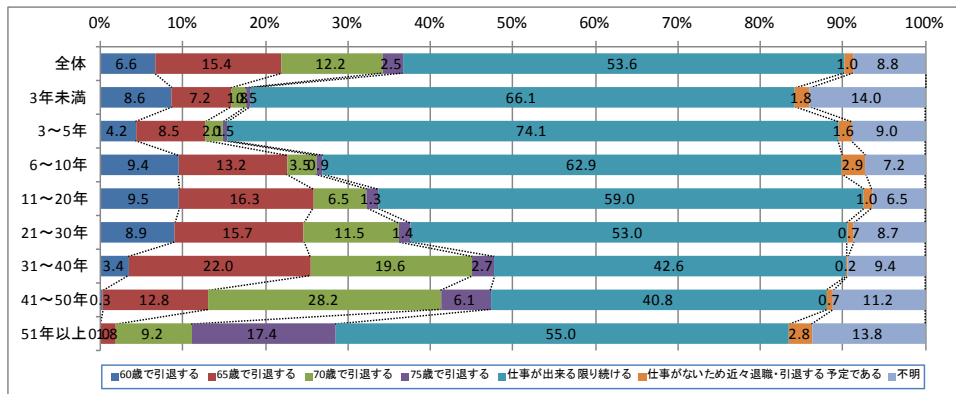


図 3.4.16# 何歳まで仕事を続ける予定か（H26年度）

(5) 担い手育成について

①現在、担い手（見習い等）の育成を行っていますか。

「現在育てている」と回答した割合が最も高い経験年数は「51年以上」で23.1%。

「現在は育てていないが、人材がいれば育てたい」と回答した割合が最も高い経験年数は「11～20年」で50.4%。

「現在は育てていないし、今後も育てる予定はない」と回答した割合が最も高い経験年数は「51年以上」で42.9%。

	合計	(18)現在、担い手の育成を行っていますか				
		現在育てている	現在は育てていないが、人材がいれば育てたい	現在は育てていないし、今後も育てる予定はない	不明	
全体	4169	14.1	39.5	30.7	15.8	
経験年数	5年未満	395	7.3	33.2	24.1	35.4
	6～10年	320	8.8	42.8	29.4	19.1
	11～20年	1158	12.9	50.4	25.8	10.9
	21～30年	876	13.8	44.4	30.8	11.0
	31～40年	691	19.1	32.3	34.2	14.5
	41～50年	613	17.1	26.1	39.6	17.1
	51年以上	91	23.1	12.1	42.9	22.0

表 3.4.17 担い手の育成状況（H27年度）（割合%）

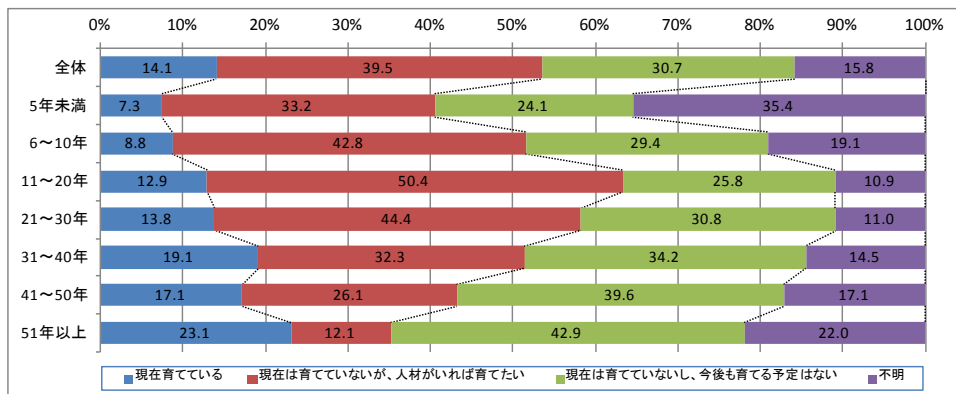


図 3.4.17 担い手の育成状況（H27年度）

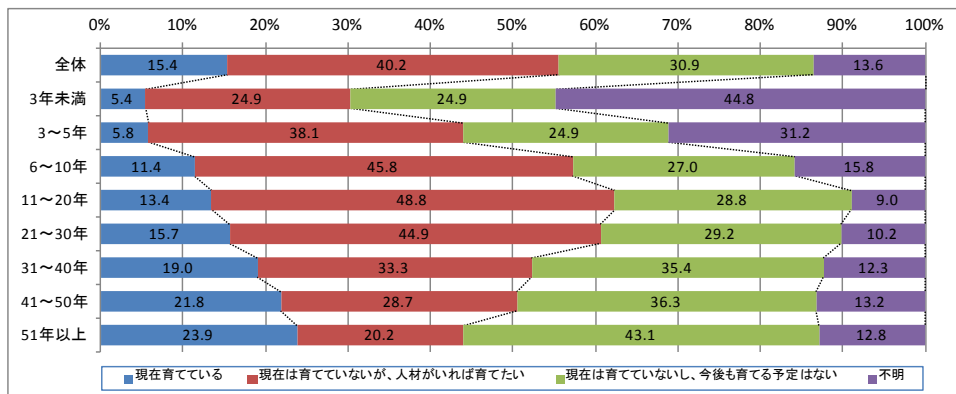


図 3.4.17# 担い手の育成状況（H26年度）

② 「1.現在育てている」および「2.過去には育てた」のみ回答

育成期間の担い手の立場

「正社員（職業訓練校）」と回答した割合が最も高い経験年数は「5年未満」で41.4%。
 「正社員（弟子として）」と回答した割合が最も高い経験年数は「21～30年」で66.1%。
 「一人親方にあずける（職業訓練校）」と回答した割合が最も高い経験年数は「6～10年」で7.1%。
 「一人親方にあずける（弟子として）」と回答した割合が最も高い経験年数は「11～20年」で12.8%。

	合計	(19)育成期間の担い手の立場					
		正社員 (職業訓練校)	正社員 (弟子として)	一人親方等にあずける (職業訓練校)	一人親方等にあずける (弟子として)	不明	
全体	586	18.3	61.8	3.6	10.8	5.6	
経験年数	5年未満	29	41.4	55.2	0.0	3.4	0.0
	6～10年	28	17.9	57.1	7.1	7.1	10.7
	11～20年	149	15.4	63.1	3.4	12.8	5.4
	21～30年	121	18.2	66.1	2.5	9.1	4.1
	31～40年	132	20.5	61.4	2.3	12.1	3.8
	41～50年	105	15.2	59.0	6.7	12.4	6.7
	51年以上	21	9.5	57.1	4.8	4.8	23.8

表 3.4.18 育成期間の担い手の立場（H27年度）（割合%）

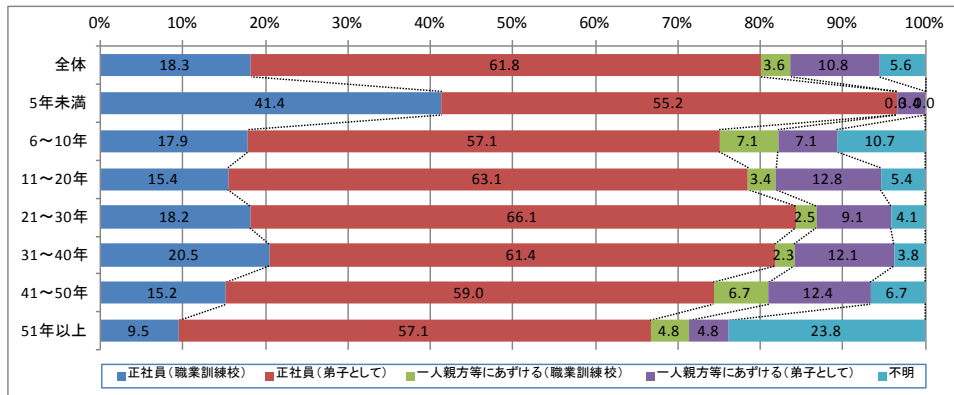


図 3.4.18 育成期間の担い手の立場（H27年度）

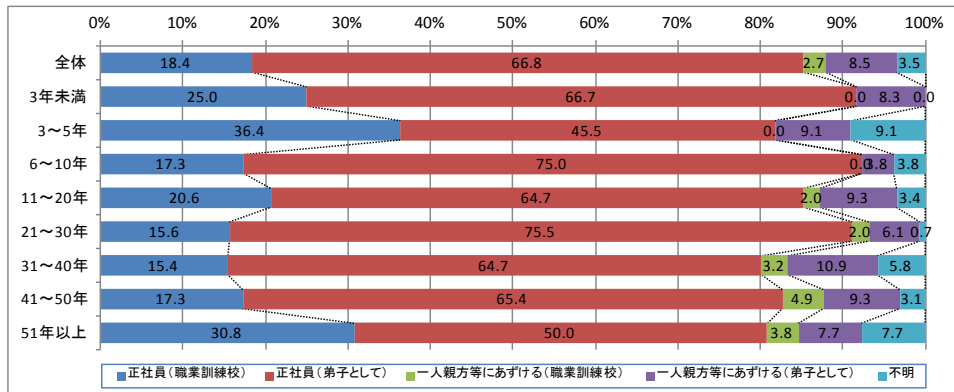


図 3.4.18# 育成期間の担い手の立場（H26年度）

③ 「1.現在育てている」および「2.過去には育てた」のみ回答
育成にかかる費用負担

育成にかかる費用負担が「有る」と回答した割合が最も高い経験年数は「51年以上」で42.9%。
「無い」と回答した割合が最も高い経験年数は「5年未満」で24.1%。

	合計	(20)育成期間にかかる費用の負担を行っているか		
		有	無	不明
全体	586	29.4	15.2	55.5
経験年数				
5年未満	29	13.8	24.1	62.1
6～10年	28	17.9	17.9	64.3
11～20年	149	34.9	16.8	48.3
21～30年	121	33.1	18.2	48.8
31～40年	132	29.5	17.4	53.0
41～50年	105	21.0	6.7	72.4
51年以上	21	42.9	0.0	57.1

表 3.4.19 育成期間にかかる費用負担（H27年度）（割合%）

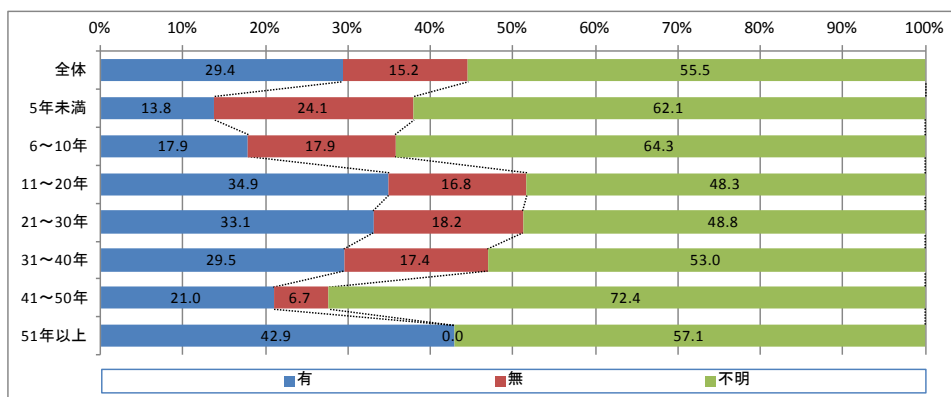


図 3.4.19 育成期間にかかる費用負担（H27年度）

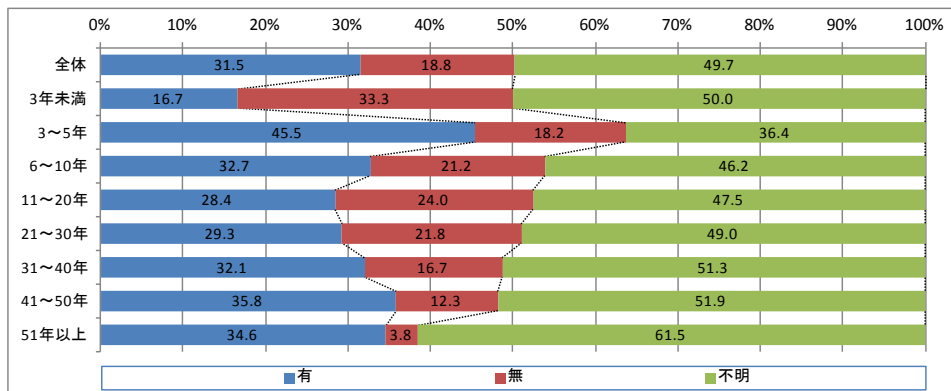


図 3.4.19# 育成期間にかかる費用負担（H26年度）

④ 「4.現在は育てていないし、今後も育てる予定はない」のみ回答
なぜ育てる予定はないのか。

「将来の保障ができないため」と回答した割合が最も高い経験年数は「21～30年」で52.6%。
「費用がかかるため」の割合が最も高いのは「21～30年」で27.8%。
「人材がいいため」の割合が最も高いのは「31～40年」で25.8%。

	合計	(21)なぜ育てる予定はないのですか												
		育てても、一人前になると辞めてしまうため	教えるのが面倒なため	費用がかかるため	言うことを聞かないため	人材がいいため	育てる自信がないため	将来の保障ができないため	年齢のため	仕事がプレカートのため	新築が少ないため	その他	不明	
全体	1280	9.5	6.8	18.1	3.0	21.7	11.2	40.0	13.4	10.0	21.0	5.6	13.0	
経験年数	5年未満	95	4.2	10.5	7.4	1.1	7.4	16.8	16.8	12.6	5.3	7.4	14.7	18.9
	6～10年	94	7.4	11.7	17.0	1.1	25.5	19.1	21.3	2.4	4.3	12.8	9.6	11.7
	11～20年	299	11.0	7.0	20.4	2.3	23.1	12.4	40.1	2.7	8.0	18.7	7.7	13.7
	21～30年	270	8.5	6.7	27.8	5.2	21.1	13.0	52.6	4.1	7.0	21.9	2.6	11.9
	31～40年	236	12.7	5.5	14.0	3.8	25.8	7.2	41.5	18.2	15.7	26.7	2.5	14.4
	41～50年	243	6.6	4.9	14.4	2.5	21.0	7.8	44.0	32.5	12.8	24.3	4.5	9.1
	51年以上	39	20.5	2.6	12.8	2.6	23.1	2.6	23.1	41.0	20.5	30.8	5.1	17.9

表 3.4.20 なぜ育てる予定はないのか（H27年度）（割合%）

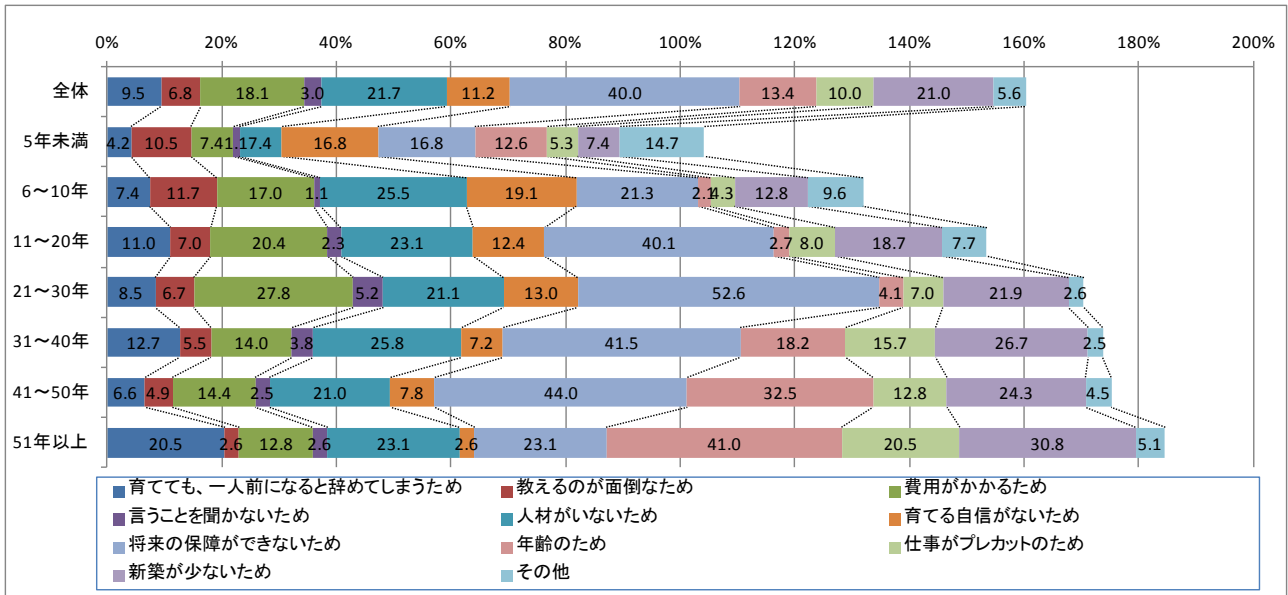


図 3.4.20 なぜ育てる予定はないのか（H27年度）

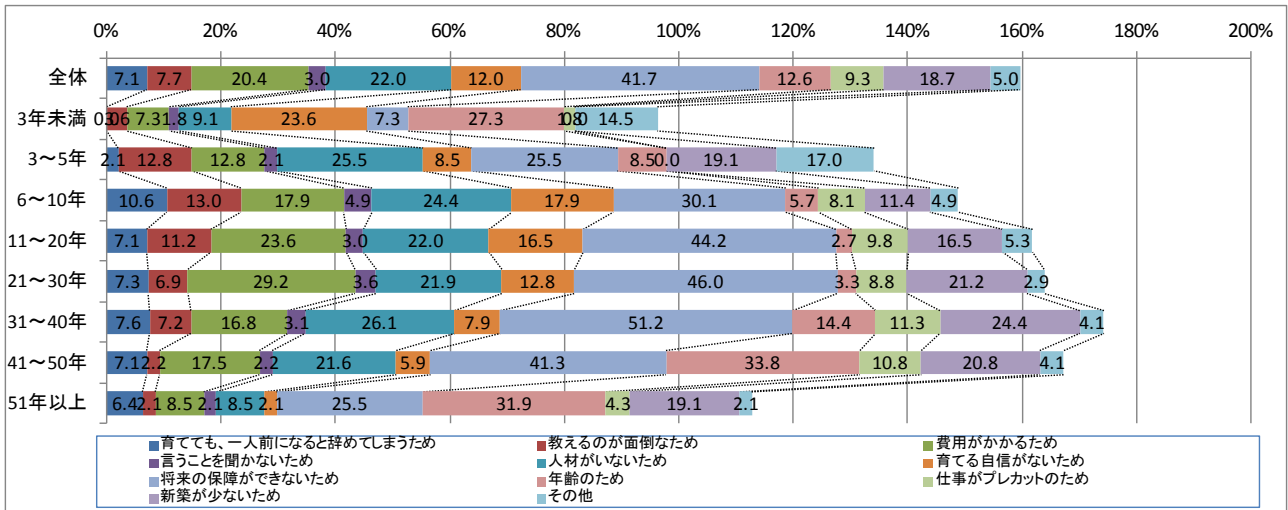


図 3.4.20# なぜ育てる予定はないのか（H26年度）

⑤担い手育成にかかる費用の公的補助について、1人/月当たりどの程度必要と考えますか。

「3万円/月」と回答した割合が最も高い経験年数は「5年未満」で5.1%。

「5万円/月」と回答した割合が最も高い経験年数は「6～10年」、「11～20年」で16.3%。

「10万円/月」と回答した割合が最も高い経験年数は「11～20年」で32.4%。

「15万円/月」と回答した割合が最も高い経験年数は「21～30年」で24.8%。

「必要ない」と回答した割合が最も高い経験年数は「21～30年」で3.7%。

	合計	(22)担い手の育成にかかる費用の公的補助はどの程度必要か						
		3万円/月	5万円/月	10万円/月	15万円/月	必要ない	不明	
全体	4169	3.5	14.8	28.0	18.5	2.8	32.3	
経験年数	5年未満	395	5.1	12.7	18.0	12.4	3.5	48.4
	6～10年	320	3.8	16.3	21.3	18.4	2.8	37.5
	11～20年	1158	3.2	16.3	32.4	19.7	2.7	25.7
	21～30年	876	3.0	15.9	29.8	24.8	3.7	22.9
	31～40年	691	3.6	13.3	31.0	16.6	2.0	33.4
	41～50年	613	3.3	14.4	26.1	14.5	2.4	39.3
	51年以上	91	5.5	5.5	17.6	13.2	2.2	56.0

表 3.4.21 公的補助について、1人/月当たりどの程度必要か（H27年度）（割合%）

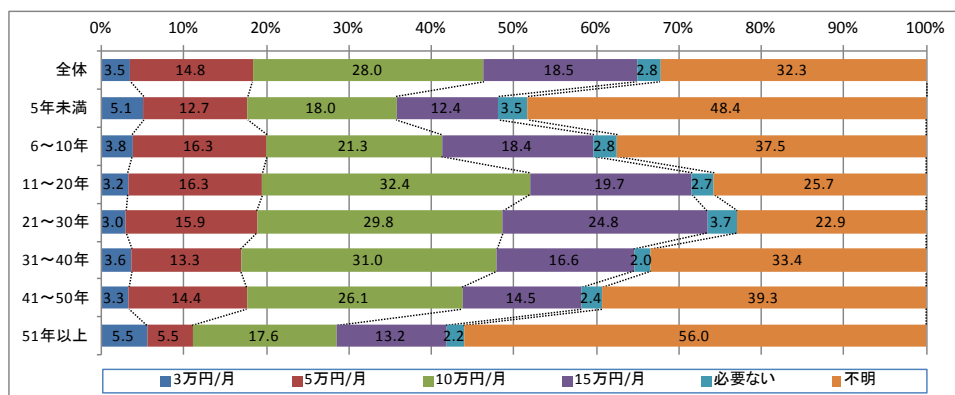


図 3.4.21 公的補助について、1人/月当たりどの程度必要か（H27年度）

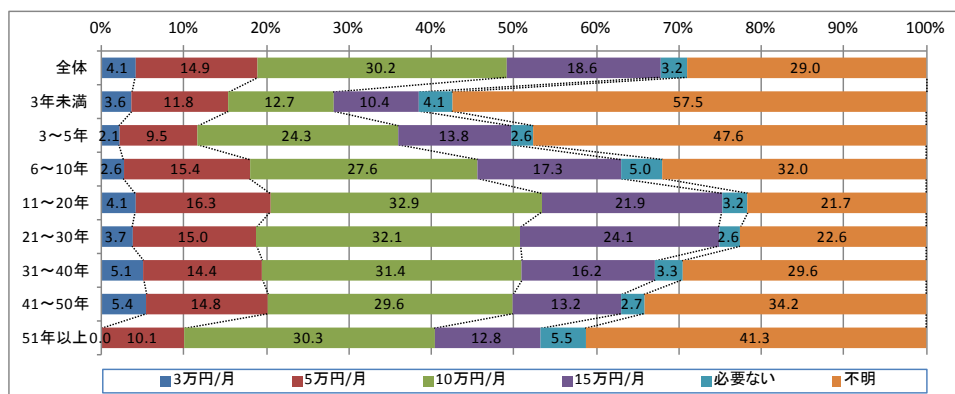


図 3.4.21# 公的補助について、1人/月当たりどの程度必要か（H26年度）

5. 雇用形態別集計

(1) 職業等について

①職種においてベテランだと思いますか。

「ベテラン」と回答した割合が最も高い雇用形態は「元請として仕事」で 30.3%。

「ややベテラン」と回答した割合が最も高い雇用形態は「元請として仕事」で 28.6%。

「中堅」と回答した割合が最も高い雇用形態は「その都度契約」で 41.8%。

「やや中堅」と回答した割合が最も高い雇用形態は「工務店社員」で 17.6%。

「見習い」と回答した割合が最も高い雇用形態は「その他（アルバイト等）」で 59.6%。

	合計	(5)あなたのベテラン度合いについて					
		ベテラン	ややベテラン	中堅	やや中堅	見習い	不明
全体	4169	18.8	21.3	35.0	11.4	10.5	2.9
雇用形態							
工務店社員	1514	10.5	13.7	36.9	17.6	18.8	2.5
外注常用(日当制)	479	15.4	22.1	38.0	12.7	9.6	2.1
外注常用(坪請主体)	415	16.9	27.7	38.3	10.6	3.1	3.4
その都度契約	170	17.6	21.8	41.8	11.8	5.3	1.8
元請として仕事	1414	30.3	28.6	31.3	4.8	2.3	2.6
その他(アルバイト等)	57	5.3	7.0	15.8	8.8	59.6	3.5

表 3.5.1 職種のベテラン度合（H27 年度）（割合%）

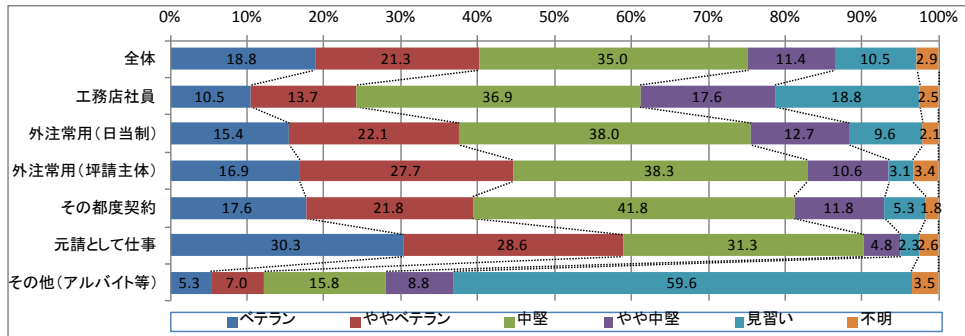


図 3.5.1 職種のベテラン度合（H27 年度）

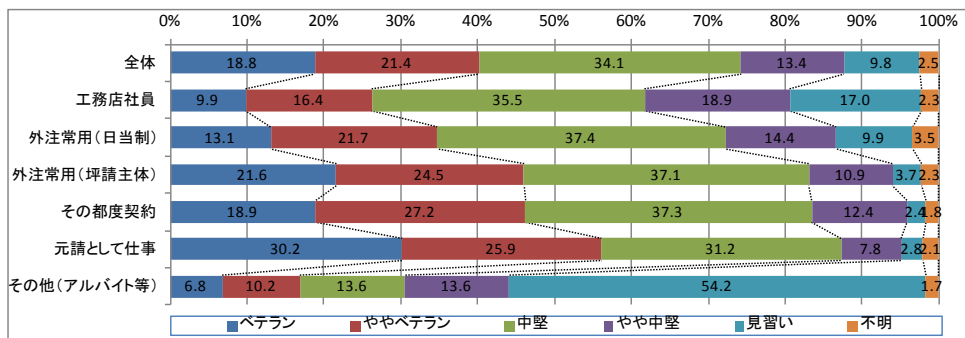


図 3.5.1# 職種のベテラン度合（H26 年度）

(2) 雇用形態について

①就業規則

就業規則が「有る」と回答した割合が最も高い雇用形態は「工務店社員」で42.3%。

就業規則が「無い」と回答した割合が最も高い雇用形態は「その都度契約」で74.1%。

	合計	(7)就業規則			
		有	無	不明	
全体	4169	27.0	51.6	21.4	
雇用 形態	工務店社員	1514	42.3	38.1	19.6
	外注常用(日当制)	479	16.7	58.0	25.3
	外注常用(坪請主体)	415	8.2	68.4	23.4
	その都度契約	170	7.6	74.1	18.2
	元請として仕事	1414	23.0	58.2	18.8
	その他(アルバイト等)	57	24.6	57.9	17.5

表 3.5.2 就業規則 (H27 年度) (割合%)

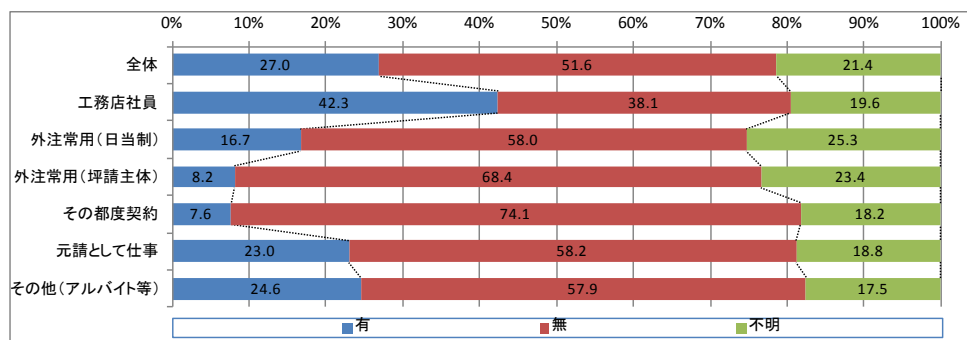


図 3.5.2 就業規則 (H27 年度)

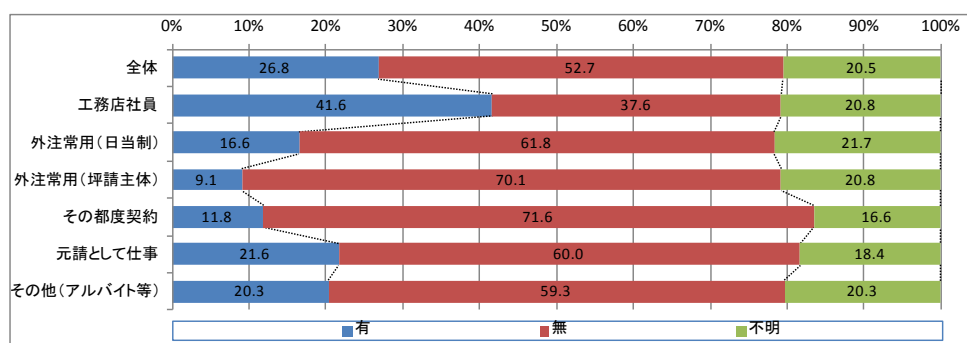


図 3.5.2# 就業規則 (H26 年度)

②有給休暇

有給休暇が「有る」と回答した割合が最も高い雇用形態は「工務店社員」で21.9%。

「無い」と回答した割合が最も高い雇用形態は「その都度契約」で73.5%。

	合計	(8)有給休暇			
		有	無	不明	
全体	4169	12.4	63.3	24.3	
雇用 形態	工務店社員	1514	21.9	59.1	19.0
	外注常用(日当制)	479	3.1	68.5	28.4
	外注常用(坪請主体)	415	2.9	69.2	28.0
	その都度契約	170	1.2	73.5	25.3
	元請として仕事	1414	9.8	65.6	24.7
	その他(アルバイト等)	57	17.5	61.4	21.1

表 3.5.3 有給休暇（H27年度）（割合%）

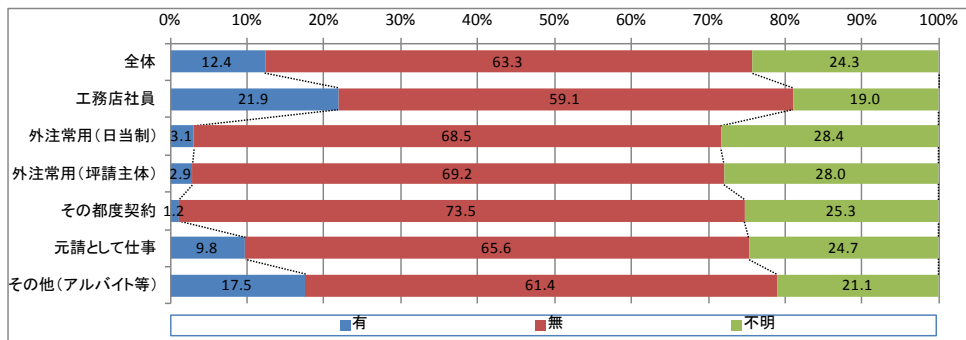


図 3.5.3 有給休暇（H27年度）

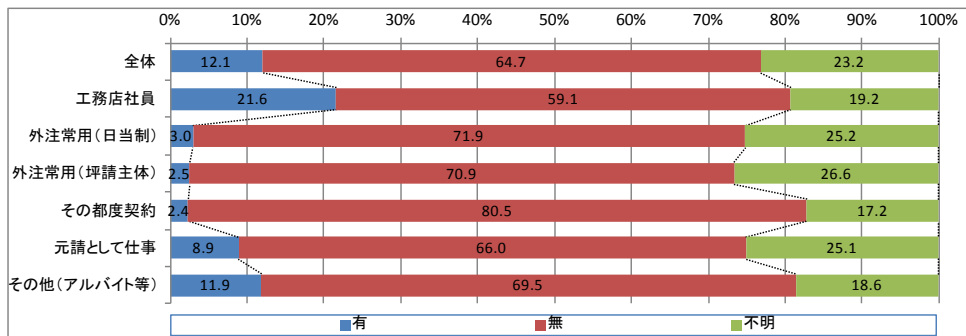


図 3.5.3# 有給休暇（H26年度）

③年間就業日数

平均年間就業日数が最も高い雇用形態は「外注常用（坪請主体）」で279.13日。
平均年間就業日数が最も低い雇用形態は「その他（アルバイト等）」で222.85日。

	合計	(9)年間就業日数								
		100日未満	100～150日未満	150～200日未満	200～250日未満	250～300日未満	300日以上	不明	平均	
全体	4169	3.2	0.8	0.7	5.8	20.3	24.5	44.6	264.88	
雇用形態	工務店社員	1514	3.6	0.9	0.4	3.8	21.5	24.0	45.9	265.17
	外注常用(日当制)	479	2.9	1.3	1.3	9.0	20.9	20.3	44.5	254.62
	外注常用(坪請主体)	415	3.9	0.2	0.2	4.1	17.6	36.4	37.6	279.13
	その都度契約	170	1.8	0.0	1.8	7.6	21.8	30.0	37.1	270.34
	元請として仕事	1414	3.0	0.8	1.0	7.4	21.2	24.4	42.2	263.71
	その他(アルバイト等)	57	7.0	1.8	0.0	7.0	8.8	10.5	64.9	222.85

表 3.5.4 年間就業日数（H27年度）（割合％）

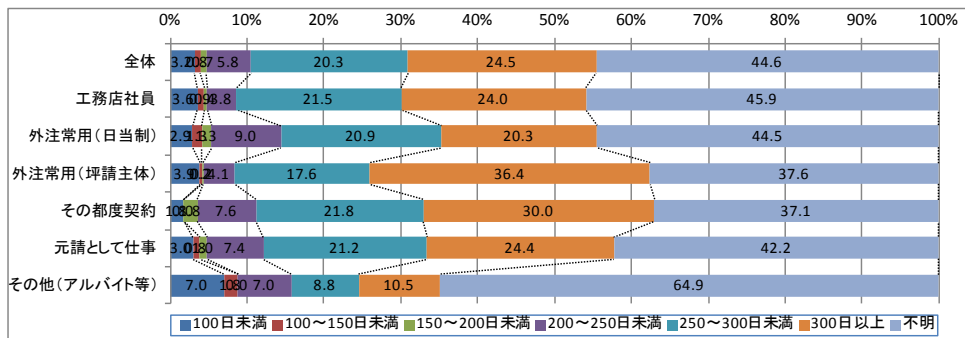


図 3.5.4 年間就業日数（H27年度）

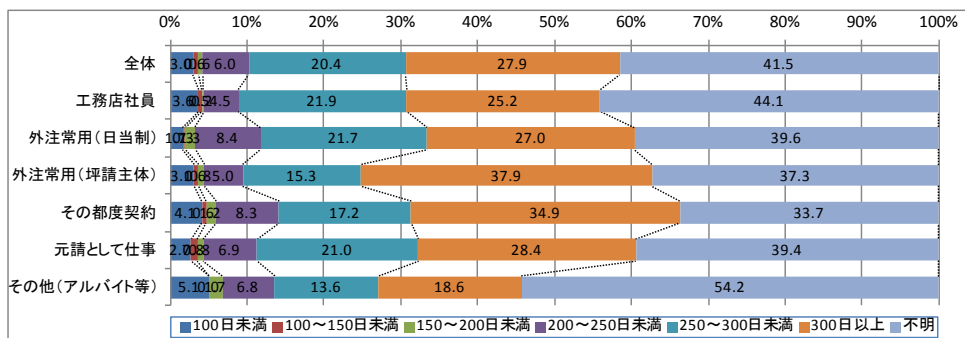


図 3.5.4# 年間就業日数（H26年度）

④保険等について

1) 年金保険

「厚生年金」の加入している割合は「工務店社員」が最も高く 52.3%。

「国民年金」の加入している割合は「外注常庸（日当制）」が最も高く 77.2%。

「企業年金」の加入している割合は「元請として仕事」が最も高く 2.1%。

	合計	(10-1)加入している年金			
		厚生年金	国民年金	企業年金	不明
全体	4169	29.7	55.9	1.2	15.0
雇用形態					
工務店社員	1514	52.3	38.2	0.9	11.2
外注常用(日当制)	479	5.2	77.2	0.4	18.4
外注常用(坪請主体)	415	2.7	75.2	1.2	21.4
その都度契約	170	6.5	77.1	0.6	16.5
元請として仕事	1414	26.6	60.1	2.1	13.3
その他(アルバイト等)	57	19.3	52.6	0.0	28.1

表 3.5.5 年金保険（H27 年度）（割合%）

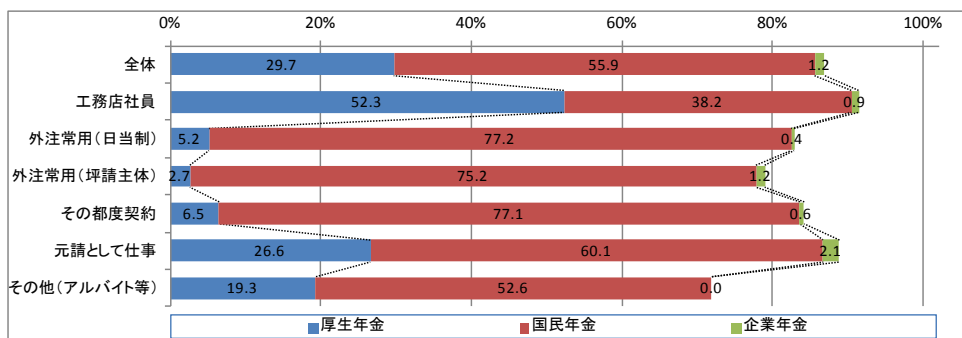


図 3.5.5 年金保険（H27 年度）

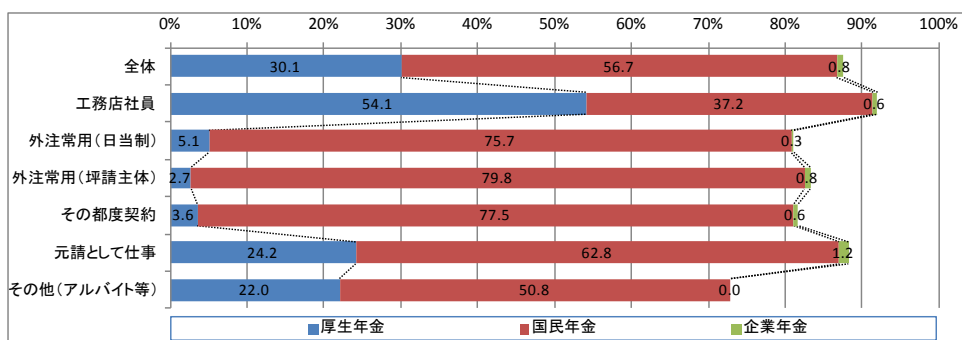


図 3.5.5# 年金保険（H26 年度）

2) 労働保険

「雇用保険」の割合が最も高いのは「工務店社員」で38.4%。

「労災保険」の割合が最も高いのは「元請として仕事」で46.3%。

「一人親方労災保険」の割合が最も高いのは「外注常庸（坪請主体）」で58.3%。

	合計	(10-2)加入している労働保険				
		雇用保 険	労災保 険	一人親 方労災 保険	不明	
全体	4169	19.2	35.0	27.3	29.8	
雇用 形態	工務店社員	1514	38.4	37.0	6.9	30.4
	外注常用(日当制)	479	6.7	17.5	37.4	42.4
	外注常用(坪請主体)	415	2.4	22.7	58.3	23.6
	その都度契約	170	4.7	19.4	52.4	28.8
	元請として仕事	1414	11.3	46.3	34.2	23.1
	その他(アルバイト等)	57	12.3	17.5	26.3	45.6

表 3.5.6 労働保険（H27年度）（割合%）

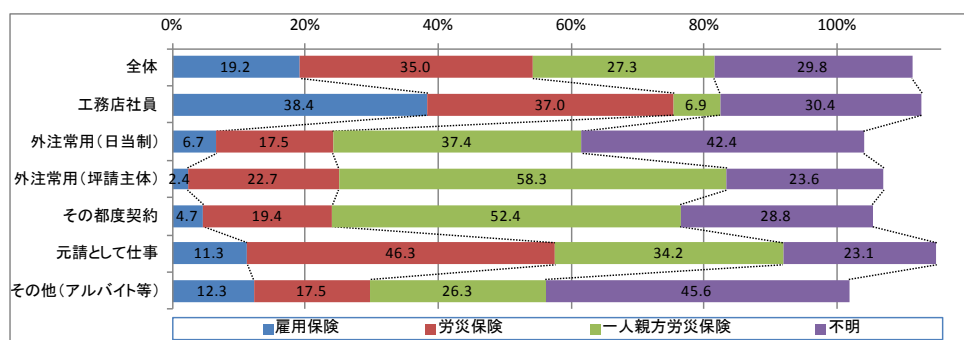


図 3.5.6 労働保険（H27年度）

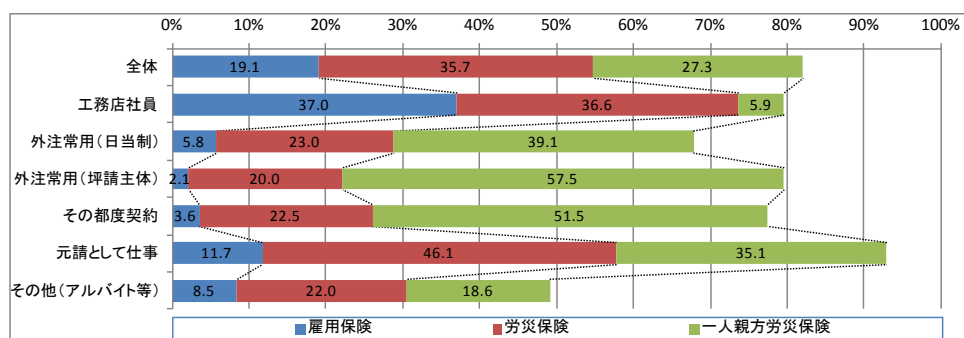


図 3.5.6# 労働保険（H26年度）

3) 健康保険

「国民健康保険」の割合が最も高いのは「その他（アルバイト等）」で38.6%。
 「組合健康保険（建設国保）」の割合が最も高いのは「外注常用（坪請主体）」で52.8%。
 「組合健康保険（建設国保以外）」の割合が最も高いのは「元請として仕事」で3.4%。
 「その他の健康保険」の割合が最も高いのは「工務店社員」で5.0%。

	合計	〈10-3〉加入している健康保険					
		国民健康保険	組合健康保険 (建設国保)	組合健康保険 (建設国保以外)	その他の健康保険	不明	
全体	4169	29.0	40.0	2.5	3.1	26.0	
雇用形態	工務店社員	1514	32.0	29.9	2.4	5.0	31.0
	外注常用(日当制)	479	33.8	42.4	1.3	0.6	21.9
	外注常用(坪請主体)	415	26.7	52.8	2.4	1.0	17.8
	その都度契約	170	27.6	51.8	1.8	0.0	19.4
	元請として仕事	1414	25.5	46.9	3.4	3.1	22.0
	その他(アルバイト等)	57	38.6	26.3	1.8	3.5	31.6

表 3.5.7 健康保険（H27年度）（割合%）

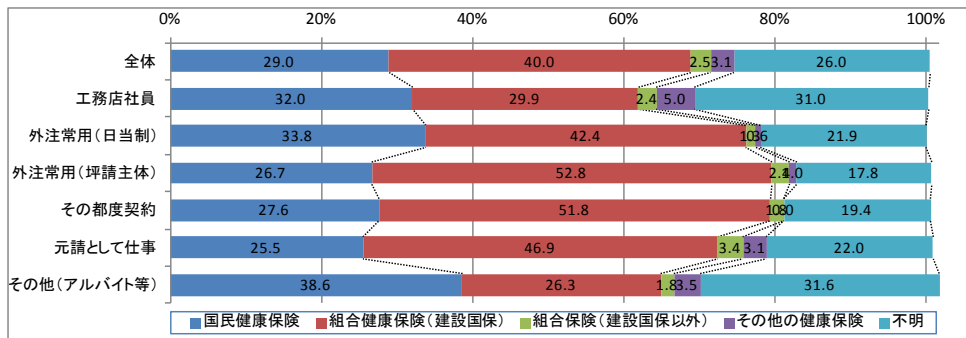


図 3.5.7 健康保険（H27年度）

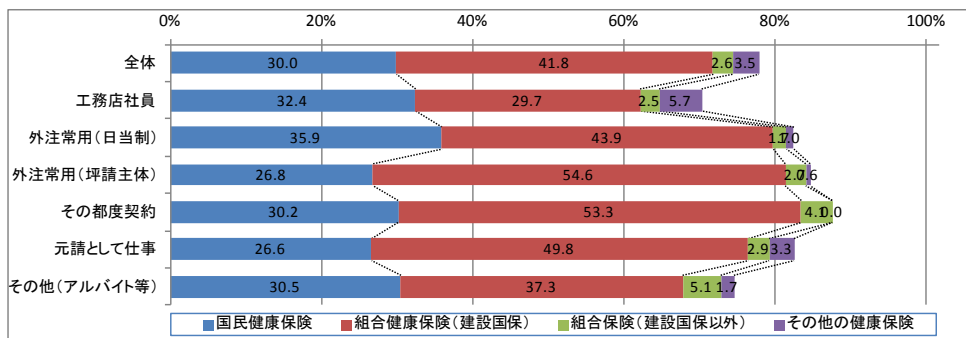


図 3.5.7# 健康保険（H26年度）

⑤賃金の中に含まれ、自己負担となっているもの

自己負担となっているものの割合の合計が最も高い雇用形態は「外注常庸（坪請主体）」で424.8%。最も低い雇用形態は「工務店社員」で211.6%。

	合計	(11)自己負担となっているもの							
		手道具	電動工具	クギ金物	車(保険含む)	ガソリン	全て所属する工務店等が負担	不明	
全体	4169	70.2	63.8	22.1	51.3	50.9	15.0	8.6	
雇用形態	工務店社員	1514	66.9	54.6	4.0	33.9	32.1	20.1	5.7
	外注常用(日当制)	479	88.5	88.5	17.5	77.7	78.1	2.3	3.3
	外注常用(坪請主体)	415	91.3	92.0	60.5	89.4	89.4	2.2	1.7
	その都度契約	170	87.6	88.2	51.8	82.9	86.5	2.4	5.9
	元請として仕事	1414	61.3	55.5	29.3	47.8	47.7	19.7	13.4
	その他(アルバイト等)	57	52.6	50.9	7.0	35.1	43.9	17.5	12.3

表 3.5.8 自己負担となっているもの（H27年度）（割合%）

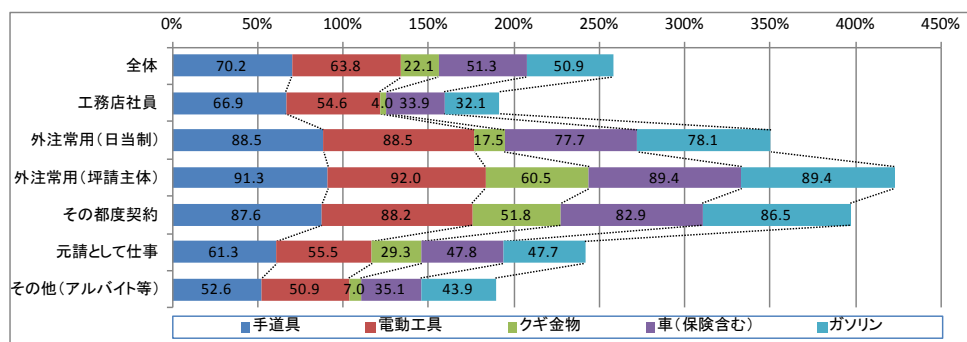


図 3.5.8 自己負担となっているもの（H27年度）

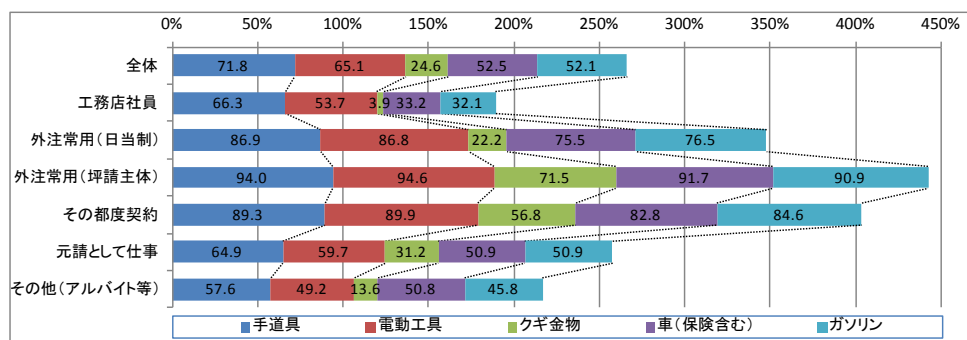


図 3.5.8# 自己負担となっているもの（H26年度）

⑥おおよその賃金（諸経費が含まれた1日あたりの平均単価）

平均賃金が最も高いのは「元請として仕事」で16,534.3円。

平均賃金が最も低いのは「その他（アルバイト等）」で11,620.4円。

	合計	(12)1日あたりのおおよその賃金							平均賃金	
		8,000円未満	8,000～10,000円未満	10,000～15,000円未満	15,000～20,000円未満	20,000～25,000円未満	25,000円以上	不明		
全体	4169	5.4	8.0	37.3	34.3	7.9	2.1	5.1	14863.6	
雇用形態	工務店社員	1514	8.7	15.4	47.4	18.7	4.1	1.1	4.6	13071.7
	外注常用(日当制)	479	4.2	5.6	46.6	37.6	3.3	0.0	2.7	14378.8
	外注常用(坪請主体)	415	2.2	1.7	29.6	47.0	14.2	2.4	2.9	16532.3
	その都度契約	170	4.1	3.5	28.2	48.8	9.4	2.9	2.9	16045.5
	元請として仕事	1414	1.8	2.8	27.7	47.0	11.9	3.7	5.2	16534.3
	その他(アルバイト等)	57	33.3	21.1	22.8	8.8	5.3	3.5	5.3	11620.4

表 3.5.9 1日あたりのおおよその賃金（H27年度）（割合%）

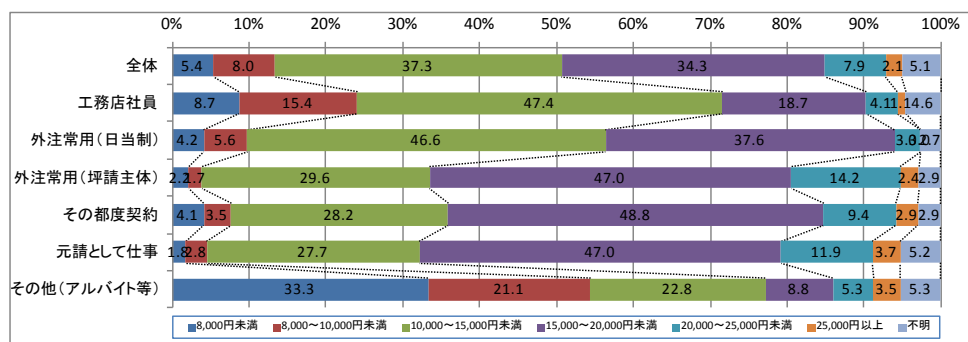


図 3.5.9 1日あたりのおおよその賃金（H27年度）

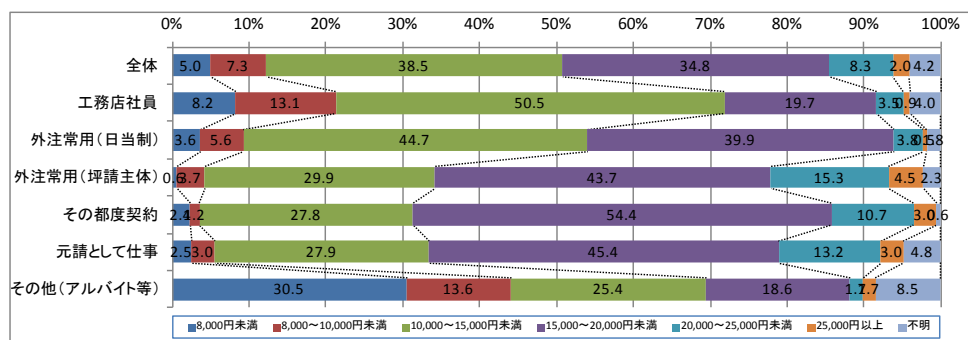


図 3.5.9# 1日あたりのおおよその賃金（H26年度）

(3) 資格や技能について

①持っている資格

持っている資格の割合の合計値が最も高いのは「元請として仕事」で 329.3%。

持っている資格の割合の合計値が最も低いのは「外注常用（日当制）」で 204.8%。

雇用形態	合計	(13)お持ちの資格														
		1級建築士	2級建築士	木造建築士	1級建築施工管理技士	2級建築施工管理技士	建築大工技能士(1級・2級)	枠組壁建築技能士	職業訓練指導員	増改築相談員	足場の組立て等作業主任者	木造建築物組立て作業主任者	玉掛け技能講習修了者	クレーン運転技能講習修了者	木材加工用機械作業主任者	不明
全体	4169	4.9	31.8	3.0	4.6	15.2	21.6	2.3	10.5	8.8	36.2	40.1	43.0	18.2	10.5	18.7
工務店社員	1514	3.9	26.9	1.7	5.6	12.5	21.5	1.4	7.5	5.0	30.6	32.6	43.0	17.9	7.6	20.9
外注常用(日当制)	479	1.7	21.3	3.8	1.9	9.0	23.6	2.5	9.2	5.8	28.0	35.7	39.7	15.2	7.5	31.1
外注常用(坪請主体)	415	2.4	22.9	2.4	1.0	9.2	16.4	1.9	6.0	6.3	34.7	48.4	40.7	11.8	5.3	20.2
その都度契約	170	1.8	25.3	3.5	2.4	8.8	17.1	2.9	6.5	8.2	34.1	43.5	41.2	11.2	8.2	20.6
元請として仕事	1414	8.5	46.4	4.5	5.9	23.1	23.9	3.2	16.5	15.3	47.6	48.7	46.0	22.7	17.1	8.7
その他(アルバイト等)	57	3.5	8.8	0.0	1.8	5.3	10.5	3.5	5.3	1.8	15.8	10.5	29.8	17.5	3.5	50.9

表 3.5.10 持っている資格（H27 年度）（割合%）

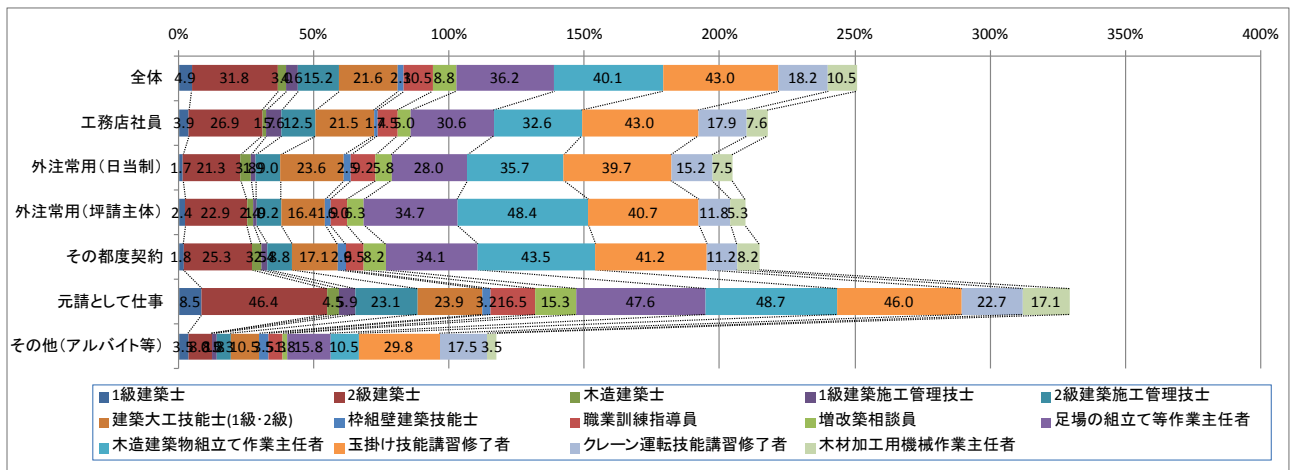


図 3.5.10 持っている資格（H27 年度）

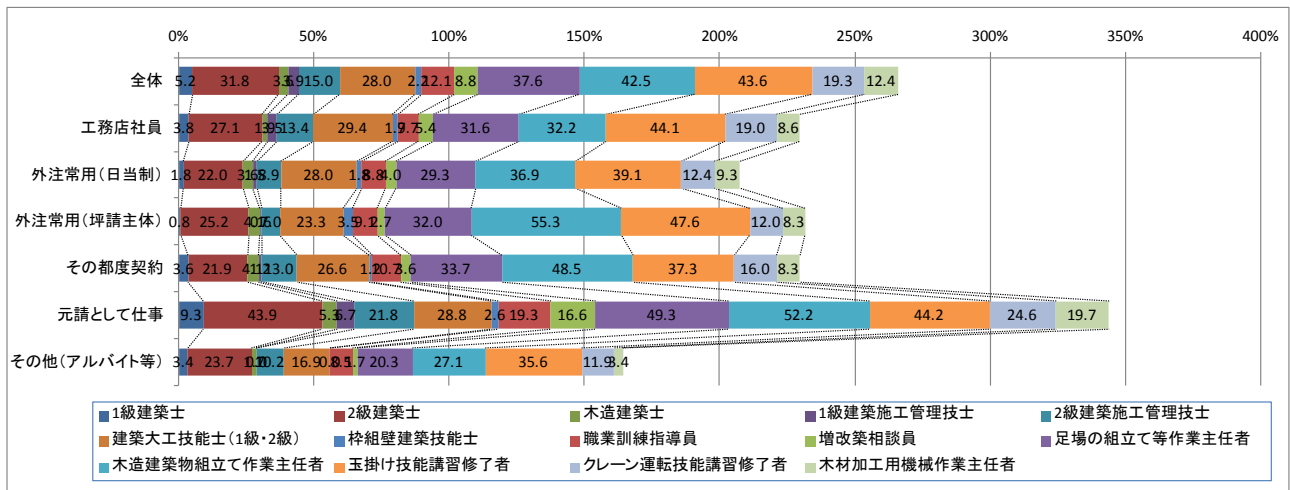


図 3.5.10# 持っている資格（H26 年度）

②大工職のみ回答 墨付けができますか。

墨付けについて「はい」と回答した割合が最も高い雇用形態は「元請として仕事」で79.8%。

「いいえ」と回答した割合が最も高い雇用形態は「その他（アルバイト等）」で42.1%。

	合計	(14)①墨付けができますか			
		はい	いいえ	不明	
全体	4169	71.6	14.6	13.8	
雇用形態	工務店社員	1514	64.9	21.2	13.9
	外注常用(日当制)	479	72.7	16.1	11.3
	外注常用(坪請主体)	415	75.9	14.0	10.1
	その都度契約	170	75.3	15.9	8.8
	元請として仕事	1414	79.8	5.2	15.0
	その他(アルバイト等)	57	35.1	42.1	22.8

表 3.5.11 墨付け（H27年度）（割合%）

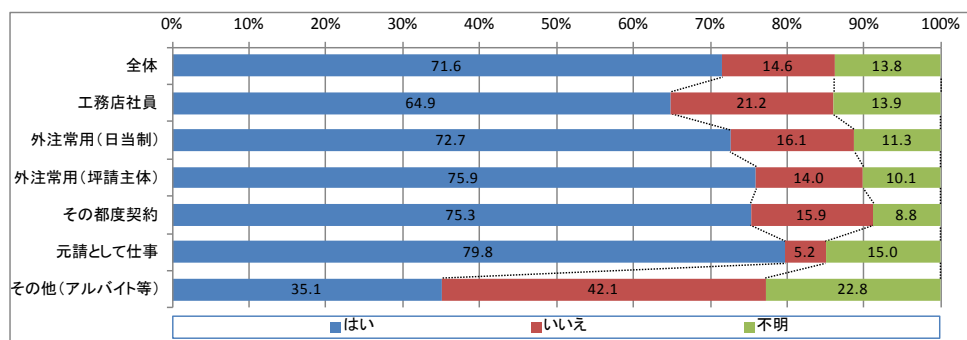


図 3.5.11 墨付け（H27年度）

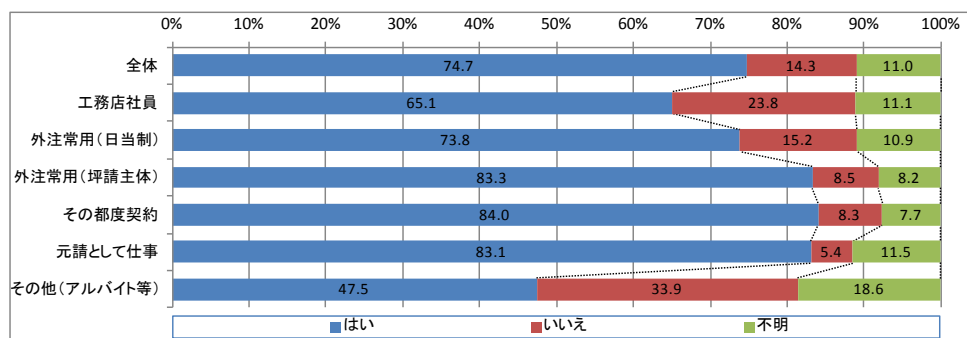


図 3.5.11# 墨付け（H26年度）

③大工職のみ回答 今でも手刻み加工の仕事を年1棟以上行っていますか。(新築)

新築の手刻み加工の仕事について「はい」と回答した割合が最も高い雇用形態は「元請として仕事」で27.0%。

「いいえ」と回答した割合が最も高い雇用形態は「外注常用（坪請主体）」で73.5%。

	合計	(14)②新築の手刻み加工の仕事 を年1棟以上行っていますか			
		はい	いいえ	不明	
全体	4169	23.9	60.5	15.6	
雇用 形態	工務店社員	1514	25.6	59.6	14.8
	外注常用(日当制)	479	21.7	66.0	12.3
	外注常用(坪請主体)	415	14.5	73.5	12.0
	その都度契約	170	16.5	71.2	12.4
	元請として仕事	1414	27.0	55.6	17.4
	その他(アルバイト等)	57	15.8	61.4	22.8

表 3.5.12 手刻み加工の仕事（新築）（H27年度）（割合%）

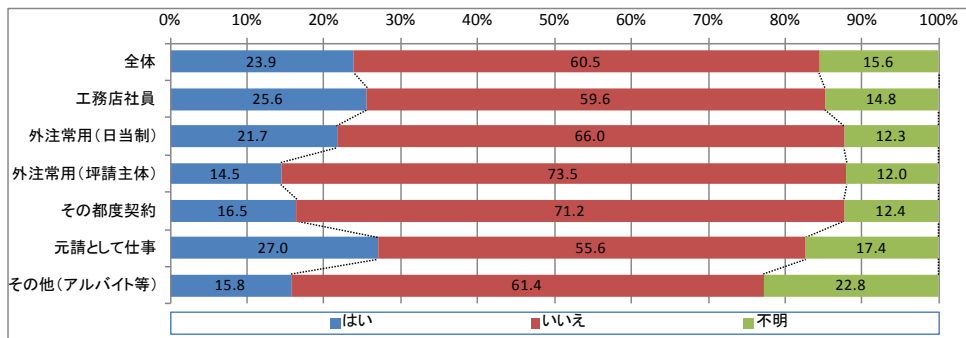


図 3.5.12 手刻み加工の仕事（新築）（H27年度）

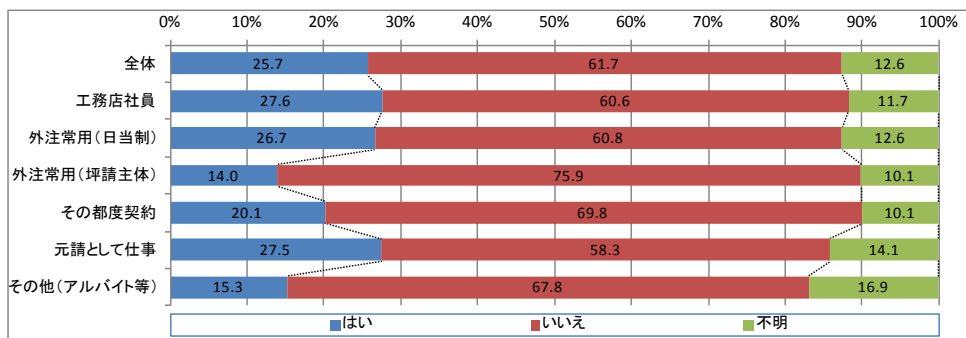


図 3.5.12# 手刻み加工の仕事（新築）（H26年度）

④大工職のみ回答 今でも手刻み加工の仕事を年1棟以上行っていますか。(増改築)

増改築の手刻み加工の仕事について「はい」と回答した割合が最も高い雇用形態は「元請として仕事」で56.9%。

「いいえ」と回答した割合が最も高い雇用形態は「外注常用（坪請主体）」で59.0%。

	合計	(14)③増改築の手刻み加工の仕事を年1棟以上行っていますか			
		はい	いいえ	不明	
全体	4169	47.1	37.8	15.2	
雇用形態	工務店社員	1514	47.4	38.0	14.6
	外注常用(日当制)	479	42.0	45.1	12.9
	外注常用(坪請主体)	415	28.7	59.0	12.3
	その都度契約	170	40.6	47.6	11.8
	元請として仕事	1414	56.9	26.7	16.3
	その他(アルバイト等)	57	22.8	54.4	22.8

表 3.5.13 手刻み加工の仕事（増改築）（H27 年度）（割合%）

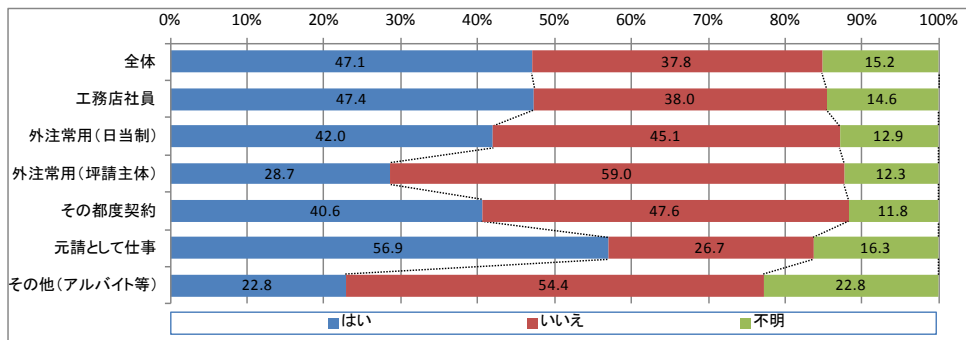


図 3.5.13 手刻み加工の仕事（増改築）（H27 年度）

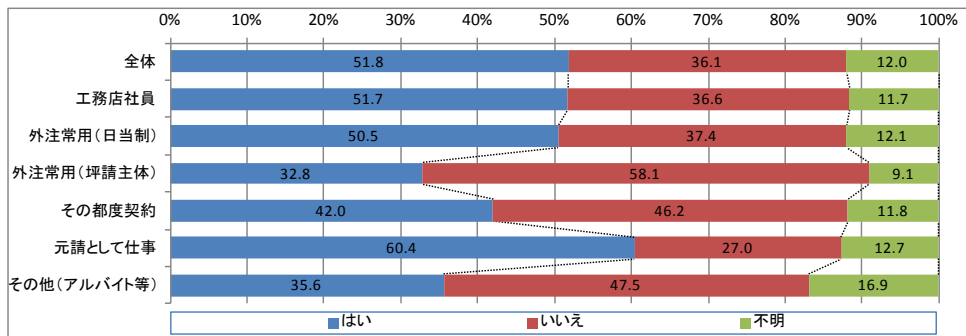


図 3.5.13# 手刻み加工の仕事（増改築）（H26 年度）

⑤大工職のみ回答 和室造作ができますか。

和室造作の技能について「はい」と回答した割合が最も高い雇用形態は「外注常用（坪請主体）」で79.8%。

「いいえ」と回答した割合が最も高い雇用形態は「その他（アルバイト等）」で54.4%。

	合計	(14)④和室造作ができますか		
		はい	いいえ	不明
全体	4169	66.4	18.8	14.8
雇用形態				
工務店社員	1514	53.8	31.0	15.2
外注常用(日当制)	479	68.9	20.7	10.4
外注常用(坪請主体)	415	79.8	8.4	11.8
その都度契約	170	74.1	15.9	10.0
元請として仕事	1414	77.4	6.8	15.8
その他(アルバイト等)	57	21.1	54.4	24.6

表 3.5.14 和室造作（H27年度）（割合%）

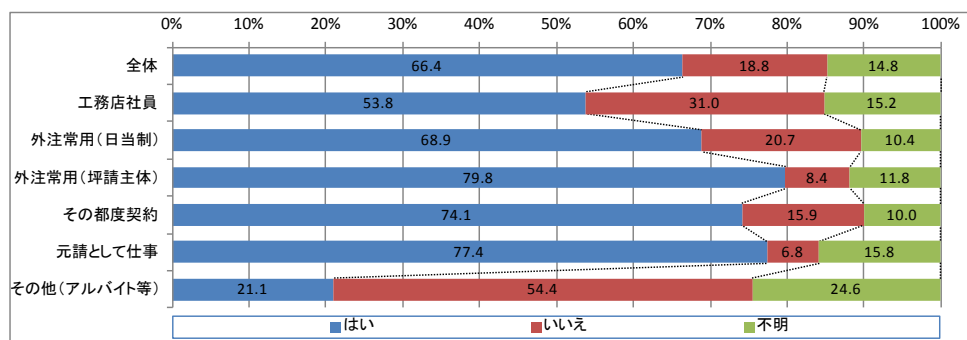


図 3.5.14 和室造作（H27年度）

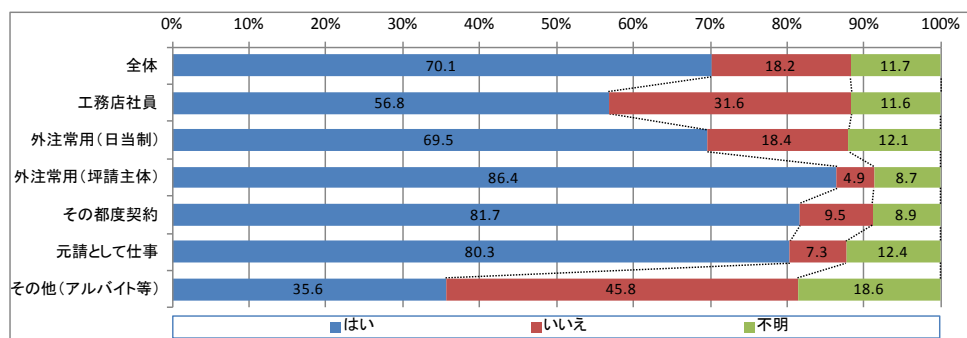


図 3.5.14# 和室造作（H26年度）

⑥大工職のみ回答 2×4 工法の住宅の施工ができますか。

2×4 工法の住宅の施工の技能について「はい」と回答した割合が最も高い雇用形態は「外注常用（坪請主体）」で 41.7%。

「いいえ」と回答した割合が最も高い雇用形態は「その他（アルバイト等）」で 10.5%。

	合計	(14)⑤2×4工法の住宅の施工ができますか		
		はい	いいえ	不明
全体	4169	26.1	58.3	15.6
雇用形態				
工務店社員	1514	21.7	63.2	15.1
外注常用(日当制)	479	23.8	64.5	11.7
外注常用(坪請主体)	415	41.7	46.7	11.6
その都度契約	170	32.4	54.1	13.5
元請として仕事	1414	26.9	55.9	17.1
その他(アルバイト等)	57	10.5	63.2	26.3

表 3.5.15 2×4 工法の住宅の施工（H27 年度）（割合%）

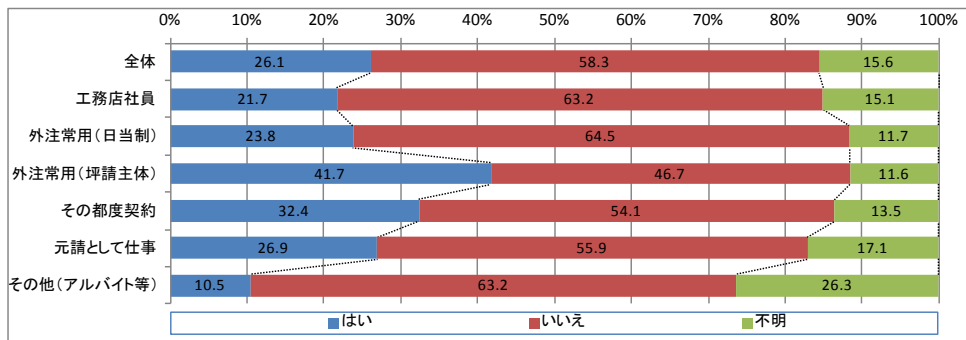


図 3.5.15 2×4 工法の住宅の施工（H26 年度）

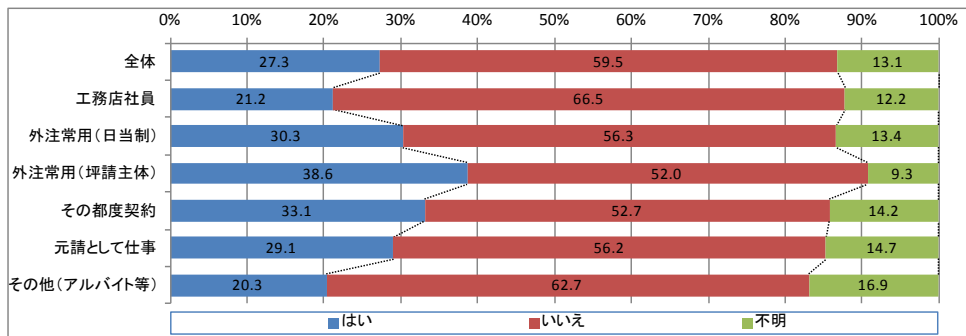


図 3.5.15# 2×4 工法の住宅の施工（H27 年度）

(4) 仕事に対する満足度や今後の意向について

①現在の仕事の内容について満足していますか。

「とても満足している」、「まあ満足している」の割合を合計した「満足している」と回答した割合が最も高い雇用形態は「工務店社員」で66.9%。

「あまり満足していない」、「満足していない」の割合を合計した「満足していない」と回答した割合が最も高い雇用形態は「外注常用（坪請主体）」で41.2%。

	合計	(15)現在の仕事の内容について満足度					
		とても満足している	まあ満足している	あまり満足していない	満足していない	不明	
全体	4169	10.3	50.7	23.2	5.4	10.3	
雇用形態	工務店社員	1514	11.2	55.7	19.5	4.8	8.9
	外注常用(日当制)	479	8.4	48.4	26.7	6.3	10.2
	外注常用(坪請主体)	415	5.8	44.6	32.5	8.7	8.4
	その都度契約	170	8.2	44.1	34.1	5.3	8.2
	元請として仕事	1414	11.2	49.8	22.4	4.9	11.7
	その他(アルバイト等)	57	12.3	40.4	24.6	10.5	12.3

表 3.5.16 仕事の内容についての満足度（H27年度）（割合%）

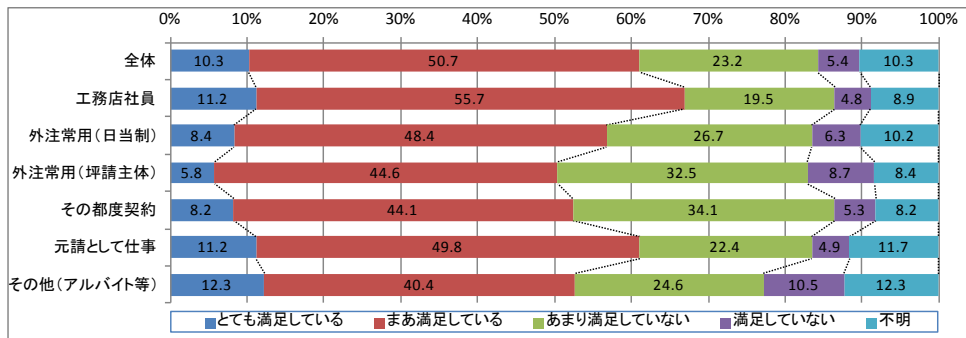


図 3.5.16 仕事の内容についての満足度（H27年度）

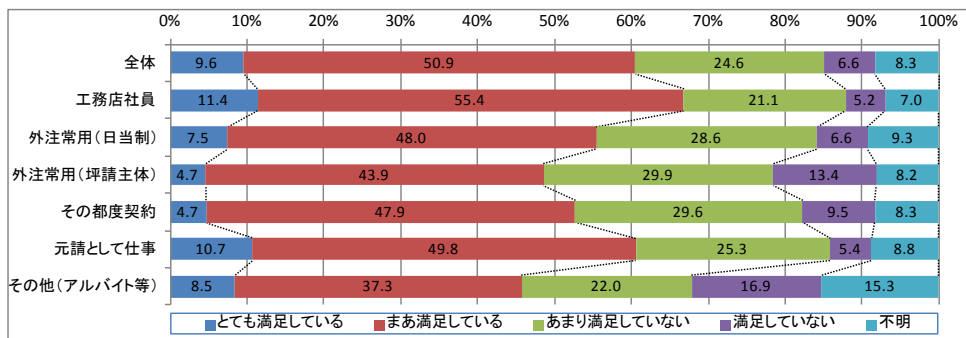


図 3.5.16# 仕事の内容についての満足度（H26年度）

②現在の仕事で得られる収入等について満足していますか。

「とても満足している」、「まあ満足している」の割合を合計した「満足している」と回答した割合が最も高い雇用形態は「工務店社員」で41.9%。

「あまり満足していない」、「満足していない」の割合を合計した「満足していない」と回答した割合が最も高いのは「外注常用（坪請主体）」で65.3%。

	合計	(16)現在の仕事で得られる収入等について満足度				
		とても満足している	まあ満足している	あまり満足していない	満足していない	不明
全体	4169	3.5	33.2	37.0	16.0	10.4
雇用形態						
工務店社員	1514	4.8	37.1	34.5	14.5	9.2
外注常用(日当制)	479	2.3	31.9	35.7	20.5	9.6
外注常用(坪請主体)	415	1.7	23.9	41.9	23.4	9.2
その都度契約	170	1.2	28.8	43.5	18.8	7.6
元請として仕事	1414	3.1	33.2	39.0	13.2	11.5
その他(アルバイト等)	57	5.3	33.3	15.8	35.1	10.5

表 3.5.17 収入等についての満足度（H27年度）（割合%）

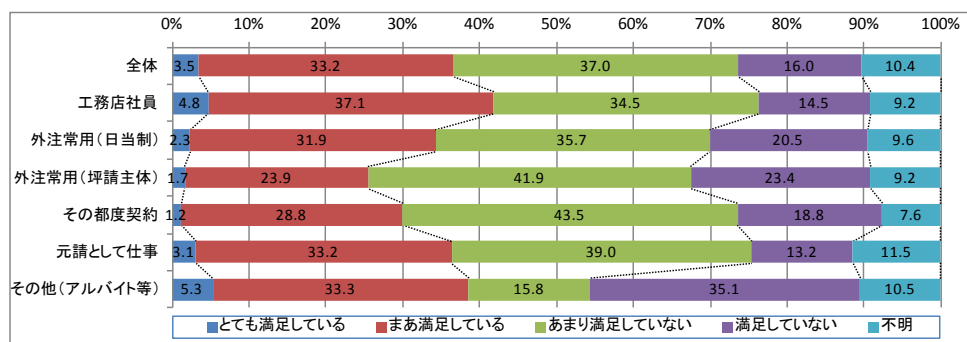


図 3.5.17 収入等についての満足度（H27年度）

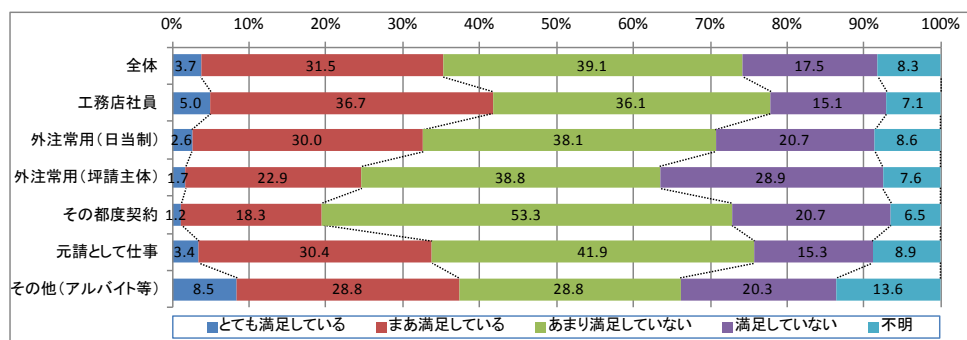


図 3.5.17# 収入等についての満足度（H26年度）

③今後何歳までお仕事を続けられる予定ですか。

「仕事ができる限り続ける」と回答した割合が最も高い雇用形態は「外注常用（日当制）」で 58.5%。
 「65歳で引退する」と回答した割合が最も高い雇用形態は「工務店社員」、「その都度契約」で 17.6%。
 「70歳で引退する」と回答した割合が最も高い雇用形態は「元請として仕事」で 18.2%。

	合計	(17)今後何歳までお仕事を続けられる予定ですか							
		60歳で引退する	65歳で引退する	70歳で引退する	75歳で引退する	仕事ができる限り続ける	仕事がないため近々退職・引退する予定である	不明	
全体	4169	6.3	15.8	13.0	2.6	50.8	0.9	10.7	
雇用形態	工務店社員	1514	7.9	17.6	7.8	1.3	55.0	0.7	9.8
	外注常用(日当制)	479	5.8	11.3	12.5	1.5	58.5	0.8	9.6
	外注常用(坪請主体)	415	6.7	15.4	15.7	1.9	51.1	0.5	8.7
	その都度契約	170	3.5	17.6	12.4	4.1	54.7	0.6	7.1
	元請として仕事	1414	5.2	15.7	18.2	4.5	43.6	0.8	11.9
	その他(アルバイト等)	57	5.3	12.3	1.8	0.0	59.6	7.0	14.0

表 3.5.18 何歳まで仕事を続ける予定か（H27年度）（割合%）

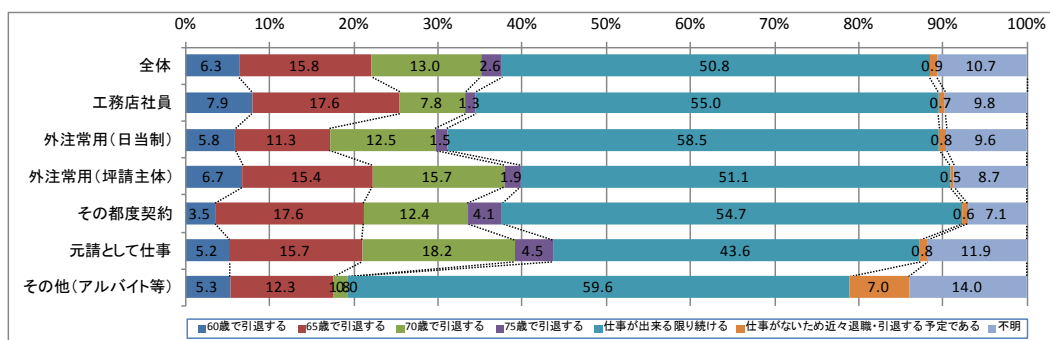


図 3.5.18 何歳まで仕事を続ける予定か（H27年度）

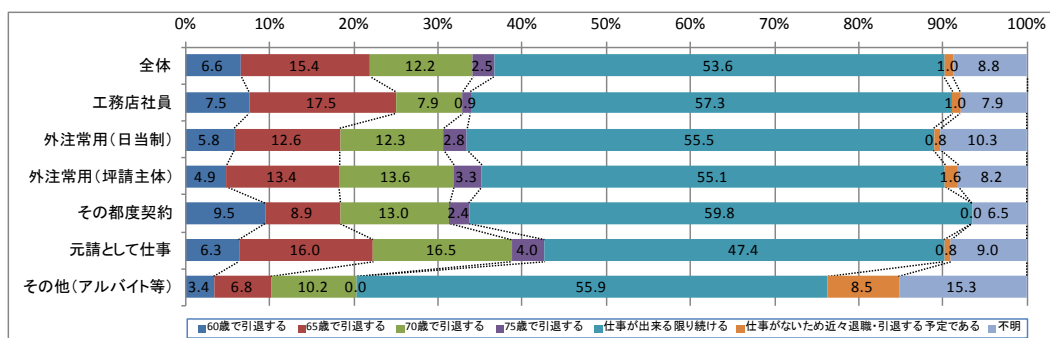


図 3.5.18# 何歳まで仕事を続ける予定か（H26年度）

(5) 担い手育成について

①現在、担い手（見習い等）の育成を行っていますか。

「現在育てている」と回答した割合が最も高い雇用形態は「元請として仕事」で19.9%。

「現在は育てていないが、人材がいれば育てたい」の割合が最も高い雇用形態は「元請として仕事」で41.5%。

「現在は育てていないし、今後も育てる予定はない」の割合が最も高いのは「外注常庸（日当制）」で47.0%。

	合計	(18)現在、担い手の育成を行っていますか			
		現在育てている	現在は育てていないが、人材がいれば育てたい	現在は育てていないし、今後も育てる予定はない	不明
全体	4169	14.1	39.5	30.7	15.8
雇用形態					
工務店社員	1514	13.8	43.4	23.5	19.3
外注常庸(日当制)	479	4.6	31.5	47.0	16.9
外注常庸(坪請主体)	415	9.9	37.3	43.6	9.2
その都度契約	170	8.2	35.9	46.5	9.4
元請として仕事	1414	19.9	41.5	26.4	12.2
その他(アルバイト等)	57	7.0	28.1	36.8	28.1

表 3.5.19 担い手の育成状況（H27年度）（割合％）

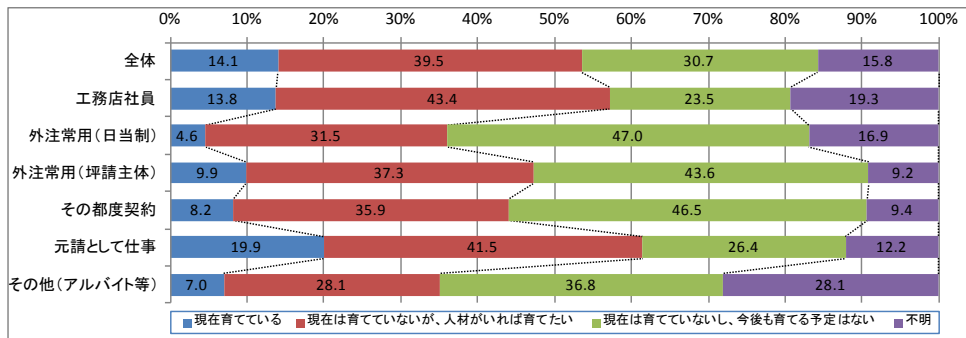


図 3.5.19 担い手の育成状況（H27年度）

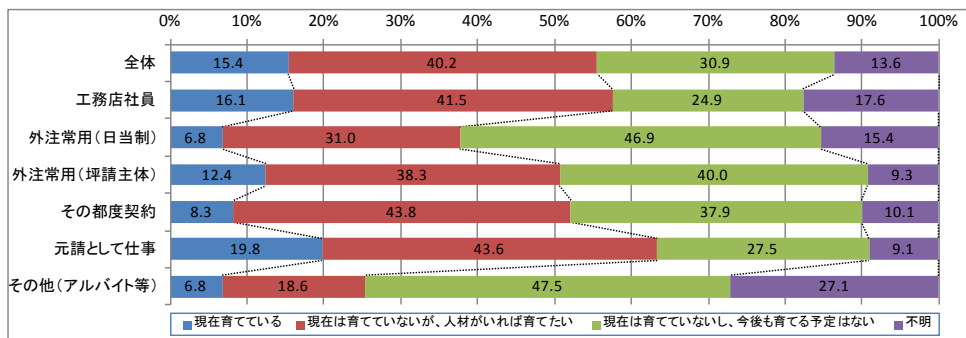


図 3.5.19# 担い手の育成状況（H26年度）

② 「1.現在育てている」および「2.過去には育てた」のみ回答

育成期間の担い手の立場

「正社員（職業訓練校）」と回答した割合が最も高い雇用形態は「工務店社員」で26.8%。

「正社員（弟子として）」と回答した割合が最も高い雇用形態は「その都度契約」で85.7%。

「一人親方にあずける（職業訓練校）」と回答した割合が最も高い雇用形態は「外注常用（日当制）」で13.6%。

「一人親方にあずける（弟子として）」と回答した割合が最も高い雇用形態は「外注常雇（坪請主体）」で34.1%。

	合計	(19)育成期間の担い手の立場				
		正社員 (職業訓練校)	正社員 (弟子として)	一人親方等にあずける (職業訓練校)	一人親方等にあずける (弟子として)	不明
全体	586	18.3	61.8	3.6	10.8	5.6
雇用形態						
工務店社員	209	26.8	58.4	3.3	7.2	4.3
外注常用(日当制)	22	4.5	40.9	13.6	31.8	9.1
外注常用(坪請主体)	41	0.0	58.5	0.0	34.1	7.3
その都度契約	14	0.0	85.7	0.0	7.1	7.1
元請として仕事	282	16.7	66.0	3.5	8.5	5.3
その他(アルバイト等)	4	25.0	75.0	0.0	0.0	0.0

表 3.5.20 育成期間の担い手の立場（H27年度）（割合%）

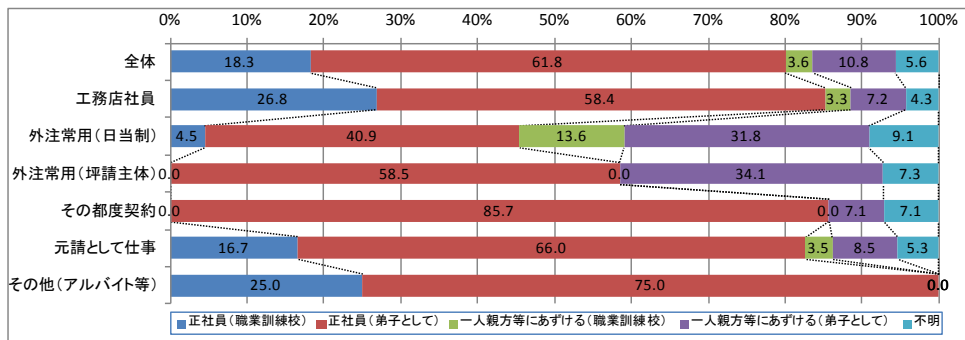


図 3.5.20 育成期間の担い手の立場（H27年度）

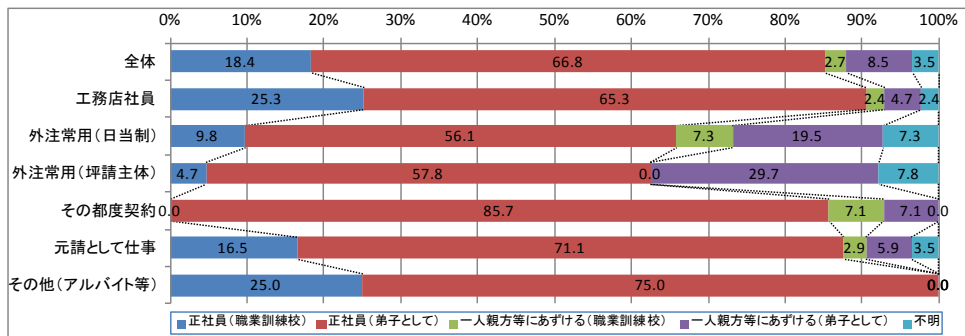


図 3.5.20# 育成期間の担い手の立場（H26年度）

③ 「1.現在育てている」および「2.過去には育てた」のみ回答
育成にかかる費用負担

育成にかかる費用負担が「有る」と回答した割合が最も高い雇用形態は「その他（アルバイト等）」で50.0%。

「無い」と回答した割合が最も高い雇用形態は「外注常用（日当制）」で45.5%。

	合計	(20)育成期間にかかる費用の負担を行っているか		
		有	無	不明
全体	586	29.4	15.2	55.5
雇用形態				
工務店社員	209	20.6	19.1	60.3
外注常用(日当制)	22	18.2	45.5	36.4
外注常用(坪請主体)	41	36.6	24.4	39.0
その都度契約	14	42.9	7.1	50.0
元請として仕事	282	34.4	9.2	56.4
その他(アルバイト等)	4	50.0	25.0	25.0

表 3.5.21 育成期間にかかる費用負担（H27年度）（割合%）

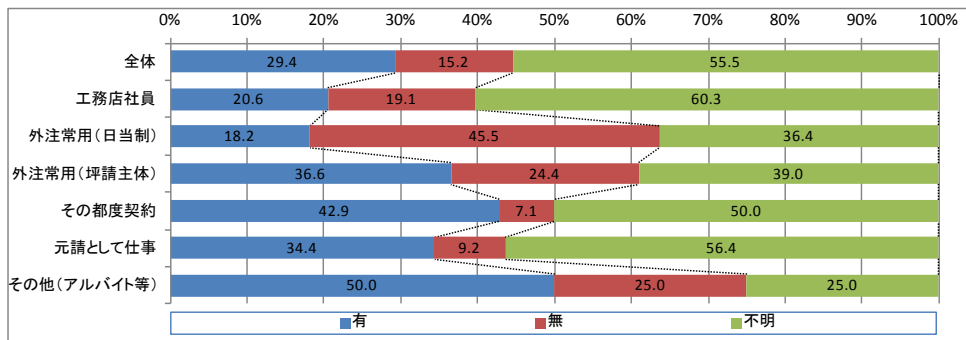


図 3.5.21 育成期間にかかる費用負担（H27年度）

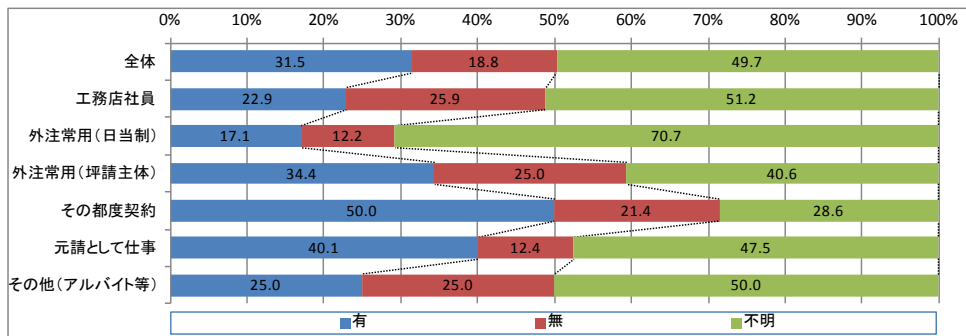


図 3.5.21 # 育成期間にかかる費用負担（H26年度）

④ 「4.現在は育てていないし、今後も育てる予定はない」のみ回答
なぜ育てる予定はないのか。

「将来の保障ができないため」と回答した割合が最も高い雇用形態は「元請として仕事」で51.5%。
「人材がないため」と回答した割合が最も高い雇用形態は「工務店社員」で27.0%。
「費用がかかるため」と回答した割合が最も高い雇用形態は「外注常庸（坪請主体）」で33.1%。

雇用形態	合計	(21)なぜ育てる予定はないのですか											
		育てても、一人前になると辞めてしまうため	教えるのが面倒なため	費用がかかるため	言うことを聞かないため	人材がないため	育てる自信がないため	将来の保障ができないため	年齢のため	仕事がプレカットのため	新築が少ないため	その他	不明
全体	1280	9.5	6.8	18.1	3.0	21.7	11.2	40.0	13.4	10.0	21.0	5.6	13.0
工務店社員	356	7.0	6.2	9.3	2.5	27.0	11.2	27.5	8.1	6.2	16.9	7.0	19.4
外注常用(日当制)	225	8.0	5.8	14.2	2.7	23.1	12.9	44.4	16.9	13.3	17.8	5.3	9.8
外注常用(坪請主体)	181	17.1	8.3	33.1	2.8	20.4	8.8	43.1	12.2	11.0	11.6	5.5	9.4
その都度契約	79	11.4	10.1	26.6	3.8	13.9	13.9	39.2	13.9	13.9	25.3	6.3	11.4
元請として仕事	373	8.8	5.6	19.8	3.5	19.0	9.9	51.5	17.2	11.3	31.9	4.0	10.2
その他(アルバイト等)	21	9.5	14.3	14.3	4.8	4.8	23.8	23.8	4.8	0.0	4.8	14.3	4.8

表 3.5.22 なぜ育てる予定はないのか（H27年度）（割合%）

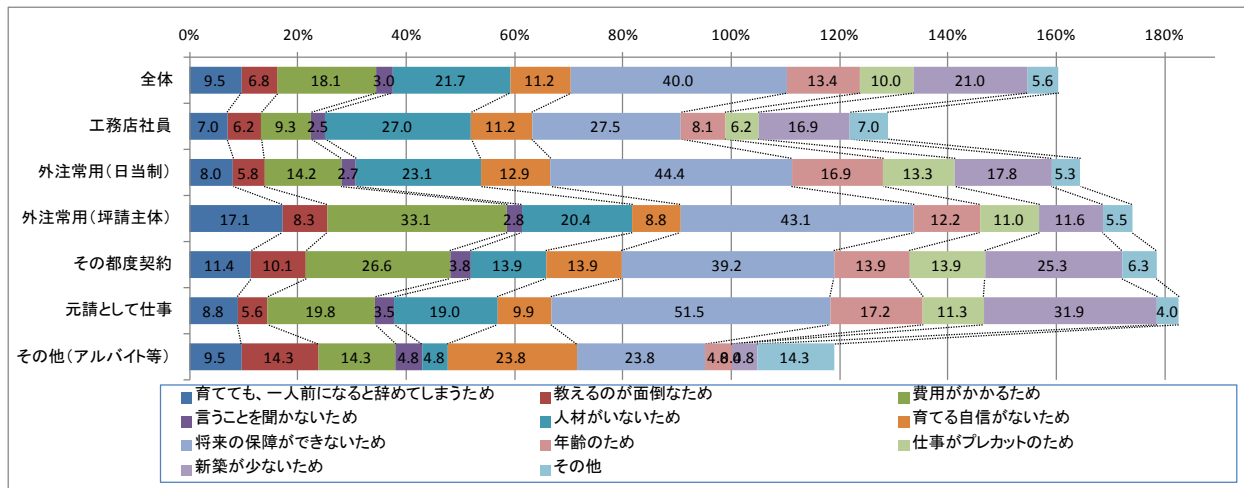


図 3.5.22 なぜ育てる予定はないのか（H27年度）

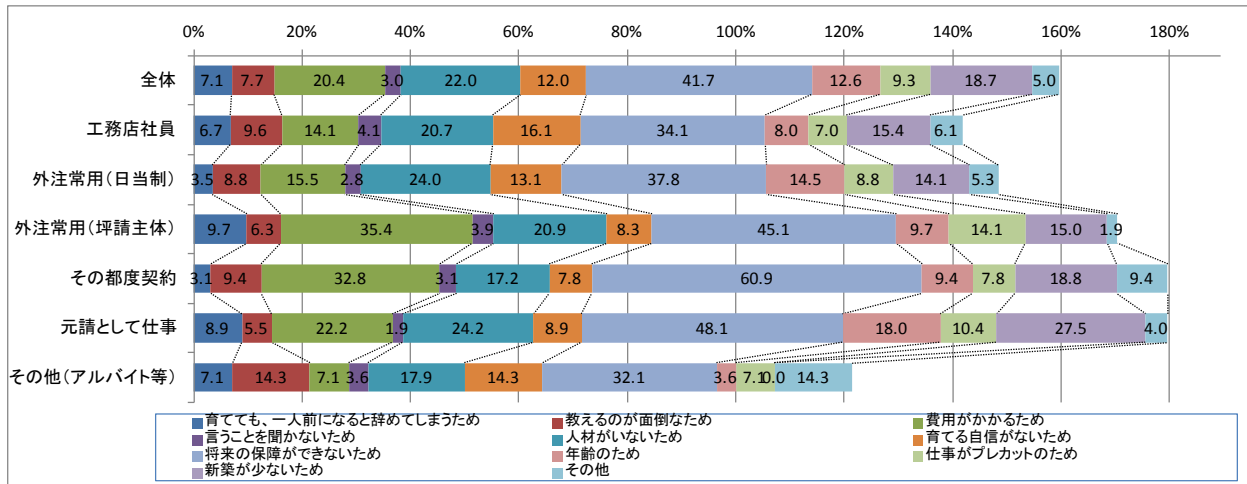


図 3.5.22# なぜ育てる予定はないのか（H26年度）

⑤担い手育成にかかる費用の公的補助について、1人/月当たりどの程度必要と考えますか。

「3万円/月」と回答した割合が最も高い雇用形態は「元請として仕事」で3.6%。

「5万円/月」と回答した割合が最も高い雇用形態は「その都度契約」で17.1%。

「10万円/月」と回答した割合が最も高い雇用形態は「外注常用（坪請主体）」で34.5%。

「15万円/月」と回答した割合が最も高い雇用形態は「外注常用（坪請主体）」で26.5%。

「必要ない」と回答した割合が最も高い雇用形態は「外注常用（日当制）」で4.0%。

	合計	(22)担い手の育成にかかる費用の公的補助はどの程度必要か						
		3万円/月	5万円/月	10万円/月	15万円/月	必要ない	不明	
全体	4169	3.5	14.8	28.0	18.5	2.8	32.3	
雇用形態	工務店社員	1514	4.3	15.5	26.1	14.7	2.6	36.8
	外注常用(日当制)	479	3.3	10.6	26.3	21.1	4.0	34.7
	外注常用(坪請主体)	415	1.9	12.0	34.5	26.5	1.7	23.4
	その都度契約	170	1.2	17.1	27.1	25.9	3.5	25.3
	元請として仕事	1414	3.6	16.6	30.7	19.3	2.8	27.0
	その他(アルバイト等)	57	3.5	15.8	17.5	8.8	8.8	45.6

表 3.5.23 公的補助について、1人/月当たりどの程度必要か（H27年度）（割合%）

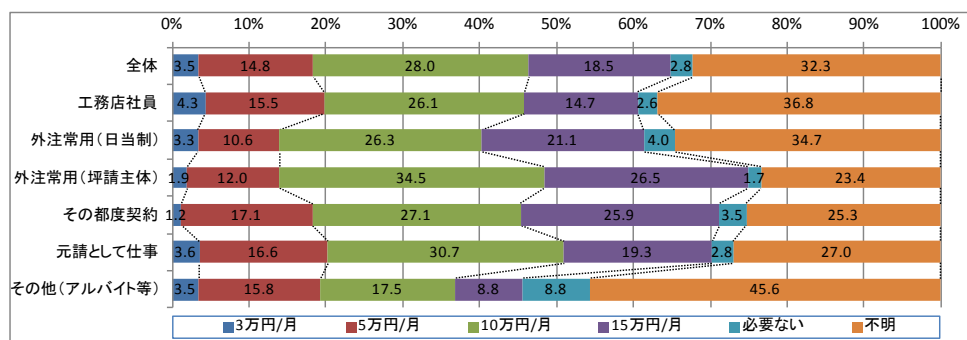


図 3.5.23 公的補助について、1人/月当たりどの程度必要か（H27年度）

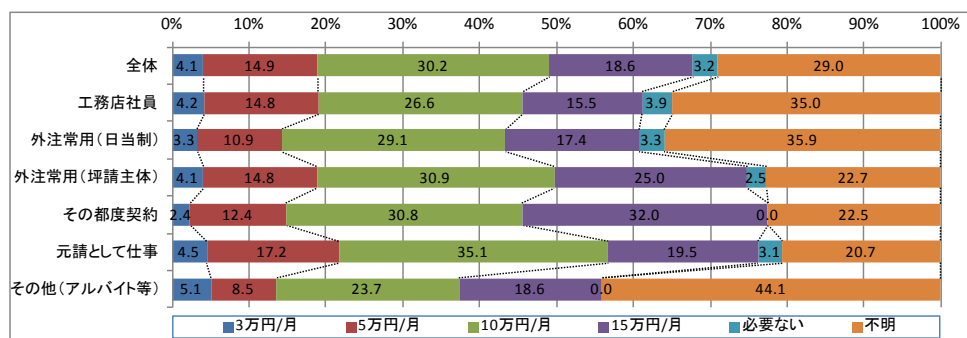


図 3.5.23# 公的補助について、1人/月当たりどの程度必要か（H26年度）

6. 賃金別集計

(1) 職業等について

①職種においてベテランだと思いますか。

「ベテラン」と回答した割合が最も高い賃金帯は「25,000円以上」で30.7%。

「ややベテラン」と回答した割合が最も高い賃金帯は「25,000円以上」で27.3%。

「中堅」と回答した割合が最も高い賃金帯は「10,000～15,000円未満」で39.5%。

「やや中堅」と回答した割合が最も高い賃金帯は「8,000～10,000円未満」で20.2%。

「見習い」と回答した割合が最も高い賃金帯は「8,000円未満」で65.8%。

	合計	(5)あなたのベテラン度合いについて						
		ベテラン	ややベテラン	中堅	やや中堅	見習い	不明	
全体	4169	18.8	21.3	35.0	11.4	10.5	2.9	
賃金	8,000円未満	225	10.2	6.7	9.3	5.8	65.8	2.2
	8,000～10,000円未満	332	5.1	9.0	23.2	20.2	41.0	1.5
	10,000～15,000円未満	1554	15.2	21.0	39.5	15.1	5.7	3.4
	15,000～20,000円未満	1429	24.0	26.1	37.5	7.6	2.5	2.3
	20,000～25,000円未満	328	28.4	24.1	35.1	9.1	1.2	2.1
	25,000円以上	88	30.7	27.3	31.8	2.3	2.3	5.7

表 3.6.1 職種のベテラン度合（H27年度）（割合%）

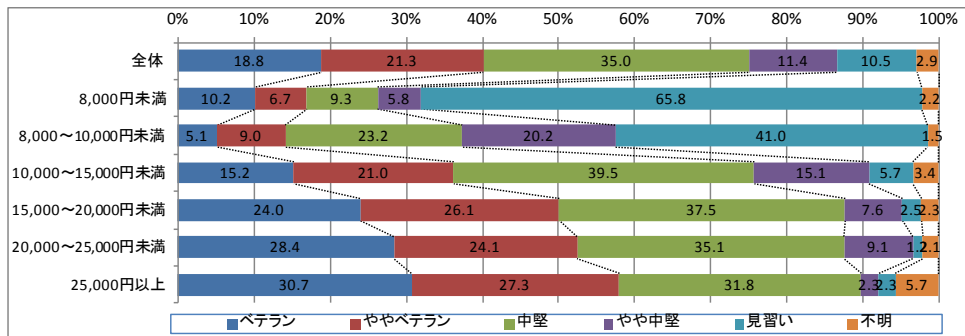


図 3.6.1 職種のベテラン度合（H27年度）

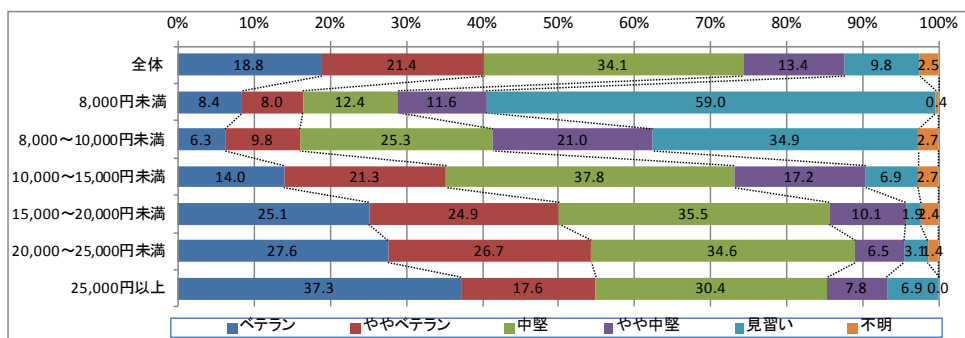


図 3.6.1# 職種のベテラン度合（H26年度）

(2) 資格や技能について

①持っている資格

持っている資格の割合の合計が最も高かった賃金帯は「25,000円以上」で292.0%。

持っている資格の割合の合計が最も低かった賃金帯は「8,000円未満」で129.3%。

	合計	(13)お持ちの資格														
		1級建築士	2級建築士	木造建築士	1級建築施工管理技士	2級建築施工管理技士	建築大工技能士(1級・2級)	枠組壁建築技能士	職業訓練指導員	増改築相談員	足場の組立て等作業主任者	木造建築物組立て作業主任者	玉掛け技能講習修了者	クレーン運転技能講習修了者	木材加工用機械作業主任者	不明
全体	4169	4.9	31.8	3.0	4.6	15.2	21.6	2.3	10.5	8.8	36.2	40.1	43.0	18.2	10.5	18.7
賃金																
8,000円未満	225	1.3	13.8	0.4	0.9	5.3	13.8	3.1	3.6	2.2	15.1	12.9	38.7	15.6	2.7	40.0
8,000～10,000円未満	332	2.1	18.7	2.1	1.8	12.7	17.8	2.1	6.9	3.6	22.9	21.7	38.6	17.8	5.7	32.8
10,000～15,000円未満	1554	3.9	32.0	2.8	5.3	16.7	25.7	2.1	12.8	6.9	37.8	39.9	46.5	20.1	9.7	15.5
15,000～20,000円未満	1429	6.6	37.5	4.2	4.8	15.3	21.3	2.2	10.9	10.8	41.4	47.2	43.0	17.8	13.1	14.2
20,000～25,000円未満	328	8.8	36.3	0.9	6.1	19.8	17.7	1.5	8.2	19.2	39.9	50.3	41.8	17.4	11.0	11.0
25,000円以上	88	5.7	31.8	1.1	8.0	15.9	21.6	5.7	10.2	17.0	42.0	53.4	45.5	18.2	15.9	18.2

表 3.6.2 持っている資格 (H27年度) (割合%)

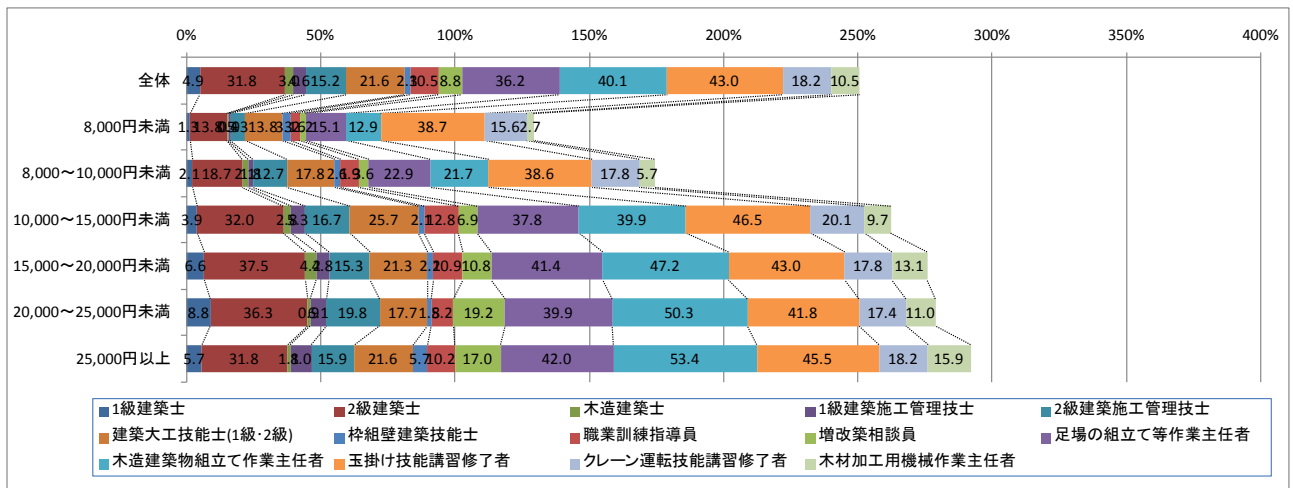


図 3.6.2 持っている資格 (H27年度)

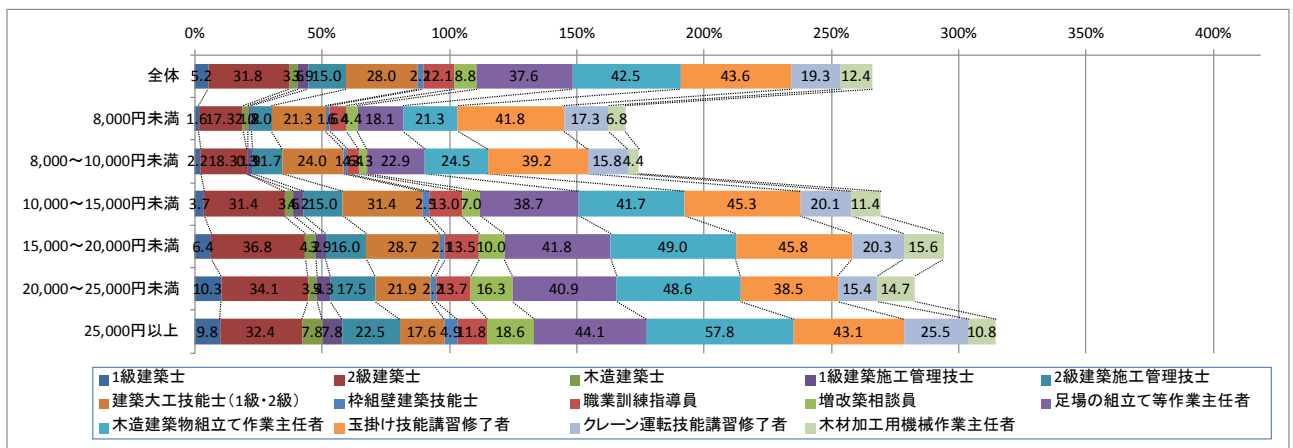


図 3.6.2# 持っている資格 (H26年度)

②大工職のみ回答 墨付けができますか。

墨付けについて「はい」と回答した割合が最も高い賃金帯は「15,000～20,000円未満」で80.1%。

「いいえ」と回答した割合が最も高い賃金帯は「8,000円未満」で40.9%。

	合計	(14)①墨付けができますか			
		はい	いいえ	不明	
全体	4169	71.6	14.6	13.8	
賃金	8,000円未満	225	43.1	40.9	16.0
	8,000～10,000円未満	332	53.0	34.6	12.3
	10,000～15,000円未満	1554	73.2	14.7	12.1
	15,000～20,000円未満	1429	80.1	7.9	12.0
	20,000～25,000円未満	328	77.7	8.8	13.4
	25,000円以上	88	73.9	13.6	12.5

表 3.6.3 墨付け（H27年度）（割合%）

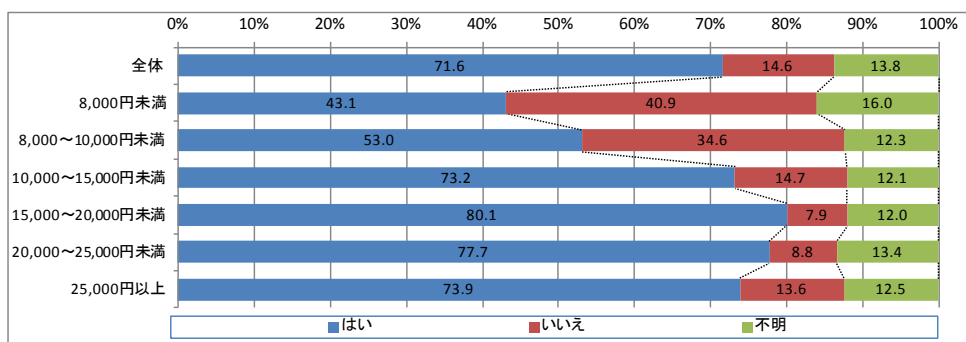


図 3.6.3 墨付け（H27年度）

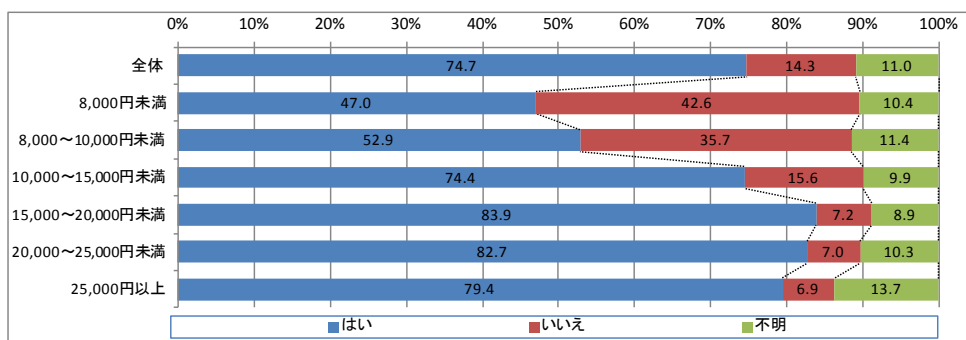


図 3.6.3# 墨付け（H26年度）

③大工職のみ回答 今でも手刻み加工の仕事を年1棟以上行っていますか。(新築)

新築の手刻み加工の仕事について「はい」と回答した割合が最も高い賃金帯は「10,000～15,000円未満」で25.7%。

「いいえ」と回答した割合が最も高い賃金帯は「20,000～25,000円未満」で68.9%。

	合計	(14)②新築の手刻み加工の仕事 を年1棟以上行っていますか			
		はい	いいえ	不明	
全体	4169	23.9	60.5	15.6	
賃金	8,000円未満	21.3	60.4	18.2	
	8,000～10,000円未満	22.9	63.6	13.6	
	10,000～15,000円未満	25.7	60.6	13.6	
	15,000～20,000円未満	24.5	61.4	14.1	
	20,000～25,000円未満	328	17.1	68.9	14.0
	25,000円以上	88	19.3	68.2	12.5

表 3.6.4 手刻み加工の仕事（新築）（H27年度）（割合%）

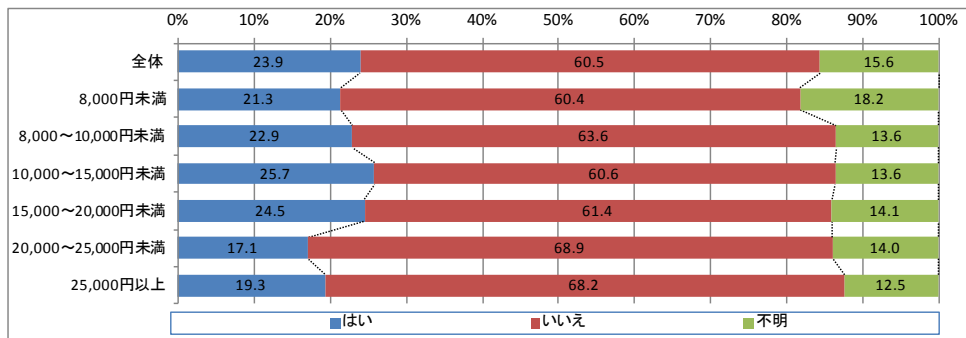


図 3.6.4 手刻み加工の仕事（新築）（H27年度）

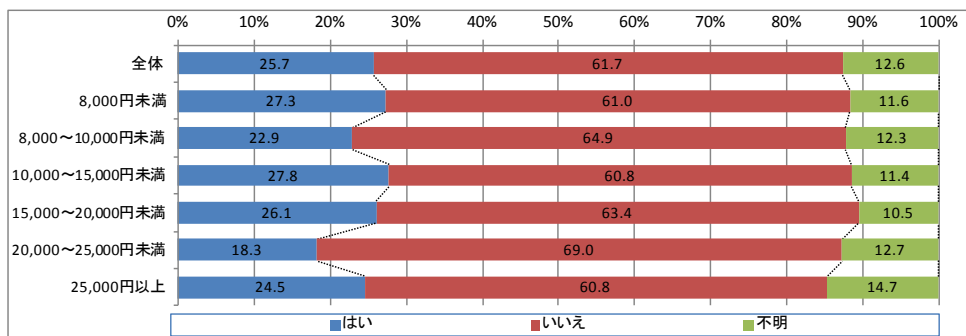


図 3.6.4# 手刻み加工の仕事（新築）（H26年度）

④大工職のみ回答 今でも手刻み加工の仕事を年1棟以上行っていますか。(増改築)

増改築の手刻み加工の仕事について「はい」と回答した割合が最も高い賃金帯は「15,000～20,000円未満」で50.7%。

「いいえ」と回答した割合が最も高い賃金帯は「8,000円未満」で49.8%。

	合計	(14)③増改築の手刻み加工の仕事を年1棟以上行っていますか			
		はい	いいえ	不明	
全体	4169	47.1	37.8	15.2	
賃金	8,000円未満	225	32.4	49.8	17.8
	8,000～10,000円未満	332	46.1	41.6	12.3
	10,000～15,000円未満	1554	49.4	37.3	13.3
	15,000～20,000円未満	1429	50.7	35.7	13.6
	20,000～25,000円未満	328	40.5	44.5	14.9
	25,000円以上	88	43.2	44.3	12.5

表 3.6.5 手刻み加工の仕事（増改築）（H27 年度）（割合%）

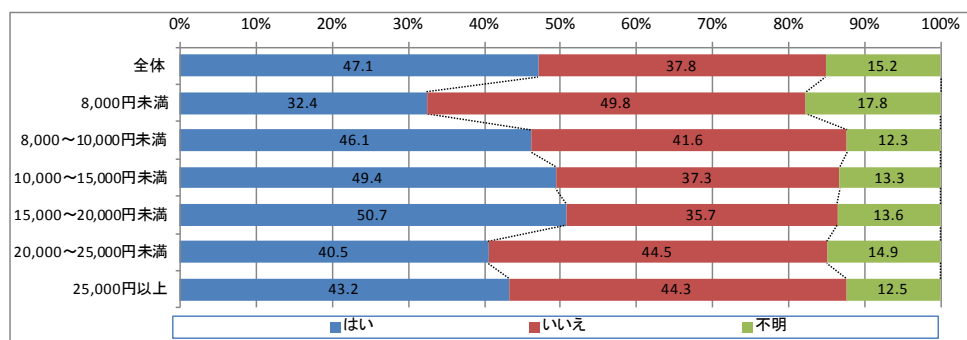


図 3.6.5 手刻み加工の仕事（増改築）（H27 年度）

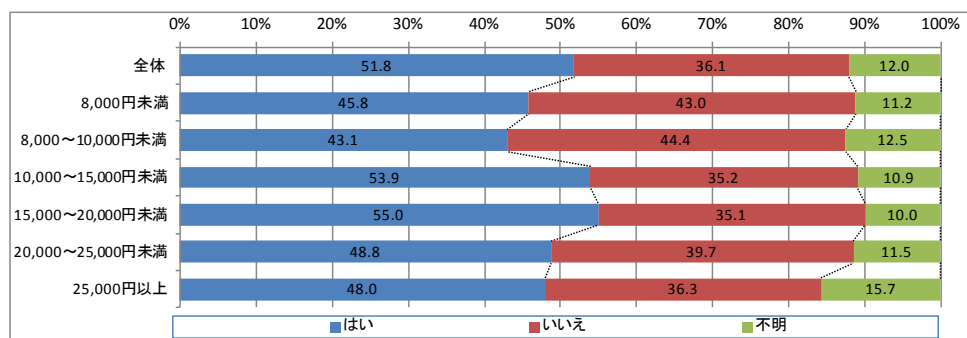


図 3.6.5# 手刻み加工の仕事（増改築）（H26 年度）

⑤大工職のみ回答 和室造作ができますか。

和室造作の技能について「はい」と回答した割合が高い賃金帯は「15,000～20,000円未満」で78.4%。
「いいえ」と回答した割合が高い賃金帯は「8,000円未満」で61.3%。

		合計	(14)④和室造作ができますか		
			はい	いいえ	不明
全体		4169	66.4	18.8	14.8
賃金	8,000円未満	225	21.8	61.3	16.9
	8,000～10,000円未満	332	31.3	54.5	14.2
	10,000～15,000円未満	1554	68.9	18.3	12.9
	15,000～20,000円未満	1429	78.4	8.4	13.2
	20,000～25,000円未満	328	78.0	8.2	13.7
	25,000円以上	88	75.0	11.4	13.6

表 3.6.6 和室造作（H27年度）（割合%）

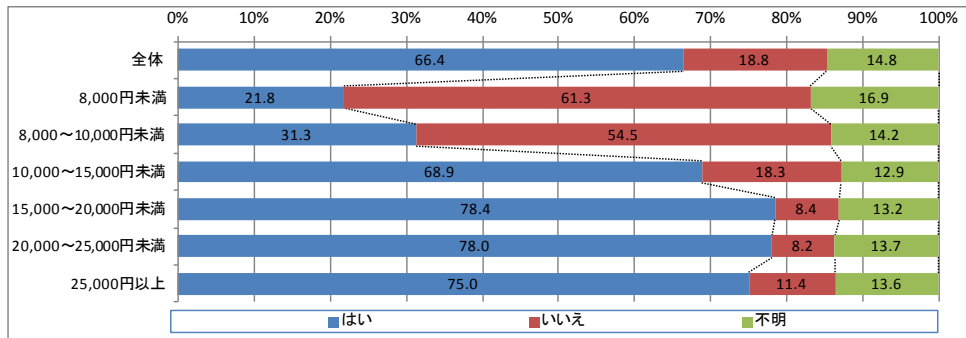


図 3.6.6 和室造作（H27年度）

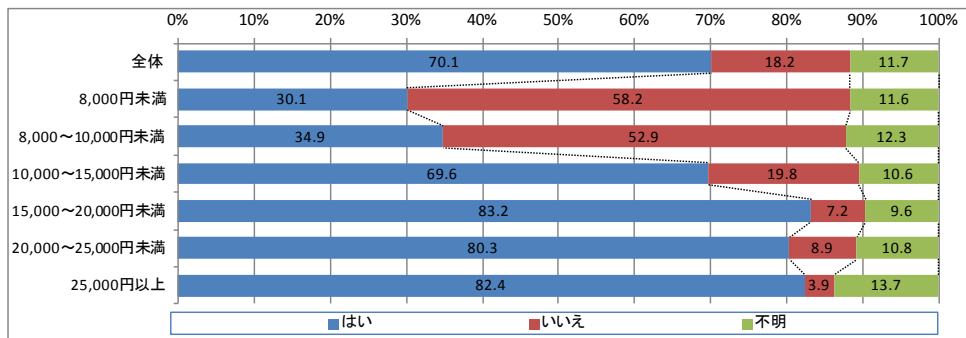


図 3.6.6# 和室造作（H26年度）

⑥大工職のみ回答 2×4 工法の住宅の施工ができますか。

2×4 工法の住宅の施工の技能について「はい」と回答した割合が最も高い賃金帯は「25,000 円以上」で 37.5%。

「いいえ」と回答した割合が最も高い賃金帯は「8,000 円未満」で 71.6%。

		合計	(14)⑤2×4工法の住宅の施工ができますか		
			はい	いいえ	不明
全体		4169	26.1	58.3	15.6
賃金	8,000円未満	225	11.6	71.6	16.9
	8,000～10,000円未満	332	18.1	68.7	13.3
	10,000～15,000円未満	1554	26.9	59.2	13.9
	15,000～20,000円未満	1429	28.1	58.2	13.6
	20,000～25,000円未満	328	33.2	50.9	15.9
	25,000円以上	88	37.5	47.7	14.8

表 3.6.7 2×4 工法の住宅の施工（H27 年度）（割合%）

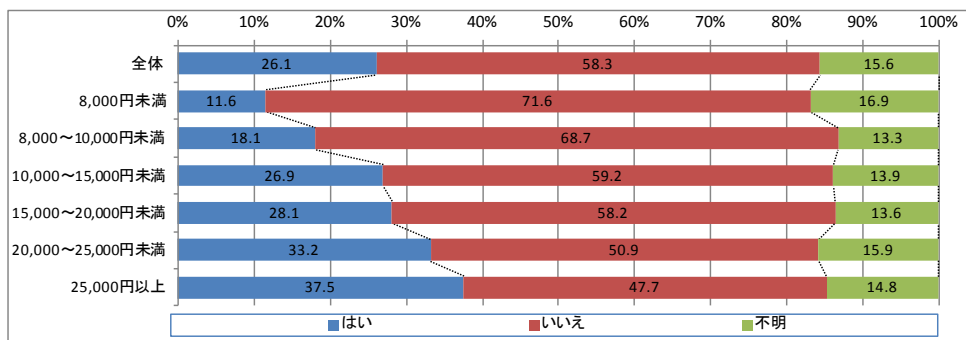


図 3.6.7 2×4 工法の住宅の施工（H27 年度）

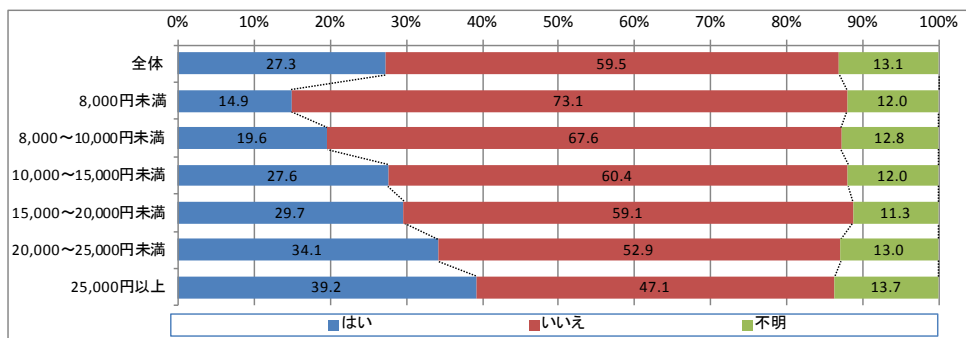


図 3.6.7# 2×4 工法の住宅の施工（H26 年度）

(3) 仕事に対する満足度や今後の意向について

①現在の仕事の内容について満足していますか。

「とても満足している」、「まあ満足している」を合計した「満足している」と回答した割合が最も高い賃金帯は「25,000円以上」で71.6%。

「あまり満足していない」、「満足していない」を合計した「満足していない」と回答した割合が最も高い賃金帯は「15,000～20,000円未満」で30.2%。

	合計	(15)現在の仕事の内容について満足度					
		とても満足している	まあ満足している	あまり満足していない	満足していない	不明	
全体	4169	10.3	50.7	23.2	5.4	10.3	
賃金	8,000円未満	225	17.8	46.7	20.0	5.8	9.8
	8,000～10,000円未満	332	13.9	49.7	23.8	4.8	7.8
	10,000～15,000円未満	1554	7.9	53.7	23.9	6.2	8.3
	15,000～20,000円未満	1429	9.3	51.3	24.5	5.7	9.2
	20,000～25,000円未満	328	11.6	52.4	23.5	3.7	8.8
	25,000円以上	88	26.1	45.5	15.9	3.4	9.1

表 3.6.8 仕事の内容についての満足度（H27年度）（割合%）

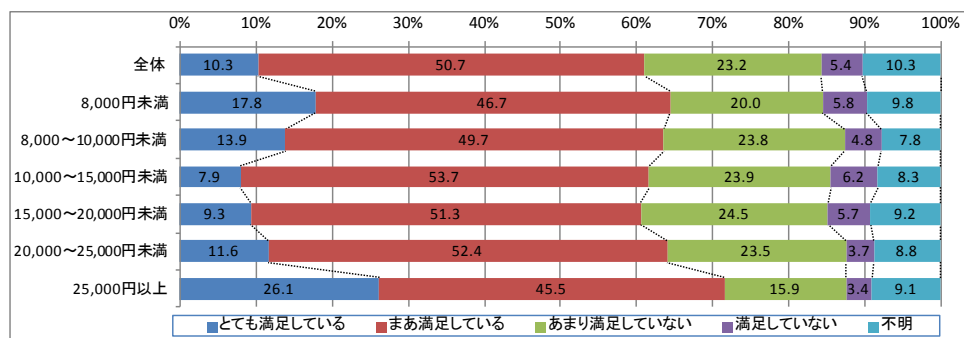


図 3.6.8 仕事の内容についての満足度（H27年度）

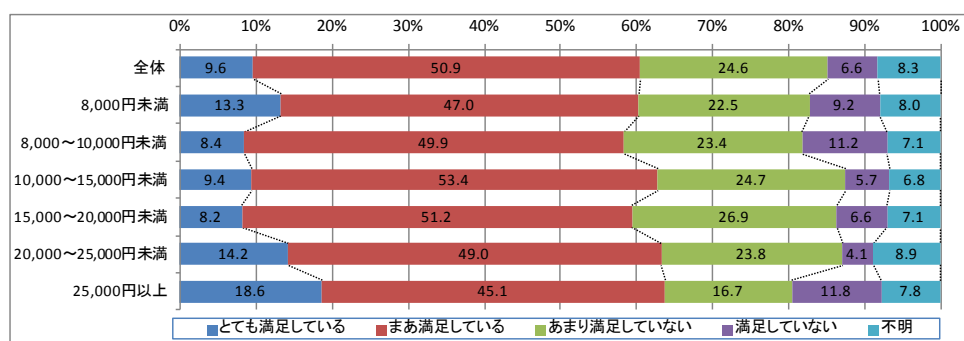


図 3.6.8# 仕事の内容についての満足度（H26年度）

②現在の仕事で得られる収入等について満足していますか。

「とても満足している」、「まあ満足している」を合計した「満足している」と回答した割合が最も高い賃金帯は「25,000円以上」で71.6%。

「あまり満足していない」、「満足していない」を合計した「満足していない」と回答した割合が最も高い賃金帯は「15,000～20,000円未満」で30.2%。

		合計	(16)現在の仕事で得られる収入等について満足度				
			とても満足している	まあ満足している	あまり満足していない	満足していない	不明
賃金	全体	4169	3.5	33.2	37.0	16.0	10.4
	8,000円未満	225	4.4	28.4	27.6	29.3	10.2
	8,000～10,000円未満	332	4.5	33.4	32.5	22.0	7.5
	10,000～15,000円未満	1554	2.5	32.5	40.3	16.2	8.6
	15,000～20,000円未満	1429	2.8	33.6	39.2	15.4	9.0
	20,000～25,000円未満	328	4.3	40.2	34.8	11.6	9.1
	25,000円以上	88	14.8	45.5	23.9	6.8	9.1

表 3.6.9 収入等についての満足度（H27年度）（割合%）

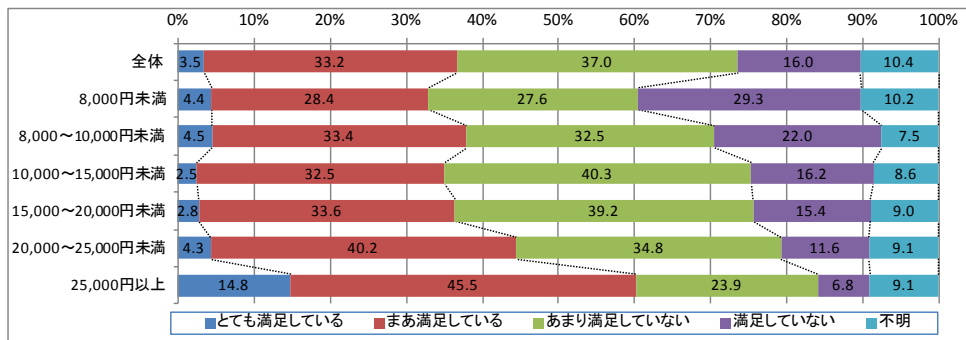


図 3.6.9 収入等についての満足度（H27年度）

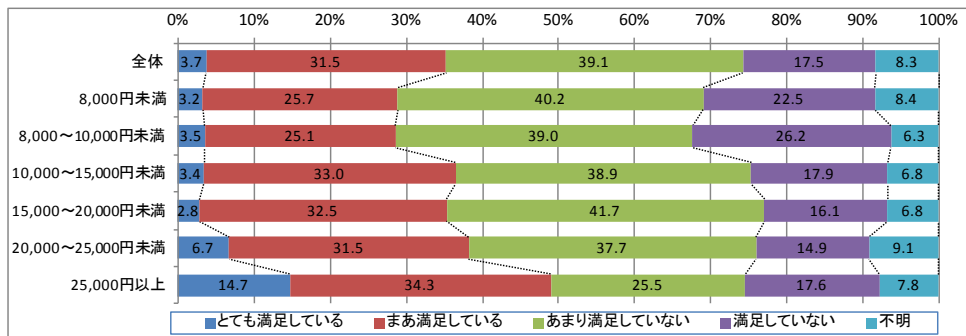


図 3.6.9# 収入等についての満足度（H26年度）

資料編

目次

■ アンケート調査 自由記述回答

- | | |
|-----------------------------------|---------|
| 1. 職種 【その他】の自由記述回答 | 資料編-1- |
| 2. 健康保険 【その他】の自由記述回答 | 資料編-9- |
| 3. なぜ育てる予定はないのですか（理由）【その他】の自由記述回答 | 資料編-10- |
| 4. 担い手育成についての意見（自由記述） | 資料編-12- |

■資料編 アンケート調査 自由記述回答

1. 職種【その他】の自由記述回答

4. その他

現場管理	565
設計	320
施工管理	241
現場監督	128
営業	117
管理	70
現場監理	52
設計事務所	33
工務店	32
建築設計	31
電工	28
建築士	28
販売店	21
監督	21
現場代理人	20
設計士	17
建設会社	14
設計監理	13
監理	13
事務	12
会社役員	12
会社員	11
工務	11
建材店	11
塗装	10
工務店経営	10
設計、現場管理	10
流通	9
現場管理者	9
管理者	8
現場管理、設計	8
建材販売	8
建設業	8
電気	7
設計、管理	7
電気工事	7
設計・現場管理	7
設計、施工管理	7
学生	7
管理職	7
施工管理者	6
設計、監理	6
塗装業	6
左官	6
代表者	6
建築資材販売	6
工事管理	6
経営者	6
建築営業	6
住宅営業	5
行政	5
販売	5
塗装工	5
設備工事	5
設計、現場監理	5
設計・監理	5
設計・管理	5
現場施工管理	5
現場管理・大工見習	5
メーカー	5

■資料編 アンケート調査 自由記述回答

1. 職種【その他】の自由記述回答

4. その他

公務員	5
建築会社	5
工事監理	5
設計管理	4
施工監理	4
住宅資材販売	4
設備	4
工務店社長	4
設計、施工	4
配管工	4
設備施工管理	4
住宅設計	4
現場監理者	4
現場管理、営業	4
建材販売店	4
住宅会社	3
内装業	3
資材販売	3
大工ではない	3
代表	3
設計、営業	3
板金	3
工務店事務	3
防水工	3
電気工事業	3
役員	3
見習い	3
プレカット	3
屋根	3
屋根工事業	3
建築板金	3
管工事	3
現場員	3
経営	3
一般建築	3
管理業務	3
サッシ工	3
建築施工管理	3
建築業	3
代表取締役	2
総合建設	2
木材業	2
電気工	2
設計、工事管理	2
設計者	2
不動産業	2
設計・施工管理	2
総合	2
電気工事士	2
木材販売	2
電気設備	2
販売業	2
設計営業	2
不動産	2
設備工	2
資材販売営業	2
施工監理者	2
設計・工務	2
工務店社員	2
設計業	2

■資料編 アンケート調査 自由記述回答

1. 職種【その他】の自由記述回答

4. その他

設計現場管理	2
設計積算	2
インテリアコーディネーター	2
建築設計士	2
建築リニューアル	2
建築管理	2
コーディネーター	2
現場管理・営業	2
リフォーム	2
現場管理・経理・事務・積算	2
管理現場	2
一級建築士	2
建材メーカー	2
技術開発	2
元請	2
建築施工	2
営業、管理	2
建具	2
外装	2
屋根工事	2
該当なし	2
建築請負	2
とび職	2
アルバイト	2
意匠設計	2
建築現場監督	2
技術営業	2
建築工	2
訓練生	2
瓦工	2
建材営業	2
工事全般	2
建材屋	2
断熱材の販売、施工	1
品質管理	1
講師	1
職業訓練指導員(設備系)	1
置工	1
職工ではないので以下未答	1
電気、空調	1
審査、検査	1
納材業者	1
新人	1
木材&建材販売	1
申請、設計	1
手元	1
薪ストーブ設計、施工	1
地方公務員	1
水道屋	1
住宅会社、住宅資材販売	1
水道工事	1
内装営繕	1
水道設備	1
住宅設備	1
性能評価機関	1
別荘設計、施工会社経営	1
製材	1
木材製品販売	1
製材・木材加工	1
大工	1

■資料編 アンケート調査 自由記述回答

1. 職種【その他】の自由記述回答

4. その他

製材業	1
断熱、電設、大工	1
製材工、大工手伝い	1
暖炉・薪ストーブ施工業	1
製造業	1
店舗設計、不動産	1
製造業社員(シャッター、ドア)	1
工務店代表者	1
請負業	1
住宅施工管理	1
請負業務経営施工管理営業	1
土木、大工	1
石材販売	1
内装工	1
積算	1
配管設備	1
工務店の事務及び現場管理	1
住宅設備器具販売	1
設計 営業	1
不動産管理	1
設計 現場管理 営業	1
商社	1
設計(建築)	1
木材営業	1
左官タイルブロック	1
木材販売業	1
材木店	1
流通店	1
設計、監理、管理施工	1
大工、管理、設計	1
材料販売	1
大伝手伝い	1
設計、現場監督兼	1
断熱工事	1
作業員	1
断熱施工工	1
施工、現場管理、設計	1
地盤改良	1
設計、現場管理、営業	1
調査、設計	1
設計、工事	1
電機メーカー	1
設計、工事、監理	1
住宅メーカー営業	1
設計、工事監理	1
電気施工管理	1
施工、設計	1
住宅建設会社	1
設計、指導、現場管理	1
塗装・防水工事	1
施工、設計監理	1
土工	1
設計、施工監理	1
土木施工管理	1
施工・現場監理	1
住宅資材流通業	1
設計～施工まで	1
内装施工管理	1
設計・IC	1
住宅申請サポート	1

■資料編 アンケート調査 自由記述回答

1. 職種【その他】の自由記述回答

4. その他

設計・営業	1
板金工	1
施工会社営業	1
販売および工務店	1
設計・監理・営業	1
販売店営業職	1
工務店・設計	1
不動産コンサルタント	1
設計・現場監督	1
不動産業元請	1
設計・現場監理	1
防水	1
工務店社員、全般	1
防水工事	1
設計・工事管理	1
木材、新建材等販売	1
工務店現場管理	1
木材加工	1
設計・施工	1
省エネルギー計算	1
施工管理、設計積算	1
役員現場管理	1
設計プラン	1
流通卸販売	1
設計へ	1
代表設計	1
施工管理・監理	1
大工(工務店経営者)の親族	1
施工管理・設計監理	1
大工じゃない	1
設計監理、現場監理	1
大工出身→管理	1
施工管理及び施工	1
断熱(セルローズ)施工	1
設計及び監理	1
断熱メーカー	1
工務店主	1
断熱工事営業	1
設計業務	1
断熱施工業者	1
設計現場監理	1
断熱施工代理店	1
施工業者	1
地場ゼネコン住宅部	1
施工大工	1
地盤補強	1
設計士・現場監督	1
町場工務店	1
設計施工監理	1
鉄筋工	1
設計施工管理	1
伝統木造建築大工	1
設計事務	1
住宅メーカー	1
施行監督	1
電気空調工事	1
設計事務所員	1
住宅メーカー設計、工務見習い	1
設計事務所開設者	1
工務店施工管理	1

■資料編 アンケート調査 自由記述回答

1. 職種【その他】の自由記述回答

4. その他

工務店責任者	1
電気資材卸	1
設計職	1
電気設備工	1
設計申請補助	1
電設	1
工務店設計・監理	1
塗装、リフォーム業	1
工務店・現場管理	1
塗装はリフォーム工事	1
設計補助	1
住宅資材販売業	1
設設、施工管理	1
土木	1
工務店代表	1
土木業	1
設備業	1
内外装工事施工管理	1
事務、大工手伝い	1
内装管理	1
事務兼現場補助	1
内装業(リフォーム等)	1
設備-工事、電気	1
内装仕上クロス	1
設備施工	1
内大工、外装屋	1
事務職	1
配管	1
設備設計	1
配管工、リフォーム管理	1
設備代理人	1
鋼製建具	1
設備配管	1
板金職	1
設備配管工	1
販売、営業	1
専門業者	1
販売サッシ	1
専門職	1
住宅設備資材販売系	1
専用従事者(事務)	1
美装	1
全般建築	1
住宅販売	1
自営	1
不動産営業	1
総合業	1
住宅木材販売	1
室内装飾業	1
不動産建設業者	1
総合建設業	1
防除士	1
総合建設業現場監理	1
防水業	1
総合建設業代表取締役、工事監理	1
防水工、塗装工	1
総合建築業勤務	1
民間指定確認機関	1
総合施工	1
木材、建材等	1

■資料編 アンケート調査 自由記述回答

1. 職種【その他】の自由記述回答

4. その他

総務	1
木材・建材販売店	1
総務、経理職	1
木材屋	1
多能工	1
商品開発	1
太陽光施工	1
木材店	1
太陽光設置会社	1
木材販売(工務店)	1
打ち合せ 大工の手伝いをたまにする	1
上下水道工事	1
代人	1
役場	1
社員	1
流通(木材、建材)	1
社員大工雇用主	1
流通業者	1
代表者(工務店)	1
職業訓練指導員	1
社長	1
設計担当	1
NPO法人	1
現場管理業務	1
営業、施工	1
下見、打ち合せ、見積、仕上、集金まで	1
リフォーム大工	1
サッシ、建具	1
営業、監理	1
会社員(建設会社)	1
営業・修理(家具)	1
会社管理者	1
工事、管理	1
会社経営	1
建築工事業	1
会社代表	1
建築資材会社員	1
会社代表者	1
建築全般	1
アルミサッシ、ガラス	1
現場監督員	1
会社役員 現場管理	1
営業兼現場管理	1
サッシ施工	1
屋根・建築	1
外装工事、塗装、防水	1
工事主任	1
外壁業	1
建築元請け業	1
外壁工	1
建築士(設計)	1
サッシ販売	1
建築施工管理者	1
確認機関	1
建築審査	1
サッシ販売・卸	1
コンサルティング	1
サッシ販売店営業	1
研究	1
瓦工事業	1

■資料編 アンケート調査 自由記述回答

1. 職種【その他】の自由記述回答

4. その他

現場監視	1
ゼネコン	1
現場監理・営業	1
監督、設計	1
現場管理、積算	1
監督見習い	1
現場管理・設計	1
ゼネコン、管理者	1
現場管理等	1
監理・管理	1
現地管理	1
監理職	1
工事管理、設計、営業	1
ゼネコン現場管理	1
建築関連事務	1
管材卸	1
建築業代表取締役	1
その他	1
建築現場管理	1
管理、運搬	1
建築材料販売営業	1
管理、工務	1
建築士、施工管理技士	1
管理、設計	1
建築施工監督	1
タイル工	1
建築資材の販売	1
管理兼雑用	1
建築資材販売・営業	1
タイル施工	1
営業(流通業)	1
とび	1
建築設計・現場管理	1
アルミ建材施工販売	1
建築設計事務所	1
企画、現場管理	1
建築物検査	1

■資料編 アンケート調査 自由記述回答

2. 健康保険【その他】の自由記述回答

4. その他の健康保険

社会保険	300
協会健保	13
協会けんぽ	12
社会	11
全国健康保険協会	6
建築国保	3
中建国保	2
全国健康保険	2
全国保険協会	2
会社の	1
民間	1
全国健康保	1
警生協	1
埼玉土建	1
健康保険協会	1
確定拠出年金	1
健保	1
簡易保険	1
建設業健保	1
共済保険	1
建設国保	1
三建国保	1
建退共	1
社会健康保険	1
建築健保	1
前職の特例退職被保険者75才まで	1

■資料編 アンケート調査 自由記述回答

3. なぜ育てる予定はないのですか(理由)【その他】の自由記述回答

11. その他

自分が見習いのため	5
仕事が少ない	4
大工ではないため	2
大工でないため	2
公務員のため	1
子供が建築をしているので	1
育てるような現場ない、仕事ない	1
余裕がないため	1
仕事がない	1
予算が少ない	1
会社都合	1
本人の意志が弱く続かない	1
いない	1
本職でない	1
仕事の確保	1
忙しくて育てる時間がない	1
考えていない	1
忙しいので	1
見習いのため	1
必要がない	1
会社の方針	1
特になし	1
力量が無い	1
途中で辞める	1
私には必要ないから	1
知識不足な為	1
仕事量が少ない	1
大変な職種だから	1
仕事が十分無い	1
大工職でないの	1
根性なしが多い	1
理由なし	1
工務店なので	1
大工ではない	1
現在見習いのため	1
見込みがないため	1
余裕なし	1
経営者でない	1
教えるほどのそこまで技術があると思っていない	1
大工でない	1
会社員のため	1
大工じゃないから	1
会社からの委託のため	1
足りているため	1
ゆとり教育が×	1
先で廃業予定	1
なんとなく	1
設計担当のため	1
資格がない	1
責任回避	1
私ではなく会社の判断	1
製造業のため	1
仕組みがない	1
性格的に	1
仕事量、消費税	1
世の中の変りが激しいのでその中で食っていけるかの問題	1
立場ではない	1
仕事が少ないため	1
親方でない為	1
仕事が安定していない	1

■資料編 アンケート調査 自由記述回答

3. なぜ育てる予定はないのですか(理由)【その他】の自由記述回答

11. その他

職種外	1
仕事がコンスタントにない	1
従業員だから	1
今まで育ててきた	1
手間うけばかりではむり	1
工務店勤務のため	1
若い人は技師としての意識がない	1
工法が多い	1
若い人がいない	1
雇い止めのため	1

■資料編 アンケート調査 自由記述回答

4. 担い手育成についての意見（自由記述）

(23) 担い手育成についてご意見等がございましたらご自由にご記入下さい...(FA)

SEQ	ご意見
1160	¥2000×12ヵ月(月1本の講習会!)+資格試験料+そのための受講費用など
482	「修行する」心構えのある若者の不在
7559	「見て覚えろ!」という時代ではなくなった気がします
3975	・きちんとした成果が最初には出ないため、すぐ辞める ・一人前までの課程が長い
739	・厚生年金が受けれて、魅力ある事が考えられる社員にしたい ・全体的に跡取りが少ない せめて自分の息子だけでも考えられないものか 大工本人が魅力を感じていないのではないのか? 社会が悪いのか?
3918	・大工さん育成のための教育、講習などを充実させてほしい
1058	・低賃金の改善、継続的な受注 ・職人の「見て覚える」という悪しき慣習
2247	・特に大工は、見習い期間が長い為、給与面から続かず辞めてしまう ・育成する側も担い手を抱える事で負担となり、賃金の低下の背景から、自分の日当が確保できない ・基準の改正で、手間がかかるのにもかかわらず、賃金は低下傾向にある
4122	・費用のかかりすぎのため育成は難しい
4115	・ものづくりの大切さをアピール ・職人の待遇の改善、経済的な向上 ・社会的な身分の保障
2012	・若い人が出てこないと自分が先に進めない。育てないとは思いますが。 ・労働と賃金のバランス?全体の安さなのか?給料が上がらないから担い手が育たない。のか?
7214	※道具をそなえるまで補助金必要
8346	10～20代の若手がいないと今後の建設業界不安です
6964	10代、20代の若い世代で大工になろうとする人間を作らないと、数年後、建築業界は大変な事になる。
8222	10年後には、大工人口が60歳以下20万人台になってしまうので早く対応してほしい
4489	10年後には職人が激減する。行政は担い手育成に力を入れるべきである。
1628	1軒当たりの工期が短いため育成の時間がとれない
6090	1人で良いところ、2人で作業するので単純に手間が半分になる。時間かけて良い現場が少ない。
3310	2、3年以降ハウスメーカー以外担い手が育たないのでは
8117	20代の方がいない
6532	20代の若い担い手を、今すぐにも教育していきたいですが人材がいない事に残念です。
194	2年ぐらいしたら、やめて行く
1356	3Kのイメージのふっしょくとイメージアップ プレカットが技術の衰退を起こしているので、訓練校が欲しい
7859	3Kのイメージを払しょくするためにもマニュアル化、福利厚生他を国主導、指導して、レベルアップすべきと思います。
5965	3Kの職場に付き、人は(若い)集まらない様です。
7798	5人育てました。
6432	6年ぐらい前は(17才)いましたが朝が苦手なようで休みがちでした。7ヶ月で辞めました。
7659	S40年代より大工職の日当は15,000円前後、昔より機械、工具類にも費用がかさみ、担い手の育成に回らないのが現状ではなからうか。福利厚生もしかり、職場の環境条件が良い所でなければ、今日の若者は働かない人が多い。賃金の底上げも必要なのではなからうか?
3809	あくまでも、希望者 本人の気持ちが大切
5579	預かる親方次第で若手がやめていっている気がする。大工にそのまま弟子入りしても、今の世代はすぐにやめてしまう。会社が社員として雇い、下請の大工さんに教えてもらうという形を取らないと厳しいと思う(会社で守ってあげる)
5824	ありがとうございました。非常に参考になりました。
745	安定した仕事確保の見通しが不可欠
2916	安定した賃金が確保されれば、職に就く若者も増えると思うのですが
2846	家を造る施主への補助金ばかり
4312	育成したくても経済的理由によりできないというのが大多数の業者の本音だと思います。後は若い人の建築離れが加速しているように感じる。
1299	育成しやすい制度、補助等が必要 現場も
2689	育成する側の適正化、面接、一般公開が必要と思う
5392	育成する側も、担い手も、お互いの気持ちを理解し、共に成長できるような意識が必要だと感じます。
4238	育成する指導者がいない
1492	育成するだけのお金が出てない
6830	育成の公的補助があると志のある大工を育てる事が出来ると思います。これから先を考えれば急至です。
2462	育成のシステムを公的に構築してほしい
1021	育成のために仕事の進みが悪い その分育ってくれば良いが、辞めてしまうために結果的に損をしている新人育成のための補助があればいい
3021	育成のための助成が必要等、条件等も考えなければならない。
7431	育成の年齢による
99	育成の予定なしの為特になし
1684	育成は金もかかるが何より目をかけてあげなくてはならない 時々そのあたりが分からなくなる! 育成する側の教育の機会が欲しい

■資料編 アンケート調査 自由記述回答

4. 担い手育成についての意見（自由記述）

(23) 担い手育成についてご意見等がございましたらご自由にご記入下さい。...(FA)

SEQ	ご意見
2390	以前大工塾の生徒もいましたが、まだ学生という考え方であり、仕事を身につけようとする 思いが足りない と私は思いました 朝も、遅刻が多く、私の車に乗ると、行きも、帰りも寝てばかりでした
3457	以前は弟子がいたけど、今はいない なる人がいれば育てたい
3969	一人前が生活していかなる収入のため
2003	一人前になるまでの賃金が安いので、なかなか担い手が少ない。
5487	いない。むずかしい。
1215	今から10年20年先も食える人物の育成
5379	今の現では私では無理と思う。
1468	今の子供たちに厳しく接しられない! だから長続きしない
1990	今の子は自分らのところとちがい、1日いくらと金額のことばかりで仕事をおぼえるより先にお金のことばかり 言う。
5180	今の大工の技術は簡単なため、教える事などほとんどないと思う。墨付けや和風建築が少ない為。今後、 大工という職業はなくなると思う。
1351	今のままでは10~20年後には墨付けできる大工さんは、ほとんどいなくなる(福岡)と思います 60~70代の 大工さんがいる今、対策しないとイケないのではないかと?
7918	今の若者は使えないものになりません
7908	今の若者はわがまま!!
4606	今はプレカットが当たり前の時です ですので弟子は育てない。
5632	今までと違い(昔と)学校の教育の仕方が違うため、考え方が違うようで、自分が教わったやり方ではダメだ と思った。続かない(相手が)
6664	今までの日本の家づくりは間違っているというのを早く自覚して特に断熱気密に対してもっと勉強すべき。日 本の家は世界に比べて遅れている!!
8347	色々な意味で、余裕が必要
5520	いろいろな職種の職業訓練をしてほしい。
7188	受入側の現在の工期、価格優先の建物ではなく、刻み、加工のある仕事の確保が必要
2337	営業なので売れる人材が欲しい
1234	大手住宅メーカーの個人住宅参入禁止
7261	大手ゼネコンや、ハウスメーカーが利益を取り過ぎていると思うので、私共が人材を育てる事が可能なほど 利益が出しにくい。伝統的な建築の施工技術の伝承が切れていくのではと思います。対策を考えていかな ければならないと思います。
677	オートメーション化した時代に職人が必要とされなくなった 作業員で充分になってしまった
416	教える時間と余裕がない。
2800	教えると自分の手が止まる
1904	外国人に頼らないこと。公共事業物で組合等が決めた額は元請け、下請け者に替えないこと
4193	外国人労働者の数が増えてもいいように思う 現場管理者や設計の仕事に携わる外国人が少ないの は不思議に思う
755	外国人を受け入れる
5333	会社の考えによる
6707	各種研修
5513	学生のうちからのインターンシップとかで、早い段階からの発掘が必要かと。それ以上に受入体制が大事。
3015	過去に数名の弟子を育成 一人前で働いているが、育成に要する費用仕事の確保と諸々のことを考えると、 大変難しいのでは?国家プロジェクトでも立ち上げないと……
7850	学校教育から現代ではなく少し前のように戻さないと若い人材は建築では一人前になることは1,000人に1人 くらい難しいと思う。
7734	必ず10年以内に独立する気の人
6184	必ず必要
7466	金→モチベーション
6983	考えた事もない
4973	機会があれば育成に力を…とってます。
3927	企業後継者の補金制度があったら大変良いと思う
1152	既従事者の労働環境が魅力的であることが不可欠 「憧れの職業は」の子供のアンケートの上位に「大工」 「看護師」とあるにもかかわらずどちらも人材不足?
4123	気長にやります
2025	技能に応じてランク付けしてあげれば向上心が。
7947	希望者が少ない
2679	基本的に人件費をもっと上げるべきである(建設費が根源) そのきっかけが、「省エネ」だと思う
1508	基本的に昔からの大工の技術が軽視されてると思う そのため賃金が上がらず若い子は大工になろうとし ない 建築基準法を含め国ごともっと本来の大工としての仕事ができるように見直してほしい

■資料編 アンケート調査 自由記述回答

4. 担い手育成についての意見（自由記述）

(23) 担い手育成についてご意見等がございましたらご自由にご記入下さい。...(FA)

SEQ	ご意見
6421	義務教育課程で、建築大工や技術者として作業する事の重要性や満足感が得られるような教育体制を整えて下さい。
7236	義務教育の段階でモノづくりの重要さ、楽しさを教え込んでほしい。加工、墨付のできる大工の日当を上げられるような国策は出来ないか？木造の工務店が団結してハウスメーカーを駆逐して価値が上げていければと思う。大工職人の生活の保障。
4790	休業日数が他の職業より圧倒的に少ない。、つまり就業する人がいない。
1156	求人広告に出しても全く反響が無い
6199	求人環境が悪い。職人と言えば聞こえは良いが、刃物を扱う職場なので、程度の低い人が多く、その者に求めるのも中々難しいのもっと簡素にしてほしい
7688	給与が良いなどの魅力がない限り人も集まらないし、育てられない。個人事業者の利幅が上がれば自然と担い手が増えます。
1799	給料分の仕事に見合う能力までいっていな若者の賃金を補助してくれるのは助かります。
6031	給料を上げて欲しい
7411	給料をあまり多くやりすぎるとやる気を起こさないで覚えないので最低賃金で良い
7135	教育にかかる費用と労働環境とのギャップがある。教える費用は？
6380	業界のイメージ向上が必要(3K職場のイメージ脱却)
4921	行政でも、中小企業への仕事を増やす工夫、努力してほしい。大企業ばかりに仕事がいってしまう。
6874	行政として、何かする必要はあまりないと思います。
3395	興味を持ってもらうように、イベントなどを開いて、少しでも興味を持ってもらう
8336	金額がある程度高くないとやめてしまうとします
4307	近年の職人の賃金を考えると若い人材を育てる余裕がある人は少ないと思いますし、業界全体の仕事量に対して職人が多いので無理に増やす必要が感じられないです。正直自分の子供にはやらせたくないです
4730	国で最低賃金を定めている為
141	国の助成など期待したい
5684	組合(左官、ガラス、タイル等)が元氣なく若い人を教えられない。
6904	訓練場(昔の職業訓練場)
2517	現行法であれば見習い期間が短くて済む
4116	現在(代)は和室等が減っているため、人材を育てるには教える場がないと思う
7557	現在、大工さんの仕事をしていませんので無回答とします。大工さんの仕事は範囲が広いことが分かりました。建主も知識が必要だと思いました。
721	現在機械化が進み道具さえあればかなりこなせるようになる為
2285	現在の請負単価では無理 坪単価の見直しが必要
2331	現在の大工に対する対応が悪い為生活する上で生活費が大変である 道具、保険、仕事の無い時の休日など
1201	現実は大変に厳しいと思います
4920	建設業界では人材が減ってきているのが現状なので、世の中に“建設・建築”の良さや楽しさをアピールできれば良いと思う。
6218	建設業が働きやすく、休み・保険・老後に安心な職業になると担い手育成をしていきたい。
529	建設業が魅力ある職種となるよう、宣伝や給与が充実するようにしていきたい。
6952	建設業の資格が18歳以上のものが多く、中卒で働く子もいるので16からでもとれる資格を増やしてほしい。
5427	建設業の平均年齢が高すぎる
1096	建築(建設)魅力が無い
2523	建築業界に入ってくる若者が非常に少ない 職人の養成について、助成金や訓練校の充実を図るべきでは...
5456	建築業界のダンピングがなくなるよう、発注者側の意識が必要と思われる。また、社会的地位向上のため、賃金のみならず、良い仕事と思えるような社会にしたい。
6043	建築業全体において賃金を上げ、将来夢のある業種にしていきたい
725	建築業としてはすでに建築した建物に関して末永く見守り、維持管理を行ってほしいという姿勢は各々が保つべきだと考えます それを実質的に施せるように所属団体での活用も踏まえながら、取り組んでみたいと思います
4013	建築業の資格に対する給料保障が確立しないと若手が育成できないと考えます
1083	建築業は赤
5523	建築工事の公共単価が実際にはとても安いのが現状であるし、労働力の確保はとてもむずかしいと思います。
5633	建築単価が安いとやっつけ仕事になりがちで、技術は衰退し、なり手も減少します。今は客と元請が強すぎます！
5447	建築の面白さと、収益性の確保を見据えた観点で分析。これを提案していく事が必要である。
1812	建築の若手を積極的に育成する土壌を整備する(専門性と高度な技術・教養)
8264	限度(度合)が分からなくなる時もある

■資料編 アンケート調査 自由記述回答

4. 担い手育成についての意見（自由記述）

(23) 担い手育成についてご意見等がございましたらご自由にご記入下さい...(FA)

SEQ	ご意見
2706	現場が半人前を嫌う 一人前の職人しか必要としていないし、お金も出してくれない
1417	現場環境の改善
5011	現場監理者から職人へ転向させることが一番確実
7721	工期短縮、賃金削減等で、時間と費用の余裕がない。
3427	工期短縮、物件とは別に担い手育成プログラム 施工による＝工期延長型(値引き等＝優遇措置)
7421	工期と単価がないため無理だと思います。
7118	公共工事の単価が反映されている→安すぎる。土曜日出勤が当たり前と思われている。このような単価では人材育成は難しい。2020年以降が不安。→これらの理由から、自身の身内にもこの仕事を勧めたいと思わない。→人材不足。公務員さんが自身のご子息にもこの仕事を勧めたいと思うような環境にできれば、人材不足もなくなると思います。
1101	後継者を育てる工夫を考えたいと思います
6863	高校、専門学校、訓練校等がどこにあり、どの様な事を習ってるのか、また、どう募集すれば良いのか情報があれば
5258	工事期間の問題がある
1322	工事の単価が安いので、担い手の育成が厳しい 公的補助があるといい しかし今の若い人たちにも問題が、土、日休みで育ってるから、仕事をしつがらない
8272	高卒でも男女雇用均等で入社して頑張っています。周りが温かく見守っていくことが重要です。
1420	公的補助に甘えるわけではないが現実一人で仕事を任せるまではかなりの時間を要するためそれまでの負担を大工、親方が支出するとなると担い手を育成しやすい環境ではなくなっていると思います
2740	公的補助を詳しく知りたいです
2409	工務店、大工ではないのでアンケートは参考にならないかも
5702	工務店がすくなくなったことで、なる人がいない。
7087	工務店の為、あまり該当することがありません。
7742	高齢化社会となり、家をリフォームするとしても在来工法の建物のためそれに対応したリフォームや新築をできる若者は非常に少ない。新技術の最近の建築物も良いが、昔からの日本の在来工法を大切に、それをリフォーム等できる技術を身につける場や講習をもっと開いてほしい。
6726	国産材で家を建てる気持ちを国民全体が持つ事
7341	個人事業主には育成は経済的に負担が大きくて、不可能に近いので公的制度が必要と考えています。
5059	コストダウンで受け金があれば担い手を育成する事が出来ない。工事期間が短くなってきているので教える側も教わる側も難しくなっている。
7650	国家資格取得のための補助が欲しい
7149	この頃金額が安いので、担い手にはあんまり払えないのが現実です。
7293	この先の建築業界は人手不足になりますし、高齢化してます。そんな時大工以外でも一人でも多くの職人を育てられればと思います。こんなステキな仕事は無いとも思っております。
5954	雇用リスクが高いのでなかなか踏み込めない！！
2326	これからの大工には技術以外にも多くの資格が必要 そのための講習等を積極的に行ってもらいたい For example 建築士講習、CAD、独立する若い人たちの為の青色申告講習、etc こんなことも役立つようなものの講習 スキルアップし、大工、職人としての社会的地位の向上のために！ 未来があれば若い人が集まってくるのでは
7910	これをしないと建設業界は確実に人手不足になる
2243	今後、職業訓練校への入校をすすめた方がいいと思う 今、出来ない事など大工として大事な技術を身に付けた方がいいと思う
7045	今後、大工は成り手がいなくなるので、今から考えないと家を建てきれぬ大工はいなくなると思う。
5158	今後担い手育成協力していきたい
161	今後の建設業界には必要不可欠です
7223	根性があり、頑固なヤツ！
5835	最近の若い子はあつかいづらい。すぐ休む。根性がない。素直でない。言った事をしない。
1151	最近はずぐにやめる者が多すぎて、教える気にならない
3651	在来工法(木造軸組工法)での新築の仕事がほとんどないため、育成ができない
7571	左官もお願いいたします
3226	ジェネコン営業コンによる営業による受注が多数を占めているが、信用のある建築屋の看板を私がつくれたら営業なしで●●●は受注でもきるか後継に同じようなことをかしてできるかどうかの私のみきわめの次第
3487	仕事が安定して確保できないと、担い手育成は大変だと思う
6705	仕事が安定してない
7375	仕事がないと
4704	仕事内容が現在では、かなり変わって来ているので、大工(職人)と呼べる様な人材が育ちにくく、本職の仕事が少なくない様に見える。今は組立？か、取付工？みたいになって来ている。(やりがいが無い)
2280	仕事内容が良くない 技術を必要とする仕事ない(和室)和風な家) 安価な建物
3505	仕事内容を知ってもらうことが大切だと思います

■資料編 アンケート調査 自由記述回答

4. 担い手育成についての意見（自由記述）

(23) 担い手育成についてご意見等がございましたらご自由にご記入下さい。...(FA)

SEQ	ご意見
148	仕事に見合った賃金がもらえるように、業界全体の体質改善が必要 技術を身につけたら、賃金も上がるような制度があれば良い 若い人をひきつける魅力になるのでは？
2321	仕事の確保
1289	仕事の将来の確保の保障ができない
3734	仕事の数量の安定が必要
5153	仕事量が平均して安定的にある事が望ましい。波がある。忙しい時→育成する暇はない
3973	静岡の日本建築専門学校、京都、大阪建築専門学校のような学校が中四国辺りにあればいい!
8234	実際に現場で雇用されている状況をよく理解していただきたいです。役人的考えで担い手育成をしても、実際とは大きくかけ離れています。手間請け主流の現社会では夢物語と思います。
5376	実際は大工が施工するため、今回の改正でより断熱施工が難しくなりました。よって分業化できないのかと思いました。職人のイメージアップが必要。
6991	実質木造大工は覚えるのに年数がかかるので、基本賃金のアップが望ましいと思います。
6911	師弟制度とまではいかないが、社員(一緒に働く人材)が欲しい
5285	自分が育成されている側なので書けませんでした。すみません。
5879	自分が弟子の時と違い、時間がかかる。
3357	資本に余裕のある企業が行うべきであると思う 街の大工はこの先厳しい
3732	社員大工として、保険、保証面での充実が必要となります
3835	社会保健の負担の軽減 労基法の特例の整備なくして金銭改善はないと思う
3569	社会学などのセミナーを時々開いていただければ助かります
8217	住宅がプレハブ形式になってきて、自分たちが修業した技術が生かせない。伝統的な技術が発揮できない。また、単価的な面で和室など複雑な技術を要する仕事が少ない。
1387	住宅メーカーに注文が多く、一般工務店は若い子を育てるゆとりがなくなりました 残念です
6021	収入が低くて入ってくる人が少ない
1761	小学生・中学生・高校生にアピールするべきだ。
7276	条件が悪い為、若者がなかなか育ちません。残念です。良い方法はないのでしょうか？
1482	少子化になる中でなり手が少ないと思われる ハウスメーカーが多くなりつつある
4879	少子高齢化のため、担い手になる若者がいない。そのためか最近では外国人が目につくようになった。
1755	将来の保障ができないため。労働条件等の諸費用が捻出できない。新築が少ない。
6766	将来の保障がない。今の下請は若い人がならない。
7419	将来の保障の見通しを立ててもらいたい。昔のように、手間がかかってもいい家をやりたい。
2489	将来への不安
7420	職業訓練校からの若い人を募集したい。説明会やスカウトするチャンスがあればご指導いただきたい。
2826	職人が少ない 休日も少なく、なかなか若い人がやりたがらない もっと建設会社、新入社員に対し、補助金を出して国は対応するべき
599	職人になりたいと思う世の中になってもらいたい
6335	職人の意志、扱いなどの教育が必要(職人とは?)
3971	職人のおかれている環境が悪すぎる 一人親方の場合
7681	職人の高齢化で、職人自身の技術もどんどん落ちていきます。知識や技術を伝えられる人がどれほど残っているのでしょうか
4454	職人の地位向上と大工組合の結束
4846	職人の地位向上を社会的に求めたらどうか?マイスター制度など、大工が手間うけの為に人気なくなっ
7451	職人の賃金が上がらないとダメだと思う。若い人が食って行けない
7543	職人はいなくなる
4350	職人は生活的保障が無いので、ある程度育つまで一定の期間補助があると助かる。
5693	職人不足が進む現在、各社が将来を見据えて育成に取り組む必要がある。
1577	新規2~3年の補助が良い
960	人材育成が社会に大切だと思う
7336	人材育成にはお金と時間がかかるので補助が欲しい
6197	人材が少ない
4412	人材が不足のためこれから育成していくのに公的な物でいろいろアドバイスしてほしい!
1697	人材の募集手段が限られており、学校との連携が必要だと思う。他の業種のような開かれた就職活動ができる環境が整わないと担い手は減り続けていくのではないかと思います。
6958	人材募集
4775	すぐやめない(やめれない)ようにしなきゃない。
651	少し厳しいことを言ったりすると、すぐにやる気をなくしたり機嫌が悪くなったりするので育てる事は難しい今の教育制度に問題ありだと思う
7706	墨付、手刻み加工する個人に頼む客が少ない。ハウスメーカーに寄りがたい
5941	墨付・手刻み加工のできる仕事がない!!
4554	墨付け、刻みをできるように育てる環境を作って欲しいです。30代からでもできるようなのです。

■資料編 アンケート調査 自由記述回答

4. 担い手育成についての意見（自由記述）

(23) 担い手育成についてご意見等がございましたらご自由にご記入下さい。...(FA)

SEQ	ご意見
671	墨付け加工組立(小屋組の)の助成は良い事と思いますので、今後も県は続けてほしい
3619	墨付け加工のできる職人が減ってきてる
4882	税金を使うくらいなら、現場を増やすことの方が大切だと思う。
3872	正社員として育成していくことがいいと思います
5798	責任を持って仕事をする人が少ない。
1894	世間の風潮で大工の技術自体が必要なくなっていることが悲しい。職人の技術が残るような仕組みが欲しい。
157	設計業務をやるにしても、まずは体を使った作業を経験させる必要がある もう少し、研修等をやる必要が
7911	設計事務所員をイメージして答えました。
4385	専門学校(大工塾)のようなところに週1回～月2回程度学べるところがあれば良いと思います。
3656	専門学校、訓練校等に補助金制度を設けてでも、将来の大工および左官等を育成してほしい
3432	育つ環境があれば十分
1088	育て方が難しい 育て方を教えてほしい
2143	育てたいが仕事が少ない
5157	育ててみたいです。建築に興味を持ってる若い子たちとふれあいがあったらと思います。
7354	育てても若年の場合は辞めてしまうので辛いです
5931	育ててやるのか育つのか？やる気が有るのか無いのか？本心からの建築大工になりたいと思う者しか育たないと思う。
6496	育てようとしても途中で辞めてしまう
7738	育てられる場所が必要
840	育てる側、育ててもら側共に忍耐と努力が必要 長い目で見つつ、早く身に付けるように努力する
2836	育てるには時間がかかります 5年間続く補助がないと難しいと思います
7143	その仕事について生活して行けるか？が大切だと思います。職人の立場、給料を向上していけたらよいと思います。職人もそれに応えるよう技術向上を常に目指していくべきです。親子間でしか技術を継いでいけないのは(親と子なら生活していける)、担い手も増加しないと思います。
8203	そもそも建設業に就く成り手が減少しているのが一番の問題。制度改革して、建設業の成り手を増やす制度を設けるのが一番の道かと思うが、少子化問題等もあり、建設業界だけで解決できると思えない。一つの答えとして、外国人労働者の門戸を拡大すべきと思うし、近い将来、外国人労働者は必ず増えるはずで。2020年東京オリンピックは間に合いません。今から準備すべし。
3419	大工育成塾に申し込んだが何も連絡ない 今年該当なしとか何か欲しい 育成について真剣な団体はないので個人的にやるしかない
2335	大工及び建築業に対する給料が安すぎる 職人に対する賃金が安い(手間施工費) 職人になる人がいない
4875	大工がいなくなるぞ
6803	大工さんだけではなく左官さん等も若い担い手が必要になっています。職業訓練校を通じて若手育成が出来るようになればと思います。
6845	大工さんの置かれている環境は厳しいと思います。大変貴重な人材ですので国を挙げて大事にしてほしい
6051	大工さんの実態に関するアンケートの様ですので、未記入で提出いたします。
8322	大工塾(国土交通省)で1人育てたが腕が付いたころ、親元(1人親方)に戻ってしまい若い担い手がない
7391	大工職が魅力ある職業かどうかが大切で、作る面白さが分かれば補助はいらないと思います。魅力をどう伝えるかが重要だと思います。
1188	大工職にスポットを当てたTV番組を作り魅力をアピールできれば良いと思う
2459	大工道具も買ってやらねば
572	大工と下職で小僧の時の日当が大きく違う。電気や塗装は小僧でも高い。しかし技術(知識)が苦手な程、下職を選ぶ。技術を得て一人前になるまで時間がかかる。大手HMは技術不要で河合州でも一人前の日当。そこに流れる技術は育たない。
6618	大工として社会保障ができるようにしてほしい。仕事を辞めてからの保障がないので若い人は不安だと思います
8263	大工に限らず技能労働者に対する労働報酬の配分が、根本的に間違っている。(安すぎる)この点が改善されなければ人材は枯渇し、住宅の品質は下がるに決まっている。
7284	大工の高齢化が進んでいる為おととしより職業訓練校より社員大工として1名採用しました。昨年も1名採用、そして今年も1名採用予定です。そして、専属の大工(棟梁)へ指導してもらっています。弊社専属大工5名いますが、そのうち3名は60歳を超えているため、新たな試みとして社員大工として採用しました。会社としての負担は大きいですが、次を見据えて動いています。
813	大工は全業種に絡むので、効率的に悪いです
7541	大工は休みもなく給料も安い。プレカットばかりで魅力もない。よって若い人は入ってこない。建築現場で働いた事のない人にわかりますか？
6680	大工不足が叫ばれる中、次世代の職人さんが必要であると施工管理の立場から痛切に感じております。
5402	大工養成学校からの人材はほしいと思う。今も3年目になる職人がいるが、育てやすい。また養成学校はもっと必要と思う。
2730	大工を育てる現場が必要

■資料編 アンケート調査 自由記述回答

4. 担い手育成についての意見（自由記述）

(23) 担い手育成についてご意見等がございましたらご自由にご記入下さい...(FA)

SEQ	ご意見
7350	大切な事だと思う！！
151	大切な問題だと思う
6902	楽しい仕事のできる環境を作ってやる。
853	単価が安すぎる
2441	単価の競争が壁を作っています 親方の取り分が無い
172	単価引き下げにより、弟子を育てることは費用的に無理がある
3995	地域での建方など大工の活躍できることが減り、プラモデルになっている 大工さんの魅力が伝わらない!! コストのみで家を建てすぎ!!
3661	中学校等で、話、実際の仕事を見てもらう
6928	長期的展望で育成したいが、現実的には短期生成的になっている。
720	賃金、休日、保険がとにかく不足しているので、その面で力を入れて欲しい
1531	賃金が上がらない限り若い人は来ない
8100	賃金が上がらないと、担い手は入ってこない。大工は一人前になるまで10年以上かかるので、覚えやすい、 内装、外装、設備工に若い人が流れてしまう。職人不足！
6215	賃金が上がれば(1日25,000以上)担い手は育つと思う。一人前の大工で年収700万以上手取りあれば。
7823	賃金ももちろんだが、ものづくりに対する魅力ある職場作りが大事！私は自身の手掛けた作品が後世に残 ることが誇りと思ってやってきた。今の若い人にはそれがない。特に「ゆとり世代」責めたくないが自分から 仕事を覚えようとしな。言われた事しかやらない。私から言えば「ゆうとおり世代」！
6412	賃金よりも、労働時間、例えば8:00～17:00土日祭日休日とする、等、労働環境の改善が必要と思います。
347	賃金を含め夢を持てる業種にしないと担い手は現れないのでは?建築をやりたいという若い人は、そのほと んどがホワイトカラーを目指している。職人の地位向上を図らなければならないのでは?
8207	手キザミ仕事への補助等あれば、育成にもつなげやすい
2676	手刻みの仕事がもう少し増えてきてほしい
7640	適正な賃金を雇用主が支払う事です。
487	できるだけ本人がどうすればよいか考えるように自由にやらせている。良い悪いを自分で判断されている
4637	手造りの良さをアピールして、工業化ではなく、日本伝統の建築を考えるべきです。
3191	手間が減少されるので自分も若手へも保険などがかけづらいです。
223	手間が安いため、他人の育成などの余裕は持てない
448	伝統的な大工技術を必要とする仕事が減っているため、人材を育成できる機会がない
6317	ドイツ等のようにマイスター制度等を作ってほしい
1300	ドイツ並みのマイスター制の導入
215	東京工建も若い方(～30歳以下)の保険料を安くして、加入を勧める そのかわり4役及びデモ参加を義務と する
2805	道具を使える仕事(ノミ、カンナ他の仕事)が少ないため大工仕事の魅力が少なくなっている あと道具に金 額をつぎ込むため手持ち金額が少ない もう少し工務店他力を入れて育成に当たった方が
221	特になし
4523	特になしです
163	特になし
199	特になし
302	特になし
1193	特になし
1340	特になし
2644	特になし
3313	特になし
4256	特になし
4405	特になし
4581	特になし
4594	特になし
4865	特になし
4942	特になし
5135	特になし
5311	特になし
5914	特になし
5973	特になし
6041	特になし
6424	特になし
7169	特になし
7272	特になし
7335	特になし

■資料編 アンケート調査 自由記述回答

4. 担い手育成についての意見（自由記述）

(23) 担い手育成についてご意見等がございましたらご自由にご記入下さい。...(FA)

SEQ	ご意見
7709	特になし
7875	特になし
7965	特に保険、年金、固定給料で大工さんを育てていく必要があります。
25	とてもいい職業だと思うが、一般的な会社に比べ、社会保険、厚生年金等がしっかりしている所が少なく、興味がある人以外には魅力が少ないのかなと思います
4232	とにかくどんどん面倒なことをやっていかないとならない反面、でき上がりに達成感がある。そういう全体の流れや将来は教える側にある必要があるという事をイメージできるように育成していける仕組みが必要と思います
5309	どの程度の担い手か？手間うけだけなら、スピード重視。すみ付けまでできるなら、工期をもっと(お金とも)余裕がなければむりと思う。
7464	ないです
6987	なかなかむずかしいですね！
484	なし
1198	なし
1477	なし
1967	なし
2842	なし
3274	なし
3629	なし
4917	なし
4962	なし
5109	なし
5510	なし
7286	何度か育てるつもりで雇ったが、きつい仕事だと続かない。もう少しという所で心が折れてしまう人が多いので残念です。
8325	肉体労働なので、それなりの給与が得られればもっと魅力ある産業になるのではないのでしょうか？
6083	担い手(見習い)で家に来た子はたくさんいましたが、続かない。
6611	担い手育成したくても、担い手がいらない。まったくいない。
5083	担い手育成にかかる費用を、国や各建設組合から少しでも各工務店に直接あると助かる。
2006	担い手育成に公的な補助があるのでしょうか?ないと思われませんが・・・ 魅力ある職業としてもっと充実できるよう積極的な支援をよろしくお願いします。
6903	担い手育成のために是非公的補助金を出して下さい。
506	担い手育成は必要だが、固定費が上がるのでなかなか育成しにくい。
6883	担い手が希望の見える収入金額。
4544	担い手側のモチベーションが●かな・・・/賃金が安い
2688	担い手として育成をしたがその分仕事がなく、費用も上げられないのが現状
6666	担い手の育成について補助金も必要ですが、それ以上に若年層に就業してもらいやすい社会づくりが急務でないでしょうか？大学で大工を育てるくらいの方が良い。
3729	担い手の育成には仕事との量と工具などの費用もかかり、双方に負担があります 助成などあれば良いのですが
2728	担い手の育成は重要な課題と考える
3966	担い手は育てたいが、費用等のことを考えると、踏み込めない(担い手を育てるために年に100万以上投資したことがある)
3754	担い手は息子
7255	担い手本人のやる気次第で本人は変わると思うし扱い方も変わると思う。
5849	担い手を探すことが難しい。
642	担い手を育てても他社に引き抜きにあい困っている 教育費が無駄にならない方法があったら教えてほしい
8304	担い手を育てることは非常に重要ですが、もう少しまわりに理解が必要だと思います。(施主、行政など)
8017	担い手をどんどん育成していかないと近い将来、職人不足となると思います。
3336	日本の建築このままで良いのか
7524	日本の木造建築技術の素晴らしい所をもっと広めていければよいと思います。(伝統工法)
3060	入社したばかりなので私が育成されている最中です。
6712	入社より厚生年金労災保険雇用保険建設労災と県の賃金など1ヶ月で20万ほどかかり仕事を覚えたら自分で独立してしまう。
5680	年間経費450万くらいかかります。
8230	年数によって公的補助の金額も変わるようにする。1年目20万/月、2年目15万/月、3年目10万/月のように
7739	ハウスメーカーの進出で仕事が減っているので担い手の育成に大変困っている
6638	ハウスメーカーの台頭、家電業者などの参入により、価格競争の激化が進み、適当な人工単価が支払えない状況です。その中で若手を育てる事が難しいのが現状です。何人かが入社しましたが、安い賃金や休日が少ない、などの理由で辞めてしまいます。

■資料編 アンケート調査 自由記述回答

4. 担い手育成についての意見（自由記述）

(23) 担い手育成についてご意見等がございましたらご自由にご記入下さい...(FA)

SEQ	ご意見
4030	ハウスメーカーの手間取りをしてしまうため個人工務店には、なかなかいい子は見つけづらい
7037	ハウスメーカーばかりになっている。昔ながらの建築をする大工がいなくなる。墨付けが出来る大工を育てたい。
673	場数を踏ませないとダメだと思う
2308	早い段階からの若手の育成が必要だと思うので
8166	人の言う事をきかない？
7398	人は見た目ではないと頭ではわかっているが、金髪、ピアスetcを好きになれない。自分の狭量が残念だが、性分は容易には直らない。
2351	一人育てるのには時間と金がかかります 何らかの方法で助成いただくと助かります
4351	一人育てるのに約300万以上かかり上記のように公的補助金を多く出してほしい。
7674	人を育てなければいけないと感じているが現状の会社の状態から考えると、一歩前に入る勇気がない。年間を通して仕事の量に波がありすぎるため。
4134	費用がかかっても技術者育成は必要だと思う できるだけ公的補助があればと思う
1570	プレカットが全盛の中大工育成は難しい
6912	プレカットの現場をいくらやっても基本は身に付かないと思う。シミ付け、キザミの実行が必要。
6089	平成の初めには1ヶ月の仕事量が多数ありましたが大工同士で仕事の廻し合いもなくなりました。今では今までの40%の量です。
5193	防衛大学と同じ方法の学校。(給料有)→現場は民間(無料)
5737	法律と制度の変更が多く、新人育成の負担になっている。国がジャマしていると思えない！！
4725	補助があっても、年金や社保など規定があり、ハードルが高い。冬期間の雇用がとてもむずかしい。
688	補助金
5771	補助金が出るんですか？
6871	補助金がないと、3Kの大工では、見習い時は低賃金のため辞めることが多い。ほとんどが育ちません。高卒でもある程度収入がないと1年ももちません。
3253	補助金制度をもっと簡単に、多額を受けられるようにしてほしい
3768	補助金を会社に出せばいいと思う
6490	補助金を出してほしい(雇用に対して)
1202	補助等が無いと担い手育成は厳しいと思います
2087	本物の大工に育てるには時すでに遅い。教えられる人がいない。家の形にする施工者なら可能かも。
4974	まず担い手がいなのが問題
901	まずはイメージ不良(3Kもしくは4Kと言われるような職場環境)を改善していくこと 意識レベルの向上(自分の事しか考えない人材を意識改革させること)
6156	マッチングの機会が欲しい
7458	マニュアル、施工優良事例の資料を作成して指導しています。インターネットを活用して各メーカーのホームページを参考にしています。調べていくうちに、法令が定められていない部分に施工品質が左右されるような気がします。今回の講習のように袋入りグラスウールの施工について外国人労働者も増えており周知させる重要性があると思いました。
8032	周りは60代の大工ばかりです。担い手育成に補助が出る制度があれば、経営側も若手としても非常に有難いです。
2234	満足の額の収入があれば若い人たちも続くと思う
5250	見習いは5人ぐらい育ててみんな自立しました。プレカットのためあまりいい仕事とは言えなくなった。
2712	魅力のある職種として学校の教育に活用してもらいたい そうでないと、子供たちが「やりたい」と思わないと思います
4129	昔職人というものは仕事すればするほどお金になると言われて目指す人がいました 今では条件が悪かったり、労賃が低かったりと、一番の魅力である「稼げる」ということができません その点の改善は必要かと思えます
2520	昔の生活は出来ない為、育成は大変です
5415	昔のように“俺の背中を見て育て”はもう誰もついては来ず、面倒でも手取り足取り教えねば育たない。ほめることも必要。
2225	昔は良かったです 今の時代は建物がプレカットになったため、墨付けする事もなく自分たちで仕事をなくしているのではないのでしょうか？ このままでは自分たちで自分の首をくくっているのではないのでしょうか？ 若い人が育つわけがありません
1552	無責任に育てて何をするつもりなのか分からない 各メーカーが自社用工員を社内講習で用すれば済む社会を国交省主導で作ってきたことを棚上げした問いです
2512	無理に育成する必要はない 伝統技術は宮大工が継承する 屋大工はその時の需給に任せるべき
66	名誉が必要
1452	メーカーより工務店が強ければ職人は育つ 現在、家は売り手市場となっており、職人の技術が求められる時代ではなくなったことが大きな要因だと考えられる

■資料編 アンケート調査 自由記述回答

4. 担い手育成についての意見（自由記述）

(23) 担い手育成についてご意見等がございましたらご自由にご記入下さい...(FA)

SEQ	ご意見
1378	もう少し賃金を上げてやりたいけど単価が厳しくて上げてやれない 一人前になったとき一人立ちできるようにするにはどうしてやれば良いか
942	木造住宅の構造また申請、基準及び国の縛りが強すぎて、仕事がやりづらいと思います
7871	もっと、小さい世代から、どうにかできないか？ぜひお願いします。
3230	もっと地元の大工に仕事があれば育成ができると思います。ハウスメーカーがはびこっているこの時代なかなか育たないと思います。20年たった大工はいなくなるのでは？
1791	もっと大工を目指しやすい環境、体制をととのえられたらいいと思う。賃金や道工の負担など、大工を目指すための学校、訓練校などもあるとより良いと思う。
3240	もっと賃金を増やして職人を増やしてほしい。身体を動かしてお金が稼げない仕事じゃ誰もやりたがらない。
3520	持てる技術、知識は出し惜しみせず、スピード感を持って伝えたい!
1592	元請として大工工事をする場合は良いが、大工工事請けだけの場合は、人材育成しようとするほど、親方の日当が無くなるようなものです 近頃の物件は(注文住宅)、大工の仕事量と請負金額の差は大きいです
8277	休みを増やす
5066	やってみて、言って聞かせ、させてみせ、ほめてやらねば人は動かじ
7707	やる気が見えないため
8130	やる気のある人がいれば受け入れたいと思います。
2815	やる気の人材はいない
6720	ゆとりっ子たちの仕事の取り組み方に差がある
7538	ゆとりは、、、
2983	良い人材は、大手会社に行くのでなかなか見つからない 職安(ハローワーク)は良い人材が来たことがない
1013	良き技術者たる前に良き人間たれ
2807	予算がない
8132	よりよい建物を作ることも大事だが、現在の建物単価では、今日の講習内容は現実的ではない。
5084	若い方が少ないので、若い方を育てやすい体制、若い方が大工さんになりたいと思う環境を整えるべきだと思います。
1798	若い人がいない
4609	若い人が少ない。みりよくのある職場づくりを実践しないとイケないと思う。
4500	若い人が楽しめる、他業者との交流会など催してみても。(大工、左官といった業種)
2816	若い人が入って来やすい職種にしないとどんな業界でも未来はないと思われず 環境、賃金等に魅力ある職種になればいいですが
1701	若い人が入ってこない。
7101	若い人が魅力ある建築あるいは土木も含めた建設会で働いて行けるような社会、経済基盤を行政が切実に、明日から作り上げてもらいたい。
2206	若い人につなげるような仕事が少ないと思う
5566	若い人の建築業界に進む人が大変少ないので問題です。
6334	若い人は志がない
7369	若い人を怒ると直ぐ辞める
2233	若い人を育てる環境が無い また会社に育成するシステム、人手、賃金が無い また当社に将来性もない
1896	若手が育たないのは自分の責任だと思う。
439	若手技術者を増やし、正社員として雇用することがとても大切である。
7514	若手の価値観が違うので、建設業界の風土から変えていかないとイケないのでは？時代の変化に対応できない業界だとつくづく思う。
4254	若手の職人育成のため、一人親方でやっている大工・その他職人が若手の見習いを雇えるように公的補助があると良いと思います。また設計事務所等にも見習いを雇用しやすくなるような助成があると良いと思
8184	若者がやりたがらない、休みが少ない
5085	私共は後継者がおりませんので担い手育成は出来ませんが、他会社で余裕のある方は若手育成は将来貴重な人材となると思います。同業者で若手がいる場合、他人でもできる限りのアドバイスはしています。
5082	私は大工さんではありません。設計士です。

平成27年度 国土交通省補助事業
住宅市場整備推進等事業
大工技能者の育成の検討 報告書

平成28年3月
一般社団法人 木を活かす建築推進協議会
〒107-0052 東京都港区赤坂 2-2-19 アドレスビル 5F
TEL:03-3560-2882 FAX:03-3560-2878 URL: <http://www.kiwoikasu.or.jp>
